

谷山中学校校舎27号棟長寿命化改良ほか電気設備工事

図面リスト								
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E-00	図面リスト	NoScale	E-26	改修後 電灯設備(換気扇分岐) 換気計算表、取付参考図	NoScale	E-52	改修前 付近見取図、配置図、撤去特記事項	1/1000
E-01	特記仕様書(1)	NoScale	E-27	改修後 電灯設備(換気扇分岐) 1階平面図	1/200	E-53	改修前 幹線・動力設備 1階平面図(撤去図)	1/200
E-02	特記仕様書(2)	NoScale	E-28	改修後 電灯設備(換気扇分岐) 2階平面図	1/200	E-54	改修前 幹線・動力設備 2階平面図(撤去図)	1/200
E-03	石綿含有保温材等及び石綿含有成形板等除去特記事項	NoScale	E-29	改修後 電灯設備(換気扇分岐) 3階平面図	1/200	E-55	改修前 幹線・動力設備 3階平面図(撤去図)	1/200
E-04	改修後 付近見取図、配置図、工事区分表	1/1000	E-30	改修後 電灯設備(換気扇分岐) 4階平面図	1/200	E-56	改修前 幹線・動力設備 4階平面図(撤去図)	1/200
E-05	改修前・改修後 部屋配置平面図	1/600	E-31	改修後 構内情報通信網・構内交換設備 系統図	NoScale	E-57	改修前 幹線・動力設備 R階平面図(撤去図)	1/200
E-06	1期・2期ローテーション配置図	1/1200	E-32	改修後 拡声・テレビ共同受信設備 系統図	NoScale	E-58	改修前 電灯設備(電灯分岐・コンセント分岐・換気扇分岐) 1階平面図(撤去図)	1/200
E-07	1期・2期ローテーション平面図	1/600	E-33	改修後 弱電設備 参考姿図	NoScale	E-59	改修前 電灯設備(電灯分岐・コンセント分岐・換気扇分岐) 2階平面図(撤去図)	1/200
E-08	幹線系統図、電圧降下計算書	NoScale	E-34	複合防災壁 参考図	NoScale	E-60	改修前 電灯設備(電灯分岐・コンセント分岐・換気扇分岐) 3階平面図(撤去図)	1/200
E-09	分電盤・端子盤結線図(1)、分電盤参考立面・断面図	NoScale	E-35	改修後 構内情報通信網・構内交換設備 屋外端子盤取付参考立面図 1階平面図	1/200	E-61	改修前 電灯設備(電灯分岐・コンセント分岐・換気扇分岐) 4階平面図(撤去図)	1/200
E-10	分電盤結線図(2)	NoScale	E-36	改修後 構内情報通信網・構内交換設備 職員室西面参考展開・断面図 2階平面図	1/100, 1/200	E-62	改修前 弱電設備 1階平面図(撤去図)	1/200
E-11	凡例表、照明器具姿図(参考)	NoScale	E-37	改修後 構内情報通信網・構内交換設備 3階平面図	1/200	E-63	改修前 弱電設備 2階平面図(撤去図)	1/200
E-12	改修後 普通教室標準平面図、展開図	1/50, 1/100	E-38	改修後 構内情報通信網・構内交換設備 4階平面図	1/200	E-64	改修前 弱電設備 3階平面図(撤去図)	1/200
E-13	改修後 幹線・動力・空調電気設備 防火区画等貫通処理 1階平面図	1/200	E-39	改修後 拡声・テレビ共同受信設備 1階平面図	1/200	E-65	改修前 弱電設備 4階平面図(撤去図)	1/200
E-14	2改修後 幹線・動力設備 防火区画等貫通処理 2階平面図	1/200	E-40	改修後 拡声・テレビ共同受信設備 情報表示設備(時刻表示) 2階平面図	1/200	E-66	改修前 弱電設備 R階平面図(撤去図)	1/200
E-15	2改修後 幹線・動力設備 防火区画等貫通処理 3階平面図	1/200	E-41	改修後 拡声・テレビ共同受信設備 情報表示設備(時刻表示) 3階平面図	1/200	E-67	改修前 火災報知設備 1階平面図(撤去図)	1/200
E-16	2改修後 幹線・動力設備 防火区画等貫通処理 4階平面図	1/200	E-42	改修後 拡声・テレビ共同受信設備 4階平面図	1/200	E-68	改修前 火災報知設備 2階平面図(撤去図)	1/200
E-17	改修後 幹線・雷保護設備 R階平面図	1/200	E-43	改修後 テレビ共同受信設備 R階平面図	1/200	E-69	改修前 火災報知設備 3階平面図(撤去図)	1/200
E-18	改修後 電灯設備(電灯分岐) 1階平面図	1/200	E-44	改修後 火災報知設備 誘導支援設備(トイレ等呼出) 系統図	NoScale	E-70	改修前 火災報知設備 4・R階平面図(撤去図)	1/200
E-19	改修後 電灯設備(電灯分岐) 2階平面図	1/200	E-45	改修後 火災報知設備(自動火災報知・自動閉鎖・ガス漏れ警報) 誘導支援設備(トイレ等呼出) 1階平面図	1/200			
E-20	改修後 電灯設備(電灯分岐) 3階平面図	1/200	E-46	改修後 火災報知設備(自動火災報知・自動閉鎖) 誘導支援設備(トイレ等呼出) 2階平面図	1/200			
E-21	改修後 電灯設備(電灯分岐) 4階平面図	1/200	E-47	改修後 火災報知設備(自動火災報知・自動閉鎖) 誘導支援設備(トイレ等呼出) 3階平面図	1/200			
E-22	改修後 電灯設備(コンセント分岐) 1階平面図	1/200	E-48	改修後 火災報知設備(自動火災報知・自動閉鎖) 誘導支援設備(トイレ等呼出) 4階平面図	1/200			
E-23	改修後 電灯設備(コンセント分岐) 職員室西面参考展開・断面図 2階平面図	1/200	E-49	改修後 火災報知設備(自動火災報知) R階平面図	1/200			
E-24	改修後 電灯設備(コンセント分岐) 3階平面図	1/200	E-50	1期 仮設配線図	1/400			
E-25	改修後 電灯設備(コンセント分岐) 4, R階平面図	1/200	E-51	2期 仮設配線図	1/400			

特 記 仕 様 書

I. 工事概要 (○印の付いた「・」の項目を適用する)

1. 工 事 名 谷山中学校校舎 27号棟長寿命化改良ほか電気設備工事
2. 工事場所 鹿児島市谷山中央八丁目20番5号
3. 工 期 本工事の工期は、令和8年10月16日までとする。
4. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階数	※延べ面積(㎡)	消防法別表	備 考
校舎 27号棟	鉄筋コンクリート造	4階建	3,987.16	(7)項	
校舎 27号棟 エレベーター棟	鉄骨造	4階建	48.96	(7)項	

※建築基準法による表記 ・ 文部科学省算定床面積 ・ その他 ()

5. 工事種目 (○印の付いた「工事種目」を適用する)

工 事 種 目		工 事 種 別			
		本 工 事			
1. 電 灯 設 備	一式	○			
2. 動 力 設 備	一式	○			
3. 電 熱 設 備	一式				
4. 雷 保 護 設 備	一式	○			
5. 受 変 電 設 備	一式	○			
6. 電 力 貯 蔵 設 備	一式				
7. 自 家 発 電 設 備	一式				
8. 構 内 情 報 通 信 網 設 備	一式	○			
9. 構 内 交 換 設 備	一式	○			
10. 情 報 表 示 設 備	一式	○			
11. 映 像 ・ 音 響 設 備	一式				
12. 拡 声 設 備	一式	○			
13. 誘 導 支 援 装 置	一式	○			
14. テレビ共同受像設備	一式	○			
15. テレビ電波障害防除装置	一式				
16. 監 視 カ メ ラ 設 備	一式				
17. 駐 車 場 管 制 設 備	一式				
18. 入 退 室 管 理 装 置	一式				
19. 自 動 火 災 報 知 設 備	一式	○			
20. 自 動 閉 鎖 設 備	一式	○			
21. 非 常 警 報 設 備	一式				
22. ガス漏れ火災警報設備	一式				
23. 中 央 監 視 設 備	一式				
24. 構 内 配 電 設 備	一式	○			
25. 構 内 通 信 線 路 設 備	一式	○			
26. 太 陽 光 発 電 設 備	一式				

6. 鹿児島市建設工事請負契約書第33条に基づく部分使用
・無 ○有 (範囲、時期については監督員の指示による)
7. 鹿児島市建設工事請負契約書第38条に基づく部分指定
○無 ・有 (範囲、時期については監督員の指示による)

II. 一般事項 (○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する)

- ① 本工事は、公共工事であることを十分に認識し、工事の施工に当たって必要な官公署その他への手続きは速やかに行い、建築基準法、労働安全衛生法、建設工事公衆災害防止対策要綱及びその他関係法令を遵守し、災害及び事故の防止並びに環境の保全に努めること。
- ② 本工事の施工において、関係法令により資格が必要な作業については有資格者が行うこと。
- ③ 本工事の関連工事に従事する別契約の受注者とは、関連の工程・段取り等を事前に十分協議し、相互理解の上で施工すること。
- ④ 安全管理をはじめとする、その他の諸管理に十分留意して作業を行うこと。
- ⑤ 本工事の施工に当たっては、地場産業育成の見地に立ってでき得る限り、市内の専門業者や労働者の活用を図ること。また、資材についても同じように市内業者からの購入に努めること。
- ⑥ 元請業者は、下請業者の施工能力の向上・雇用管理・労働安全管理等の措置に関し、必要な指導、助言その他の援助を行い、両者の合理的な関係の確立に努めること。
- ⑦ 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。
- ⑧ 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく（遅くとも下請工事又は業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。
- (1) 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務
- (2) 土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務
- (3) 工事現場の警備（交通誘導を含む）を行う業務
- (4) その他監督員が記載を指示した業務等
- ⑨ 本工事の施工業者は、建設業退職金共済制度の趣旨をふまえ、この制度の活用に努めること。
- ⑩ 建設業法第26条及び同施行令第27条に規定する監理技術者については、指定建設業監理技術者資格者証の交付を受けたものを選任し、その工事現場の専任とするものとする。
- ⑪ 設計図書に明記なき事項といえども、機能上、技術上必要と認められるものは監督員と協議のうえ、施工すること。
- ⑫ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内（土、日、祝日等を除く）に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内（土、日、祝日等を除く）に、完成時は工事完成後10日以内（土、日、祝日等を除く）に(一財)日本建設情報総合センターに登録

- しなければならない。また、登録完了後は、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。
- ⑬ 気象予報又は警報等について、常に注意を払い、災害の予防に努める。なお、地震、大雨及び台風等が発生した場合は、直ちに工事現場の被災状況を調査し、被災の有無にかかわらずその状況を監督員に報告すること。
- ⑭ 災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに二次災害の防止に努め、その経緯を監督員に報告し、適切に対応すること。
- (低入札価格調査に基づく措置)
- 低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。
- ⑮ 施工体制の強化
- (1) 低入札価格調査の対象となった工事（以下「調査対象工事」という。）には、専任の主任技術者等を配置すること。
- (2) 調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事にし、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。
- ア 65点未満の工事成績評定を通知された場合
- イ 工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合
- ウ 品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合
- エ 自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合
- ⑯ 監督体制の強化
- (1) 受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときは、これに応じなければならない。
- (2) 受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。
- (工事施工)
- ⑰ 工事現場での通行、運搬、掘削、舗装等の作業に当たっては、特に現場周辺の住民及び通行人への危険防止に万全の注意を払うとともに、昼夜間を問わず、十分な安全対策を行い、事故の皆無を期すること。また、工事現場周辺の側溝、その他の公共物を土砂やモルタル等の残材等て埋没させないよう特に注意すること。埋没させた場合は速やかに受注者の負担で復旧すること。
- ⑱ 本工事の施工現場の詰め所等においては、火気責任者を定め、火気の取り扱いには十分注意すること。（下請業者への指導を含む。）
- ⑲ 本工事の施工に当たって、支障物件を発見し、工事の進捗に影響があると思われる場合には、速やかに監督員に連絡し、互いに協議の後、監督員の指示により処理すること。なお、軽微なものについて、これに要する費用は受注者の負担とする。
- (屋内に使用する材料等)
20. ホルムアルデヒドを発生する資材を使用する場合、居室内はF☆☆☆☆規格、居室へホルムアルデヒドが流入する恐れのある床下及び天井裏は、F☆☆☆規格以上にそれぞれ適合すること。但し、これによりがたい場合は監督員と協議し、承諾を得ること。
- ※ 対象となる材料
- 木質建材（合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等）、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、保温材、接着剤、仕上り塗料等。
- 注) アダラリ等により連通され、居室への流入が見込まれるトイレ等は、居室と一体化とみなす。
21. クロルピリホスを添加しないこと。クロルピリホスを添加した材料でないこと。
22. 塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性系のものとする。（水廻り及び湿度の高い箇所を除く。）但し、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの拡散が極力小さいものとする。
- (契約不適合担保責任検査)
- ⑳ 契約不適合担保責任（鹿児島市建設工事請負契約書第41条）の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。
- (火災保険等)
- ㉑ 請負契約締結後速やかに、次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの（保険証券等）の写しを直ちに監督員に提出すること。保証期間は工期後満21日間（24時まで）とする。
- 火災保険等（工事的目的物及び工事材料（支給材料を含む）等）に生じる損害を填補）
- 請負業者賠償責任保険（工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補）
- 保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、組立保険等でも可とする。その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。
- (法定外労災保険の付保等について)
- ㉒ 法定外の労災保険の付保
- 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの（保険証券等）の写しを直ちに監督員に提出すること。保証期間は工期後満21日間（24時まで）とする。
- ㉓ 墜落制止用器具の使用について
- 高さ≥2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用器具の使用を講じること。
- (前払金・中間前払)
- ㉔ 前払金 ※請求することができる ○令和7年度中に請求すること
- ㉕ 中間前払金
- (1) 請負金額が100万円以上で年度内に完成する工事は、契約時において中間前払金か部分払かのいずれかを選択すること。ただし、令和7年度中に請求することはできない。なお、契約に当たり部分払をすることを選択した場合は、中間前払金は行わない。
- (2) 中間前払金を受けるための要件（全て満たすこと。）
- ア 請負金額の10分の4の前払金がなされていること。
- イ 工期の2分の1を経過していること。
- ウ 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。
- エ 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。

- (3) 中間前払金の割合について
- 請負代金の10分の2以内とする。ただし、中間前払金を支出した後の前払金の合計額が請負代金の額の10分の6を超えてはならないものとする。
- (営繕工事における週休2日試行工事について)
- ㉙ 営繕工事における週休2日試行工事について
- (1) 本工事は、営繕工事における週休2日試行工事の対象である。
- (2) 試行に当たっては、「営繕工事における週休2日試行工事実施要領（令和6年5月7日施行）（以下、「実施要領」という。）」に基づき行うものとする。
- (3) 実施要領は、鹿児島市ホームページから入手できる。
- (桜島地区の工事について)
30. 本工事は、「桜島地域営繕工事における渡船料算出等取扱要領」に基づき対応を行う。「桜島地域営繕工事における渡船料算出等取扱要領」は鹿児島市ホームページから入手できる。
- (路上工事の一時中止について)
31. 「鹿児島県域の路上工事縮減に関する行動計画」に基づき、下記の期間は路上の工事を原則一時中止するものとする。
- ・令和7年4月25日(金)22時から令和7年5月7日(水)9時 事由：ｺｰﾙﾃﾞﾝｼｭｲｸ
- ・令和7年8月8日(金)22時から令和7年8月18日(月)9時 事由：お盆
- ・令和7年12月26日(金)22時から令和8年1月5日(月)9時 事由：年末年始
- なお、日時は変更することもあるため、詳細については監督員と協議し、かつその指示に従うものとする。
- (街区基準点等について)
32. 街区基準点等付近での工事等については、街区基準点等の亡失、き損の防止を念頭に、「鹿児島市国土調査標識等管理保全要綱」に従い、所定の様式を監督員に提出し、監督員の指示に従わなければならない。
- ㉚ 工事の施工において、施工範囲に境界点、公共基準点等の標識が設置されている場合においても亡失、き損してはならない。工事の支障となる場合は、監督員へ報告の上、保護・復旧措置等について協議するものとする。
- (暴力団関係者等による不当介入を受けた場合の措置)
- ㉛ 暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
- (環境基本計画)
- ㉜ 本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じること。
- ㉝ 本工事に使用する建設機械については、原則として「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」第10条第1項に基づく「環境物品等調達方針」に適合するものを使用すること。
- ㉞ 本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」第10条第1項に基づく「環境物品等調達方針」適合製品又はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。
- ㉟ 本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提供の資料等、両面印刷では支障を生ずるものは除き、可能な限り、両面印刷とすること。
- ㊀ 工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器類を撤出しやすいような分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに努めること。
- (低騒音型建設機械の使用の原則化)
- ㊁ 本工事は「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機発第58号）に基づき「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）により指定された低騒音型建設機械の使用を原則とする。なお、低騒音型建設機械の使用の有無を施工計画書に明示し、工事完成図書に写真を添付すること。
- (現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合)
- ㊂ 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合
- 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下のいずれかの要件を満たす場合には、工事請負契約書第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」として取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や、現場保全の義務（現場の巡回等）があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。
- (1) 契約締結後、現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間。
- (2) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間。
- (3) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間。
- また、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の現場代理人が、これらの製作を一括して運営、取締りを行うことができるものとする。
- (4) 前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間。
- ㊃ 発注者への報告
- 前項の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。
- (現場代理人の兼任)
43. 現場代理人の兼任を認める工事
- 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項（請負代金の変更、契約の解除等を除く。）を処理する受注者の代理人であるが、次の(1)から(5)の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。
- なお、専任の主任（監理）技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、(2)、(4)、(5)の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。
- (1) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4,500万円未満であること。
- (2) 発注者は又監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。

- (3) 兼任する工事は、概ね1時間以内で移動できる範囲。
- (4) 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。
- (5) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。ただし、兼任する工事現場が41項に基づき、常駐を要しない場合は41項の規定による。
44. 手続き
- 現場代理人の兼任を行う場合には、「現場代理人の兼任（変更）申請書（第11-1号様式）」を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、「現場代理人等変更通知書」により、発注者に通知すること。
- なお、それぞれの工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。
45. 受注者に対する措置請求
- 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。
- (監理技術者等の途中交代)
- ㊄ 監理技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、疾病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。
- (1) 受注者の責によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合
- (2) 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点
- (3) ダム、トンネル等大規模な工事で1つの契約工期が多年に及ぶ場合
- ㊅ 上記の場合にあっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。
- (監理技術者等の途中交代の試行について)
- ㊆ 本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で、監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。
- (1) 工程上一定の区切りと認められる時点とは、品質管理・出来形管理が必要な工事的目的の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間は、監理技術者等の途中交代を認めることとする。
- (2) 受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入札契約手続きにおける競争参加資格を満足する者を配置しなければならない。
- (施工体制点検等への協力)
- ㊇ 請負代金額が4,500万円（建築一式工事は9,000万円）以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4,500万円（建築一式工事は9,000万円）未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同要領の枠組外における「一括下請負に関する確認」を実施するので、受注者はこれに協力すること。
- (ダンプトラック等による過積載等の防止について)
- ㊈ 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
- ㊉ 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- ㊊ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。
- ㊋ さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。
- ㊌ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- ㊍ 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除させること。
- ㊎ 50項から55項のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。
- (電子納品)
- ㊏ 電子納品
- (1) 本工事は、電子納品試行対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「鹿児島市電子納品運用ガイドライン（案）【建築・設備編】」（以下、ガイドラインという。）に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。
- (2) ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体（CD-R又はDVD-R）で正本1部、副本1部の計2部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。
- (架空線の防護措置について)
- ㊐ 架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理業者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。（公共工事における現場一斉閉所の実施について)
- ㊑ 受注者は、公共工事における現場一斉閉所の実施に協力するものとする。なお、現場閉所の実施への協力は、受注者の判断によるもの(任意)とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みの内容を掲載しているので確認のこと。

III. 建設副産物 (○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する)

- (共通事項)
- ① 発生材の処理
- (1) 引渡しを要するもの ○有 (受信機及びLED照明器具) ・無
- (2) 廃棄処分するもの ○有 ・無
- (3) 再生処理又は再資源化を図るもの ○有 ・無
- ② 建設副産物の処理における、運搬及びその処理費用は本工事費に含む。
- ③ 建設副産物は、再生処理又は再資源化することを原則とし、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「建設工事公衆災害防止対策要綱」、「建設副産物適正処理推進要綱」及び「鹿児島市建設局における再生資源活用工事実施要領（鹿児島市）」を遵守するとともに、マニフェスト（産業廃棄物管理票）システムにより適正処理を行うこと。また、産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合は、契約書及び、許可証の写しを監督員に提出すること。

谷山中学校校舎 27号棟長寿命化改良ほか電気設備工事		
特記仕様書 (1)	NO SCALE	1
鹿児島市建設局建築部設備課		全70

- ④ 受入機関の事業所名等がわかる看板を背景に、建設副産物の処分状況等が確認できる写真（車両に積載された状態）の撮影を行い、工事写真帳へ貼付すること。ただし、処分場内での荷下ろし状況については監督員の指示による。

⑤ 特定建設資材及び建設発生土の処理においては、事前に再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に綴じて監督員に提出し、承諾を得るとともに、工事現場の見やすいところに掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）して公衆の閲覧に供することとし、あわせてインターネットに公表するよう努めるものとする（ただし、再生資源利用計画書については、土砂のみの工事で500m3未満の場合は現場掲示は不要）。また完成時には実績及び処分状況の記録を完成書類に綴じて提出すること。

⑥ 建設副産物の処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。

⑦ 建設副産物のうち、有効利用できるコンクリート塊、アスファルト塊及び建設発生木材は再資源化するものとし、許可を受けた再資源化施設へ搬出すること。また、管球についても再資源化に努めること。

⑧ 再生処理又は再資源化できない建設副産物は、許可を受けた最終処分場及び中間処理場へ搬出すること。また、焼却施設及び最終処分場に搬入する際に産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

⑨ 産業廃棄物を収集又は運搬する際に、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託せずに自己運搬する場合は、運搬車の車体の両側面に5cm以上の文字で「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨」及び3cm以上の文字で「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。
なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬させる場合には「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく表示規定によること。
上記の表示状況について、工事完成図書に写真を添付すること。（建設発生土）

10. 本工事の施工により発生する建設発生土は、次のとおりとする。
 - 監督員が指示する構内の場所に敷きならしとする。
 - 下記の場所に搬出すること。
 - ア 受入れ場所：鹿児島市
 - イ 受入れ時間帯：時分から時分
 - 仮置き等 右記の場所に仮置きする。（）ただし、工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督員と協議の上、その指示によること。

（建設副産物の処理分類）				
建設副産物	対象例	具体的処理方法	伝票等	写真その他
1 建設発生土	残土	場内敷きならし許可場へ搬出	※1	※4 ※5 ※6
2 有価物	銅線くず(電線等)、鉄くず、変圧器、絶縁油、蓄電池	再生処理業者へ有価物として売却	※1	※6
3 建設廃棄物（特定建設資材）	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材	再資源化施設へ搬出	※2 ※3	※5 ※6
4 建設廃棄物（上記以外）	金属くず、廃プラスチック、ガラスくず、ゴムくず、木くず、廃油、その他場内で発生した産廃、蛍光灯管球、水銀灯管球、小型二次電池、イオン化式スボット感知器、六フッ化硫黄ガス、PCB入機器	許可処理業者へ搬出	※2	※6
		許可処理業者へ搬出	※2	※6
		引取業者へ引渡し	※1	※7
		引取業者へ引渡し	※1	※7
		事業課へ引渡し		※7

- ※1：計量伝票または受領書等の写しを提出する。
- ※2：マニフェスト伝票のE票の写し及び産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表を提出する。
なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されてない場合は、A、B2、D票のうち直近に返送されたものの写しを提出すること。
ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。
電子マニフェストの場合は、受渡確認表の写しを提出すること。
- ※3：E票記載の最終処分場は再生資源化施設であること。
- ※4：敷きならし状況の写真を撮影する。
- ※5：再生資源利用促進計画書（計画、実績）を提出する。
- ※6：処理業者又は再資源化施設への搬入状況や許可内容を示す看板を撮影する。
- ※7：引渡し状況の写真を撮影する。

IV. 工事仕様（○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する）	
1. 一般事項	
項 目	事 項
① 適用	（1）本特記仕様書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、受注者の責任において履行すべきものとする。 （2）すべての設計図書は、相互に補完するものとする。ただし、設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次のとおりとし、これにより難しい場合は「疑義に対する協議等」による手続きによる。 ア 設計図書等に関する質疑応答書 イ 特記仕様書 ウ 図面 エ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和4年版 及び 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和4年版（改

② 遵守事項

3 メーカー工場等における立会い検査の実施

④ 提出書類

⑤ 検査

⑥ 特殊な材料・工法

⑦ 立会検査を要する施工工程

⑧ 工事報告

⑨ 工事用電力・水・その他

⑩ 仮設

⑪ 快道トイレの試行について

⑫ 工事写真

⑬ 耐震構造

修及び修繕に限る）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）オ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年版（国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修）※ なお、本書では以降、上記のEは「仕様書」、オは「標準図」と略称する。
工事は、電気設備技術基準、内線規程及び小売電気事業者の規程に従い施工する。なお、図面その他が諸規程と相違するときは、監督員の指示による。
（1）試験方法は「仕様書」の「機材の試験」に準じ、該当する主な機材は、キュービクル式配電盤、直流電源装置、発電装置、複合防災盤、中央監視制御装置等とする。
（2）該当機材（）
施工に先立ち監督員の指示する施工図を作成し、承諾を得てから施工する。また、提出書類については「仕様書」に定めるもののほか、次のものを定められた期限内に作成して提出する。
（着手時）
（1）設計図二ツ折製本（表紙文字入） A 1判 部、A 3判 1部（適時）
（2）主要使用資材報告書ほか監督員の指示するもの（完成時）
（3）竣工図二ツ折製本（表紙文字入） A 3判 2部
（4）電子媒体

電子納品試行対象工事 C D－R又はD V D－R 2部
上 記 以 外 C D－R 1部
（1）工事完成後、本市の完成検査に合格することはもちろんのこと、関係官公署等の検査に合格しなければならない。
（2）立会検査を要する工程に達した場合及び監督員の指定した工程に達した場合は、事前に監督員に連絡し、監督員の検査を受ける。
設計図書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は、監督員の承諾を得る。なお、特殊な材料による施工は、当該製品の指定工法による。
コンクリート埋込配管・・・配管完了後コンクリート打設前
い ん べ い 配 管・・・配管完了後天井張り前
地 中 埋 設 配 管・・・配管完了後埋め戻し前
入 線 配 線・・・入線配線施工後
機 材・・・原則として現場搬入後
機 器 取 付・・・取付又は据え付け施工時
ただし、監督員から指示がある場合はこの限りではない。
「監理業務報告書」により、当月の施工内容及び、打ち合わせ記録書等を翌月の3日までに監督員に報告する。
本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手續等に要する費用は受注者の負担とする。
（1）監督員事務所 ○設けない ・設ける
（2）工事用仮設物
設置条件 構内に作ることが ○できる ・できない
ただし、すべて受注者の負担とする。
（3）足場・さん橋類
別契約の関連工事受注者が設置したものは、無償で使用できる。
（1）本工事は、建設現場における「快道トイレ」設置の試行対象工事である。
（2）受注者は積極的に快道トイレの試行に取り組むこと。
（3）快道トイレを設置する場合は、「建設現場における「快道トイレ」設置の試行の改定について(令和3年7月26日付け鹿児島市建設局通知)」に基づき行うものとする。
（4）「建設現場における「快道トイレ」設置の試行の改定について(令和3年7月26日付け鹿児島市建設局通知)」は鹿児島市ホームページから入手できる。

○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編」（令和5年版）による。
○上記写真に加え、実績報告用写真として着工前と完成時(出来高時)を監督員へ2部提出(両面印刷)すること。

設備機器の固定は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説」（令和3年度版）により、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるとする。なお、設計用水平地震力、設計用鉛直地震力は下記による。
（1）設計用水平地震力
設計用水平地震力は機器の重量に、次に示す設計用水平震度を乗じたものとする。
設計用水平震度

設 置 場 所	耐 震 安 全 性 の 分 類			
	○ 特定の施設(甲類、乙類)	・ 一般の施設(乙類)		
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上 層 階 の 天 井 以 上	2.0 (2.0) <2.0>	1.5 (2.0) <1.5>	1.5 (2.0) <1.5>	1.0 (1.5) <1.0>
1階天井～上層階の床	1.5 (1.5) <1.5>	1.0 (1.5) <1.0>	1.0 (1.5) <1.0>	0.6 (1.0) <0.6>
1階の床以下	1.0 (1.0) <1.5>	0.6 (1.0) <1.0>	0.6 (1.0) <1.0>	0.4 (0.6) <0.6>

（注）（ ）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
< > 内の数値は水槽類に適用する。

重要機器：○配電盤・自家発電装置・交流無停電電源装置・直流電源装置
○交換機○火災報知受信機・中央監視装置
一般機器：上記以外のもの

上層階の定義は次による。
6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
（2）設計用鉛直地震力
設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

2. 施工

項目

事項

①電気工作物の種類

○事業用電気工作物・一般用電気工作物

2電気工事士

契約電力500KW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。

3保護協調

保護継電器等の保護協調検討書（地絡、過電流）を監督員に提出する。

④金属製電線管の塗装

下記の露出配管は塗装を行う。

⑤照明器具の照度測定

○屋外（図面のとおり）屋内（）

⑥はつり

○一般用照明器具協議による○非常用照明器具4箇所以上

⑦再使用機器

既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは原則としてダイヤモンドカッターによる。

⑧接地極

取外し再使用機器は原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後、取付ける。ただし、絶縁劣化等により再使用に耐えない場合は、監督員に報告すること。

⑨取付高さ

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表によるが、監督員と打ち合わせにより決定する。

接地極の材料は下記による。

接地の種類	記号	接地抵抗	接地極
・共同接地	E A, C	10Ω以下	接地棒(1.5m×14φ)、16本以上
・共同接地	E A, D, C	10Ω以下	接地棒(1.5m×14φ)、16本以上
・A種	E A	10Ω以下	接地棒(1.5m×14φ)、16本以上
・B種	E B	※電力会社の指定値による	接地棒(1.5m×14φ)、10本以上
・C種	E C	10Ω以下	接地棒(1.5m×14φ)、16本以上
・D種	E D	100Ω以下	接地棒(1.5m×14φ)、4本以上
・高圧避雷器	E L H	10Ω以下	銅板(900×900×1.5t)、1枚以上
・避雷設備	E L	10Ω以下	銅板(900×900×1.5t)、1枚以上
・交換機用	E t	回路数により10～100Ω	接地棒(1.5m×14φ)、4本以上
・通信用	E A t	10Ω以下	接地棒(1.5m×14φ)、16本以上
・通信用	E D t	100Ω以下	接地棒(1.5m×14φ)、4本以上
・電話引込口の保安器	E L t	100Ω以下	接地棒(1.5m×14φ)、4本以上
・測定用	E O		接地棒(1.5m×14φ)、1本以上
・E L C B用	E E L C B	100Ω以下	接地棒(1.5m×14φ)、4本以上

名称	測点	取付高〔mm〕
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100
〃（路場）	〃	2,500
〃（館上）	鏡上端～中心	150
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
スイッチ	床上～中心	1,300（一般） 1,200（住宅）
〃（バリアフリー対応）	〃	1,100（一般） 1,000（住宅）
〃（自動扉用）	〃	1,800
コントル.電話用アクトリット.直列ユニット(一般)	〃	300
〃（和室）	〃	150
〃（台所）	台上～中心	台上200
コントル(車庫)	床下～中心	1,000
引込開閉器（低圧）	床下～上端	1,500又は壁上端1,900以下
電力計	床上～中心	1,800～2,200
分電盤、制御盤、実験盤	〃	1,500又は壁上端1,900以下
開閉器箱	〃	1,500又は壁上端1,900以下
接地用端子箱	地上、床上～中心	500
避雷接地用端子箱	床下～下端	800
室内端子盤（廊下・室内）	床下～下端	500
中間端子盤（E P S・電気室）	床下～中心	1,500又は壁上端1,900以下
観時計	〃	1,800
予時計、スピーカ	〃	2,300
アッテネータ	〃	1,300
インターホン	〃	1,300
同上子機（バリアフリー対応）	〃	1,100
呼出ボタン（〃）	〃	和式700.洋式900.優先便所300及び1,100
復帰ボタン（〃）	〃	1,300
廊下表示灯（〃）	〃	2,000
テレビ機器収納箱	床上～中心	1,500
火報受信機（複合盤）	床上～操作部	800～1,500
副受信機	床上～中心	1,500
自動火報機器収納箱	〃	800～1,500
発信機	〃	800～1,500
警報ベル	〃	2,300
表示灯	〃	1,800
運動制御器（自動閉鎖）	〃	1,500
ガス漏れ検知器（L Pガス）	〃	300
〃（都市ガス）	天井面～中心	（天井面）-200

⑩ キャビネット

（1）鹿児島の特気気象条件（高温、多湿、降灰、塩害、台風、高潮等）を考慮して、これに耐え得る製品とする。
（2）キャビネットには内外面とも焼き付け塗装を施す。なお、塗装色は監督員の指示による。
（3）ドアの開いた状態で、ガータースペースが見えにくく、充電部が露出しにくい構造のものとする。
（4）屋外用キャビネットの蝶番装置は全てステンレス製とする。
（5）原則として、ドア表面に結線図を収容する金属製図面ホルダー（A4サイズ）を設ける。

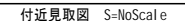
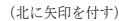
⑪ 電線・電線管	（1）分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配線経路は、電線太さ電線本数及び管径などは監督員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 （2）屋外露出配管の支持等に使用する金物は、全てステンレス製か溶融亜鉛めっき仕上げのものとする。 （3）導入線は太さ1.2mm以上の樹脂被覆鉄線とする。 （4）床、梁その他の配管用スリーブ穴は、配管完了後完全に埋め戻す。 （5）ケーブルの端処理は、原則として、専用の端処理材を用いて確実に処理する。E E Fケーブルの端末処理はE E F用の2又管、3又管を使用し、ビニールテープで固定する。ただし、ケーブルストリッパーを使用する場合に限り、原則としてE E F用のケーブルファスナー・キャップの使用とテープ押え巻きは不要とする。 屋外での電線の接続は、シースと同等以上の絶縁性能を有するテープを用いる。 （6）将来用の予備配管がある場合は、将来の入線工事にも配慮して、整線を行うこと。 （7）電線の色別は、監督員の指示による。
⑫ ボックス類	（1）塗装は、「10 キャビネット」に準ずる。但し、裏ボックスとして壁等に埋め込んで使用するものは、錆止め塗装までよい。 （2）各種位置ボックス、プルボックスおよびジョイントボックスの内面には必ず入線前に絶縁塗装を施す。 プルボックスには刻印を施したアクリルプレート、カバープレートには刻印にて用途を表示する。
⑬ 位置ボックス・ジョイントボックス	（1）蓋 ア ブロックマンホール蓋・ハンドホール蓋は、原則として、製造者の標準とする。 イ 用途表示については監督員の指示による。 ウ 蓋及び把手並びに受枠はコールタール焼付け塗装とする。また防水パッキンは枠に接着剤（ボンド等）で接着する。
14 ブロックマンホール・ハンドホール	（2）防水及び水抜き等 ア ブロックマンホール・ハンドホールは、原則として、所定の貫通予定箇所以外の貫通は認めない。 イ ブロックマンホール・ハンドホールの電線管挿入箇所は、防水処理剤を用いて完全な防水処置をする。 ウ 水抜きは、監督員の指示により設ける。
⑮ 地中電線管路	（3）取付金物 原則として、ブロックマンホール・ハンドホール内の金具類は、溶融亜鉛めっき製とし、ボルト・ナット類はステンレス製又は溶融亜鉛めっき製とする。 埋設管の埋設深さは原則として土被り0.6m以上（舗装がある場合は、舗装下面から）とする。
⑯ ケーブル埋設 標識シート	地中配線には、標識シートを2倍長以上重ね合わせて管頂と地表面（舗装のある場合は舗装下面）のほぼ中間に設け、おおむね2mの間隔で用途又は電圧種別を表示する。 標識シートの色は、黄色又はオレンジとする。
⑰ 配線器具	（1）コンセントのうち次のものは、プレートに電圧等の刻印表示を行う。 ア 単相200V イ 三相200V ウ 一般電源用以外（発電機回路、UPS回路等） （2）器具は全て真鍮ビス又はステンレスビスでボックスに取り付ける。 監督員の指示による。
⑱ 電極棒の長さ	
V. その他（○印の付いた「番号」の項目を適用する）	
項 目	事 項
1 保全計画書	中長期保全計画書を提出すること。（参考となる様式は支給）
2 ヤンバルサカヤシのまん延防止対策	ヤンバルトサカヤシのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、次の各号を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤシの棲息が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、棲息状況等の調査を行い、監督員に報告すること。 （1）土・樹木等の措置 ア 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。 イ 廃棄樹木等については、一般廃棄物、産業廃棄物が取扱い可能な焼却施設で焼却処理する。 一般廃棄物：市町村の所管する焼却施設、業の許可を有している民間焼却施設 産業廃棄物：業の許可を有している民間焼却施設 （2）工事区域周辺部の措置 周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。 （3）やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合の措置 ア 薬剤処理・熏蒸処理後、搬出する。 イ 薬剤処理の困難な農作物等の搬出の場合は、付着土壌の除去、目視除去後、搬出する。 （4）発生地区に搬入した建設機械や農・林業工作機械の措置 付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出する。 （5）未発生地区での措置 発生地区からの土・樹木等の搬入や農・林業工作機械の移動等があった場合は、上記（3）（4）の措置が講じられているかを確認する。
鹿児島市建設局改訂（改訂1）	
谷山中学校校舎27号棟長寿命化改良ほか電気設備工事	
特記仕様書（2）	
NO SCALE	
鹿児島市建設局建築部設備課	
2	
全70	

石綿含有保温材等及び石綿含有成形板等除去特記事項		Ⅱ 石綿含有保温材等の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		Ⅳ 石綿含有仕上塗材の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する													
Ⅰ. 共通事項 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		1. 関係機関 協議・届出 法令等に基づき、撤去工事に必要な関係機関との協議及び届出を速やかに行うこと。 (労働基準監督署、鹿児島市環境保全課等)		1. 撤去作業 石綿含有仕上塗材の撤去は、原則として飛散防止のために十分な集塵機能を有する電動工具を用いる方法とする。 (1) 撤去方法 ・ 穿孔 ① 十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用し穿孔すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ・ コア抜き(ダイヤモンドカッターによる) ①コア抜き作業により影響を受ける石綿含有仕上塗材を撤去する。十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用しコア抜くこと。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ①回収した仕上塗材は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有仕上塗材」であることを明示し、適正に処分すること。													
① 石綿含有対象建材	本工事に係る石綿含有建材は次のとおりとする。 但し、事前調査を行い、新たに石綿含有が確認された場合や含有が疑われる場合は、速やかに監督員に報告を行い適切に処理すること。 石綿含有建材の有無 ・ 有 ○ 無 ・その他 () 石綿含有建材の種別 ・ 石綿含有保温材等 ・ 石綿含有成形板等 ・ 石綿含有仕上塗材 <table><tr><th>石綿含有建材</th><th>使用箇所</th></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr></table>	石綿含有建材	使用箇所											2. 撤去作業 ・ 石綿含有成形保温材付き配管の撤去 成形保温材付き配管の撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 ② ビニールシート等で成形保温材を包み、配管表面でテープ止めとし、密閉する。 ③ 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ①撤去した成形保温材付き配管は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で、特別管理産業廃棄物であることを表示し、構外搬出処理とする。 ② マニフェスト票の備考欄に「塵石棉」であることを明示し、適正に処分すること。 			
石綿含有建材	使用箇所																
② 関係法令の遵守	大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、労働安全衛生規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守すること。 また国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の次の図書についても遵守すること。 (1) 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) (2) 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) (3) 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (4) 建築物解体工事共通仕様書・同解説	Ⅲ. 石綿含有成形板等の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		・ 石綿含有ダクトパッキンの撤去 ダクトの撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① ダクト切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に飛散抑制剤の塗布又はビニールテープ貼り等を施す。 ② ダクト切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 ③ ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去したフランジ付ダクトは、さらなる切断や破砕は行わず、撤去した原形のまま運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有成形品」であることを明示し、適正に処分すること。													
③ 事前調査	施工に先立ち改修、解体等の対象建材について石綿等使用の状況を監督員に確認した上で事前調査を行うこと。なお、建築物及び令和8年1月以降に着工する工作物に係る事前調査は、適切に当該調査を実施するために必要な知識を有する者として厚生労働大臣及び環境大臣が定める者が行うこと。 また、法令に基づき速やかにその結果を鹿児島市環境保全課及び労働基準監督署に報告すること。報告は、原則として石綿事前調査報告システムから電子申請で行うこと。 さらに、監督員に書面で別途説明すること。 建築物の構造上、解体等工事に着手する前に目視することができない箇所にあつては、解体等工事に着手した後に目視が可能となった時点で調査を行い、再度報告及び説明を行うこと。 (1) 事前調査の結果に基づき、施工計画書(作業管理組織図、作業方法、揭示方法、産業廃棄物処理方法)を作成して監督員に提出すること。 (2) 施工計画にあたり、令和3年3月厚生労働省及び環境省作成「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。 (3) 作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないように留意すること。 (4) 使用器具・機械類等は、石綿含有建材の撤去等に必要で適切な工具・機器類等であること。	1. 撤去作業 ・ 石綿含有天井材の撤去 天井材の撤去は、原則として原形のまま取り外すこと。ただし、原形のまま取り外すことが技術上著しく困難で、切断を伴う撤去等を行う場合は、十分な飛散防止措置を講ずること。 (1) 撤去方法 ・ 切断等によらない撤去 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤な状態とした後「手ばらし」により、破壊や粉砕しないように処理すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ④ 撤去等を行うにあたり建材の大きな割れや破損による石綿繊維の飛散が想定される場合は、監督員と協議の上、必要に応じて湿潤化や隔離養生、局所集じん機の使用等の措置を講ずること。 ・ 切断等による撤去等 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤な状態とした後、切断等の処置を行うこと。また、切断等の範囲が最小限となるように施工すること。 ② 作業箇所は、施工区画として側面4面を養生シート等で覆い、飛散防止に努めること。但し、穿孔を行う際は、十分な集じん機能を有する局所集じん装置を使用し、飛散防止とすること。 ③ 残った切断部断面には、切断箇所から石綿が飛散することのないよう、飛散防止措置を講ずること。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ・ 石綿含有けい酸カルシウム板第1種の切断等による撤去 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤化した後、切断等の処置を行うこと。また、切断等の範囲が最小限となるように施工すること。 ② 作業箇所は、施工区画として側面4面及び床面を養生シート等で覆い、適切に隔離を行うこと。 ③ 残った切断部断面には、切断箇所から石綿が飛散することのないよう、飛散防止措置を講ずること。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(電動ファン付き)、保護メガネ、手袋、保護衣、シューズカバーを着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去した成形板は、切断や破砕は行わず、撤去した原形のまま運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有成形板」であることを明示し、適正に処分すること。		・ 石綿含有ダクトパッキンの撤去(たわみ継手・ダンバー部) たわみ継手・ダンバーの撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に飛散抑制剤の塗布又はビニールテープ貼り等を施す。 ② ダクト切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 ③ ダクト及び機器の片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去したフランジ付たわみ継手は、さらなる切断や破砕は行わず、撤去した原形のまま運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有成形品」であることを明示し、適正に処分すること。													
4. 施工計画																	
⑤ 揭示	(1) 大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を揭示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。 (2) 必要に応じて周辺住民等へ揭示等で周知すること。	・ 石綿含有配管フランジ用パッキンの撤去 配管のフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① 配管の切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去したフランジ付配管は、さらなる切断や破砕は行わず、撤去した原形のまま運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有成形品」であることを明示し、適正に処分すること。															
6. 作業者	(1) 石綿障害予防規則に定める「石綿作業主任者」が作業管理者となり、その作業管理者の指示に従って作業すること。 (2) 作業者は、就業時に石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とする。																
7. 保管	(1) 現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、ほかの建設副産物等と分別して保管し、シート等で覆うなど、飛散防止措置を講ずること。 (2) 保管場所には、塵石棉等の保管場所であることの表示を行うこと。																
8. 運搬	(1) 石綿含有建材の廃材を高所から移動する場合は、揚重機を使用して、高所より投下しないこと。 (2) 石綿含有建材の廃材の集積、積み込みに当たっては、廃棄物の積み替え移動回数を最小限にすること。 (3) 石綿含有建材の廃材の運搬車及び運搬容器は、当該建材等が飛散及び流出するおそれのないものとすること。 (4) 運搬車両の荷台に覆いをかけるなど、飛散防止措置を講ずること。																
9. 後片付け	(1) シート等により区画、隔離した場合において、作業に使用した工具、足場等は付着した石綿を除去した後、作業場外へ持ち出すこと。 また、作業衣及び呼吸用保護具も、廃棄のために袋に入れた場合以外は、付着した石綿を除去した後、作業場外へ持ち出すこと。 (2) 区画、隔離養生に用いたシート等を再使用する際は、区画、養生を片付ける前に高性能真空掃除機等により付着した粉じんを除去すること。 (3) 区画、隔離等に用いたシート等を処分する際は、石綿繊維等粉じん付着面を内側にして折りたたんだ後に密封処理を行い、石綿含有建材同様の処理を行うこと。																
10. 作業の結果の報告	除去作業が完了したときは、その結果を遅滞なく監督員へ書面で報告すること。																

87-4
令和7年度版改訂 (改訂1)

谷山中学校校舎27号棟長寿命化改良ほか電気設備工事

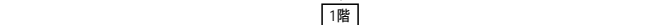
石綿含有保温材等及び石綿含有成形板等除去特記事項	NO SCALE	3	70
鹿児島市建設局建築部設備課			



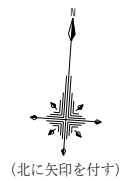
冷房設備配管・配線改修				0	
-------------	--	--	--	---	--

⚡ E(ELCB)	D種接地工事 ELCB用	アース棒式 接地線太さ:EM-1E14' (VE16)
-----------	--------------	-----------------------------

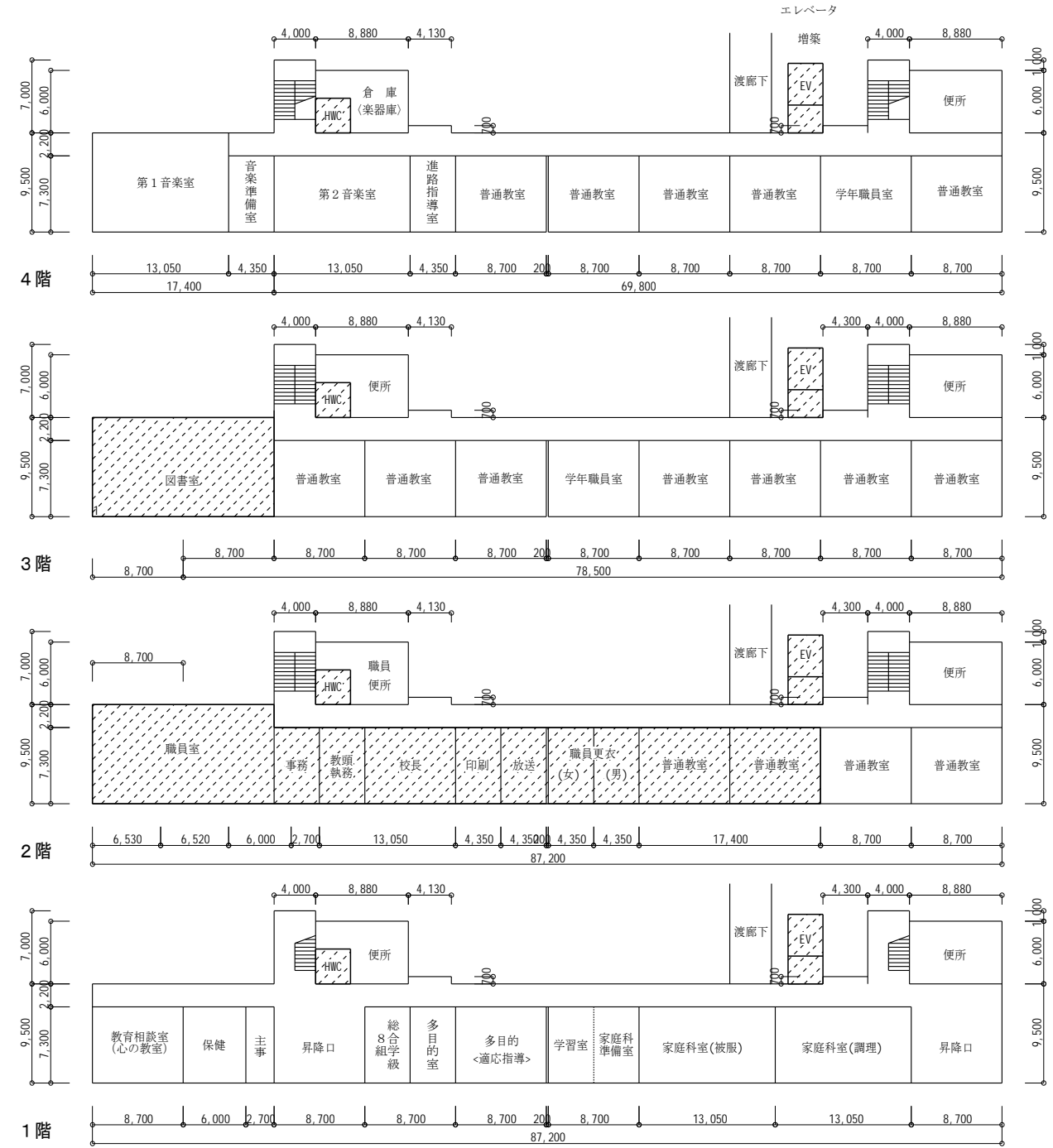
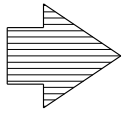
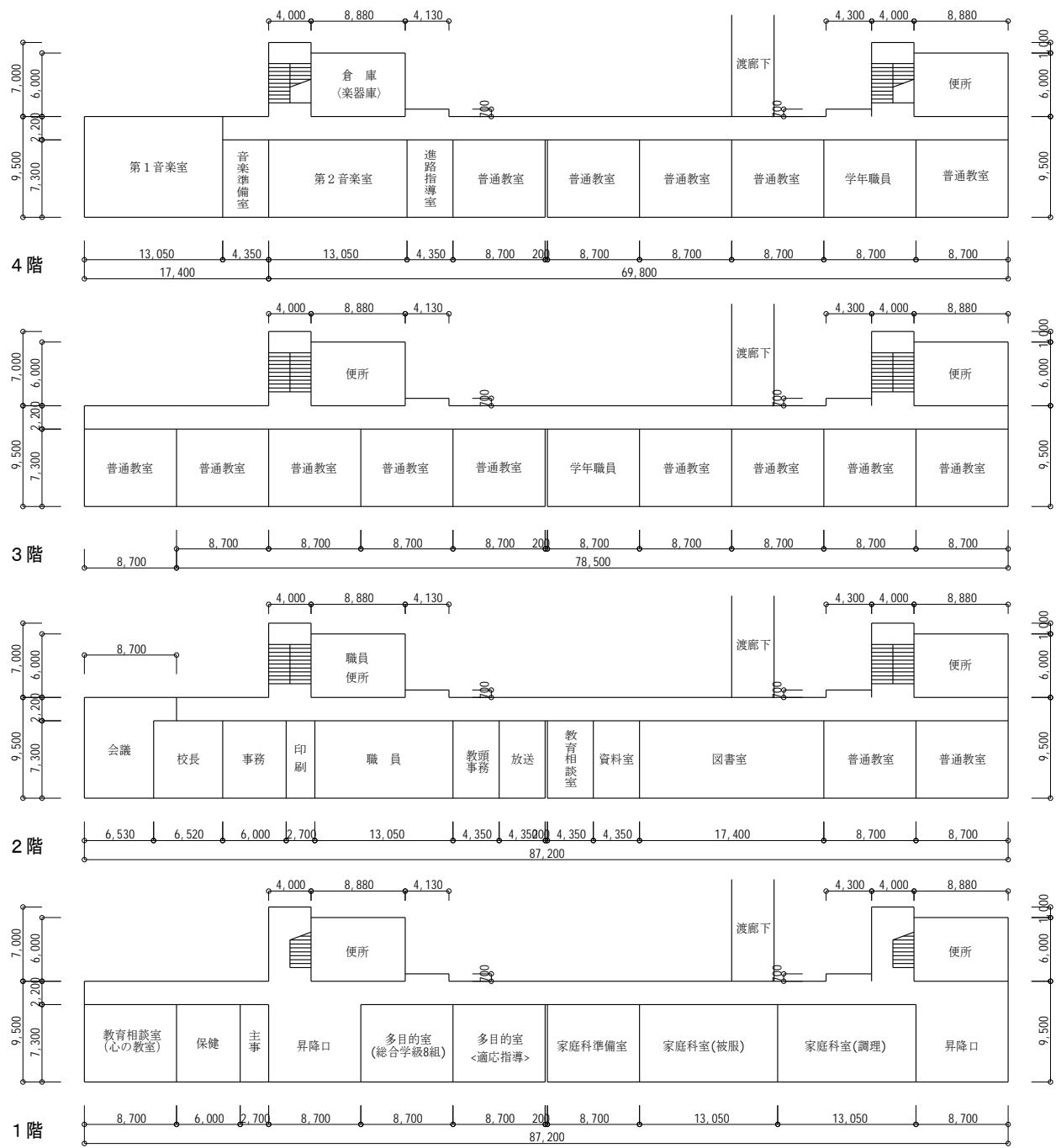
等入棟	机設	GP54×5	机設		2期工事



改修後教室配置図、工事工期



(北に矢印を付す)



部屋配置平面図(改修前) S=1/600

トイレ改造・LED改修【未施工】

※バリアフリートイレ整備

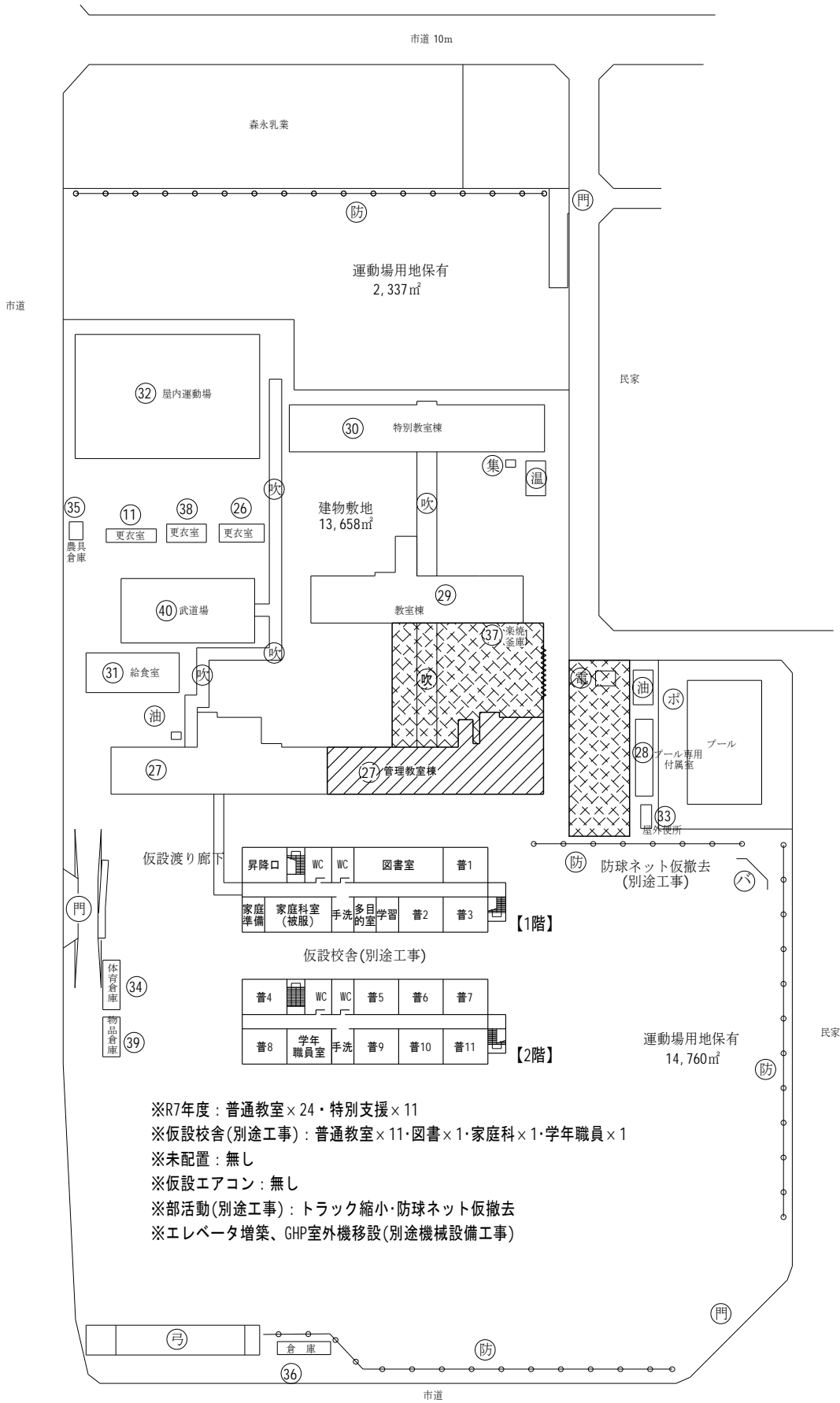
※エレベータ整備

部屋配置平面図(改修後) S=1/600



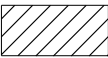
配置変更等

凡 例	
建 物	
未	未とりこわし建物
危	危険建物
借	借用建物
一時	一時使用建物
建物以外の工作物等	
自	自転車置場
倉	倉庫
吹	吹き抜けの渡り廊下
温	温室
簡	簡易な小規模建物
フ上	プール上屋
堆	堆肥舎
観	観察池
他	その他施設
油	危険物庫
水	屋外水飲場
旗	国旗掲揚台
撲	すもう場
飼	飼育舎
ゴ	ゴミステーション
砂	砂場
露	露場
ボ	ポンプ室
門	門
築	築山
照	屋外照明
防	防球フェンス・防球ネット
弓	弓道場
電	キュービクル
集	集じん機
森	森
バ	バックネット
碑	記念碑



※R7年度：普通教室×24・特別支援×11
※仮設校舎(別途工事)：普通教室×11・図書×1・家庭科×1・学年職員×1
※未配置：無し
※仮設エアコン：無し
※部活動(別途工事)：トラック縮小・防球ネット仮撤去
※エレベータ増築、GHP室外機移設(別途機械設備工事)

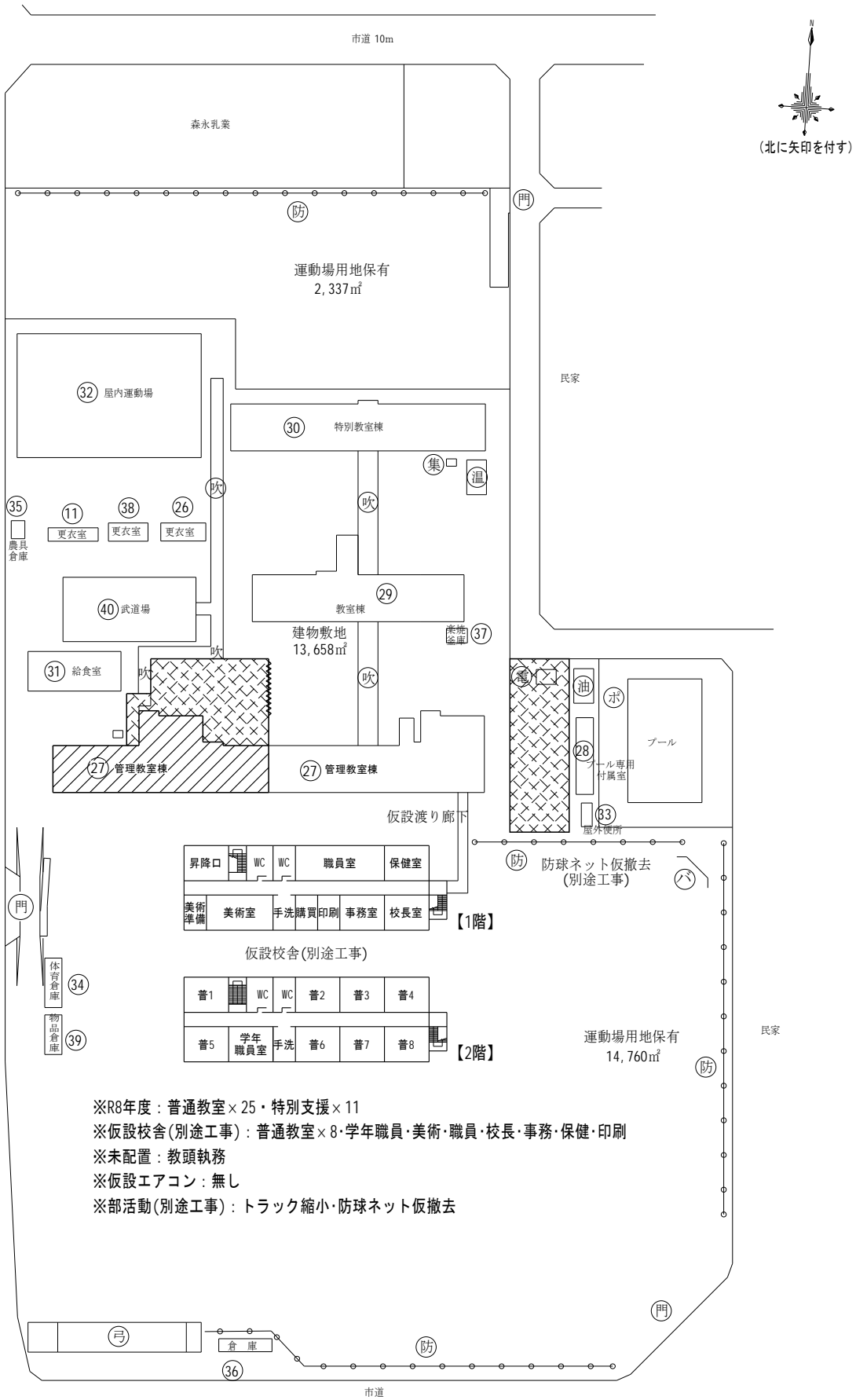
ローテーション配置図(1期) S=1/1,200



工事範囲




工事ヤード

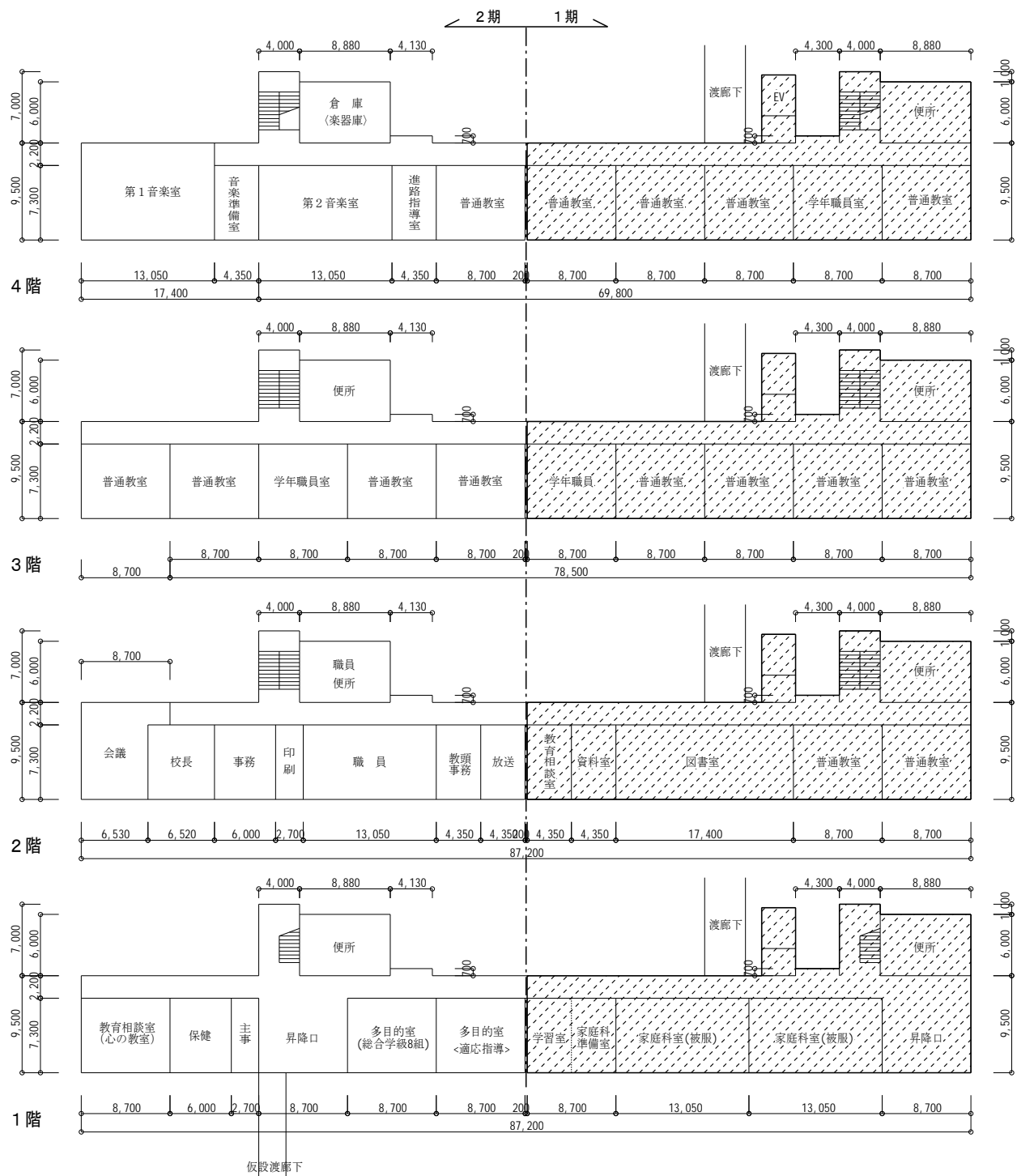


※R8年度：普通教室×25・特別支援×11
※仮設校舎(別途工事)：普通教室×8・学年職員・美術・職員・校長・事務・保健・印刷
※未配置：教頭執務
※仮設エアコン：無し
※部活動(別途工事)：トラック縮小・防球ネット仮撤去

ローテーション配置図(2期) S=1/1,200

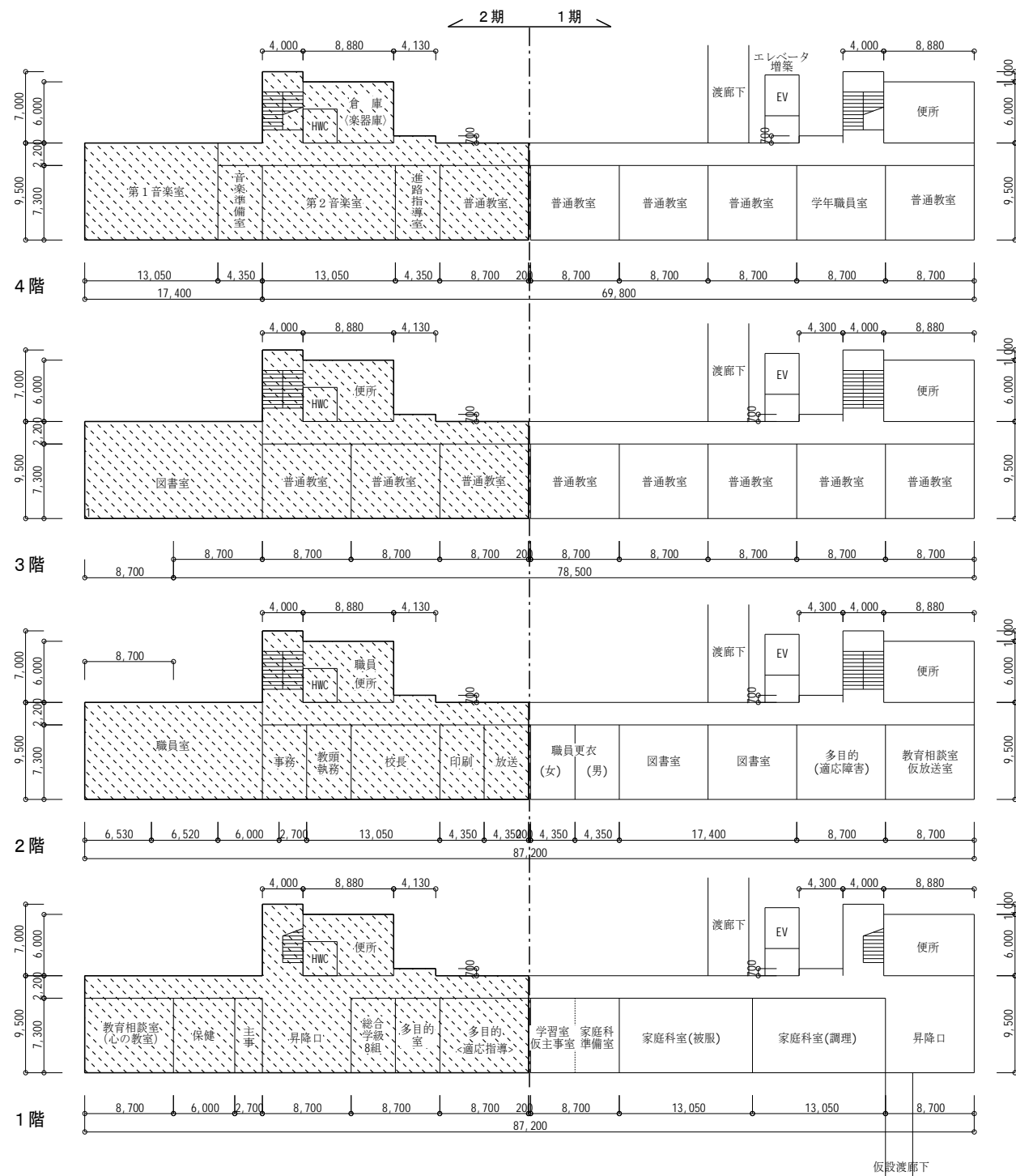
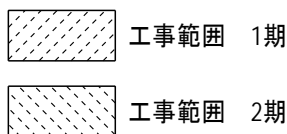


一級建築士事務所 知事登録 第1-4-6号		谷山中学校校舎27号棟長寿命化改良ほか電気設備工事	
 有限会社 設備共同プラン	1期・2期ローテーション配置図		A3: S=1/1200
	一級建築士登録番号 第160627号 満塩 末則		全 70



ローテーション平面図(1期) S=1/600

- ※R7年度：普通教室×24・特別支援×11
- ※仮設校舎(別途工事)：普通教室×11・図書×1・家庭科×1・学年職員×1
- ※既存校舎仮配置(別途工事)：普通教室⇒学年職員・コンピュータ室⇒家庭科室
- ※未配置：無し
- ※仮設エアコン：無し
- ※部活動(別途工事)：トラック縮小・防球ネット仮撤去
- ※エレベータ増築・GHP室外機移設(別途機械設備工事)



ローテーション平面図(2期) S=1/600

- ※R8年度：普通教室×25・特別支援×11
- ※仮設校舎(別途工事)：普通教室×8・学年職員・図書・職員・校長・事務・保健・主事・印刷
- ※既存校舎仮配置(別途工事)：コンピュータ室⇒第1音楽室・第1美術室⇒第2音楽室・普通教室⇒図書室
学年職員室⇒普通教室・学習室⇒主事室・普通教室⇒放送室
- ※未配置：教頭執務
- ※仮設エアコン：無し
- ※部活動(別途工事)：トラック縮小・防球ネット仮撤去

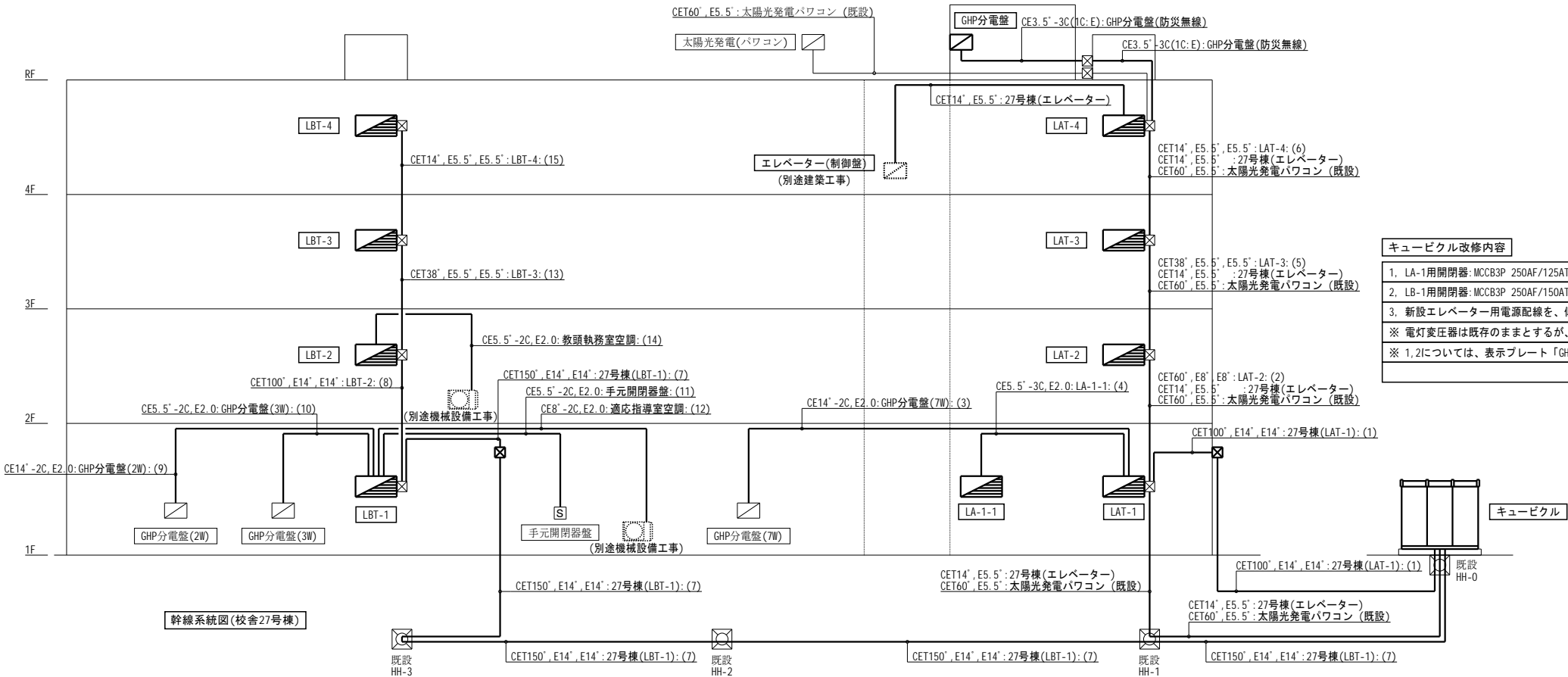
1. 電圧降下計算式（●印を採用）

計算式	K: 係数		
	1φ2W	1φ3W	3φ3W
$\bigcirc \text{ e} = \frac{K \times Z \times L \times I}{1000}$	2	1	$\sqrt{3}$
$\bullet \text{ e} = \frac{K \times L \times I}{1000 \times A}$	35.6	17.8	30.8

2. 電圧降下許容数値表

単位: %

こう長	幹線部分	分岐部分	合 計
60mまで	3	2	5
60mを超え120m以下	3	2	5
120mを超え200m以下	4	2	6
200m超過	5	2	7



キュービクル改修内容

1. LA-1用開閉器: MCCB3P 250AF/125ATを取外し、MCCB3P 250AF/250ATIに取替。名称を「LAT-1～LAT-4」とする。
2. LB-1用開閉器: MCCB3P 250AF/150ATを取外し、MCCB3P 250AF/250ATIに取替。名称を「LBT-1～LBT-4」とする。
3. 新設エレベーター用電源配線を、低圧動力盤 既設予備開閉器: MCCB3P 125AF/60ATに接続。
※ 電灯変圧器は既存のままとするが、動力変圧器は別途仮設工事にて150kVAに取替を行う。
※ 1,2については、表示プレート「GHP負荷あり、メガチェック注意」(アクリル製、白地赤文字)を取付けること。

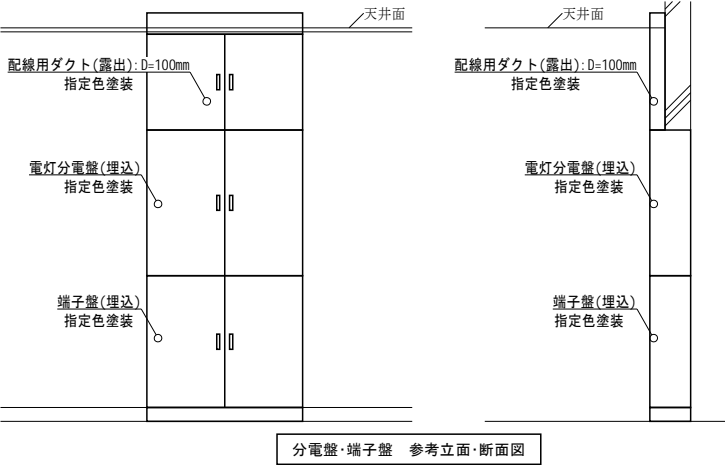
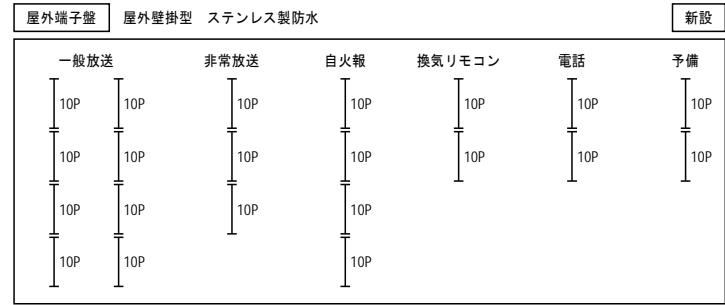
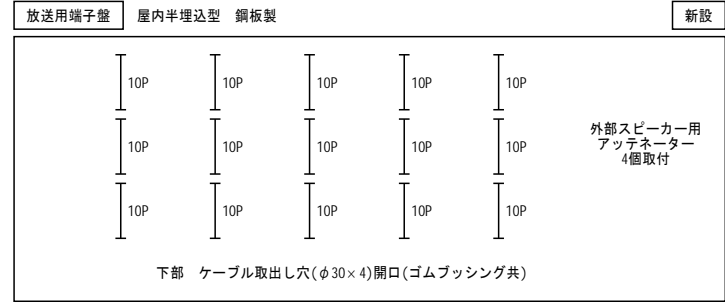
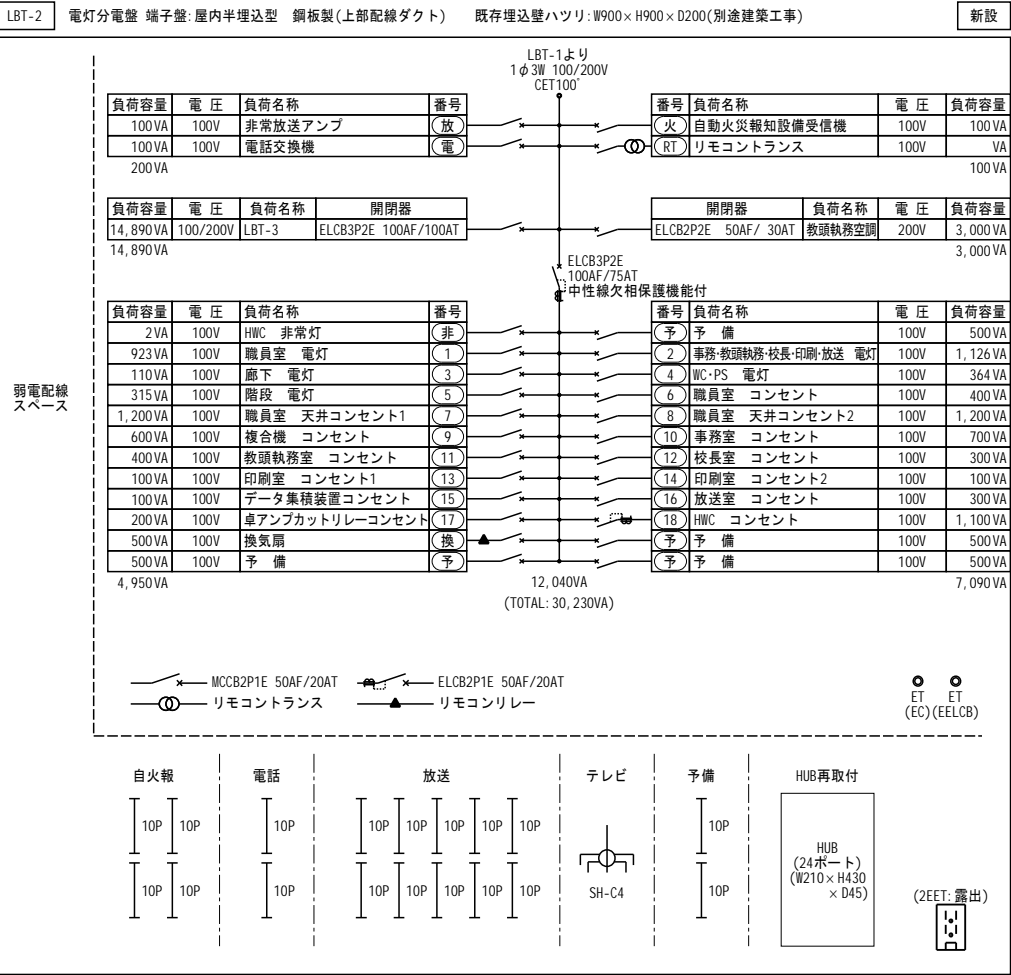
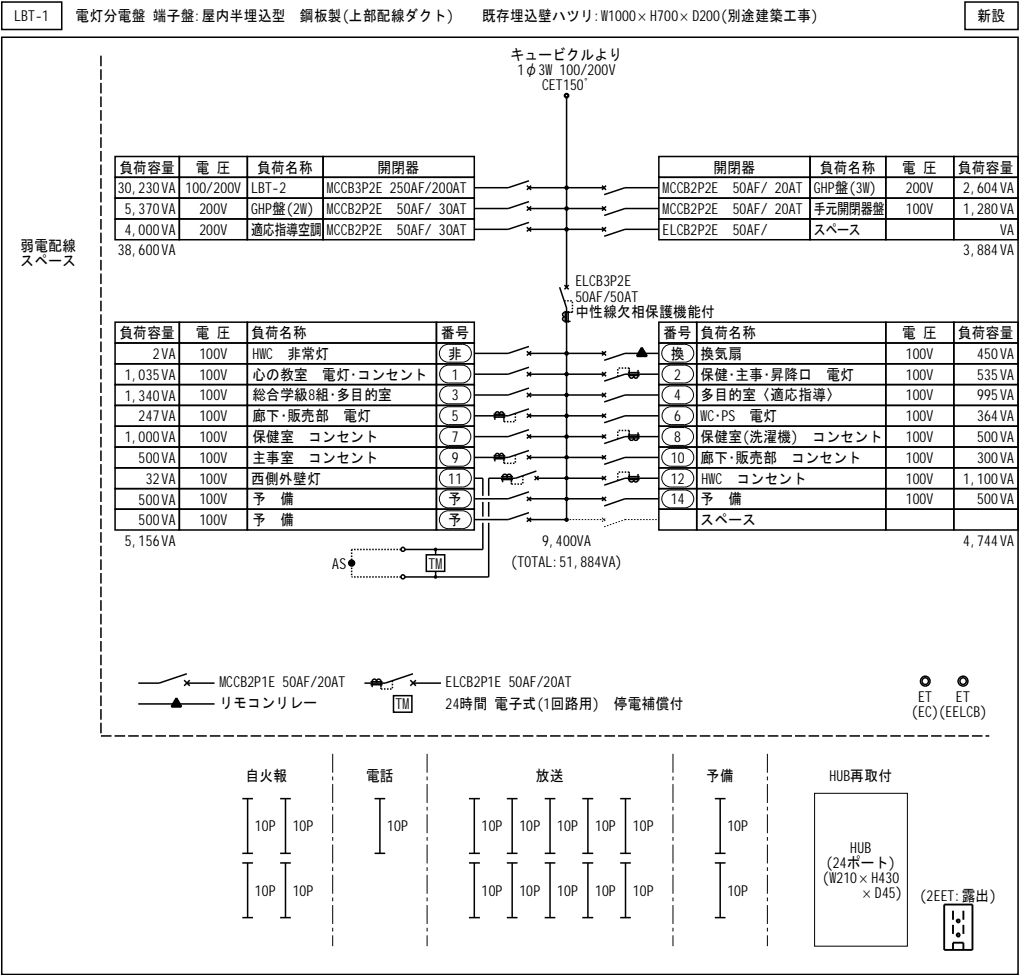
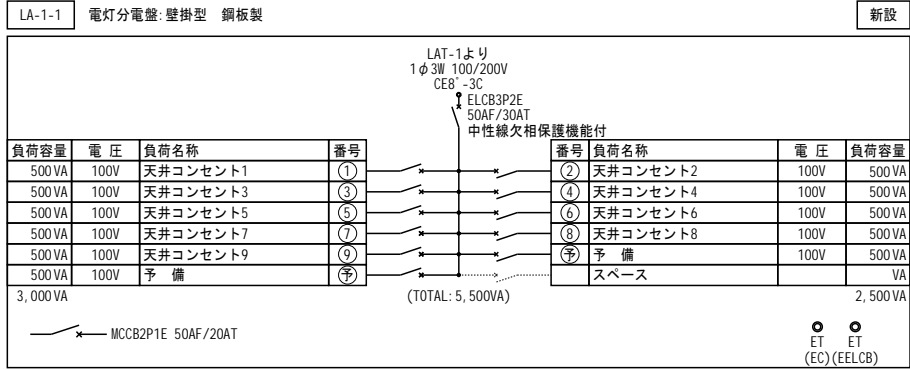
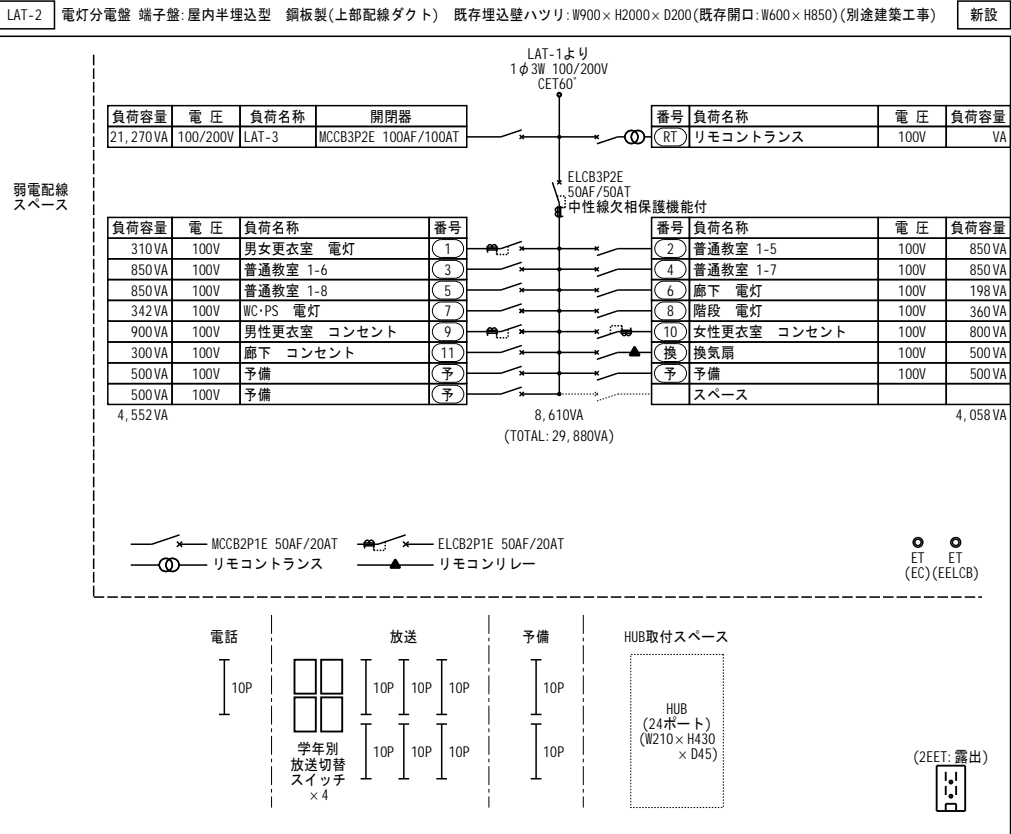
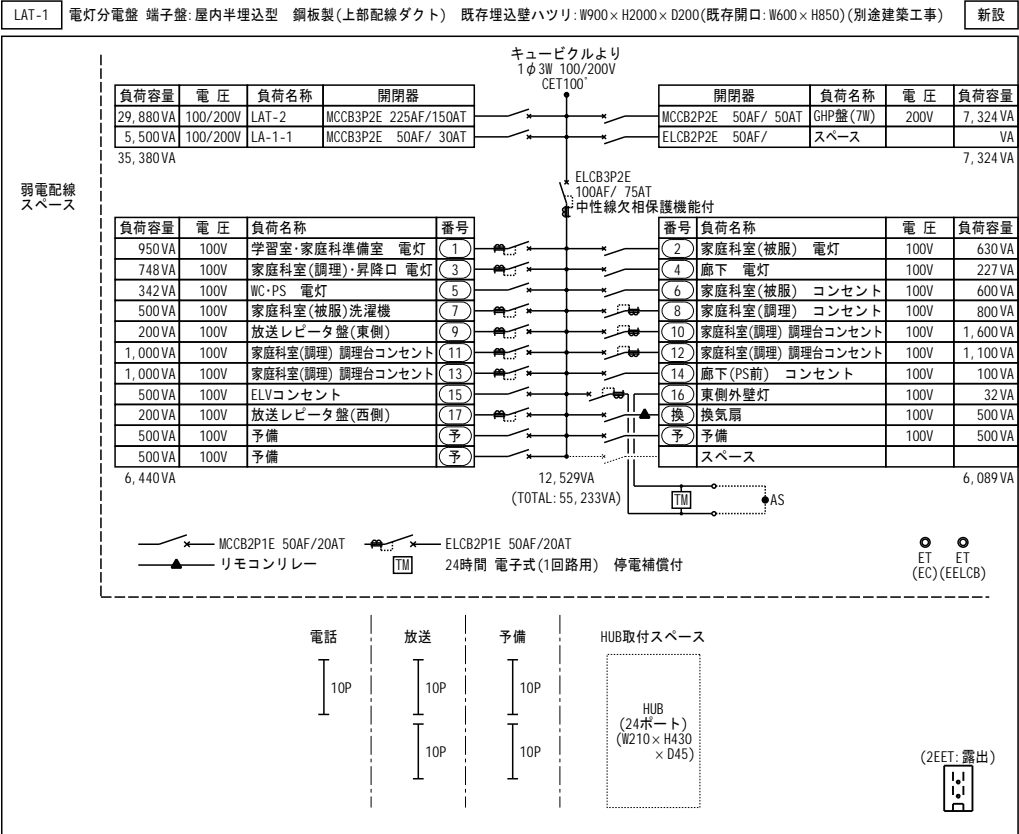
電圧降下計算書（単相：一般負荷需要率 70%、空調負荷需要率 100%）

系統	区 間	幹線 MCCB	負荷名称	亘長 (m)	電気方式	負荷 容量 (kVA)	需要率	設計 容量 (kVA)	負荷 電流 (A)	ケーブル	サイズ (mm ²)	配線 方法	許容 電流 (A)	区間 電圧 降下 (V)	電圧 降下率 (%)	許容 電圧 降下率 (%)	電圧 降下 判定
LBT-1: (7)	キュービクル ～ LBT-1	250	LBT-1		1φ3W100/200V	9.400	0.7	6.580	32.900								
	LBT-2				1φ3W100/200V	30.230	0.7	21.161	105.805								
	GHP分電盤(2W)				1φ2W200V	5.370	1.0	5.370	26.850								
	GHP分電盤(3W)				1φ2W200V	2.604	1.0	2.604	13.020								
	手元開閉器盤				1φ2W200V	1.280	1.0	1.280	6.400								
	適応指導室空調				1φ2W200V	4.000	1.0	4.000	20.000								
	合計			103.0		52.884		40.995	204.975	CET	150	管路	320	2.505	2.505	3.0	OK
LBT-1: (8)	LBT-1 ～ LBT-2	200	LBT-2	4.0	1φ3W100/200V	30.230	0.7	21.161	105.805	CET	100	電線管	215	0.075	0.075		
	(7)+(8)		電圧降下率合計	(107.0)											2.580	3.0	OK
LBT-1: (9)	LBT-1 ～ GHP分電盤(2W)	30	GHP分電盤(2W)	28.0	1φ2W200V	5.370	1.0	5.370	26.850	CE	14	コロガシ	91	1.912	0.956		
	(7)+(9)		電圧降下率合計	(131.0)											3.461	4.0	OK
LBT-1: (10)	LBT-1 ～ GHP分電盤(3W)	20	GHP分電盤(3W)	23.0	1φ2W200V	2.604	1.0	2.604	13.020	CE	5.5	コロガシ	52	1.938	0.969		
	(7)+(10)		電圧降下率合計	(126.0)											3.474	4.0	OK
LBT-1: (11)	LBT-1 ～ 手元開閉器盤	20	手元開閉器盤	13.0	1φ2W200V	1.280	1.0	1.280	6.400	CE	5.5	コロガシ	52	0.539	0.270		
	(7)+(11)		電圧降下率合計	(116.0)											2.775	3.0	OK
LBT-1: (12)	LBT-1～適応指導室空調	30	適応指導室空調	25.0	1φ2W200V	4.000	1.0	4.000	20.000	CE	8	コロガシ	65	2.225	1.113		
	(7)+(12)		電圧降下率合計	(128.0)											3.618	4.0	OK
LBT-2: (13)	LBT-2 ～ LBT-3	100	LBT-3	4.0	1φ3W100/200V	14.890	0.7	10.423	52.115	CET	38	電線管	110	0.097	0.097		
	(7)+(8)+(13)		電圧降下率合計	(111.0)											2.677	3.0	OK
LBT-2: (14)	LBT-2～教頭執務室空調	30	教頭執務室空調	13.0	1φ2W200V	3.000	1.0	3.000	15.000	CET	14	コロガシ	52	0.496	0.248		
	(7)+(8)+(14)		電圧降下率合計	(116.0)											2.828	3.0	OK
LBT-3: (15)	LBT-3 ～ LBT-4	50	LBT-4	4.0	1φ3W100/200V	7.494	0.7	5.246	26.230	CET	14	電線管	63	0.132	0.132		
	(7)+(8)+(13)+(15)		電圧降下率合計	(115.0)											2.712	3.0	OK

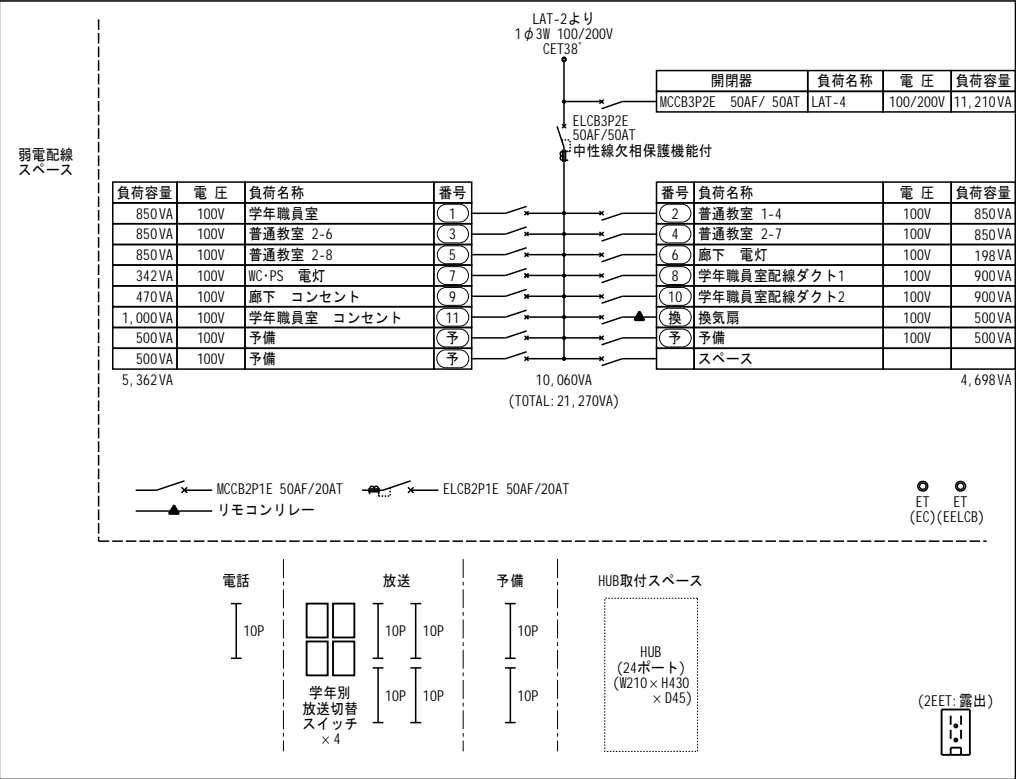
系統	区 間	幹線 MCCB	負荷名称	亘長 (m)	電気方式	負荷 容量 (kVA)	需要率	設計 容量 (kVA)	負荷 電流 (A)	ケーブル	サイズ (mm ²)	配線 方法	許容 電流 (A)	区間 電圧 降下 (V)	電圧 降下率 (%)	許容 電圧 降下率 (%)	電圧 降下 判定
LAT-1: (1)	キュービクル ～ LAT-1	250	LAT-1		1φ3W100/200V	12.529	0.7	8.770	43.850								
	LAT-2				1φ3W100/200V	29.880	0.7	20.916	104.580								
	GHP分電盤(7W)				1φ2W200V	7.324	1.0	7.324	36.620								
	LA-1-1				1φ3W100/200V	5.500	0.7	3.850	19.250								
	合計			35.0		55.233		40.860	204.300	CET	100	管路	250	1.273	1.273	3.0	OK
LAT-1: (2)	LAT-1 ～ LAT-2	150	LAT-2	4.0	1φ3W100/200V	29.880	0.7	20.916	104.580	CET	60	電線管	150	0.124	0.124		
	(1)+(2)		電圧降下率合計	(39.0)											1.397	3.0	OK
LAT-1: (3)	LAT-1 ～ GHP分電盤(7W)	50	GHP分電盤(7W)	30.0	1φ2W200V	7.324	1.0	7.324	36.620	CE	14	コロガシ	91	2.794	1.397		
	(1)+(3)		電圧降下率合計	(65.0)											2.670	3.0	OK
LAT-1: (4)	LAT-1 ～ LA-1-1	30	LA-1-1	25.0	1φ3W100/200V	5.500	0.7	3.850	19.250	CE	5.5	コロガシ	52	1.558	1.558		
	(1)+(4)		電圧降下率合計	(60.0)											2.831	3.0	OK
LAT-2: (5)	LAT-2 ～ LAT-3	100	LAT-3	4.0	1φ3W100/200V	21.270	0.7	14.889	74.445	CET	38	電線管	110	0.139	0.139		
	(1)+(2)+(5)		電圧降下率合計	(43.0)											1.536	3.0	OK
LAT-3: (6)	LAT-3 ～ LAT-4	50	LAT-4	4.0	1φ3W100/200V	11.210	0.7	7.847	39.235	CET	14	電線管	63	0.200	0.200		
	(1)+(2)+(5)+(6)		電圧降下率合計	(47.0)											1.736	3.0	OK

電圧降下計算書（三相）

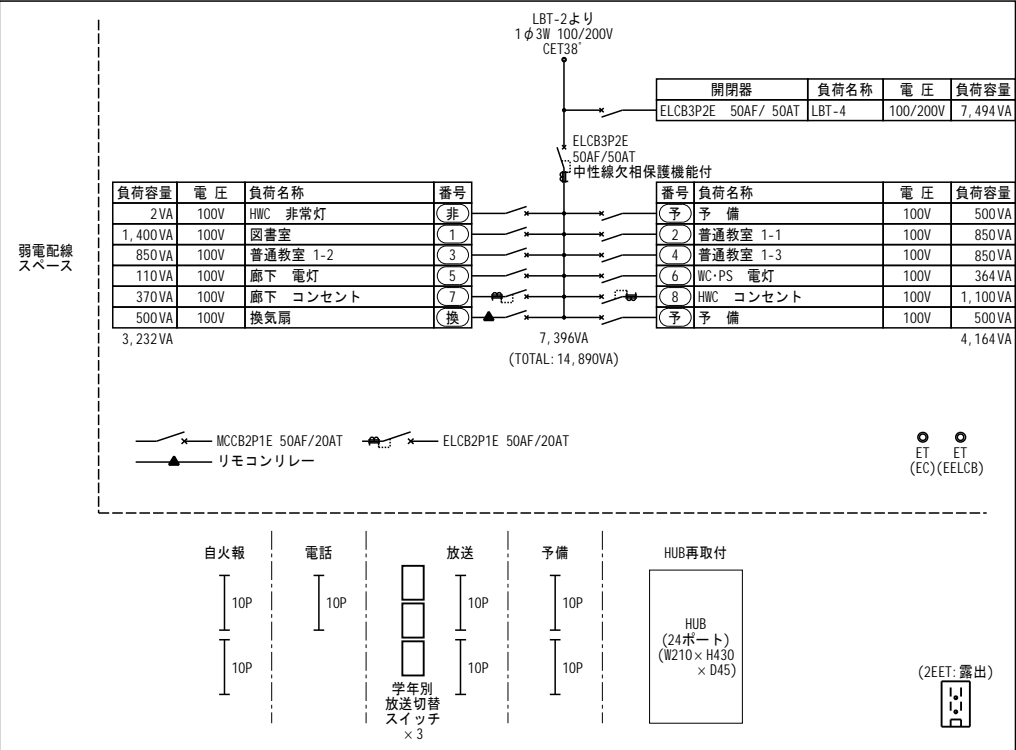
系統	区 間	幹線 MCCB	負荷名称	亘長 (m)	電気方式	負荷 容量 (kW)	需要率	設計 容量 (kVA)	負荷 電流 (A)	ケーブル	サイズ (mm ²)	配線 方法	許容 電流 (A)	区間 電圧 降下 (V)	電圧 降下率 (%)	許容 電圧 降下率 (%)	電圧 降下 判定
ELV	キュービクル～ELV制御盤	40	ELV制御盤	28.0	3φ3W 200V	3.500	1.0	4.375	21.88	CET	14	管路	81	1.348	0.674		
	(建物内縦配管)			11.0	3φ3W 200V	3.500	1.0	4.375	21.88	CET	14	電線管	63	0.529	0.265		
	(4階廊下天井内)			25.0	3φ3W 200V	3.500	1.0	4.375	21.88	CET	14	コロガシ	86	1.203	0.602		
															1.540	3.0	OK



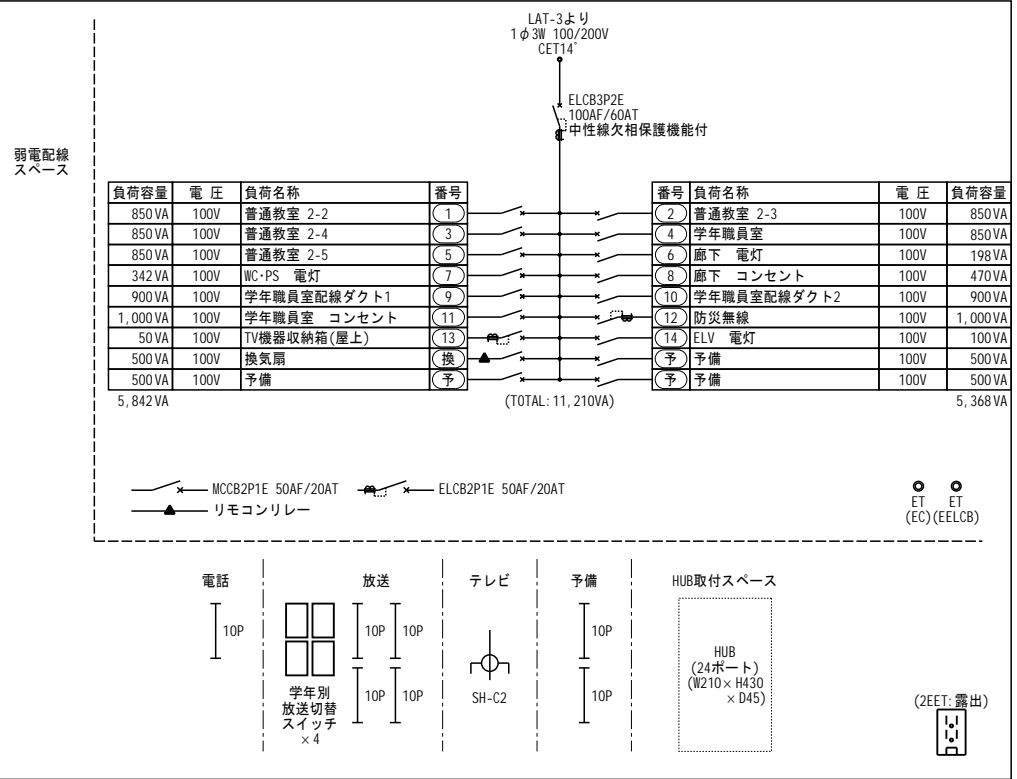
LAT-3 電灯分電盤 端子盤:屋内半埋込型 銅板製(上部配線ダクト) 既存埋込壁ハツリ:W900×H2000×D200(既存開口:W600×H850)(別途建築工事) 新設



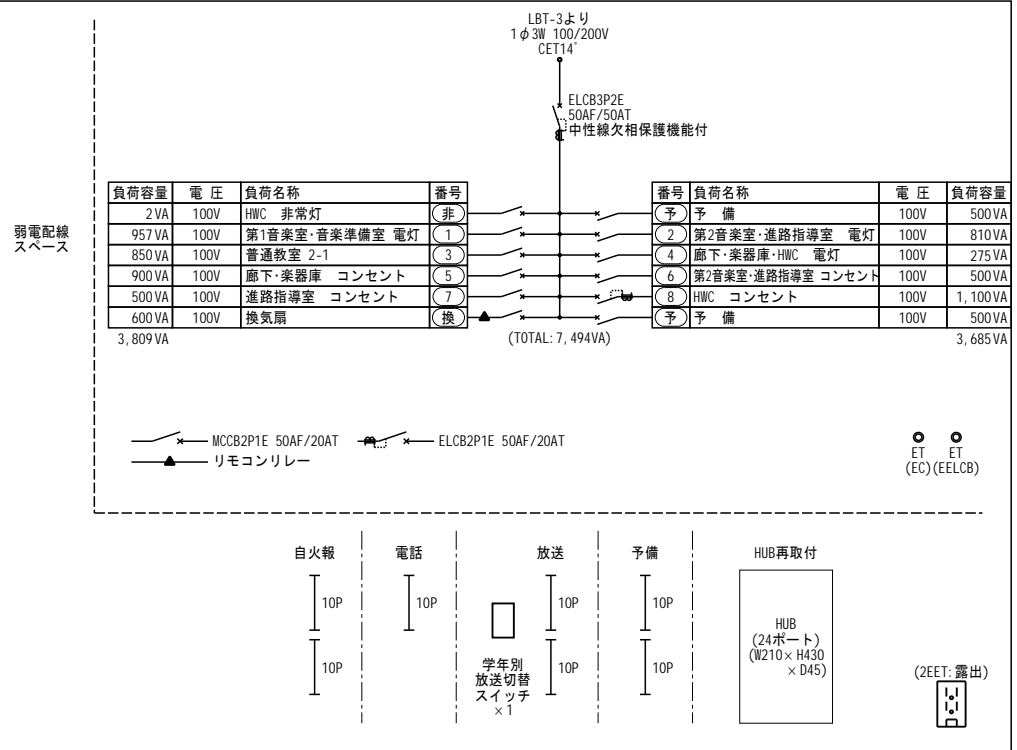
LBT-3 電灯分電盤 端子盤:屋内半埋込型 銅板製(上部配線ダクト) 既存埋込壁ハツリ:W900×H900×D200(別途建築工事) 新設



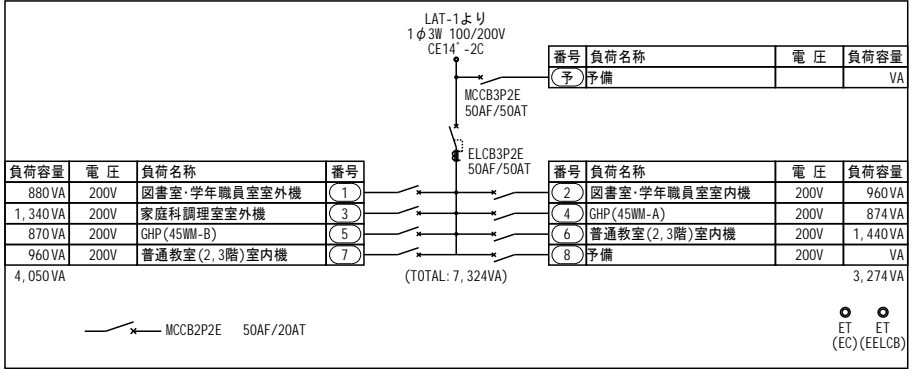
LAT-4 電灯分電盤 端子盤:屋内半埋込型 銅板製(上部配線ダクト) 既存埋込壁ハツリ:W900×H2000×D200(既存開口:W600×H850)(別途建築工事) 新設



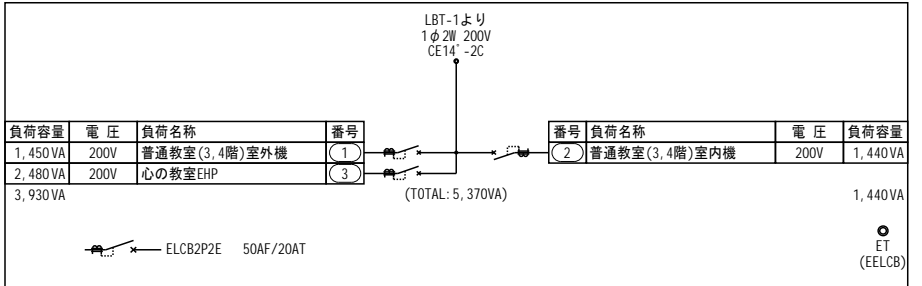
LBT-4 電灯分電盤 端子盤:屋内半埋込型 銅板製(上部配線ダクト) 既存埋込壁ハツリ:W1000×H700×D200(別途建築工事) 新設



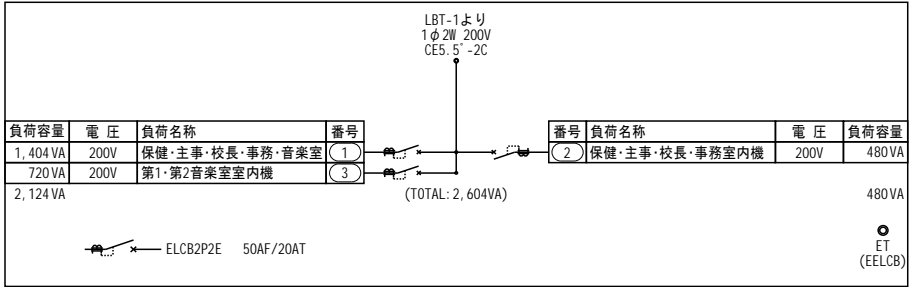
GHP分電盤 7W型 屋外壁掛型 ステンレス製防水 既設(参考)



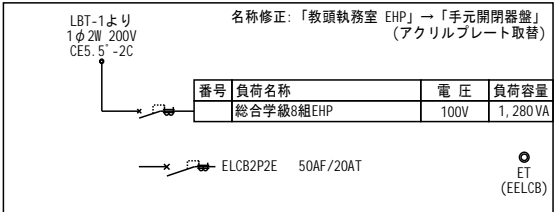
GHP分電盤 2W型 屋外壁掛型 ステンレス製防水 既設(参考)





























































































GHP分電盤 3W型 屋外壁掛型 ステンレス製防水 既設(参考)



手元開閉器盤 屋外壁掛型 ステンレス製防水 既設

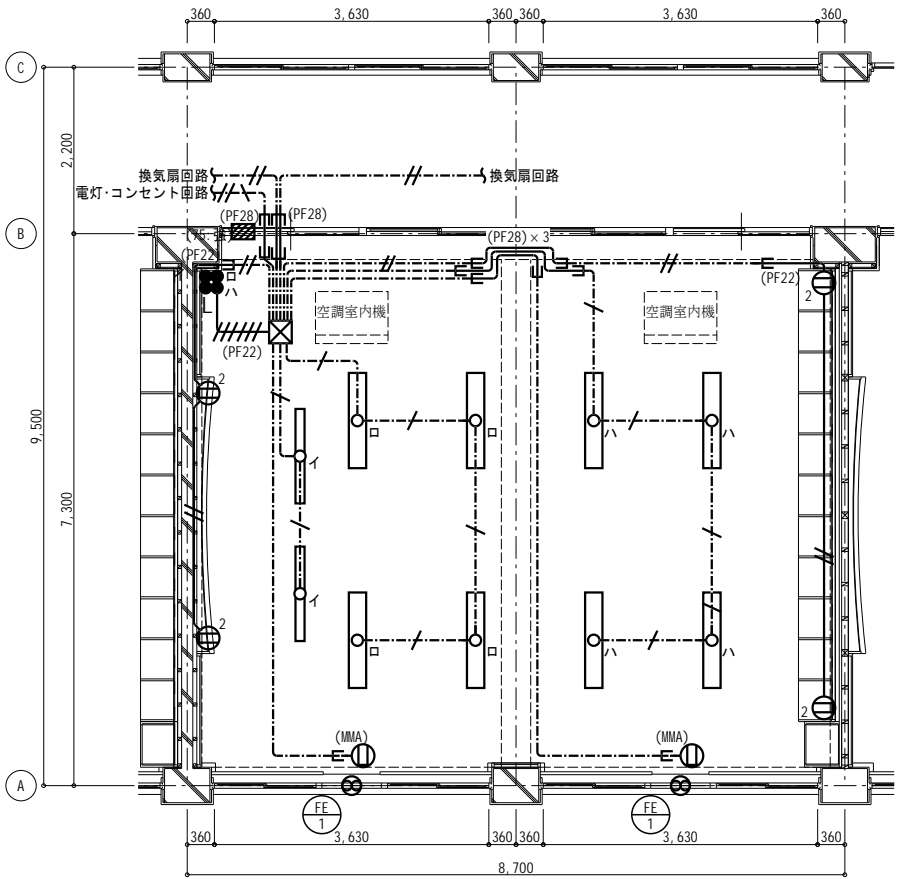


凡 例 表		
特記なき記号は次による。		
記号	名称	備考
幹線・動力設備		
	分電盤 分電盤結線図参照	
	手元開閉器盤 分電盤結線図参照	
	避雷針接地抵抗測定用端子箱 扉改修(取替)	W330×H430
	避雷針(LR-1 S-4)	
	電機(5P)	保護カバー共
	ハンドホール(既設)	
	区画貫通処理(金属単管:25相当):強電用	認定工法
	区画貫通処理(金属単管:75相当):強電用	認定工法
	区画貫通処理(ケーブルラック:W200相当):強電用	認定工法
	区画貫通処理(ケーブルラック:W300相当):強電用	認定工法
	区画貫通処理(金属単管:75相当):弱電用	
	区画貫通処理(ケーブルラック:W400相当):強電用	認定工法
電灯設備		
	照明器具 参考姿図参照	
	照明器具 参考姿図参照	
	照明器具 参考姿図参照	
	照明器具 参考姿図参照	
	照明器具 参考姿図参照	
	照明器具 参考姿図参照	
	照明器具 参考姿図参照	
	照明器具 参考姿図参照	
	埋込LED非常用照明 参考姿図参照	
	埋込スイッチ 1P15A×1	SUSプレート
	埋込スイッチ 3W15A×1	SUSプレート
	埋込スイッチ 4W15A×1	SUSプレート
	埋込スイッチ 1PL4A×1	SUSプレート
	自動点滅器 AC100V 3A	
	人感センサー(天井型親器:広角検知)	
	人感センサー(天井型子器:広角検知)	
	人感センサー(天井型子器:換気連動)	
	人感センサー(天井型:換気連動)	
コンセント設備		
	埋込コンセント 2P15A×1 (SUSプレート)	
	埋込コンセント 2P15A×1:ET (SUSプレート)	
	埋込コンセント 2P15A×1:EET (SUSプレート)	
	埋込コンセント 2P15A×2 (SUSプレート)	
	埋込コンセント 2P15A×2:2EET (SUSプレート)	
	埋込コンセント 2P15A×1:LK (SUSプレート)	
	防水コンセント 2P15A×2:2EET,WP	
	リレーコンセント:2E	
	カットリレーコンセント	
	ライティングダクト 1P15A,E付	
構内情報通信網設備		
	LANアクセスポイント(壁付)	別途工事
	情報(LAN)アウトレット 壁付	SUSプレート
構内交換設備		
	通信用(電話用)アウトレット 壁付	SUSプレート
	通信用(電話用)アウトレット 壁付 FAX用	SUSプレート
	電話主装置 一旦ブレハブに移設、仮設終了後再移設	

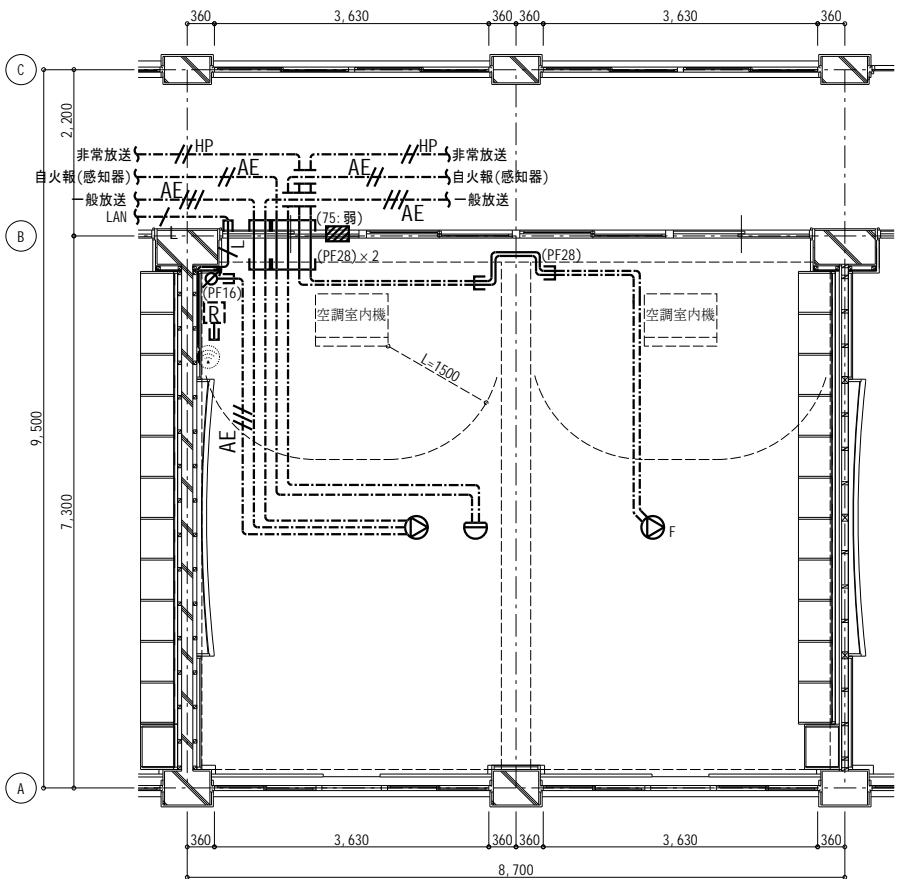
特記なき記号は次による。		
記号	名称	備考
拡声設備		
	端子盤	
	一般放送デスク型アンプ 3元30局360W	新設(放送室)
	非常放送アンプ 一旦ブレハブに移設、仮設終了後再移設	
	放送レピータ盤	
	リモートマイク	
	弱電設備姿図参照	
	弱電設備姿図参照	
	弱電設備姿図参照	
	弱電設備姿図参照	
	弱電設備姿図参照	
	弱電設備姿図参照	
テレビ共同受信設備		
	TV機器収納箱 既設改修(塗装補修)	
	テレビジョンアンテナ AU-2 20素子(全帯域用)	
	アンテナマスト 4.0m 壁面取付型	
	テレビ端子SH -7F (SUSプレート)	
	増幅器 SH-UF-1	
	2分岐器 SH-C2	
	4分岐器 SH-C4	
電気時計設備		
	電気子時計 φ700 屋外壁掛形 ステンレス製	
トイレ呼出表示設備		
	ブザー付廊下灯 LED式	参考姿図参照
	復旧ボタン	参考姿図参照
	呼出押し釦(引き紐式)	参考姿図参照
	トイレ呼出表示器 5窓	参考姿図参照
共通		
	予備配管 PF22	
	配線用配管 PF28	
	フルボックス 点線・細線は共用または既設とする 標記なきものは、200×200×200(VE)とする	仕様表参照
	カバープレート 樹脂製(角型):壁付	
	カバープレート 金属製(丸型):壁付	
	カバープレート 金属製(丸型):天井付	
	アウトレットボックス(PF/404:天井内)	
	メタルモールコーナーボックス(B型)	
	メタルモールコーナーボックス(C型)	
	メタルモールジョイントボックス(A型)	
	ノズルプレート 金属製(角型):壁付	
	防雨入線プレート	
	カバープレート(防水)	
	金属製露出丸形ボックス:1方出	
	金属製露出丸形ボックス:2方出	
	機械はつり(コア抜き) φ32mm 厚~200mm	HHは厚100mm
	機械はつり(コア抜き) φ50mm 厚~200mm	
	機械はつり(コア抜き) φ75mm 厚~200mm	
	機械はつり(コア抜き) φ100mm 厚~200mm	HHは厚100mm
	機械はつり(コア抜き) φ125mm 厚100mm	
	エアコン用リモコンボックス(空配管:PF22)	
	壁付換気扇 機器表参照	

照明器具姿図(参考)			
A	一体型LEDベースライト(直付) LSS7-4-56	B1	一体型LEDベースライト(直付) LSS9-4-65
		B2	一体型LEDベースライト(直付) LSS9-4-48
		B3	一体型LEDベースライト(直付) LSS9-4-23
本体:鋼板(高反射白色粉体塗装) 反射板:銅板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 6900lmタイプ、消費電力43.1W 昼白色(5000K)		本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 昼白色(5000K)	
普通教室・学年職員室 4F 第1・第2音楽室 3F 図書室 2F 職員室、事務室、教頭執務室、校長室 1F 保健室、総合学級8組、多目的室、学習室、家庭科準備室、家庭科室(被服・調理)		普通教室、学年職員室 4F 第1・第2音楽室 1F 総合学級8組、多目的室、学習室、家庭科室(被服・調理)	
E	一体型LEDベースライト(直付)トラフ型片反射板付 LSS1-4-30	F1	一体型LEDベースライト(直付) LSS9-2-30
		F2	一体型LEDベースライト(直付) LSS9-2-15
本体:鋼板(白色粉体塗装) 壁面取付 昼白色(5000K)		本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 昼白色(5000K)	
販売部		F1 各階 廊下 F2 1F 西側階段室	
I	LEDミラーライト(壁付)	J	LEDブラケット(壁付:15形直管蛍光灯相当)
カバー:プラスチック(乳白) サイドカバー:プラスチック 器具光束:2700lm程度 器具幅:1200mm程度 昼白色(5000K)		カバー:プラスチック(乳白) 器具光束:800lm程度 昼白色(5000K)	
各階 PS 1F 倉庫		各階 WC 2F 更衣室(脱衣室)	
M	LEDシーリングライト	N	LED標示灯
器具光束5000lm カバー:アクリル(乳白つや消し・模様入り) 上面カバー:(乳白)・枠:(ライトナチュラル) 色温度(2700~6500:調光可能)		壁面(横向きのみ)・天井面取付兼用型 枠:プラスチック(クールホワイトつや消し仕上) 片面型	
1F 教育相談室(心の教室)		2F 放送室	
非	LED非常灯(埋込) K1-LRS11-1		
φ100低天井用(〜3m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 レンズ:ガラス カバー:銅板:(クールホワイトつや消し仕上) 非常灯評定番号:LALE-004			
各階 HWC			
保守率:0.92			
器具取付高さ		2.4m 2.5m 2.6m 2.7m	
単体配置		A1 4.0 4.0 4.0 3.6	

一級建築士事務所 知事登録 第1-4-6号		谷山中学校校舎 2 7 号棟長寿命化改良ほか電気設備工事		
有限会社 設備共同プラン		凡例表、照明器具姿図(参考)	S=NoScale	11
一級建築士登録番号 第160627号 満塩 末則		鹿児島市建設局建築部設備課		
		全 70		



普通教室 標準平面図(強電) S=1/100



普通教室 標準平面図(弱電) S=1/100

普通教室
CH=3,050
A × 8
C × 2

凡例表

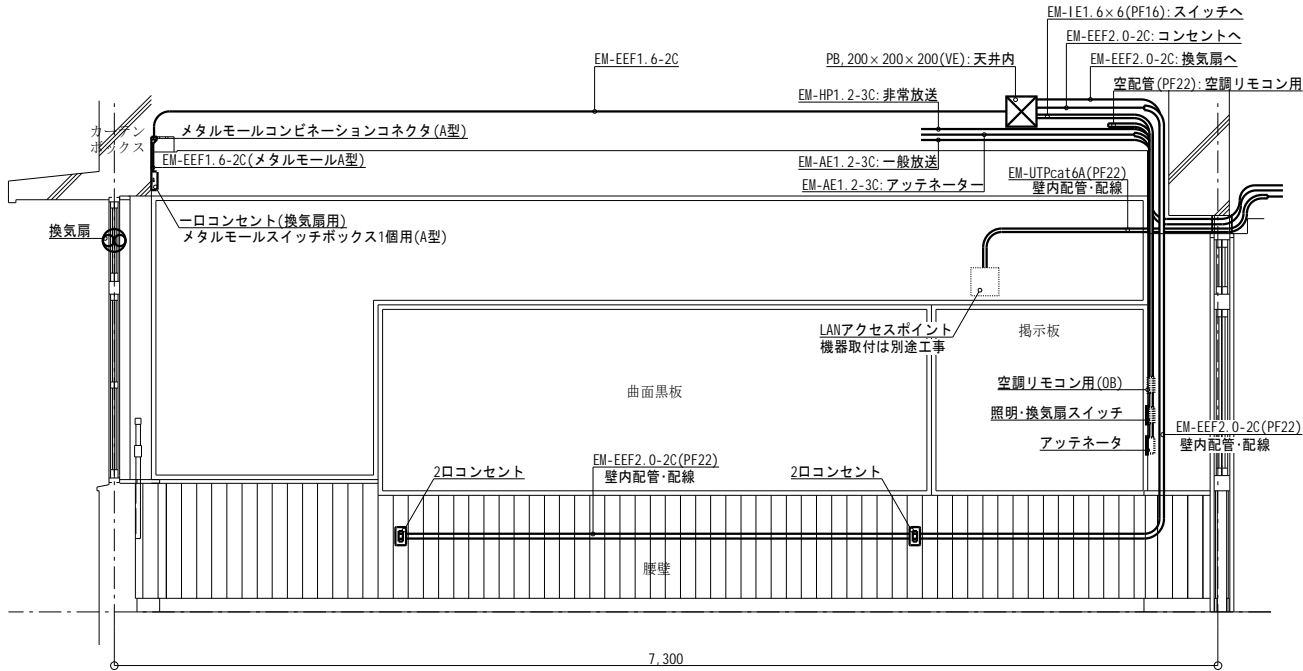
特記なき記号は次による。

記号	名称	備考
○	照明器具 LSS7-4-56	
○	照明器具 LSS13-4-62(黒板灯)	
■	埋込スイッチ 1P15A×3, 1PL×1 (SUSプレート)	
⊖	埋込コンセント 2P15A×1 (SUSプレート)	
⊖ 2	埋込コンセント 2P15A×2 (SUSプレート)	
LAN	LANアクセスポイント	取付は別途工事
天	天井埋込スピーカー/SC6Hi-3-V0	一般放送用
F	天井埋込スピーカー/SC6Hi-3-V0	非常放送用
ア	アッテネータ	
差	差動式スポット型感知器 2種 露出	
☒	プルボックス (200×200×200: VE)	
■(75: 強)	防火区画貫通処理(金属単管): 63(相当) 強電用	
■(75: 弱)	防火区画貫通処理(金属単管): 63(相当) 弱電用	
☒→☒	空調リモコン用アウトレットボックス (金属製 中四角浅形)	天井内突出し配管(PF22)まで本工事
⊗	壁付換気扇 機器表参照	

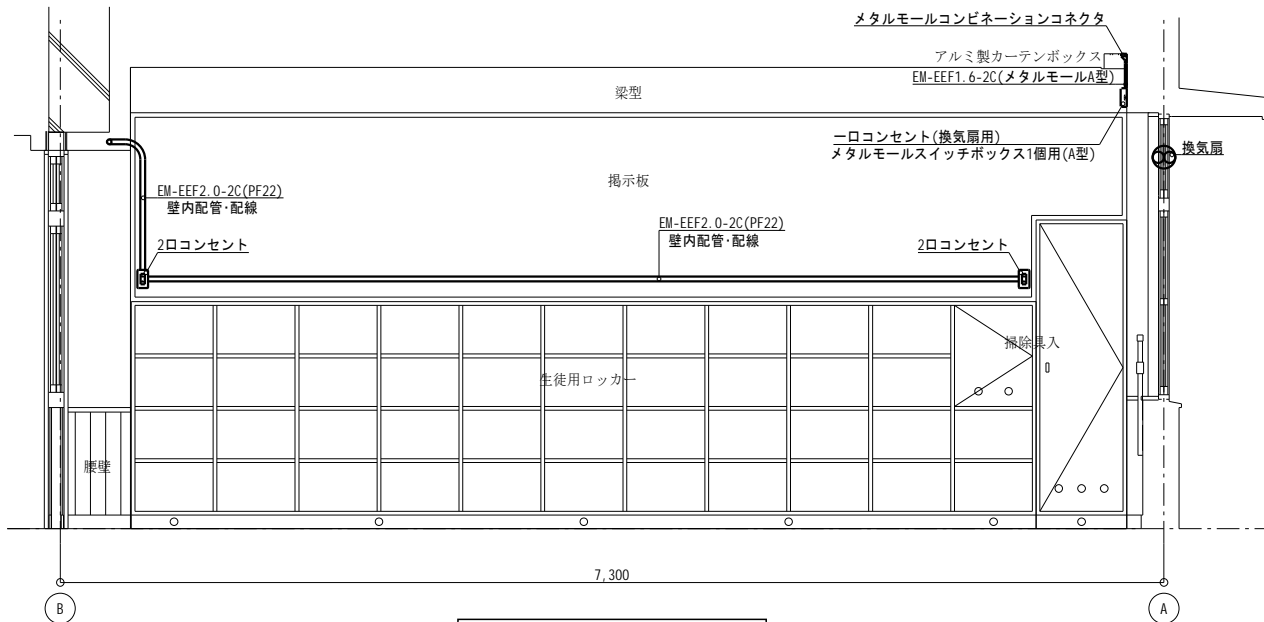
配管配線凡例表

特記なき配管・配線は次による。

記号	名称	備考
///	EM-IE1.6×6 (PF22: インベイ)	
---	EM-EEF1.6-2C (コログシ)	
---	EM-EEF1.6-3C(1C: E) (コログシ)	
---	EM-EEF2.0-2C (コログシ)	
---	EM-EEF2.0-3C(1C: E) (コログシ)	
---	EM-EEF2.0-2C (PF22: 壁内インベイ)	
---	EM-AE1.2-2C (コログシ)	
---	EM-UTPCat6A-4P(コログシ)	
---	EM-UTPCat6A-4P (PF22: 壁内インベイ)	
---	EM-HP1.2-3C (PF16: インベイ)	
---	EM-HP1.2-3P (コログシ)	
---	EM-HP1.2-3P (PF22: インベイ)	
(MMA)	メタルモールA型	



教室前面 標準展開図 S=1/50

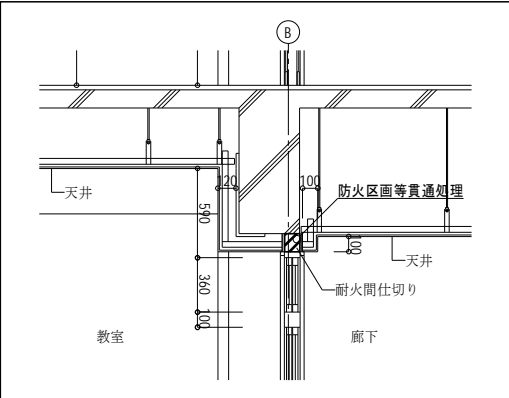


教室背面 標準展開図 S=1/50

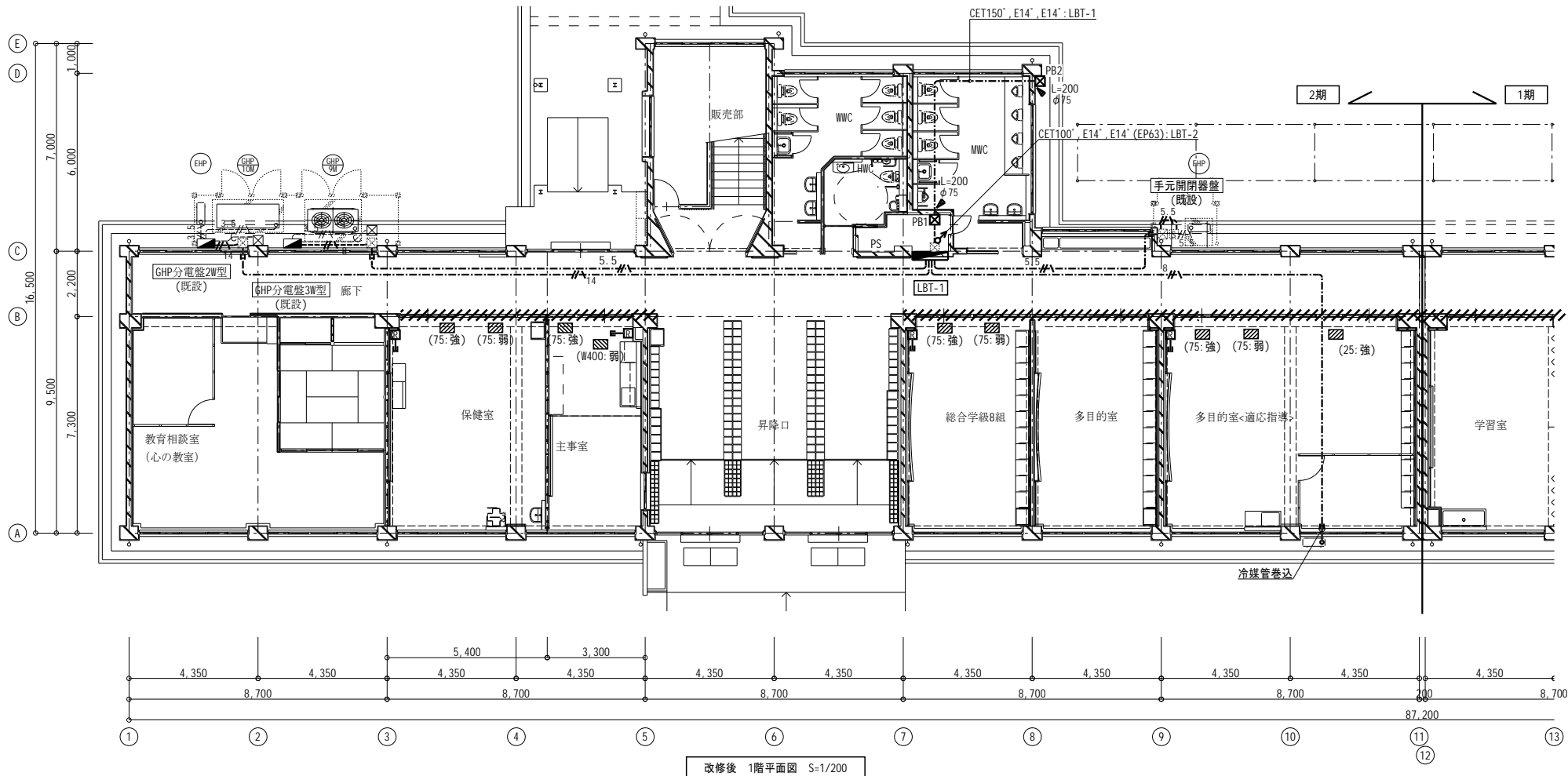
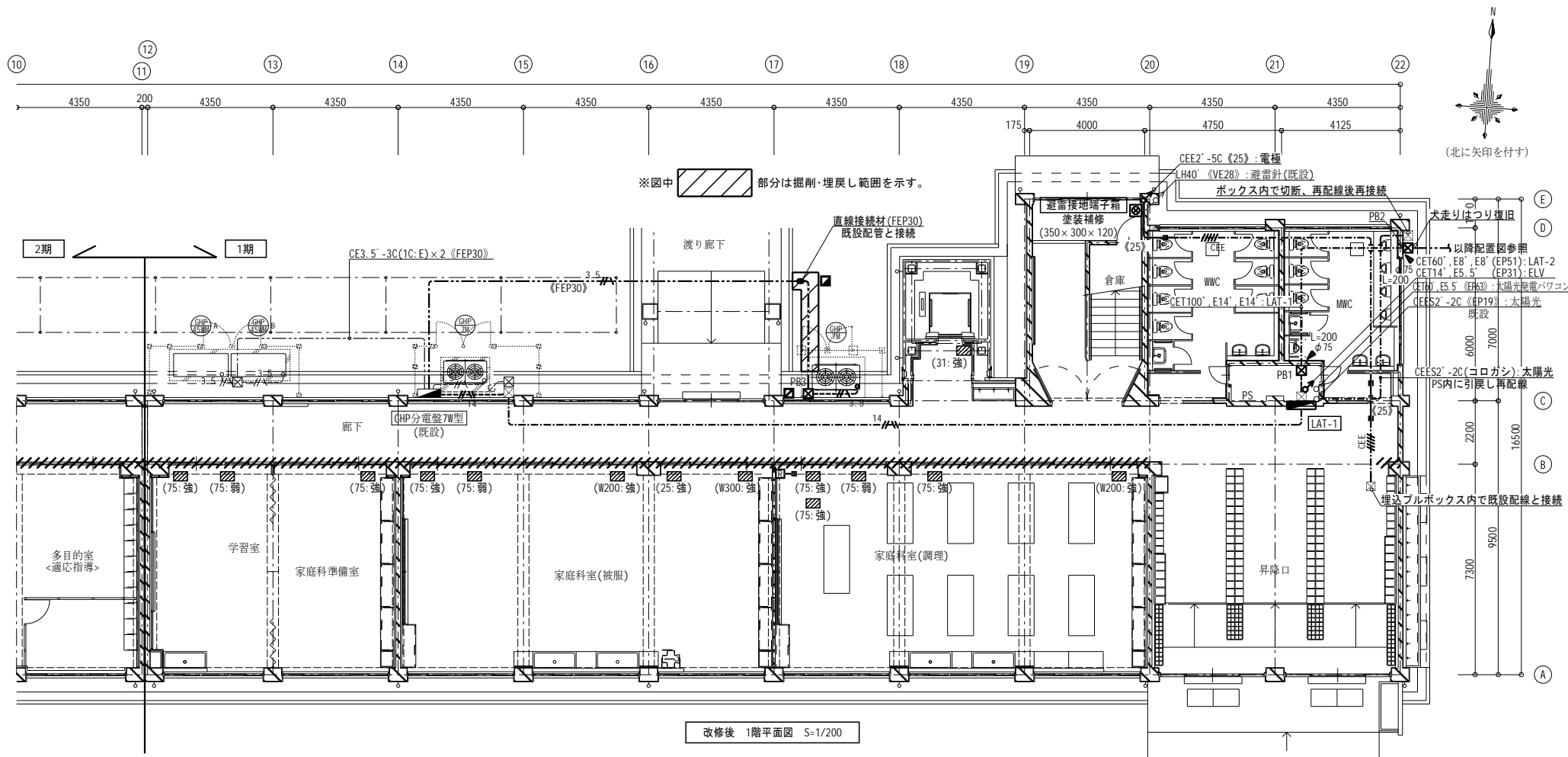
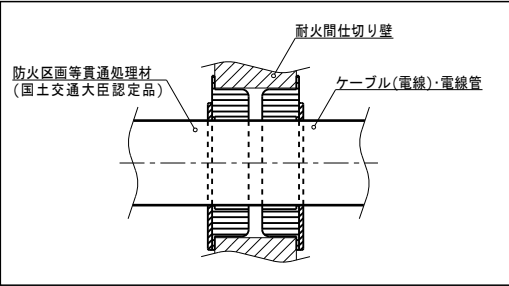
//// 防火区画又は、防火上主要な間仕切り壁を示す

- ※ 防火区画等を貫通する配管、ケーブルは、国土交通大臣認定工法の専用部材にて適切に処理する事。
- (1)廊下から教室等への引込み部は、防火区画等貫通処理材にて処理する。
 - (2)上下階貫通については、防火区画等貫通処理材にて処理する。
 - (3)防火戸、防火シャッター上部は防火区画等貫通処理材にて処理する。
 - (4)その他の部分については、監督員の指示による事。

学校間仕切り(梁部分) 参考断面図

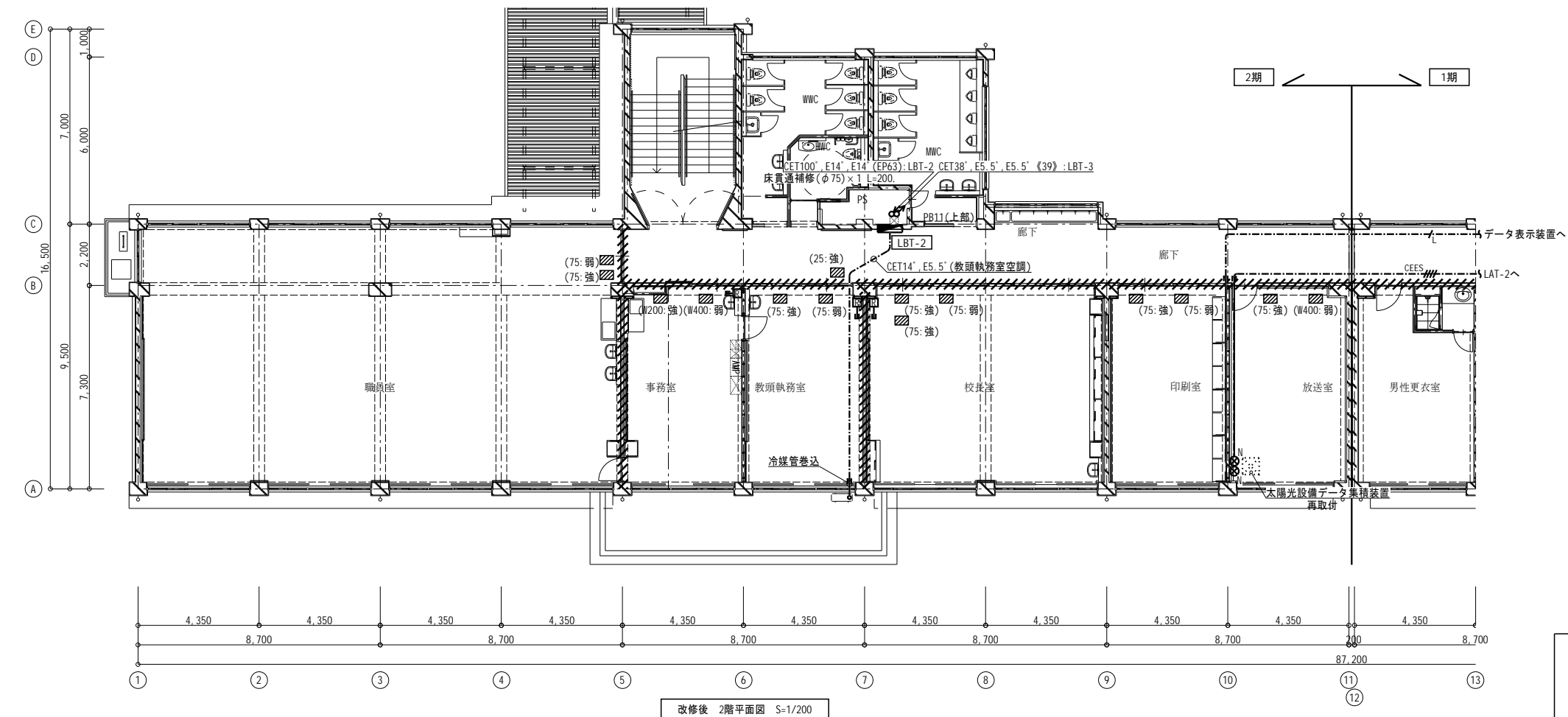
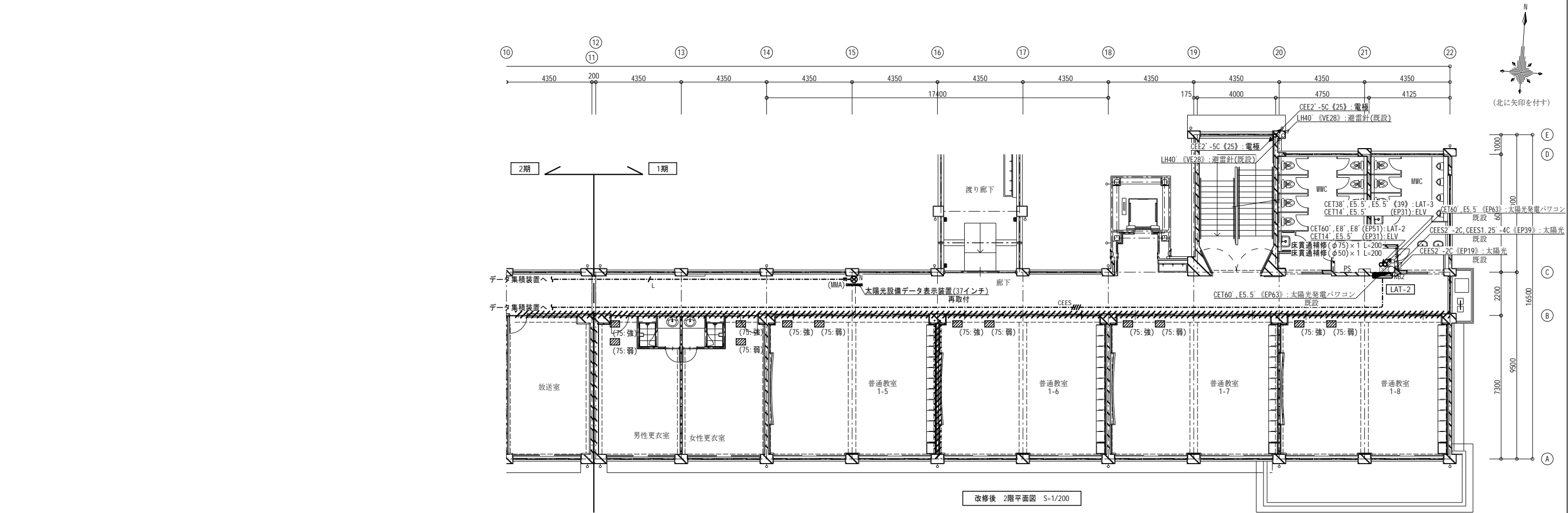


防火区画等処理 参考断面図

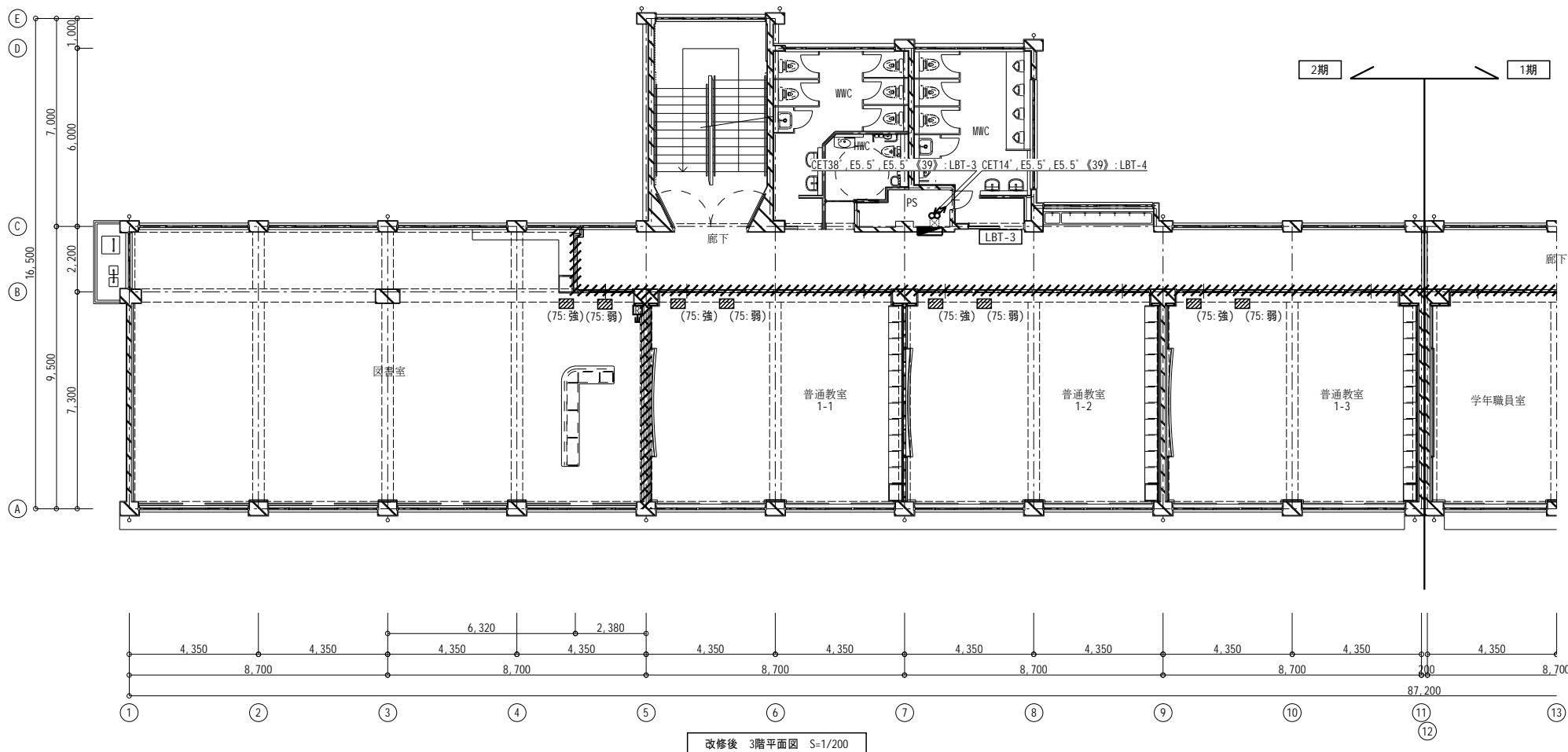
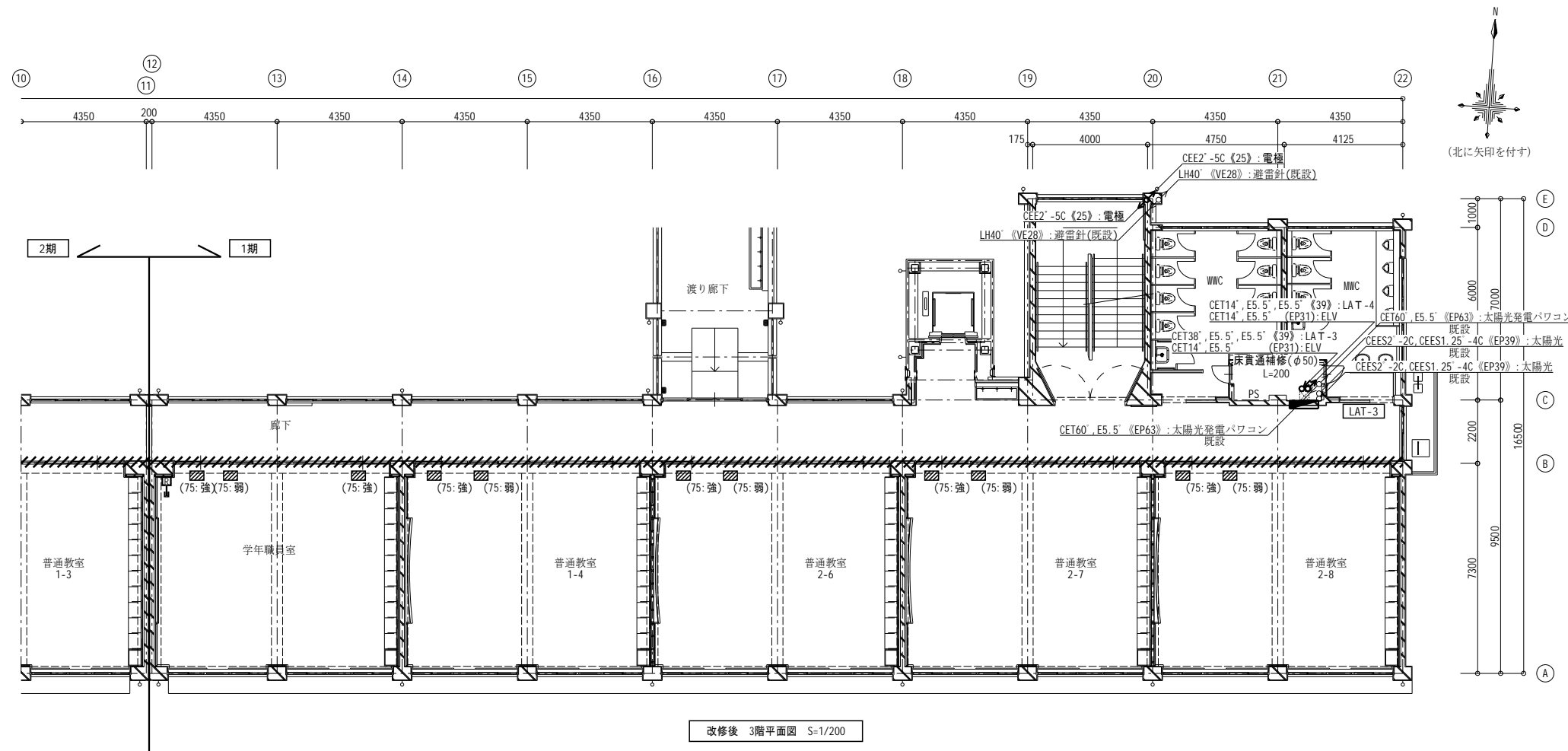



配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備 考
EM-CE5.5-2C,E2.0	(コログシ)	
EM-CE8-2C,E2.0	(コログシ)	
EM-CE14-2C,E2.0	(コログシ)	
EM-CE3.5-3C(1C:E)	(ZnGP22:露出/塗装無)	
EM-CE5.5-2C,E2.0	(ZnGP28:露出/塗装無)	
EM-CE8-2C,E2.0	(ZnGP28:露出/塗装無)	
EM-CE14-2C,E2.0	(ZnGP28:露出/塗装無)	
EM-CE3.5-3C(1C:E)	(FEP30:地中)	
EM-CE3.5-3C(1C:E)	(既設FEP:地中)	
EM-CEE2-5C	(コログシ)	
	空配管 (ZnGP36:露出/塗装無)	
LH40	(既設VE:インベイ)	
	既設配管	

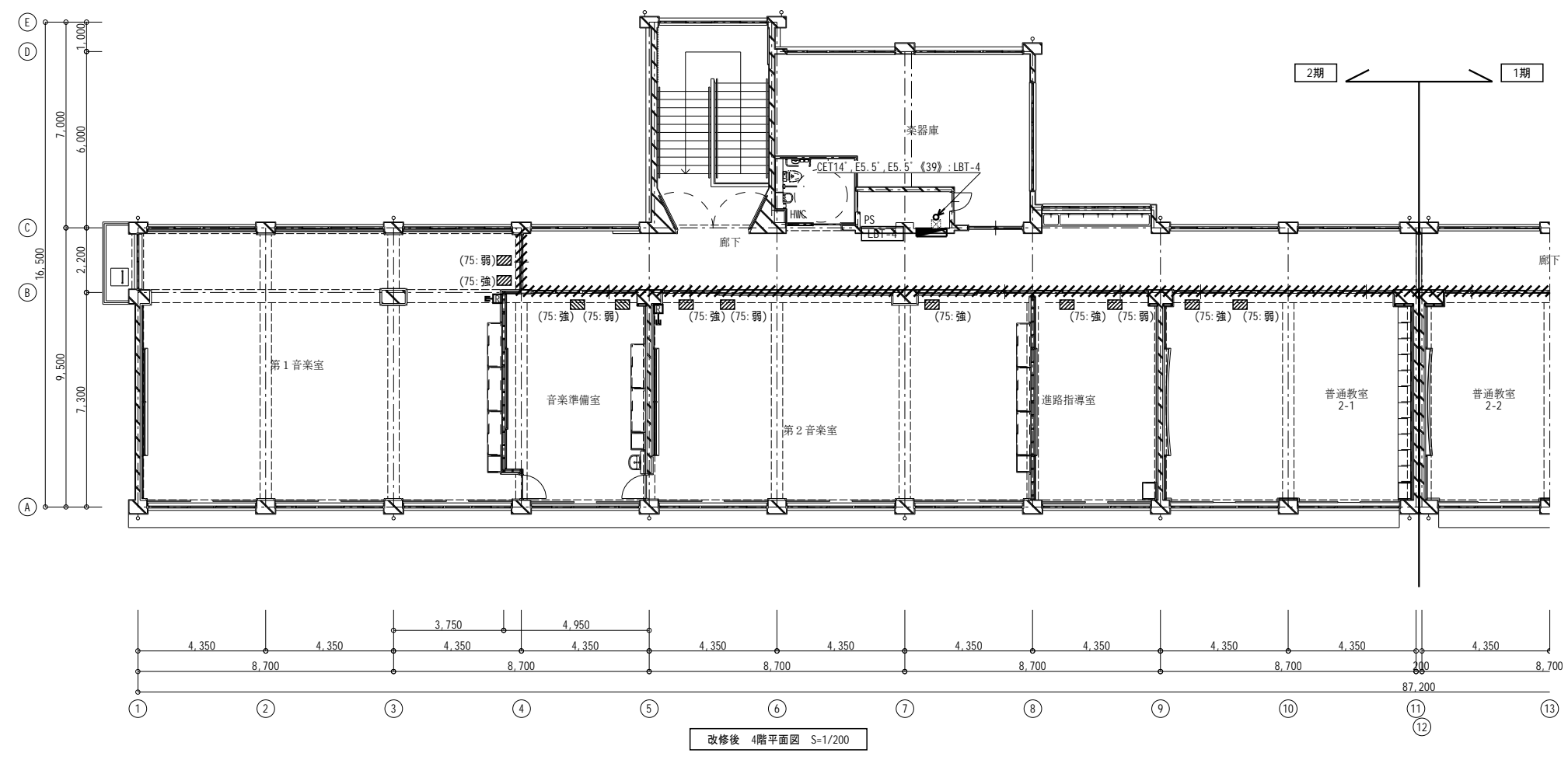
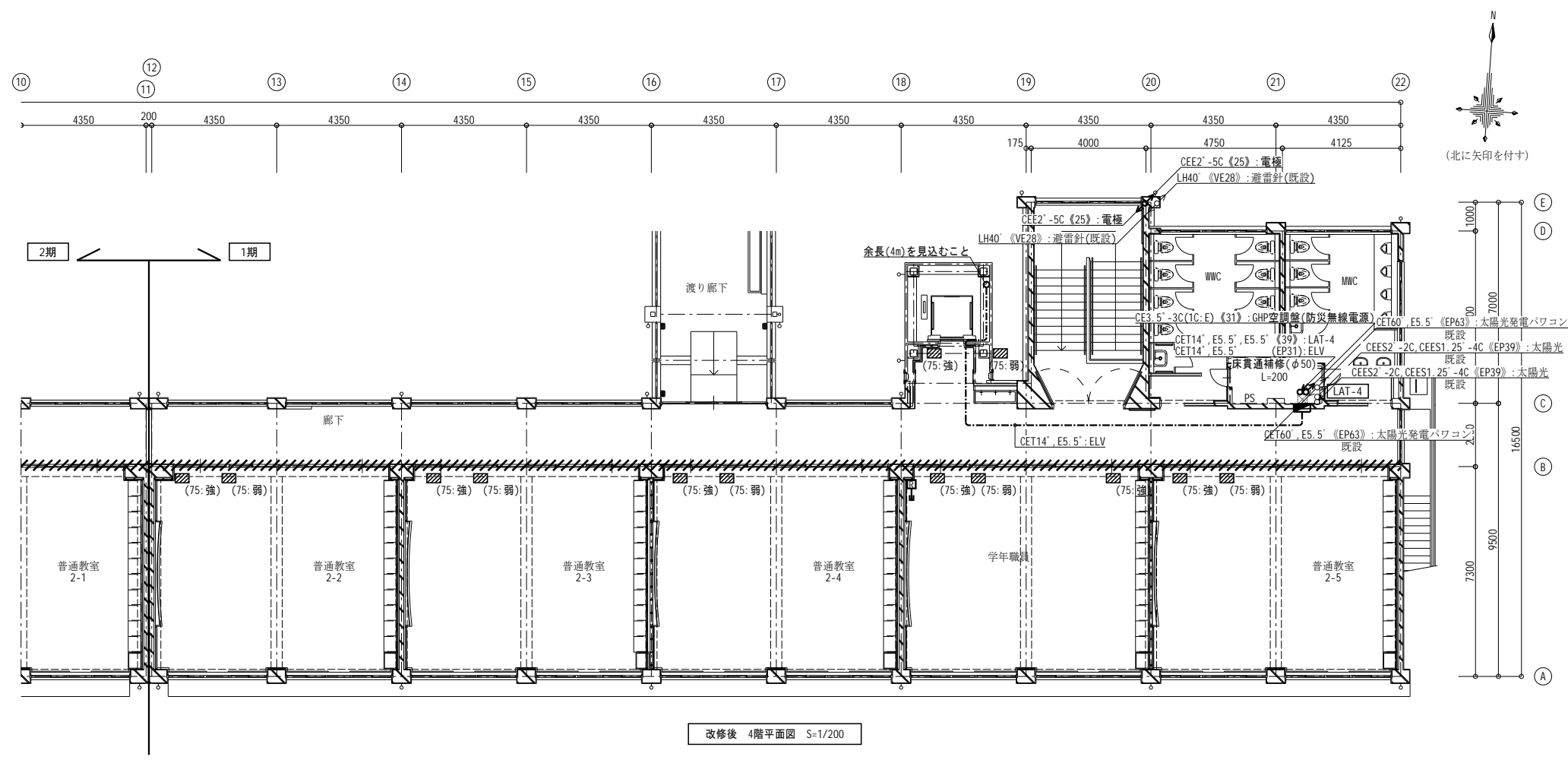
ブルボックス仕様表		
記号	サイズ	材質、仕様
PB1	500×500×500	SPC
PB2	500×500×500	SUS, WP
PB3	150×150×100	SUS, WP




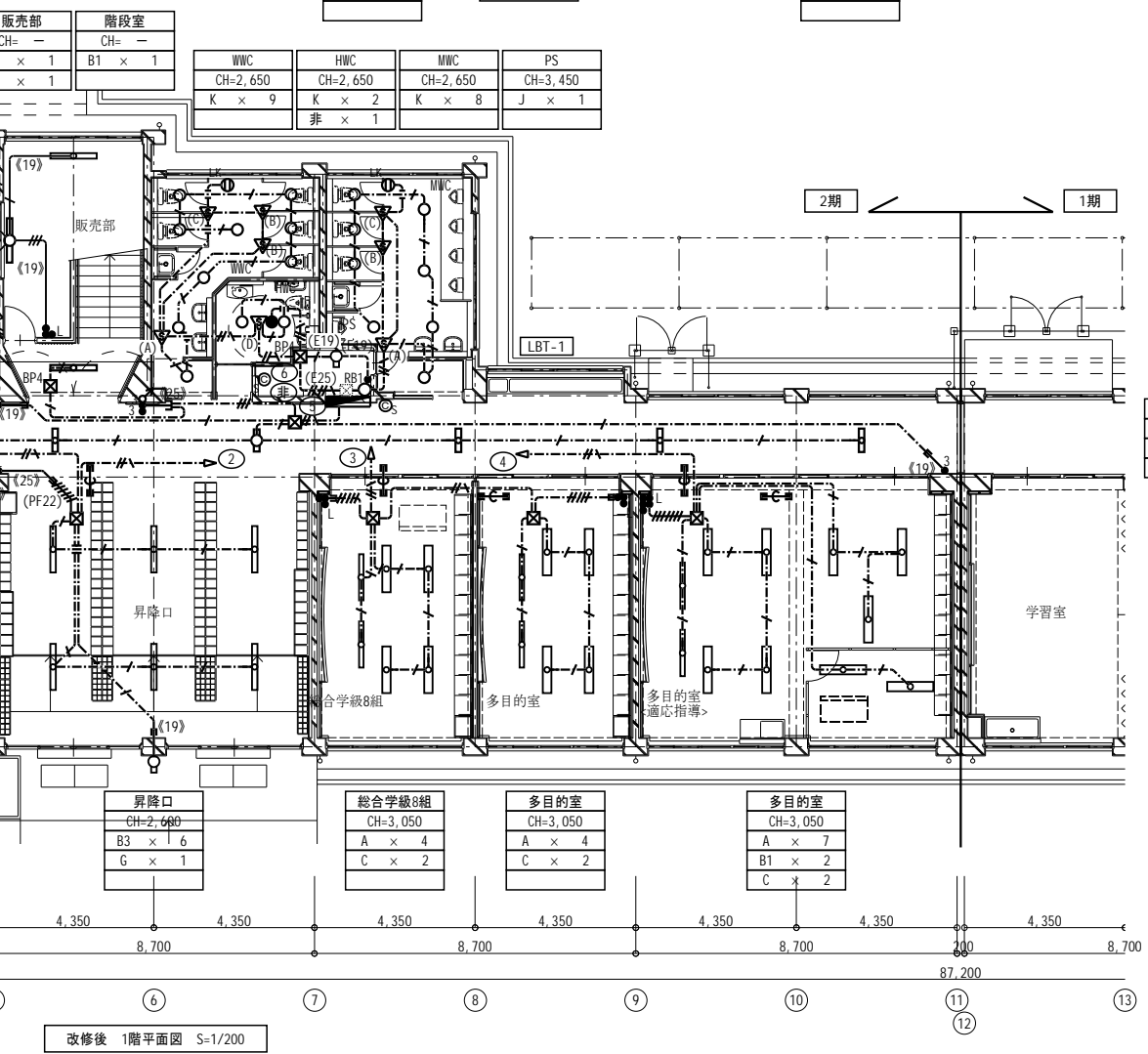
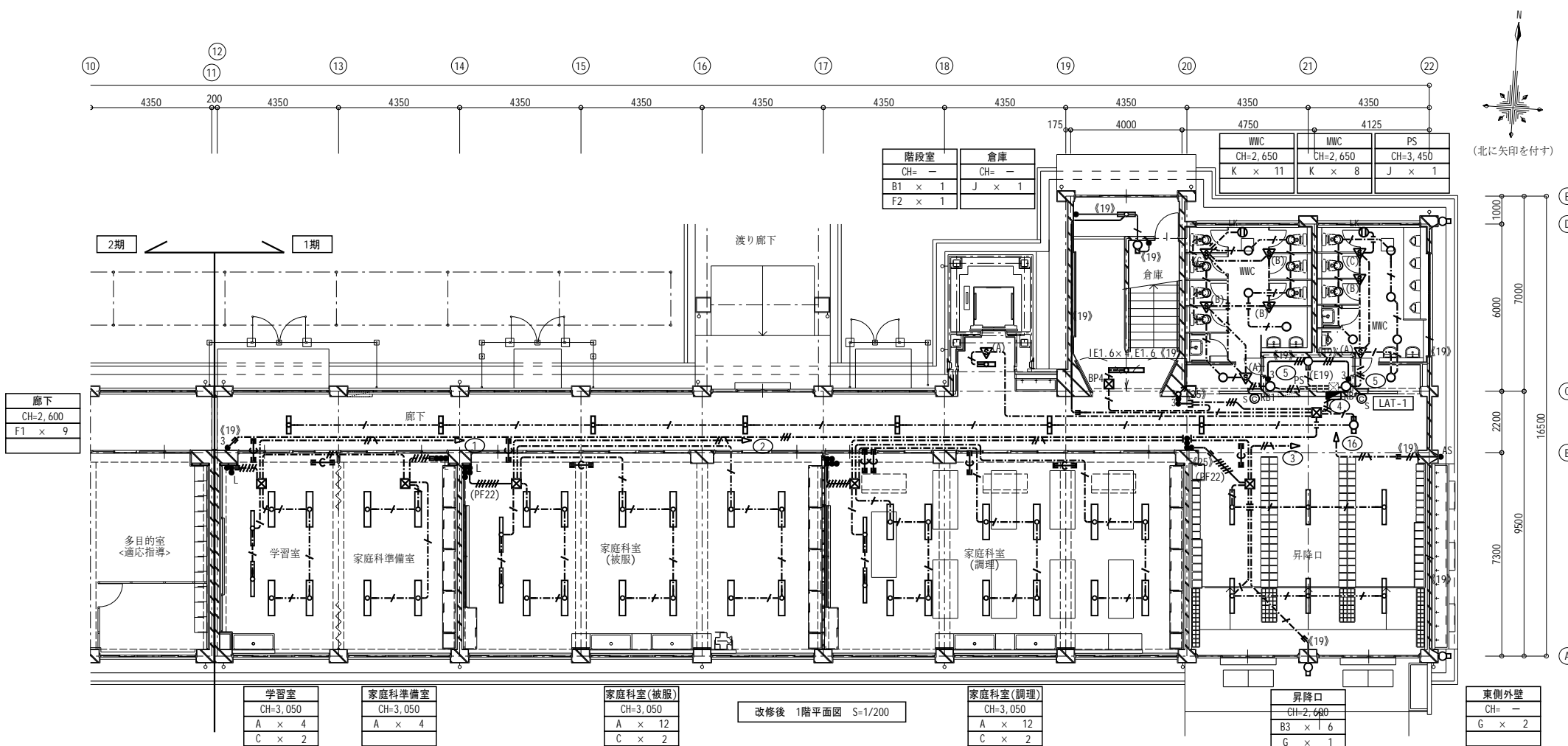
配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
EM-CE3.5-3C(1C:E) (コガシ)	EM-CE3.5-3C(1C:E) (コガシ)	
EM-CEES1.25-4C (コガシ)	EM-CEES1.25-4C (コガシ)	
EM-UTPCat6A-4P (コガシ)	EM-UTPCat6A-4P (コガシ)	
(MMA)	メタルモールA型	
《 》	既設配管	
天井内はケーブルころがし配線とし、壁内は適合する電線管(PF管)にて保護すること。		



一級建築士事務所 知事登録 第1-4-6号		谷山中学校校舎 2 7号棟長寿命化改良ほか電気設備工事		
 有限会社 設備共同プラン	改修後 幹線・動力設備 防火区画等貫通処理 3階平面図		A3: S=1/200	15
	一級建築士登録番号 第160627号 満塩 末則			全 70
鹿児島市建設局建築部設備課				

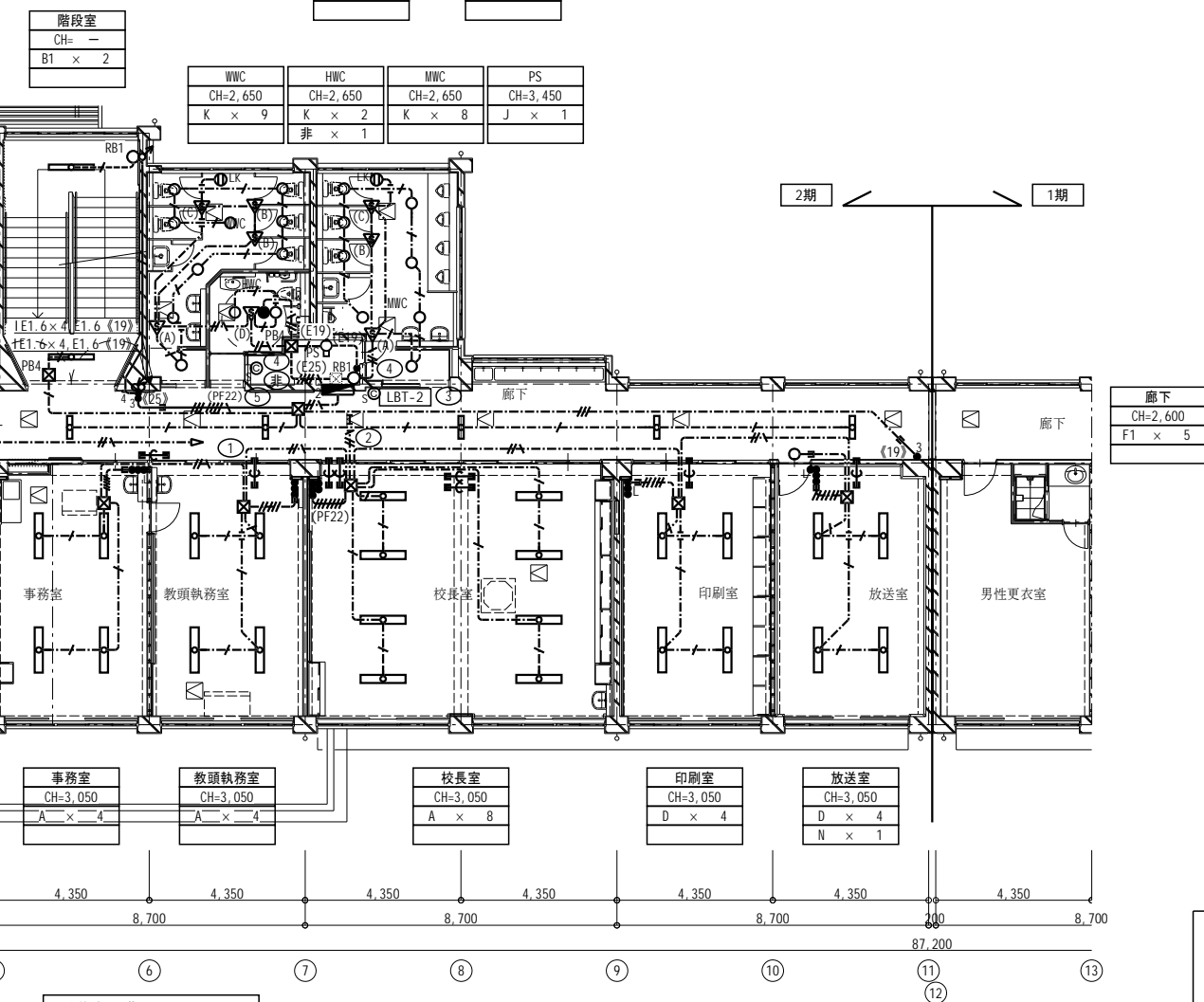
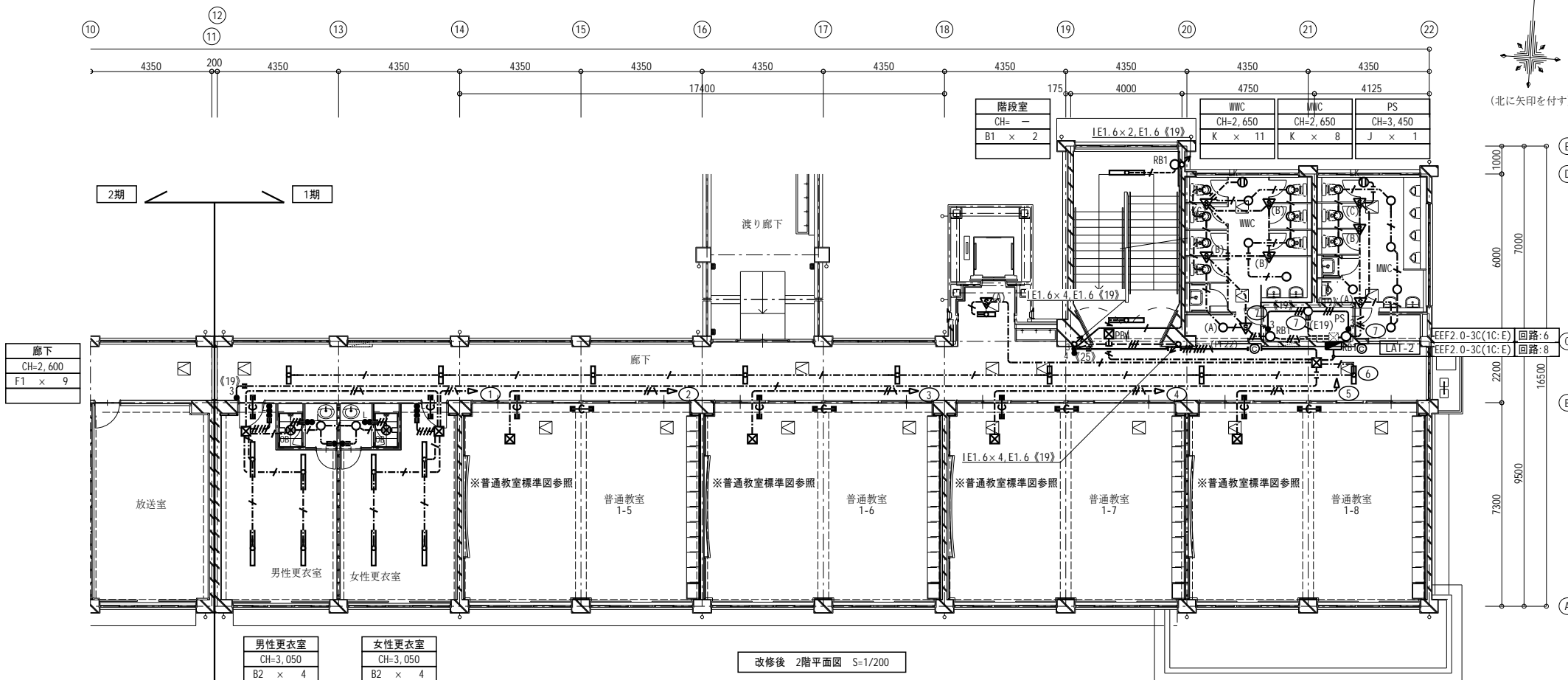


一級建築士事務所 知事登録 第1-4-6号		谷山中学校校舎 2 7号棟長寿命化改良ほか電気設備工事		
 有限会社 設備共同プラン	改修後 幹線・動力設備	A3:S=1/200	16	
	防火区画等貫通処理 4階平面図			
一級建築士登録番号 第160627号 満塩 末則		鹿児島市建設局建築部設備課		全 70



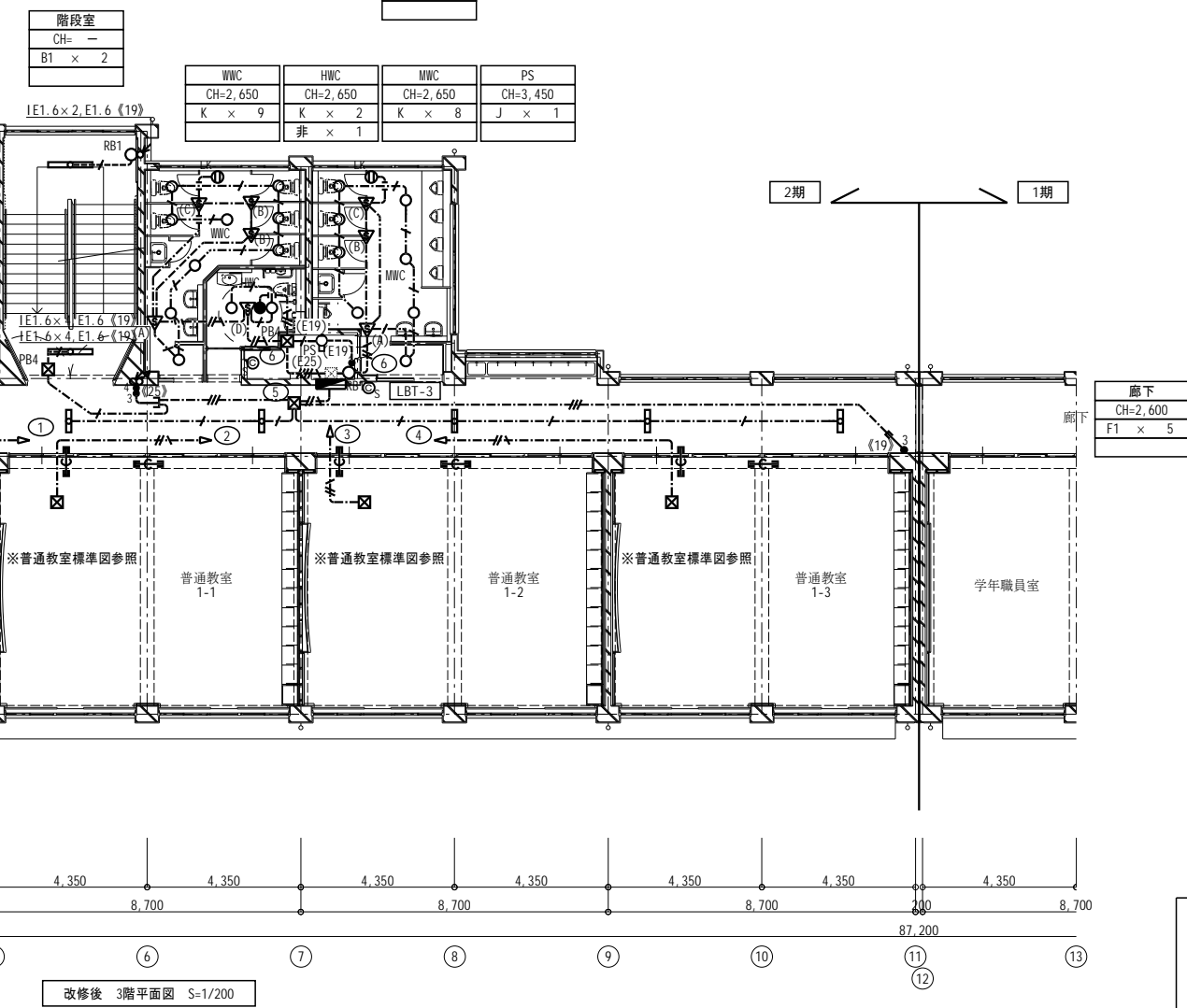
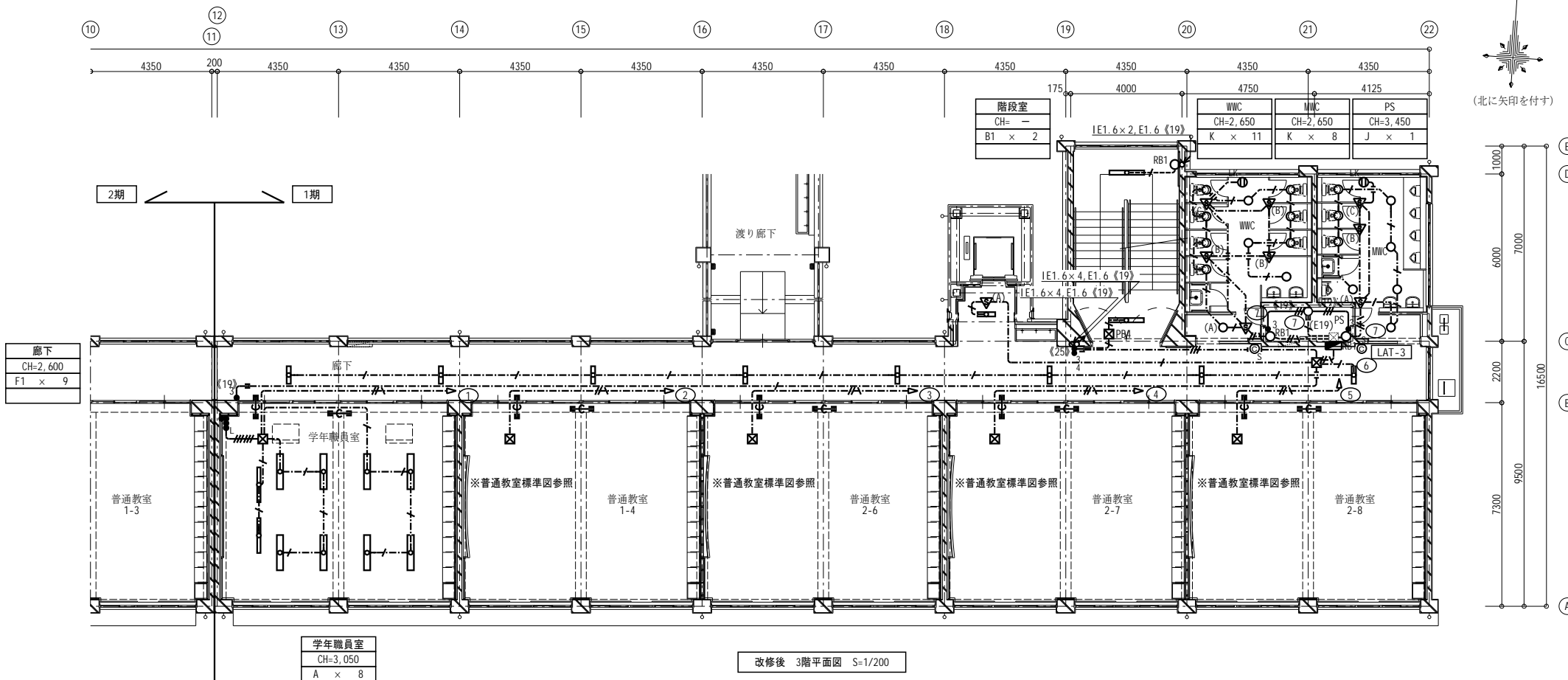
配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
---	EM-EEF1.6-2C (コログシ)	
---	EM-EEF1.6-3C (コログシ)	
---	EM-EEF1.6-3C(1C:E) (コログシ)	
---	EM-EEF1.6-2C×2 (コログシ)	
---	EM-EEF1.6-2C +1.6-3C (コログシ)	
---	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (コログシ)	
---	EM-IE1.6×6 (PF22:インベイ)	
---	EM-IE1.6×7 (PF22:インベイ)	
---	EM-IE1.6×2,E1.6 (EP19:露出/塗装無)	
---	EM-IE2.0×2,E2.0 (EP25:露出/塗装無)	
---	EM-IE2.0×4,E2.0 (EP25:露出/塗装無)	
(MIA)	メタルモールA型	
《 》	既設配管	
天井内はケーブルころがし配線とし、壁内は適合する電線管(PF管)にて保護すること。		

ブルボックス仕様表		
記号	サイズ	材質・仕様
☒ PB4	150×150×150	SPC



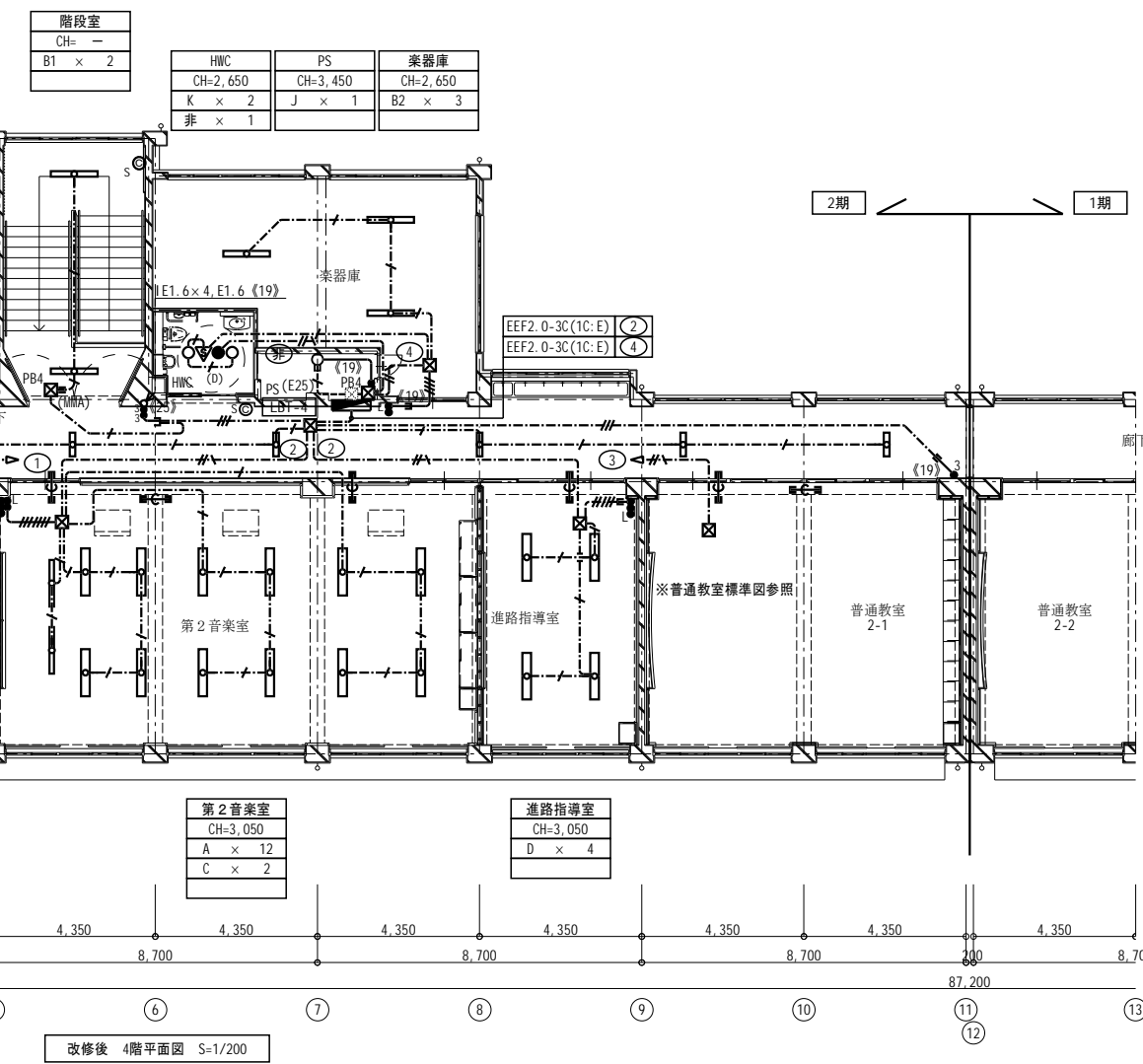
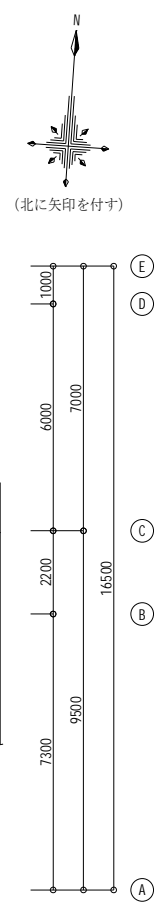
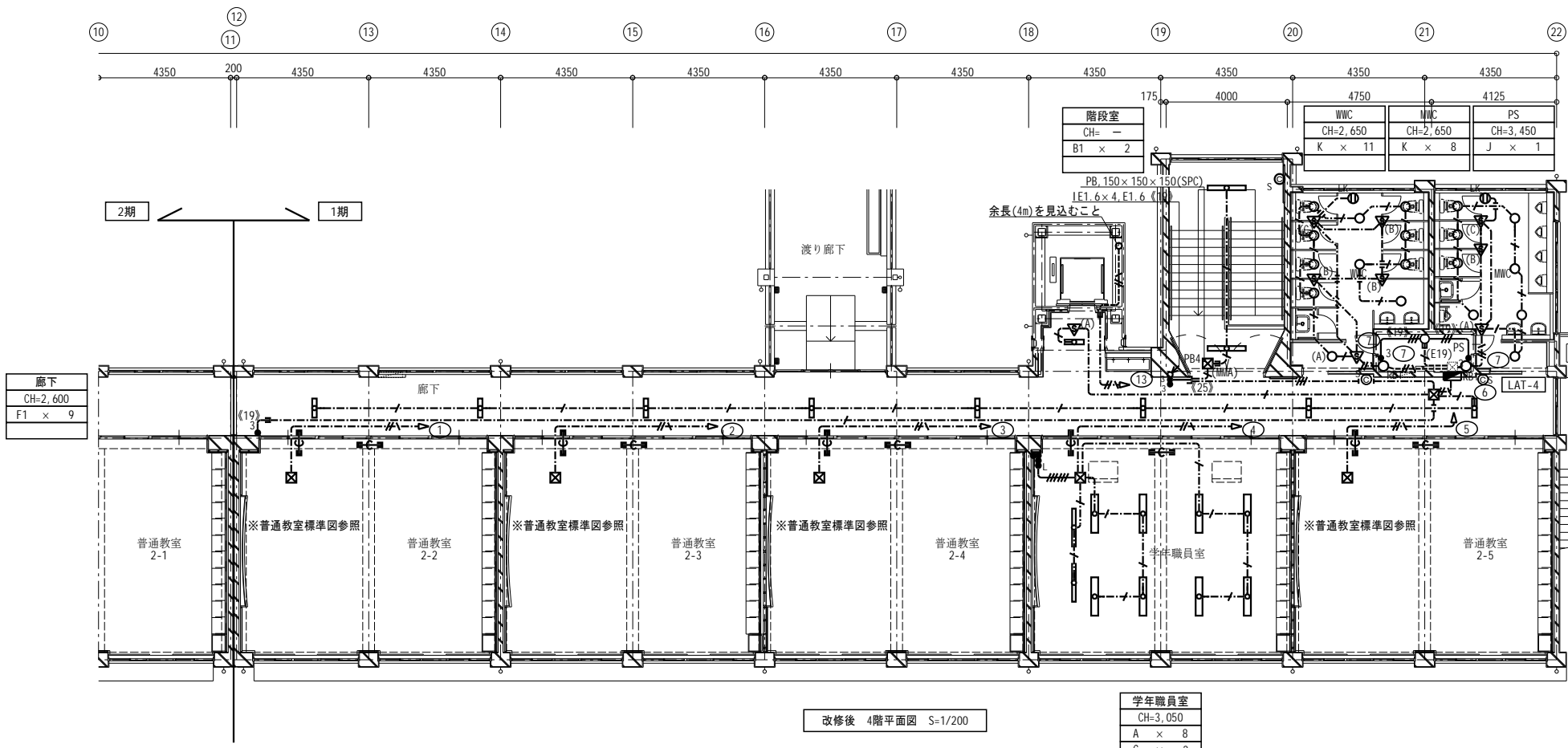
配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
----	EM-EEF1.6-2C (コロガシ)	
----	EM-EEF1.6-3C (コロガシ)	
----	EM-EEF1.6-3C(1C:E) (コロガシ)	
----	EM-EEF1.6-2C×2 (コロガシ)	
----	EM-EEF1.6-2C×3 (コロガシ)	
----	EM-EEF1.6-2C +1.6-3C (コロガシ)	
----	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (コロガシ)	
----	EM-EEF2.0-3C(1C:E)×2 (コロガシ)	
----	EM-IE1.6×6 (PF22: インベイ)	
----	EM-IE1.6×7 (PF22: インベイ)	
----	EM-IE1.6×2,E1.6 (EP19: 露出/塗装無)	
----	EM-IE2.0×2,E2.0 (EP25: 露出/塗装無)	
----	EM-IE2.0×4,E2.0 (EP25: 露出/塗装無)	
CBC	梁露出部分、メタルモール巻き	
(MMA)	メタルモールC型、コーナーボックスC型	
(MMA)	メタルモールA型	
()	既設配管	
天井内はケーブルこがし配線とし、壁内は適合する電線管(PF管)にて保護すること。		

プルボックス仕様表		
記号	サイズ	材質、仕様
☑ PB4	150×150×150	SPC



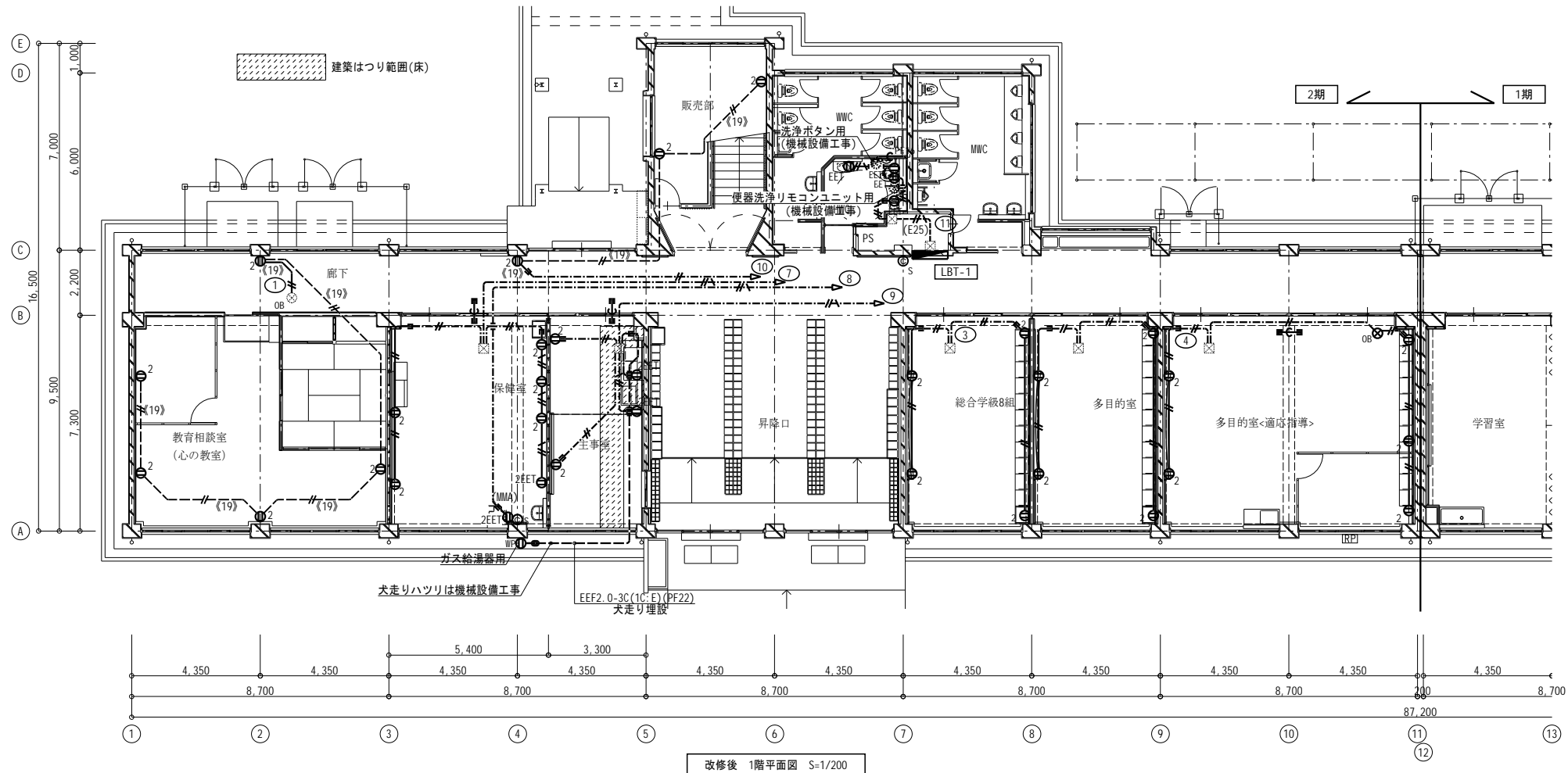
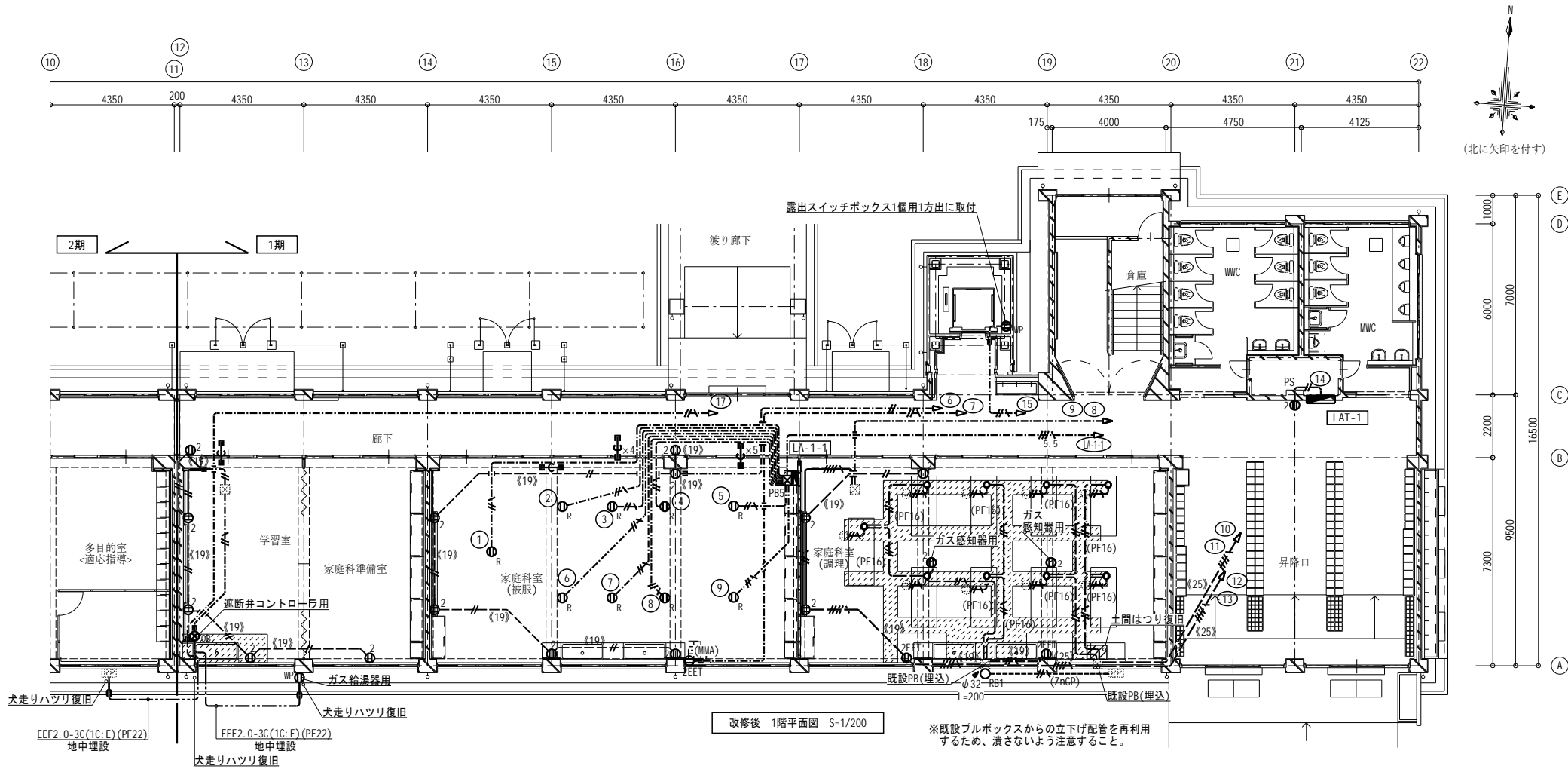
配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
----	EM-EEF1.6-2C (コログシ)	
----	EM-EEF1.6-3C (コログシ)	
----	EM-EEF1.6-3C(1C:E) (コログシ)	
----	EM-EEF1.6-2C×2 (コログシ)	
----	EM-EEF1.6-2C +1.6-3C (コログシ)	
----	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (コログシ)	
----	EM-IE1.6×6 (PF22:インベイ)	
----	EM-IE1.6×7 (PF22:インベイ)	
----	EM-IE1.6×2,E1.6 (EP19:露出/塗装無)	
----	EM-IE2.0×2,E2.0 (EP25:露出/塗装無)	
----	EM-IE2.0×4,E2.0 (EP25:露出/塗装無)	
CBC○MMC○CBC	梁露出部分、メタルモール巻き メタルモールC型、コーナーボックスC型	
(MMA)	メタルモールA型	
《 》	既設配管	
天井内はケーブルころがし配線とし、壁内は適合する電線管(PF管)にて保護すること。		

ブルボックス仕様表		
記号	サイズ	材質 仕様
☒ PB4	150×150×150	SPC



配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
----	EM-EEF1.6-2C (コロガシ)	
----	EM-EEF1.6-3C (コロガシ)	
----	EM-EEF1.6-3C(1C:E) (コロガシ)	
----	EM-EEF1.6-2C×2 (コロガシ)	
----	EM-EEF1.6-2C +1.6-3C (コロガシ)	
----	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (コロガシ)	
----	EM-IE1.6×6 (PF22: インベイ)	
----	EM-IE1.6×7 (PF22: インベイ)	
----	EM-IE1.6×2, E1.6 (EP19: 露出/塗装無)	
----	EM-IE2.0×2, E2.0 (EP25: 露出/塗装無)	
----	EM-IE2.0×4, E2.0 (EP25: 露出/塗装無)	
----	梁露出部分、メタルモール巻き	
----	メタルモールB型、コーナーボックスB型	
----	梁露出部分、メタルモール巻き	
----	メタルモールC型、コーナーボックスC型	
----	メタルモールA型	
----	既設配管	
天井内はケーブルこがし配線とし、壁内は適合する電線管(PF管)にて保護すること。		

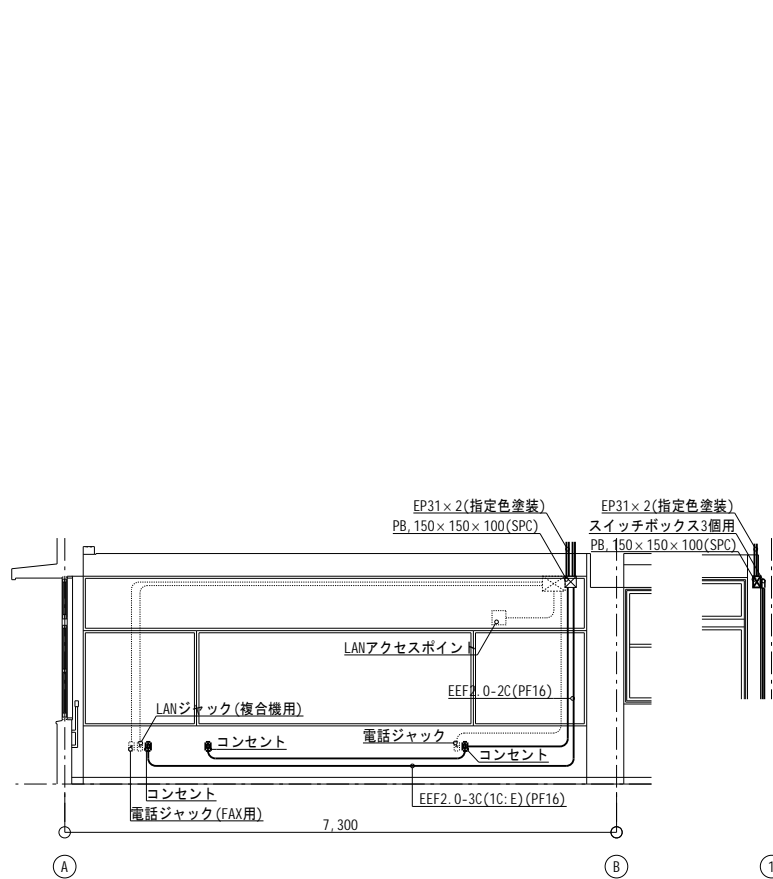
ブルボックス仕様表		
記号	サイズ	材質・仕様
☒ PB4	150×150×150	SPC



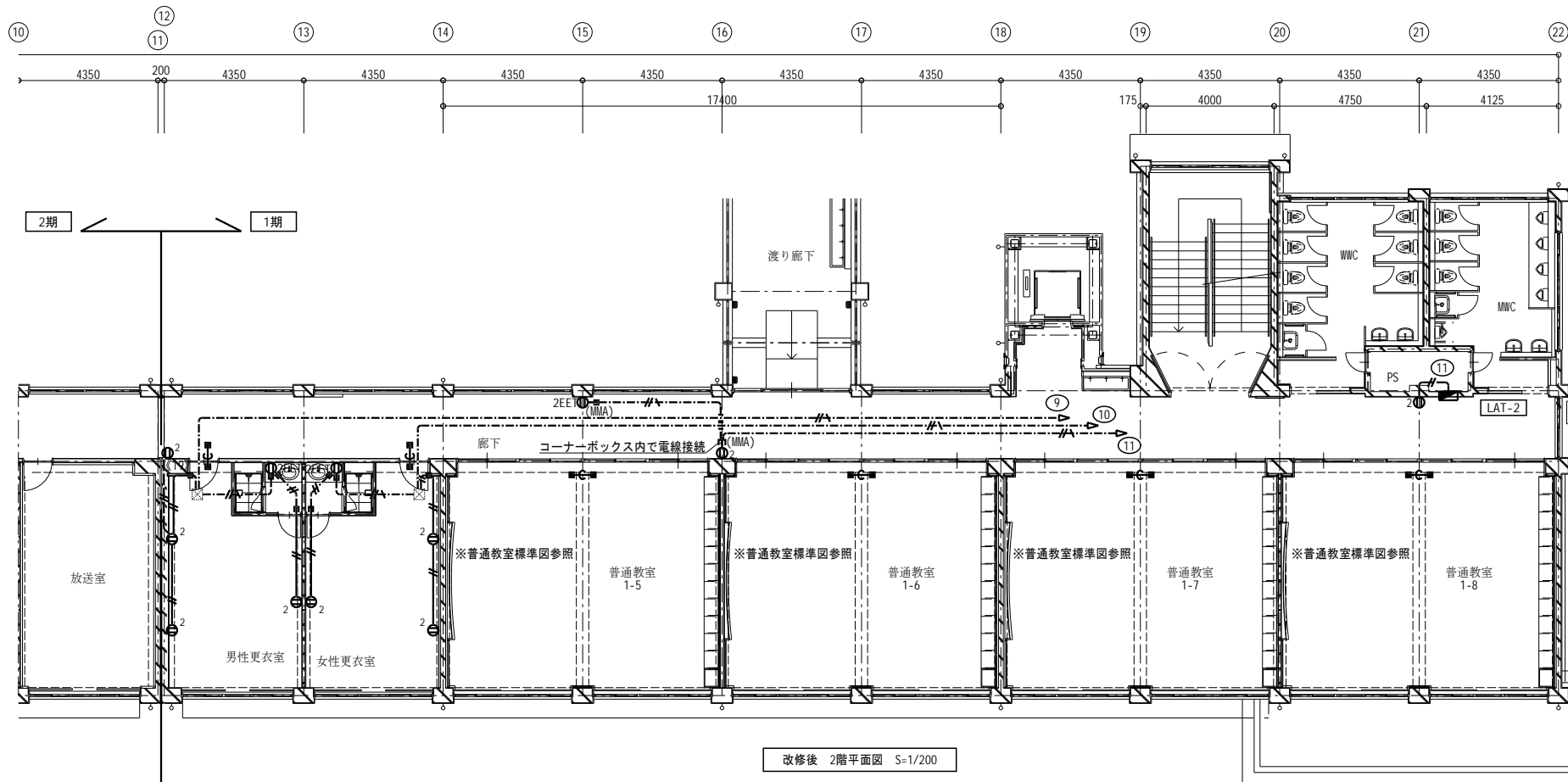
配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
---	EM-EEF2.0-2C (コログシ)	
---	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (コログシ)	
---	EM-EEF2.0-3C(1C:E)×2 (コログシ)	
---	EM-CE8-3C,E5.5 (コログシ)	
---	EM-IE2.0×2 (PF16: インベイ)	
---	EM-IE2.0×2 (床インベイ)	
---	EM-IE2.0×2,E1.6(PF16) (床インベイ)	
---	EM-IE2.0×4,E1.6 (床インベイ)	
---	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (PF22: 調理台内)	
---	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (EP25: 露出/塗装無)	
---	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (ZnGP: 露出/塗装無)	
---	予備配管: 導入線 (PF16: インベイ)	
(MMA)	メタルモールA型	
(MMB)	メタルモールB型	
()	既設配管	

天井内はケーブルころがし配線とし、壁内は適合する電線管(PF管)にて保護すること。

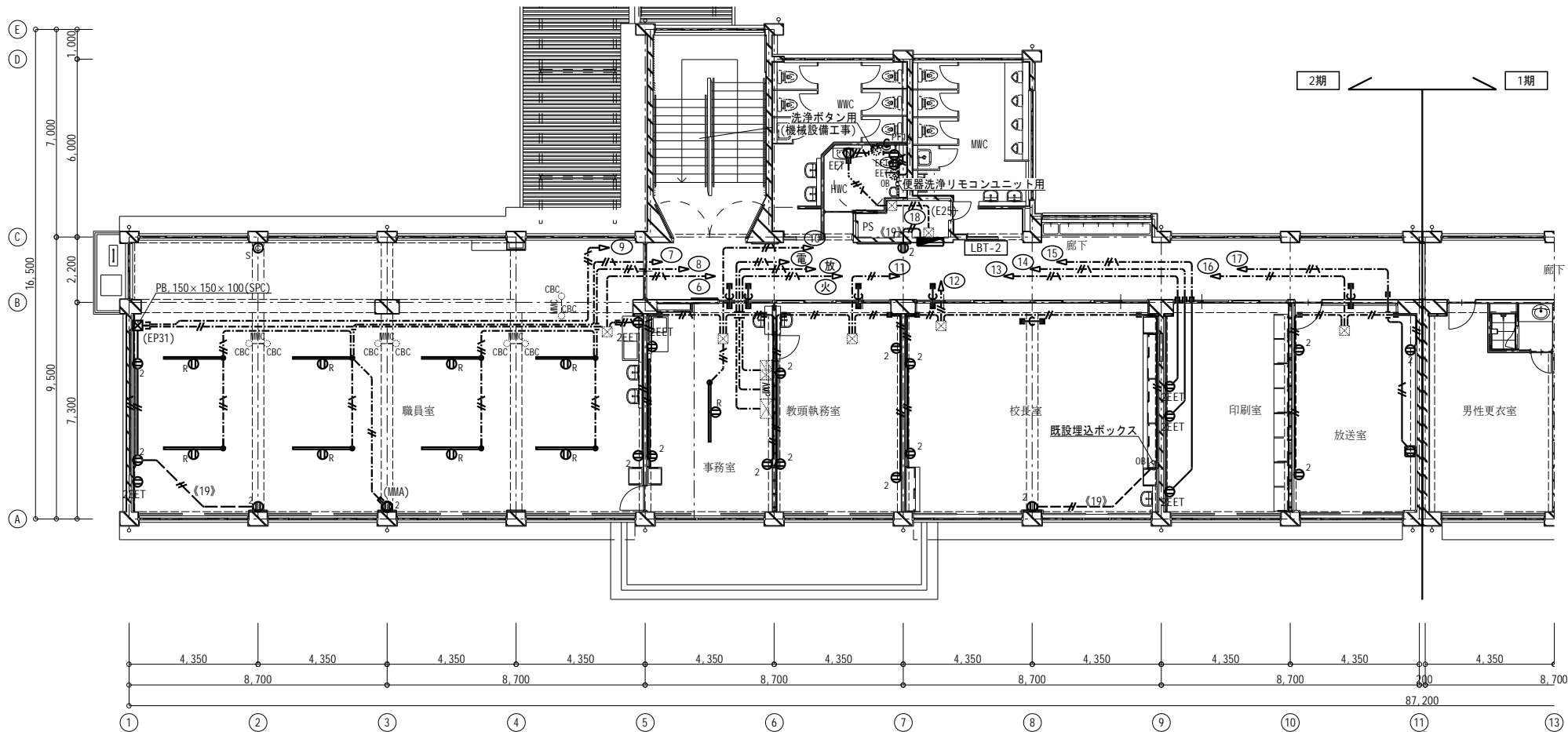
ブルボックス仕様表		
記号	サイズ	材質、仕様
<input checked="" type="checkbox"/> PB5	300×300×100	SPC



職員室西面参考展開・断面図 S=1/100

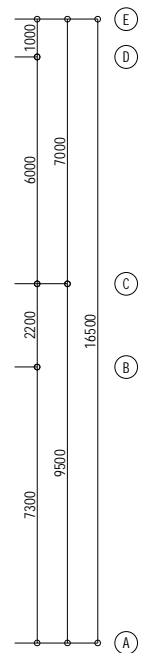
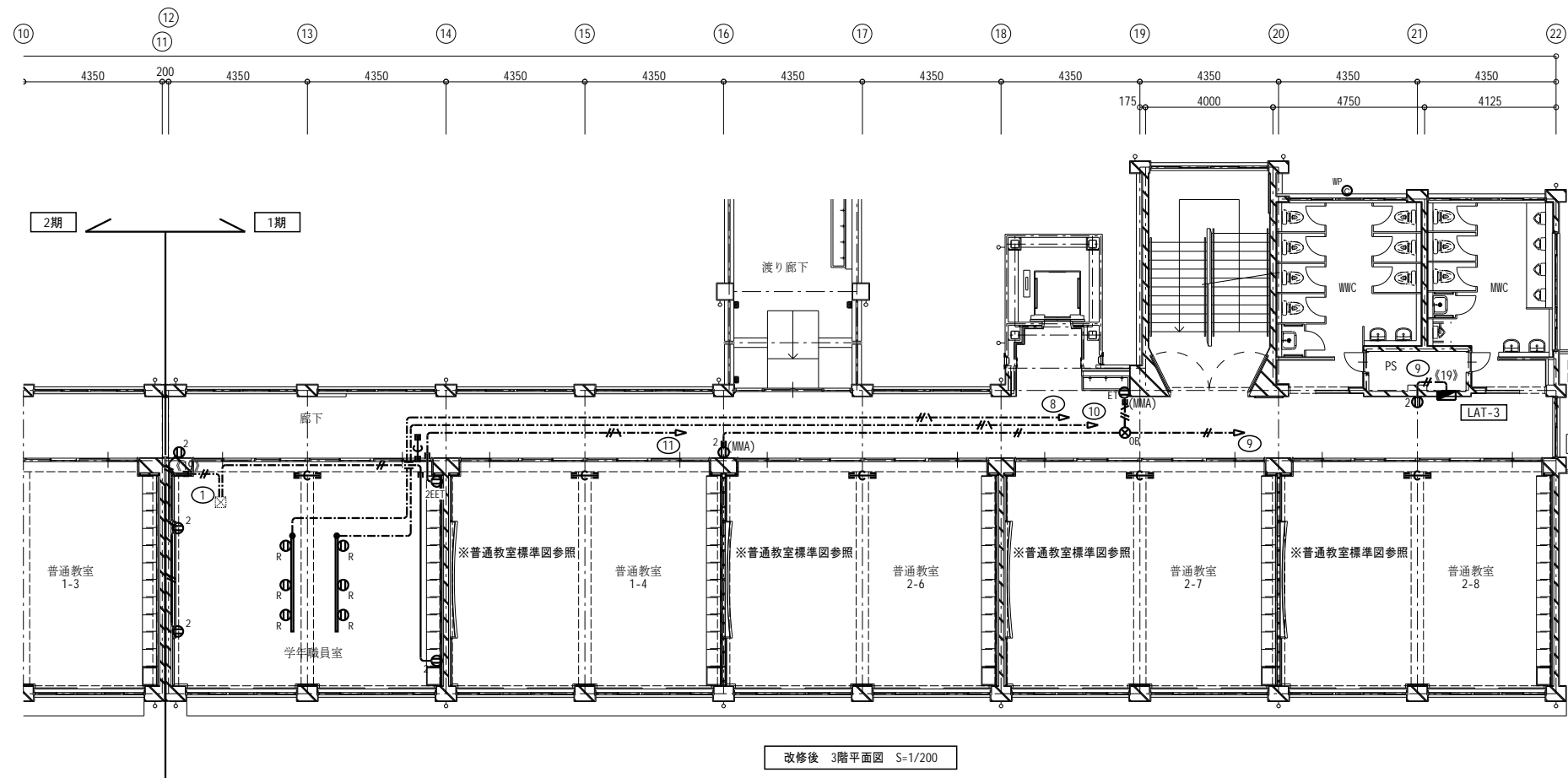


改修後 2階平面図 S=1/200

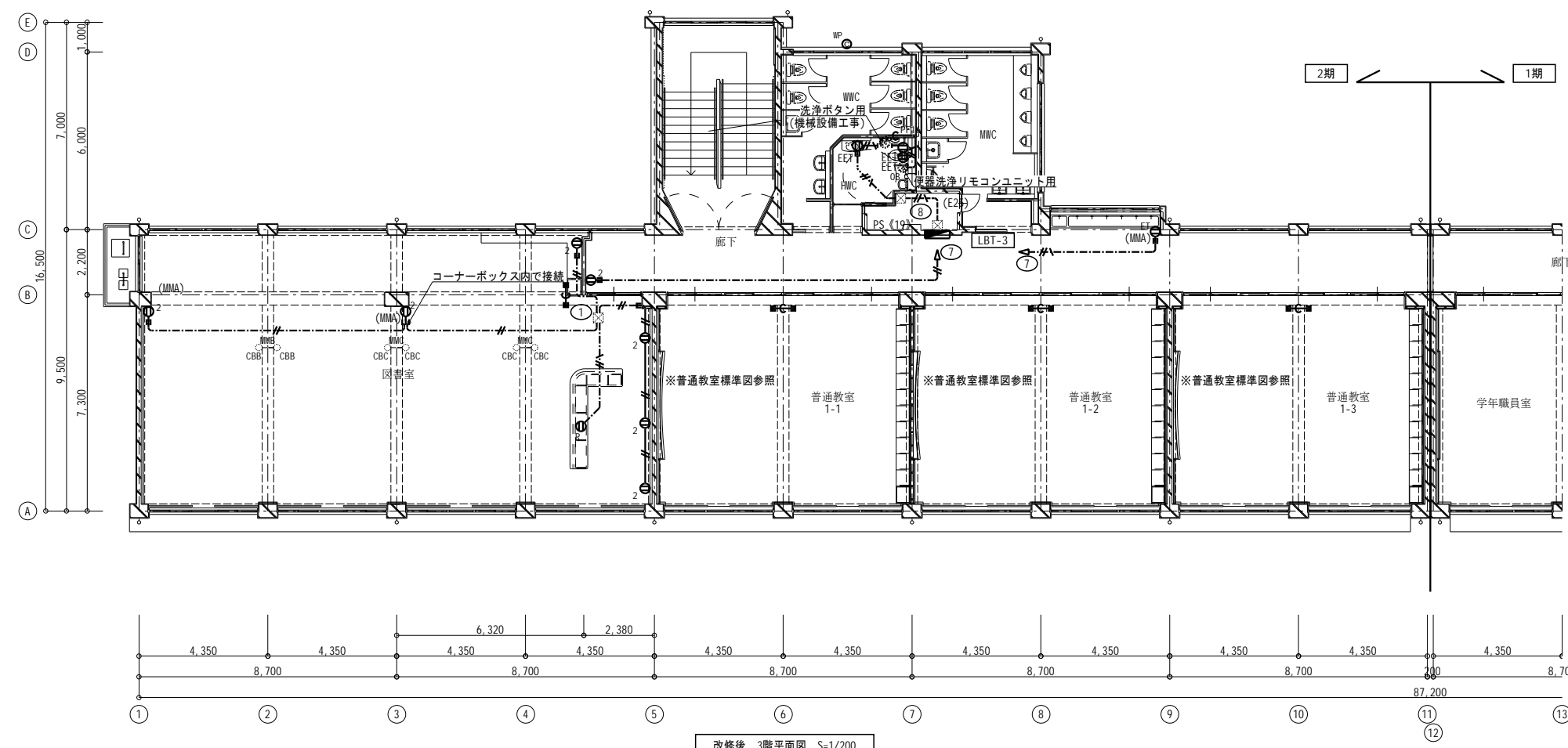


改修後 2階平面図 S=1/200

配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
---#---	EM-EEF2.0-2C (コログシ)	
---#A---	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (コログシ)	
---#---	EM-IE2.0×2 (PF16: インベイ)	
---#---	EM-IE2.0×2 (床インベイ)	
---#A---	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (PF22: 床インベイ)	
---C16---	予備配管: 導入線 (PF16: インベイ)	
CBC○CBC	梁露出部分、メタルモール巻き	
(MMA)	メタルモールC型、コーナーボックスC型	
()	メタルモールA型	
()	既設配管	
天井内はケーブルこしがし配線とし、壁内は適合する電線管(PF管)にて保護すること。		

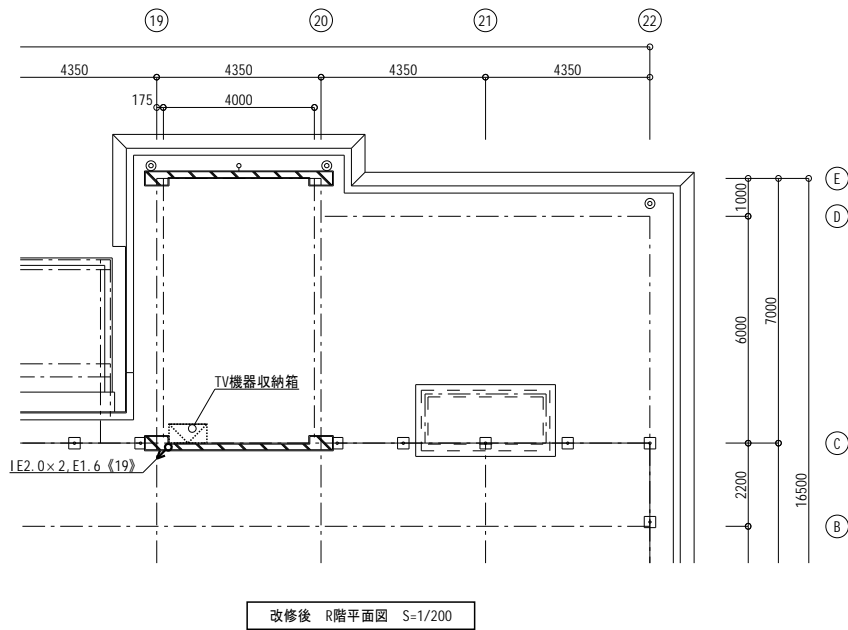
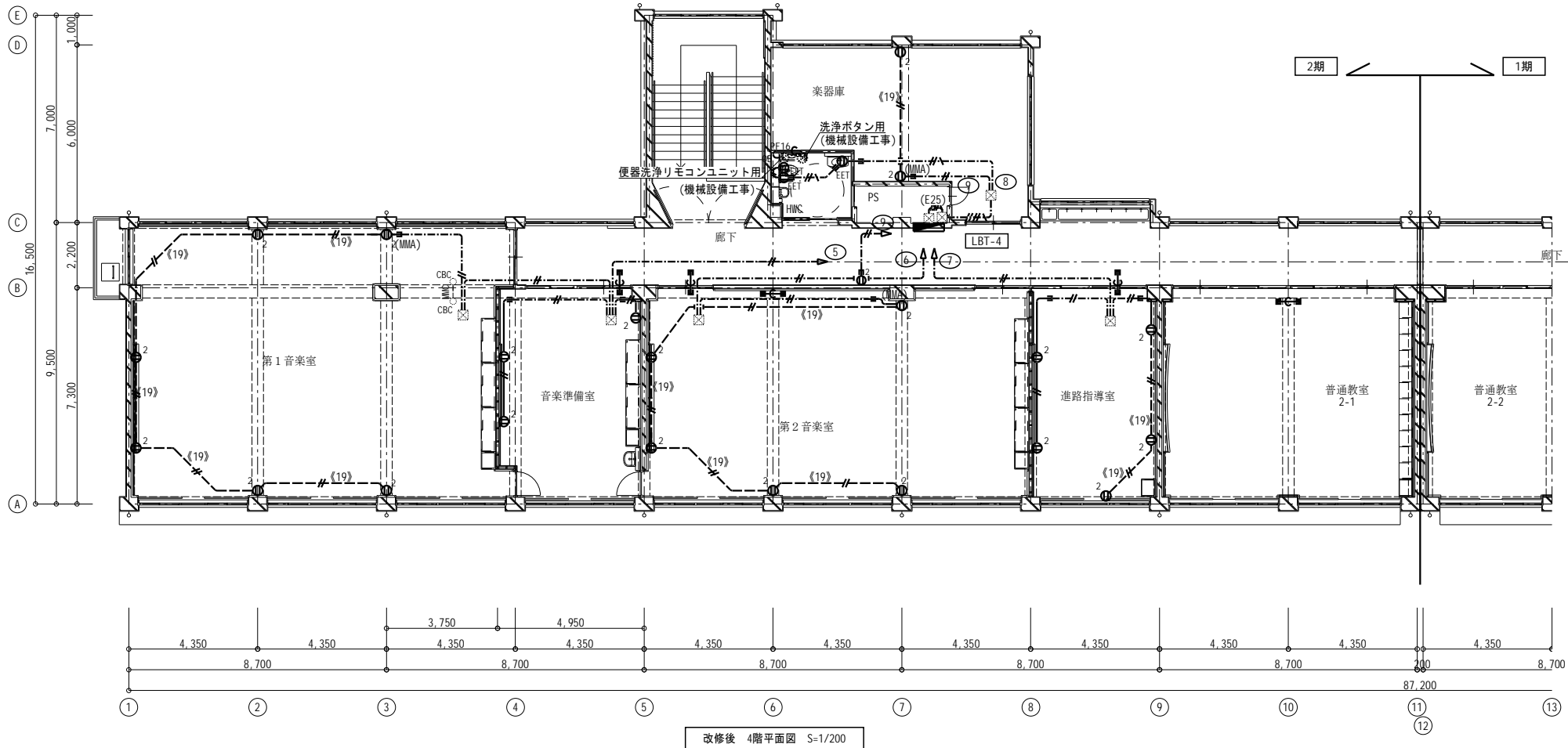
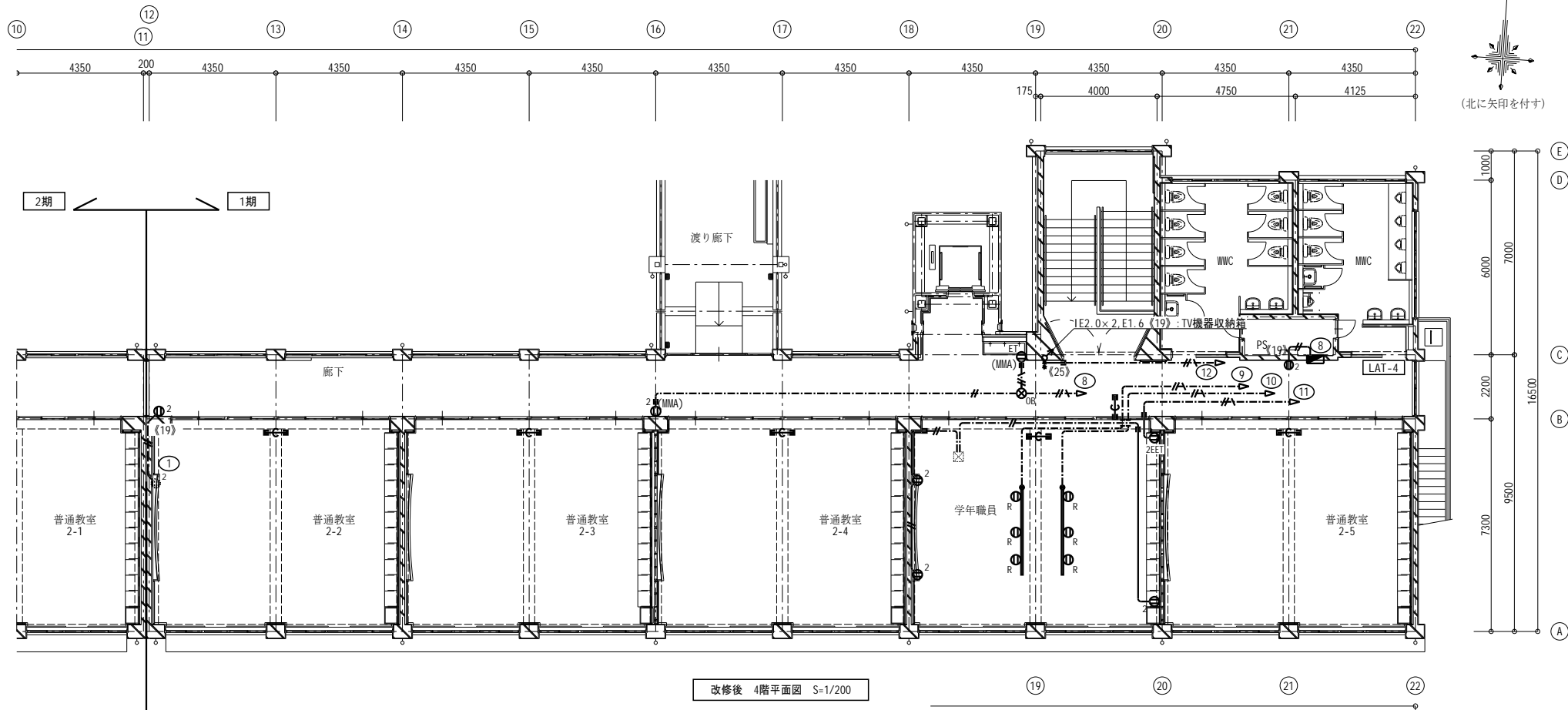


改修後 3階平面図 S=1/200



配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
---	EM-EEF2.0-2C (コロガシ)	
---	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (コロガシ)	
---	EM-IE2.0×2 (PF16: インベイ)	
---	EM-IE2.0×2 (床インベイ)	
---	EM-EEF2.0-2C (PF22: 床インベイ)	
---	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (PF22: 床インベイ)	
---	予備配管: 導入線 (PF16: インベイ)	
CBC	梁露出部分、メタルモール巻き	
MMA	メタルモールC型、コーナーボックスC型	
MMA	メタルモールA型	
《 》	既設配管	
天井内はケーブルころがし配線とし、壁内は適合する電線管(PF管)にて保護すること。		

配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備 考
	EM-EEF2.0-2C (コログシ)	
	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (コログシ)	
	EM-IE2.0×2 (PF16: インベイ)	
	EM-IE2.0×2 (床インベイ)	
	EM-EEF2.0-2C (PF22: 床インベイ)	
	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (PF22: 床インベイ)	
	予備配管: 導入線 (PF16: インベイ)	
	梁露出部分, メタルモール巻き	
	メタルモールC型, コーナーボックスC型	
	メタルモールA型	
	既設配管	
天井内はケーブルころがし配線とし、壁内は適合する電線管(PF管)にて保護すること。		



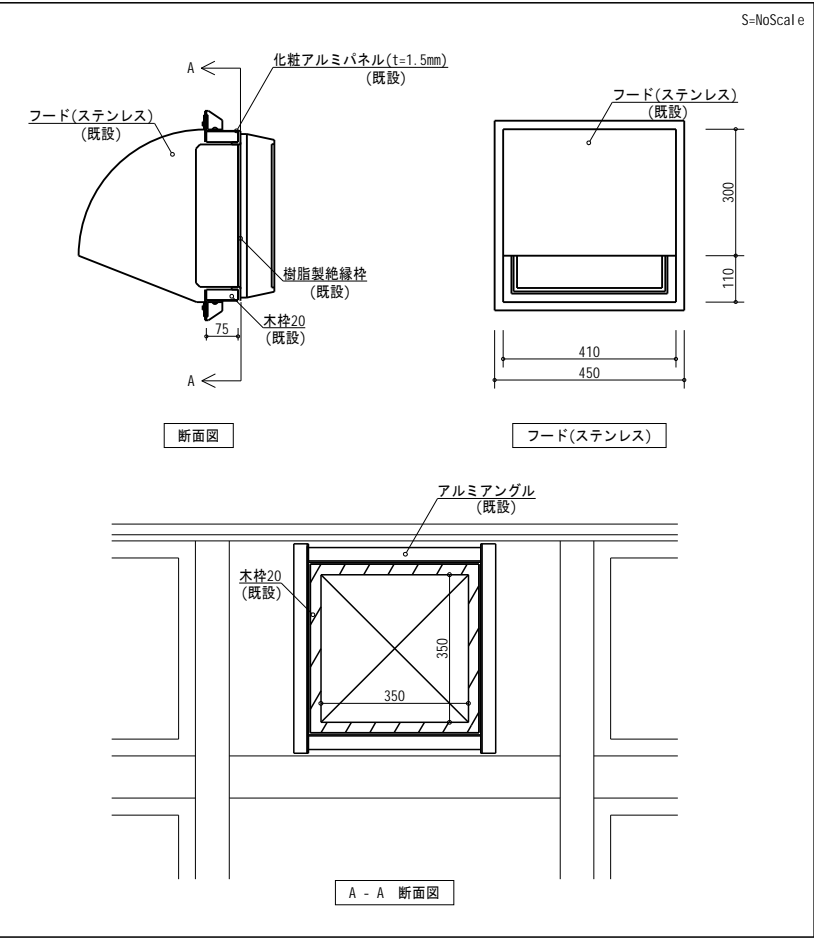
換気計算書(24時間換気)

階	室名	床面積 A _F (m ²)	天井高 (平均) (m)	室容積 (m ³)	実人員 (人)	換気量		24時間換気		電気容量に よる換気量 (m ³ /h)	燃焼器具 (面風速)に よる換気量 (m ³ /h)	必要 換気量 (m ³ /h)	設計 換気量 (m ³ /h)	換気方式	判 定	備 考
						人員密度 (人/m ²)	20m ³ /h・人 (h/m ³)	回数 (回/h)	換気量 (m ³ /h)							
1	心の相談室	63.50	2.65	168.275	2		40.0	0.5	84.0			84.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
1	保健室	39.40	3.05	120.170	2		40.0	0.5	60.0			60.0	1,190.0	第 3 種	OK	FE-1×1台 1,190(m ³ /h)×1台=1,190(m ³ /h)
1	主事室	24.00	2.65	63.600	1		20.0	0.5	32.0		210	210.0	1,190.0	第 3 種	OK	FE-1×1台 1,190(m ³ /h)×1台=1,190(m ³ /h)
1	購買部	22.00	2.65	58.300	1		20.0	0.5	29.0			29.0	1,190.0	第 3 種	OK	FE-1×1台 1,190(m ³ /h)×1台=1,190(m ³ /h)
1	総合学級8組	31.70	3.05	96.685	4		80.0	0.5	48.0			80.0	1,190.0	第 3 種	OK	FE-1×1台 1,190(m ³ /h)×1台=1,190(m ³ /h)
1	多目的室	31.70	3.05	96.685	4		80.0	0.5	48.0			80.0	1,190.0	第 3 種	OK	FE-1×1台 1,190(m ³ /h)×1台=1,190(m ³ /h)
1	多目的室(適応指導室)	63.50	3.05	193.675	5		100.0	0.5	97.0			100.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
1	学習・家庭科準備室	63.50	3.05	193.675	1		20.0	0.5	97.0			97.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
1	家庭科室(被服)	95.10	3.05	290.055	41		820.0	0.5	145.0			820.0	3,570.0	第 3 種	OK	FE-1×3台 1,190(m ³ /h)×3台=3,570(m ³ /h)
1	家庭科室(調理)	95.10	3.05	290.055	41		820.0	0.5	145.0		1,700	1,700.0	3,570.0	第 3 種	OK	FE-1×3台 1,190(m ³ /h)×3台=3,570(m ³ /h)
2	職員室	165.30	3.05	504.165		0.15	495.9	0.5	252.0			496.0	4,760.0	第 3 種	OK	FE-1×4台 1,190(m ³ /h)×4台=4,760(m ³ /h)
2	事務室	31.70	3.05	96.685	4		80.0	0.5	48.0			80.0	1,190.0	第 3 種	OK	FE-1×1台 1,190(m ³ /h)×1台=1,190(m ³ /h)
2	教頭執務室	34.60	3.05	105.530	2		40.0	0.5	53.0			53.0	1,190.0	第 3 種	OK	FE-1×1台 1,190(m ³ /h)×1台=1,190(m ³ /h)
2	校長室	63.50	3.05	193.675	1		20.0	0.5	97.0			97.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
2	印刷室	31.70	3.05	96.685	1		20.0	0.5	48.0			48.0	1,190.0	第 3 種	OK	FE-1×1台 1,190(m ³ /h)×1台=1,190(m ³ /h)
2	放送室	34.60	3.05	105.530	1		20.0	0.5	53.0			53.0	1,190.0	第 3 種	OK	FE-1×1台 1,190(m ³ /h)×1台=1,190(m ³ /h)
2	女子職員更衣室	28.10	3.05	85.705		0.15	84.3	0.5	43.0			429.0	1,190.0	第 3 種	OK	FE-1×1台 1,190(m ³ /h)×1台=1,190(m ³ /h)
2	男子職員更衣室	28.10	3.05	85.705		0.15	84.3	0.5	43.0			429.0	1,190.0	第 3 種	OK	FE-1×1台 1,190(m ³ /h)×1台=1,190(m ³ /h)
2	普通教室	63.50	3.05	193.675	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
2	普通教室	63.50	3.05	193.675	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
2	普通教室	63.50	3.05	193.675	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
2	普通教室	63.50	3.05	193.675	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
3	図書室	160.00	3.05	488.000		0.15	480.0	0.5	244.0			480.0	4,760.0	第 3 種	OK	FE-1×4台 1,190(m ³ /h)×4台=4,760(m ³ /h)
3	普通教室	63.50	3.05	193.675	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
3	普通教室	63.51	3.05	193.706	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
3	普通教室	63.51	3.05	193.706	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
3	学年職員室	63.51	3.05	193.706	8		160.0	0.5	97.0			160.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
3	普通教室	63.51	3.05	193.706	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
3	普通教室	63.51	3.05	193.706	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
3	普通教室	63.51	3.05	193.706	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
3	普通教室	63.51	3.05	193.706	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
4	第1音楽室	120.33	3.05	367.007	41		820.0	0.5	184.0			820.0	3,570.0	第 3 種	OK	FE-1×3台 1,190(m ³ /h)×3台=3,570(m ³ /h)
4	音楽準備室	35.39	3.05	107.940	1		20.0	0.5	54.0			54.0	1,190.0	第 3 種	OK	FE-1×1台 1,190(m ³ /h)×1台=1,190(m ³ /h)
4	第2音楽室	95.26	3.05	290.543	41		820.0	0.5	145.0			820.0	3,570.0	第 3 種	OK	FE-1×3台 1,190(m ³ /h)×3台=3,570(m ³ /h)
4	進路指導室	31.75	3.05	96.838	2		40.0	0.5	48.0			48.0	1,190.0	第 3 種	OK	FE-1×1台 1,190(m ³ /h)×1台=1,190(m ³ /h)
4	普通教室	63.51	3.05	193.706	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
4	普通教室	63.51	3.05	193.706	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
4	普通教室	63.51	3.05	193.706	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
4	普通教室	63.51	3.05	193.706	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
4	学年職員室	63.51	3.05	193.706	8		160.0	0.5	97.0			160.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)
4	普通教室	63.51	3.05	193.706	41		820.0	0.5	97.0			820.0	2,380.0	第 3 種	OK	FE-1×2台 1,190(m ³ /h)×2台=2,380(m ³ /h)

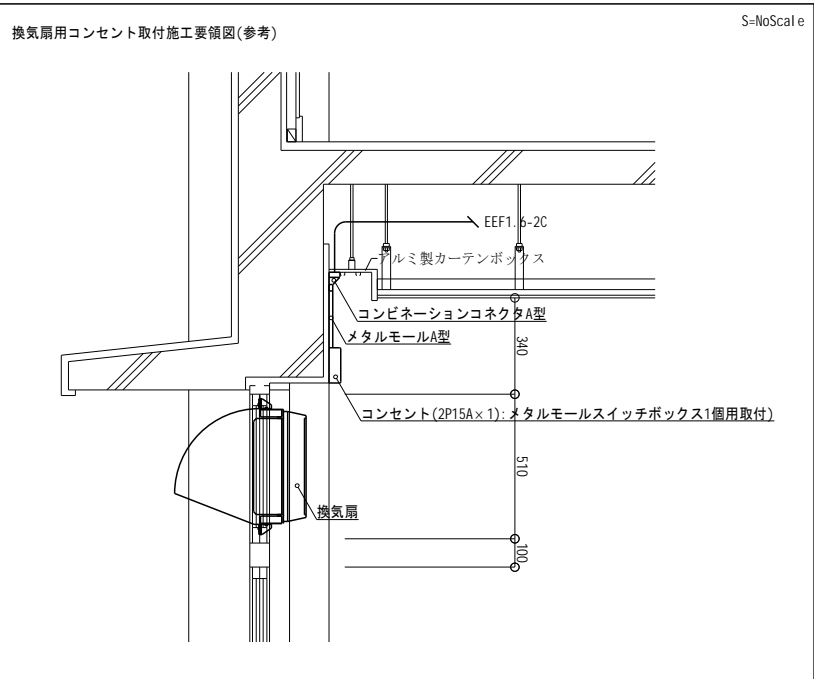
換 気 機 器 表

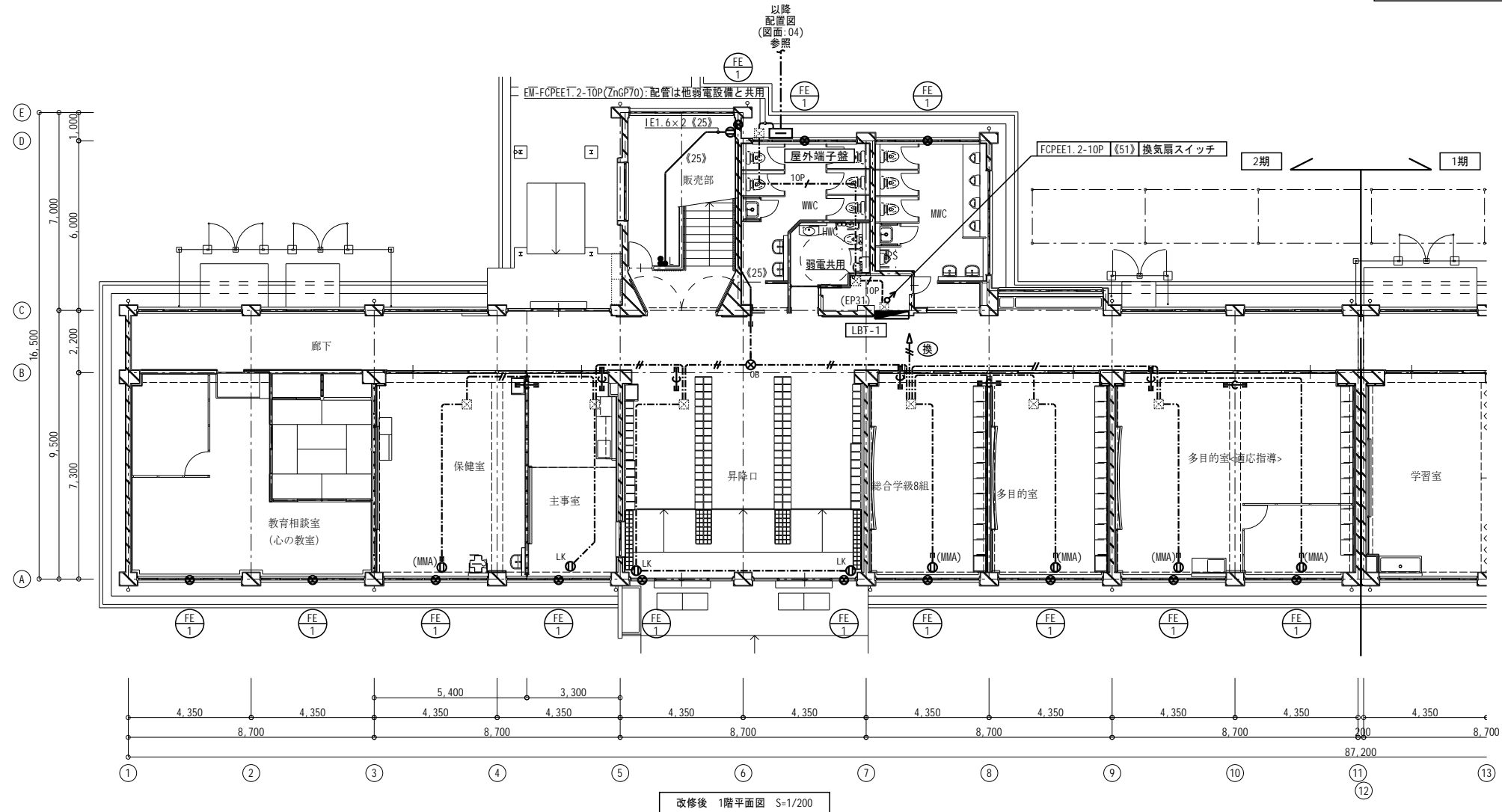
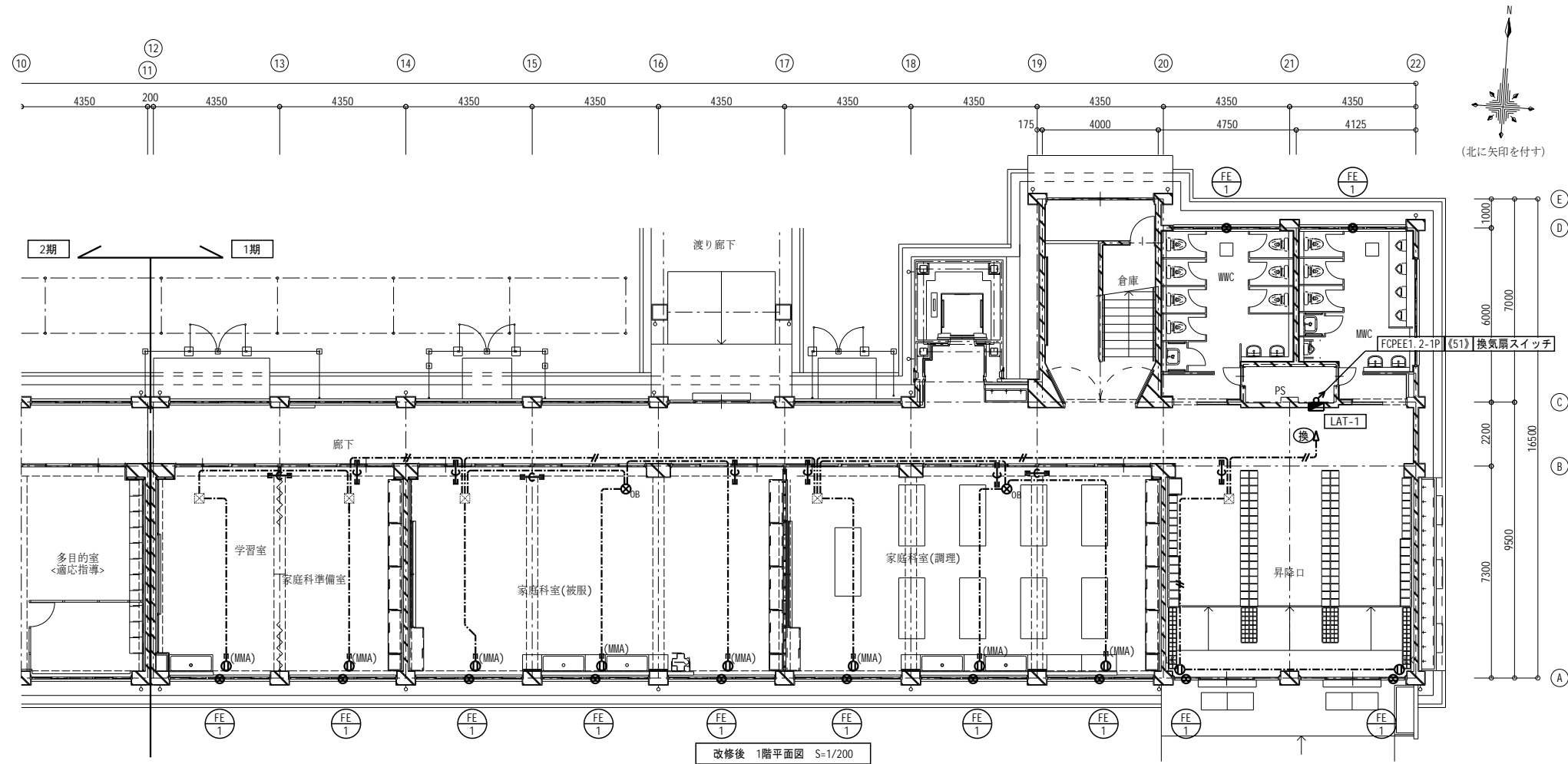
機器番号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源	消費電力 (W)	台数	備考
FE 1	壁付換気扇	1190m ³ /h 30cm 樹脂製 格子付 電気式シャッター：新設	1φ100V	50	97	
		アルミ化粧パネル 絶縁枠 木枠：既設流用				
		アルミパネル アンクル補強：既設流用				
		ステンレスフード アルミパネル：既設流用				

換気扇取付施工要領図

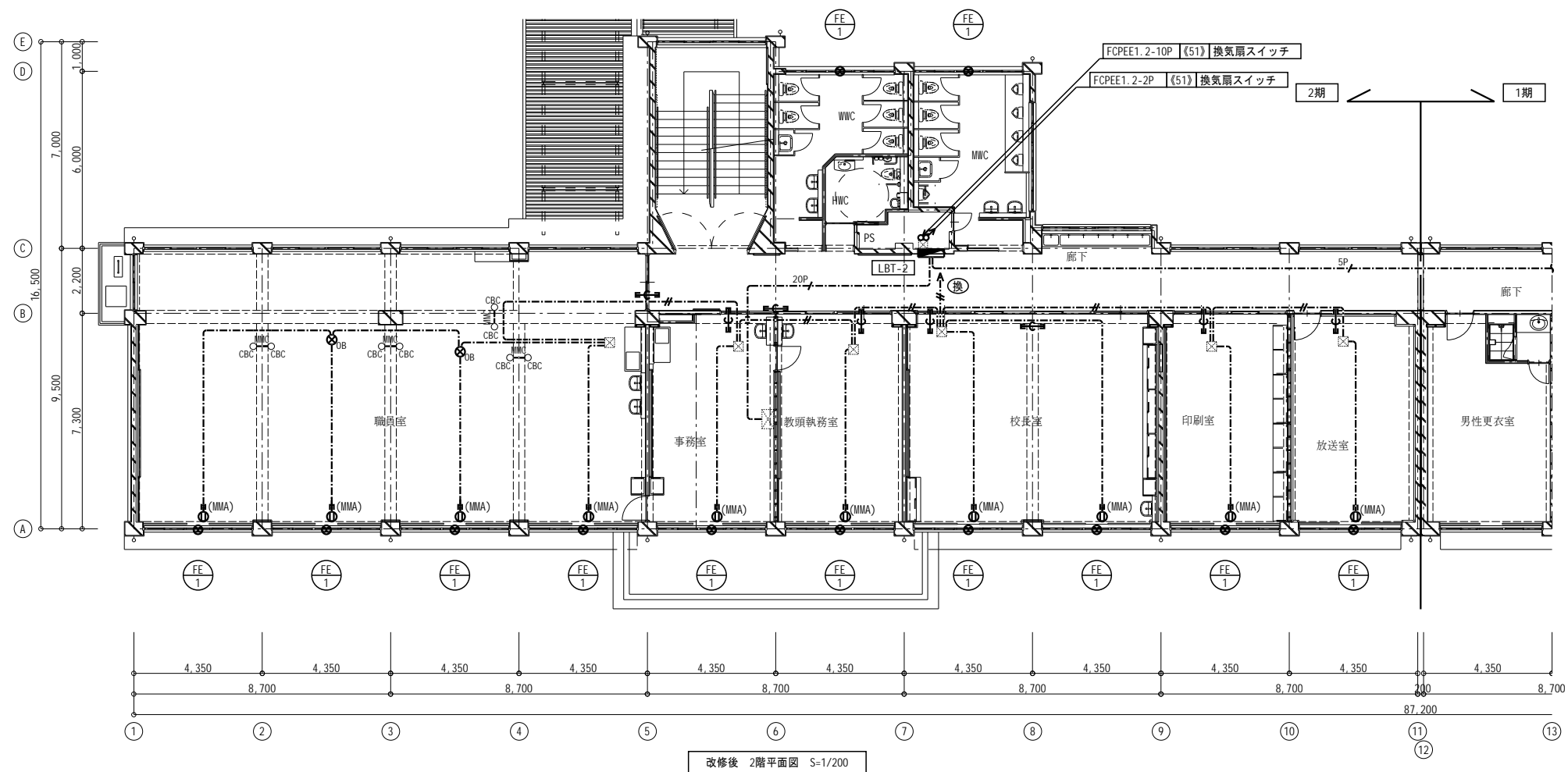
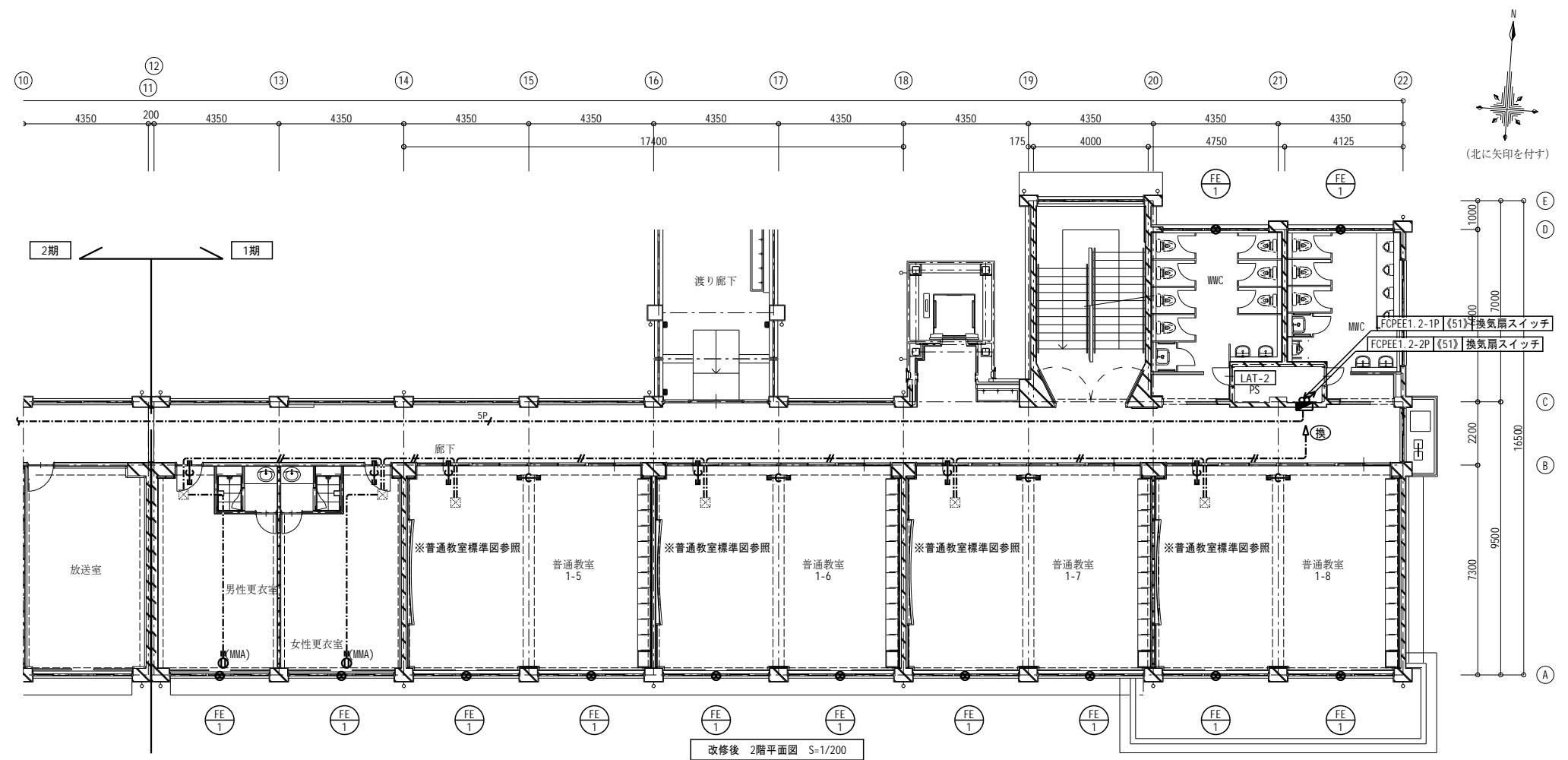


換気扇用コンセント取付施工要領図

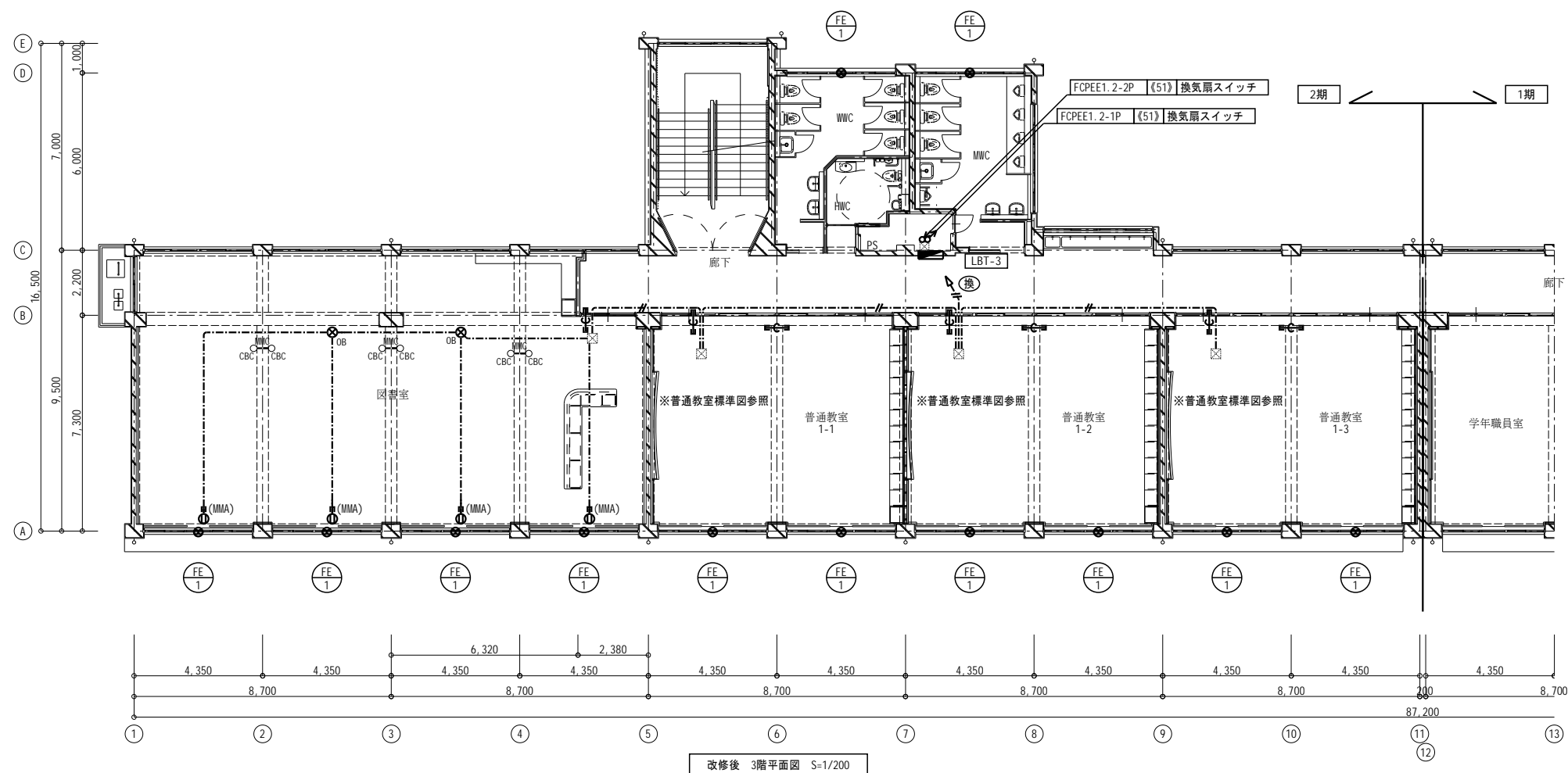
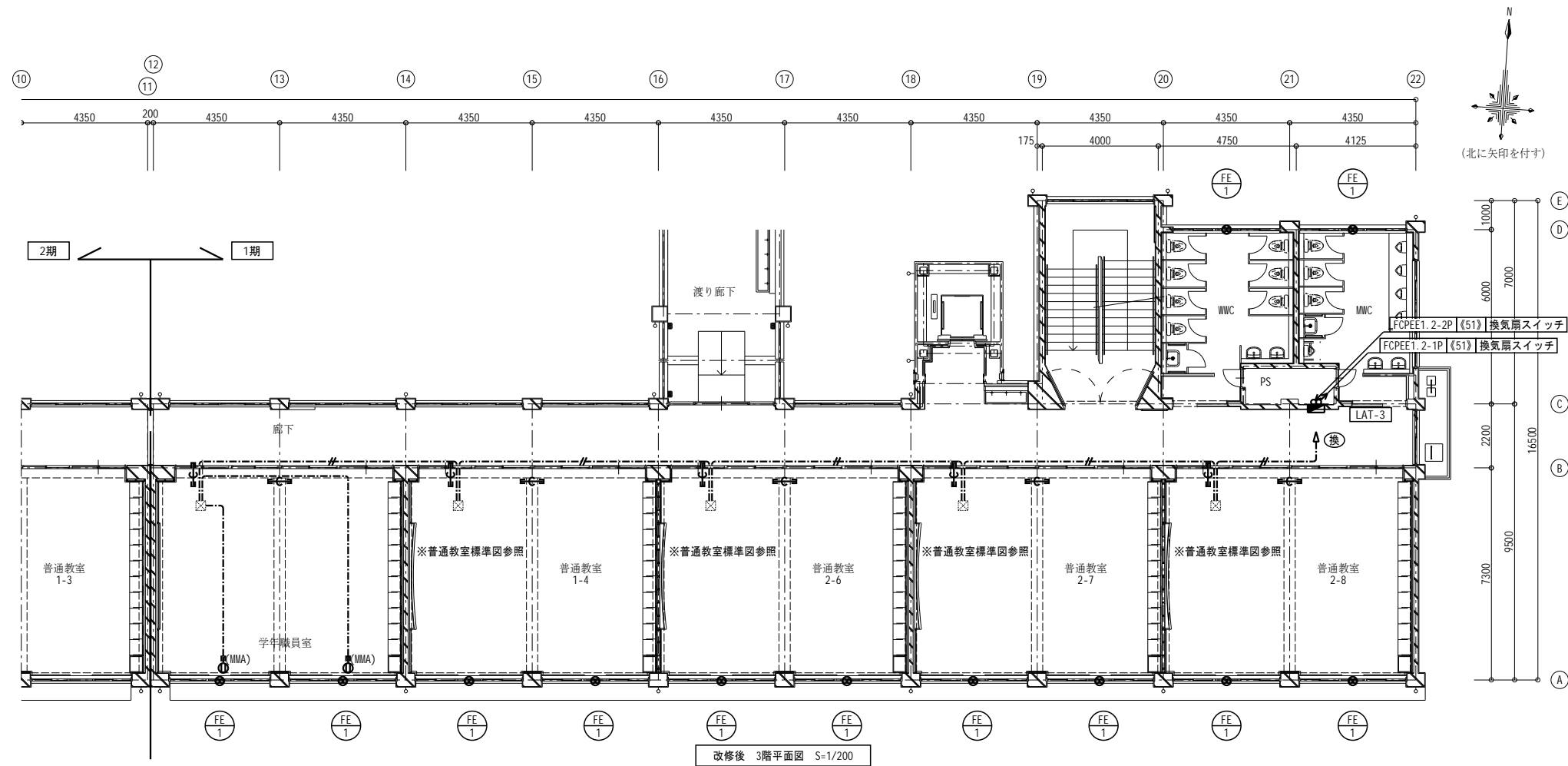




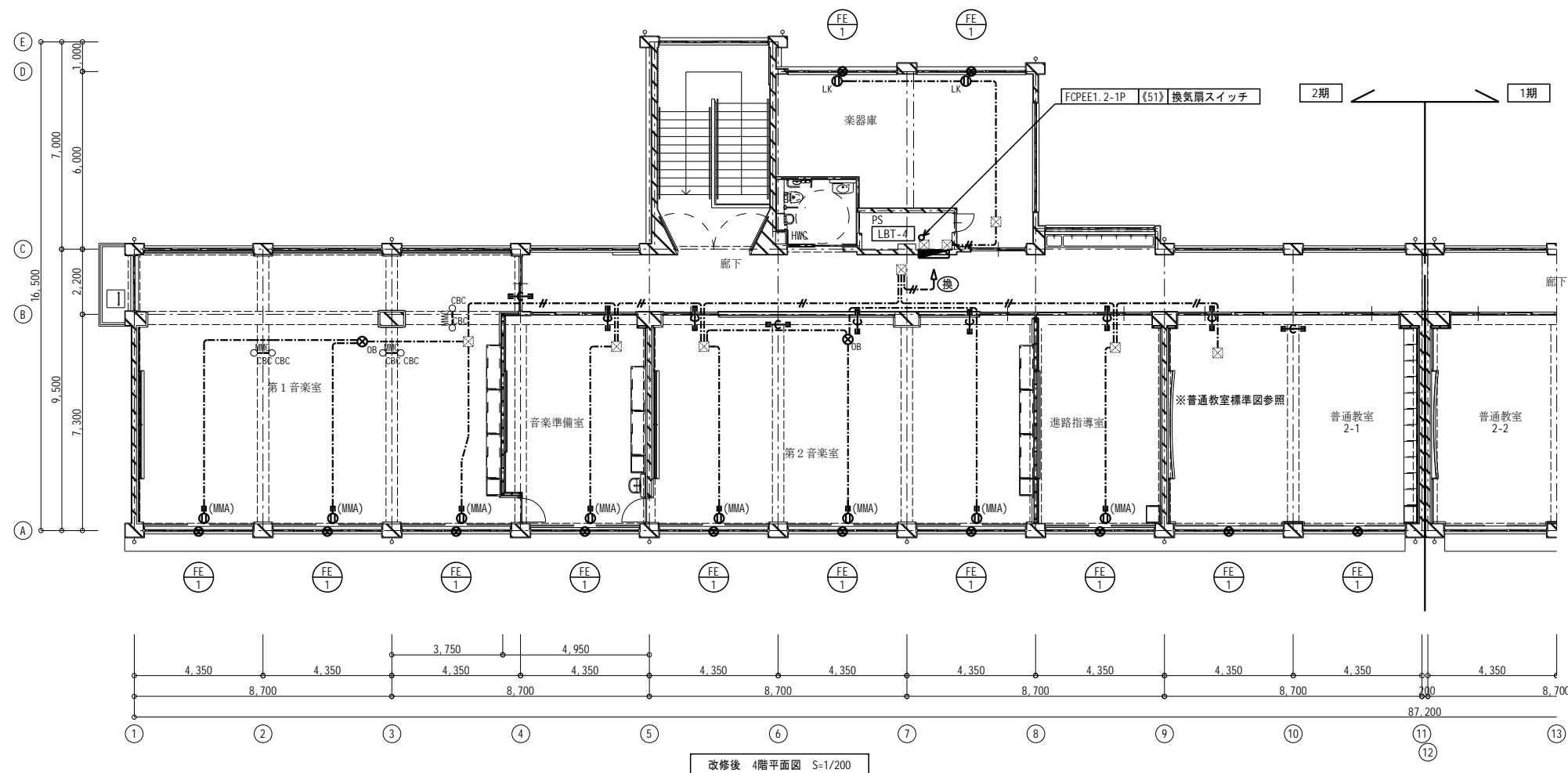
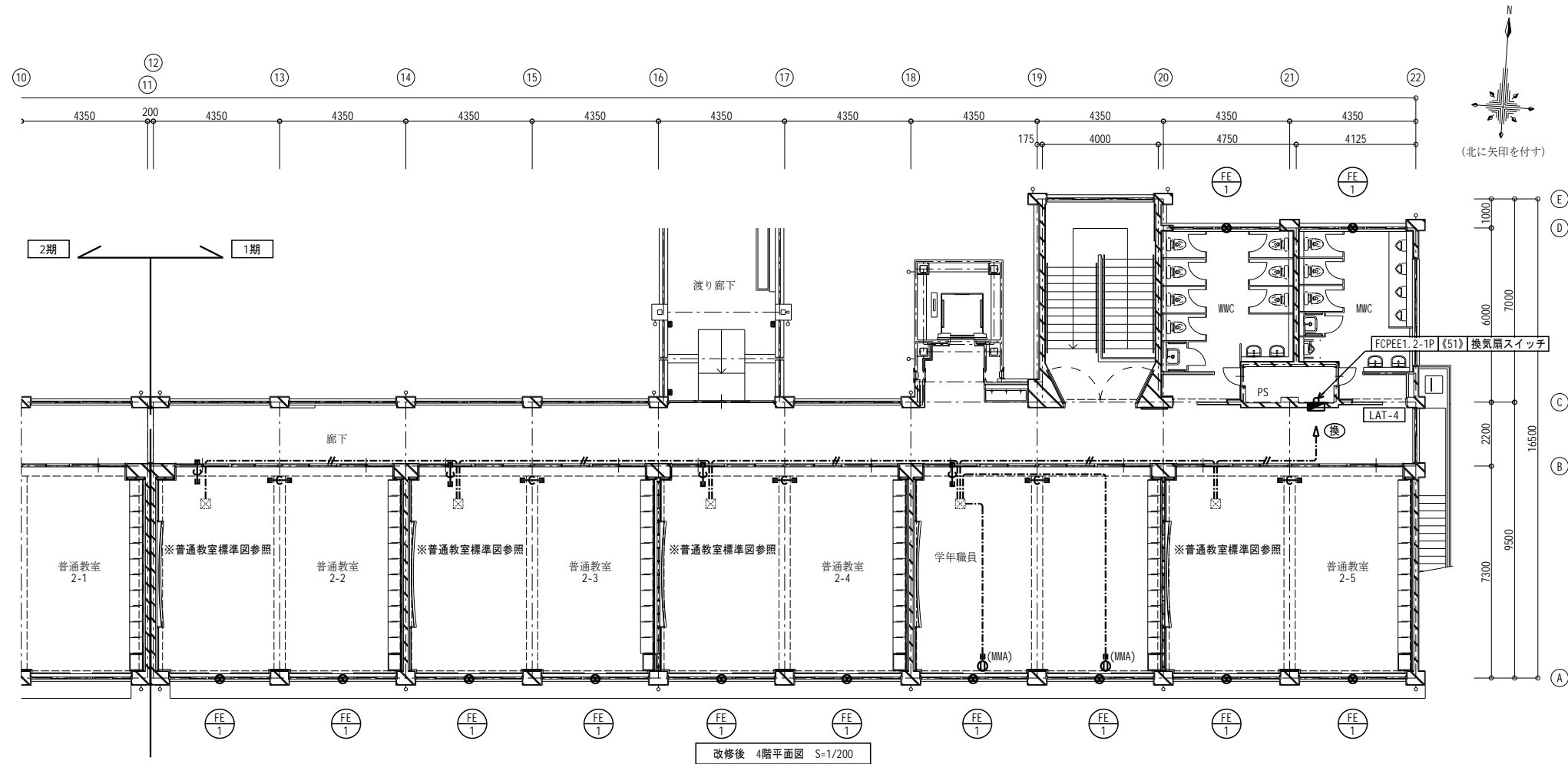
配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
—	EM-EEF1.6-2C (既設EP: インベイ)	
- - -	EM-EEF1.6-2C (コロガシ)	
- - -	EM-EEF2.0-2C (コロガシ)	
- - -	EM-FCPEE1.2-1P (コロガシ)	
- - -	EM-FCPEE1.2-10P (コロガシ)	
- - -	EM-FCPEE1.2-10P (EP31: 露出/塗装無)	
(MMA)	メタルモールA型	
< >	既設配管	



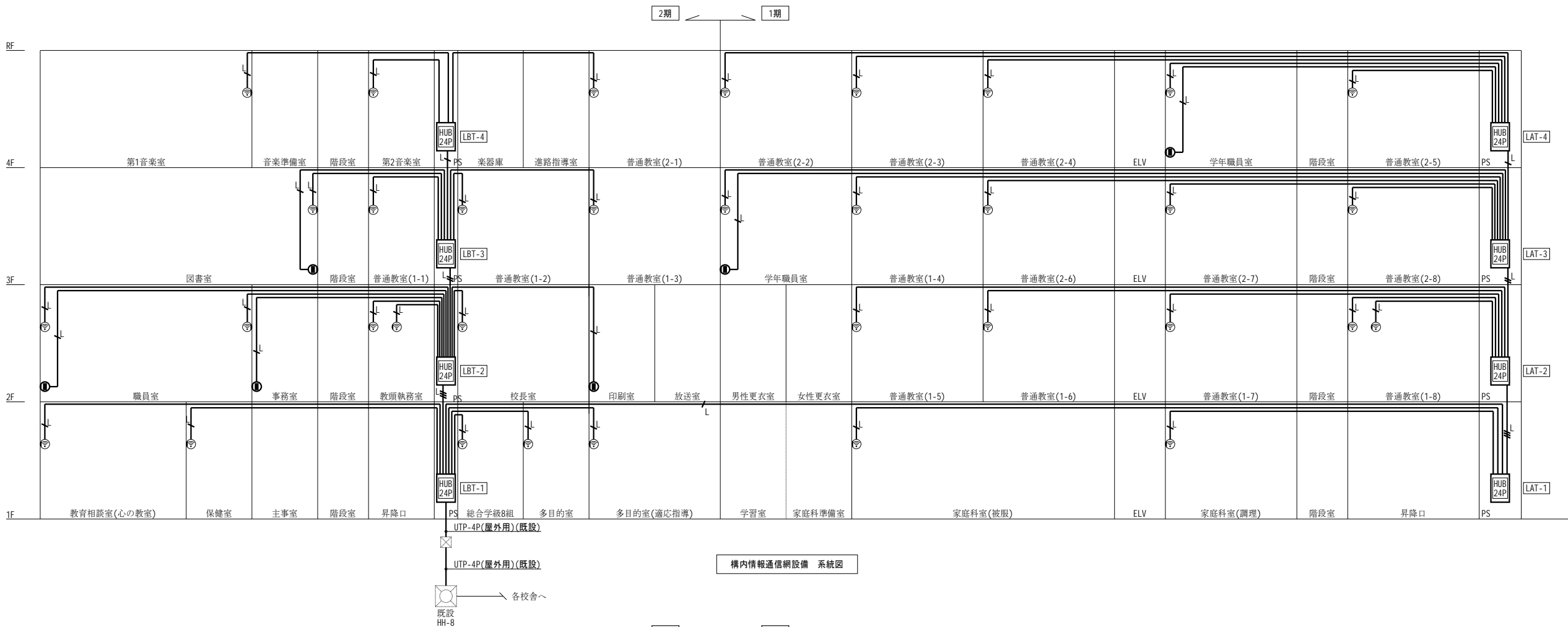
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
-----EM-EEF1.6-2C-----	EM-EEF1.6-2C (コロガシ)	
----- EM-EEF2.0-2C -----	EM-EEF2.0-2C (コロガシ)	
----- EM-FCPEE1.2-1P -----	EM-FCPEE1.2-1P (コロガシ)	
----- EM-FCPEE1.2-20P -----	EM-FCPEE1.2-20P (コロガシ)	
(MMA)	メタルモール A 型	



配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
----	EM-EEF1.6-2C (コロガシ)	
----	EM-EEF2.0-2C (コロガシ)	
----	EM-FCPEE1.2-1P (コロガシ)	
(MMA)	メタルモールA型	



配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
---	EM-EEF1.6-2C (コロガシ)	
---	EM-EEF2.0-2C (コロガシ)	
---	EM-FCPEE1.2-1P (コロガシ)	
(MMA)	メタルモールA型	



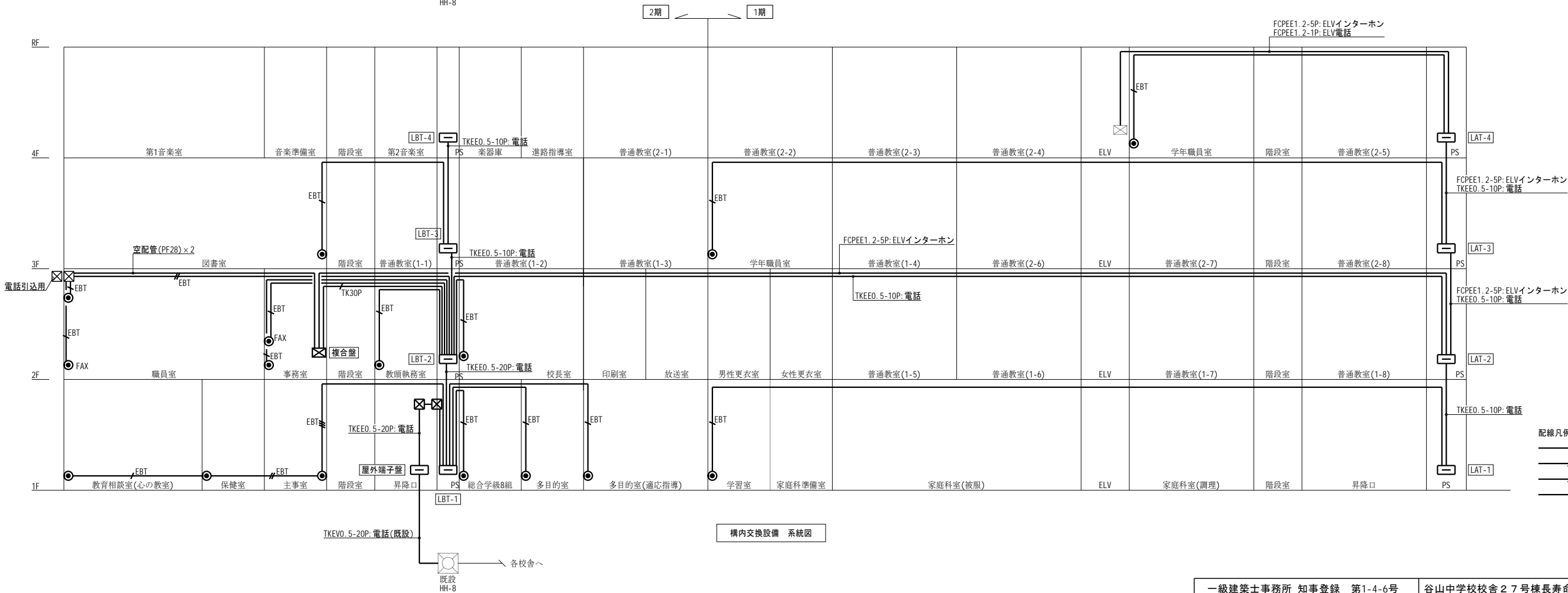
配線凡例

- EM-UTPCat6A-4P
- EM-UTPCat6A-4P×2
- EM-UTPCat6A-4P×3

※ AP取付は別途工事

※ HUB(24ポート)8個のうち、
4個は既設取外し品再取付
4個は支給品を本工事にて取付

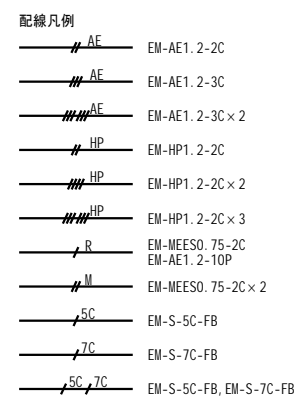
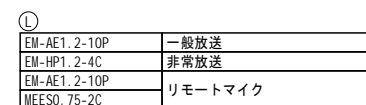
構内情報通信網設備 系統図



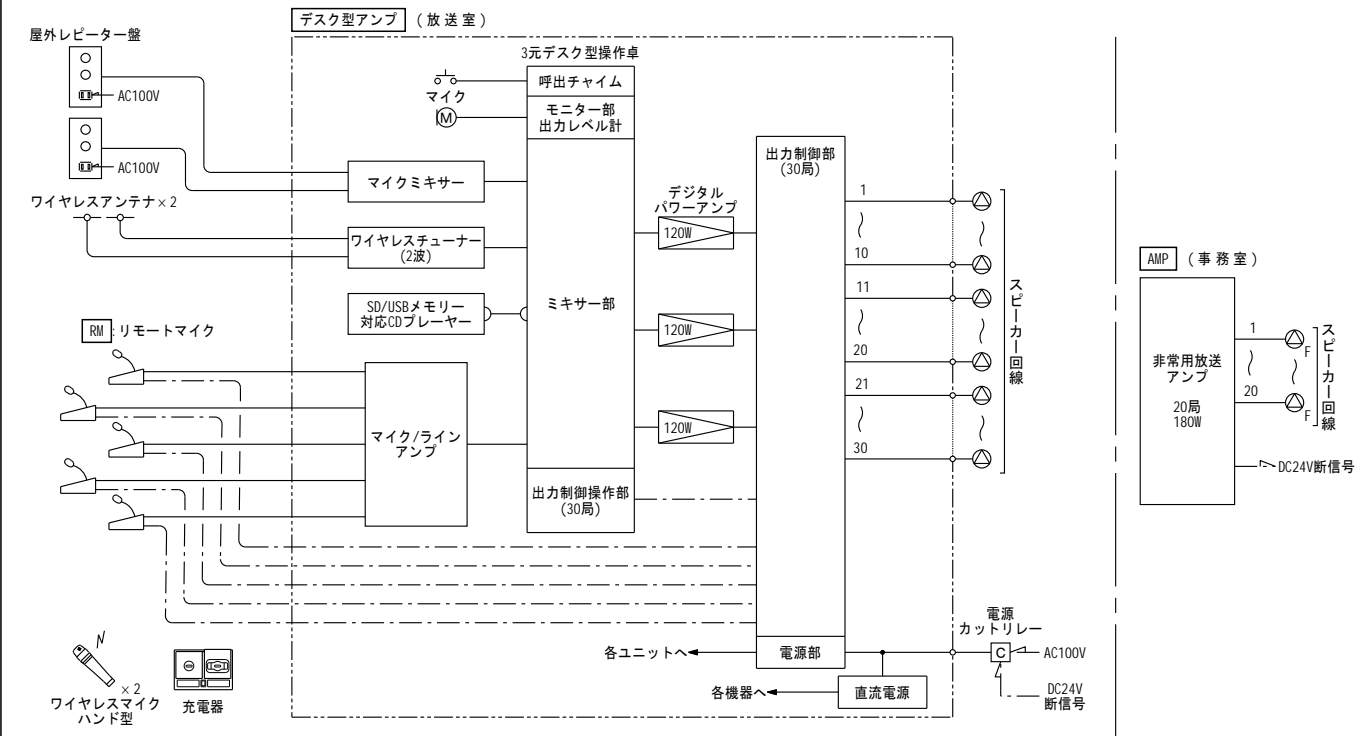
配線凡例

- EM-EBT0.5-2P
- EM-EBT0.5-2P×2
- EM-EBT0.5-2P×3
- EM-TKEEO.5-30P

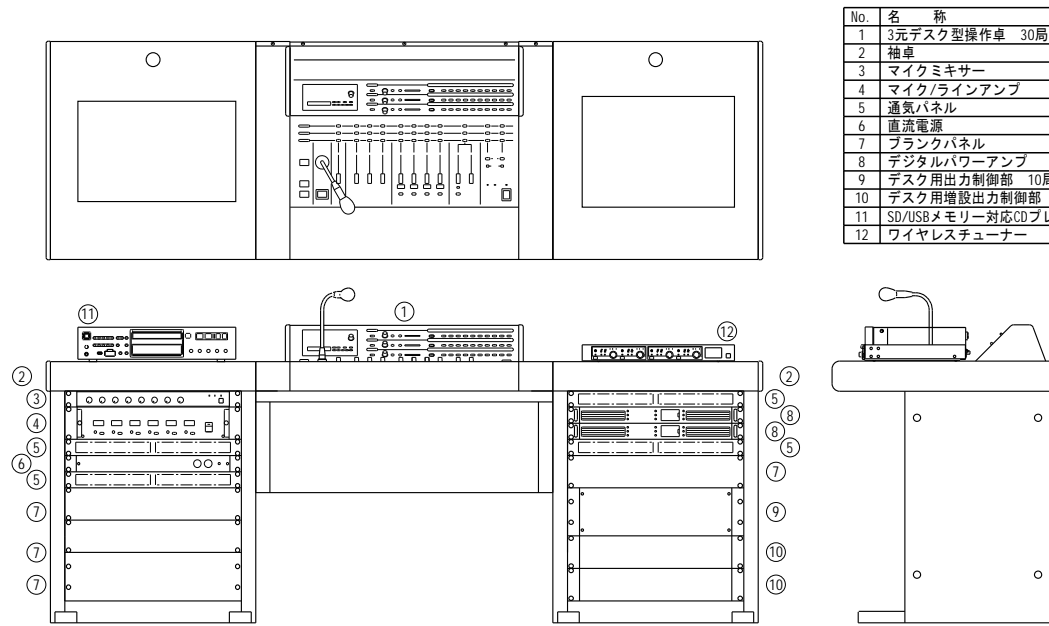
構内交換設備 系統図



システムブロック図



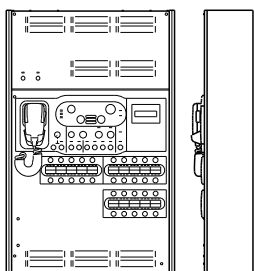
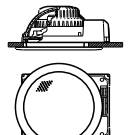
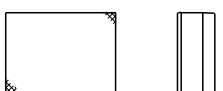
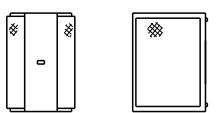
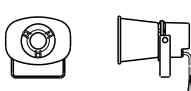
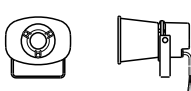

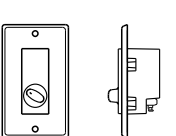
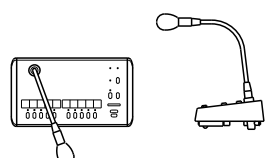
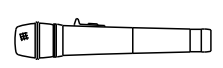
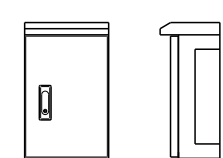
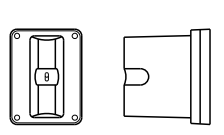
一般放送デスク型アンプ



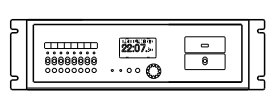
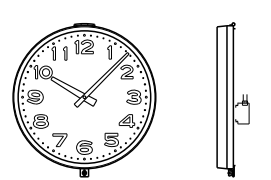
No.	名 称
1	3元デスク型操作卓 30局
2	袖卓
3	マイクミキサー
4	マイク/ラインアンプ
5	通気パネル
6	直流電源
7	ブラックパネル
8	デジタルパワーアンプ
9	デスク用出力制御部 10局
10	デスク用増設出力制御部 10局
11	SD/USBメモリー対応CDプレーヤー
12	ワイヤレスチューナー

電源	AC100V 50/60Hz
定格出力	120W×3
周波数特性	50～15,000Hz
入力回路	アナウンスマイク×1、マイク×3 演奏機器×4、リモートマイク×1 タイマー×1、ミキサー×1
出力回路	系統出力×3、録音出力×2 モニター出力×2、スタジオ連絡×1
出力制御	1元あたり10局 (一斉スイッチ付) ×3
外部制御入力	電源リモート×1
その他	4音電子式チャイム、スタジオ連絡放送、 一斉アナウンス優先放送、ワンタッチ放送

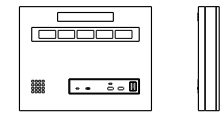
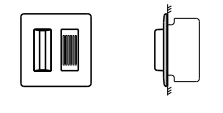
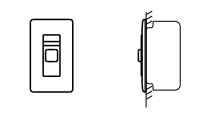
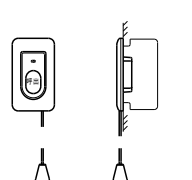
■マイクミキサー	
入力	マイク×6、予備×4
出力	ライン、録音
周波数特性	30Hz～20kHz
■マイク/ラインアンプ	
入力	マイク(ライン)×6、ミックス、他
出力	6チャンネル、ミックス
周波数特性	20Hz～20kHz
その他	機能選択スイッチ、ブリッジ出力
■直流電源	
入力	DC24V
出力	AC動作時: DC24V±0.5V 2.5 A DC動作時: DC入力電圧から約1V低下した電圧
■SD/USBメモリー対応CDプレーヤー	
使用メディア	CD、CD-R、CD-RW SD/SDHCカード、USBメモリー
再生ファイル形式	CD-DA、WAV、MP2、MP3、AAC、WMA
出力	アナログ×、デジタル×2
■ワイヤレスチューナー	
入力	アンテナ×4、ミキシング×1
出力	単独×4、ミキシング×1
受信方式	ダイバシティ受信方式
受信周波数	800MHz帯
チューナーユニット	2波実装済 (最大4波)

AMP 非常放送アンプ(壁掛形)	天井埋込型スピーカー	木製壁掛型スピーカー	壁掛型両面スピーカー(非常放送用)
既設品再使用	天井埋込型スピーカー(非常放送用)	SW2HI -3V0	
			
	SC6HI -3V0-M		
	定格入力 3W(3.3kΩ), 1W(10kΩ) 出力音圧レベル 95dB(1W, 1m) 周波数特性 90Hz～15kHz スピーカー 16cmコーン型 仕上 枠: 樹脂 ネット: アルミバンテング その他 防塵カバー一体型	定格入力 3W(3.3kΩ), 1W(10kΩ) 出力音圧レベル 95dB(1W, 1m) 周波数特性 160Hz～17kHz スピーカー 16cmコーン型 仕上 本体: 木製 ネット: ジャージ	定格入力 6W(1.7kΩ), 2W(5kΩ) 出力音圧レベル 92dB(1W, 1m) 周波数特性 130Hz～13kHz スピーカー 16cmコーン型×2 仕上 本体: 木製 ネット: ジャージ
F 5W ホーンスピーカー(非常放送用)	F 天井埋込型スピーカー(非常放送用)	ホーンスピーカー	アッテネーター
SH-5	SH-5	SH-15	V-3S
			
常用電源 AC100V 50/60Hz 非常電源 DC24V 密閉型ニカド電池実装 定格出力 180W 非常系統数 20系統	入力容量 5W(2kΩ), 3W(3.3kΩ), 1W(10kΩ) 出力音圧レベル 106dB(1W, 1m) 周波数特性 400Hz～10kHz その他 防水性能: IP65	入力容量 15W(670Ω), 10W(1kΩ), 5W(2kΩ) 音量切換 3W(3.3kΩ) 出力音圧レベル 110dB(1W, 1m) 周波数特性 250Hz～7kHz その他 防水性能: IP65	入力容量 0.5～6W 音量切換 5段階切換 仕上 プレート: アルミ
RM リモートマイク	ワイヤレスマイク ハンド型×2本	RP 放送レピータ盤	壁取付用ワイヤレスアンテナ
			
電源 DC24V(本体より供給) マイク 単一指向性 スピーカー制御 10局一斉	送信周波数 800MHz帯 (30波のうち1波スイッチ切替) 充電器共	コネクター マイク用: XLR-3-32F77×2 電源用: ACコンセント(アース付) 材質 ステンレス鋼板(SUS304) t=1.5 指定色塗装 その他 アース端子付、鍵付	電源 DC7～12V(本体より供給) 受信周波数 800MHz帯 その他 防水性能: IPX2、壁取付型

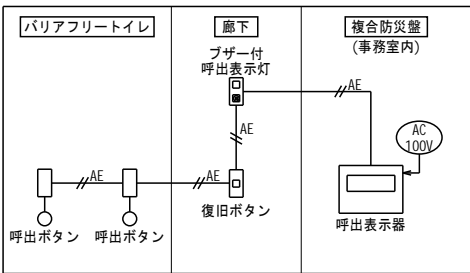
電気時計設備 参考姿図

年間プログラムタイマ付水晶式観時計	非常放送盤内組込
CR1-P8(既設品)	
	
形 状 ラック型	
子時計駆動数 1回線当り最大30個 (1個12mA)	
プログラムタイマー 8回路	
時刻修正 地デジ式	
	
φ700壁掛形時計 防雨型 SUS	
ケース ステンレス製(防雨型)クリーム色	
文字板 アルミニウム 白色	
文 字 黒色印刷	
指 針 アルミニウム 黒色	
ガラス 強化ガラス t4	
機 体 DC24V 有極30秒運針	

トイレ呼出設備 参考姿図

トイレ呼出表示器 5窓	トイレ呼出 ブザー付廊下灯	トイレ呼出 復旧ボタン
		
電源電圧 AC100V 50/60Hz(内部電源DC12V)	形 状 壁埋込型(2個用スイッチボックス)	形 状 壁埋込型(1個用スイッチボックス)
形 状 壁取付型	材 質 ランプカバー: ポリカーボネート	材 質 本体: 樹脂
材 質 SPCC t1.2	プレート: ステンレス	プレート: ステンレス
窓 数 5窓	備 考 ブザー付	備 考 非防水形
表示方式 呼出音と表示窓点灯		
トイレ呼出 呼出ボタン(引きひも付)		
		
形 状 壁埋込型(1個用スイッチボックス)		
材 質 自己消火性樹脂		
備 考 引きひも式、押ボタン式両用		

トイレ呼出設備 回路図



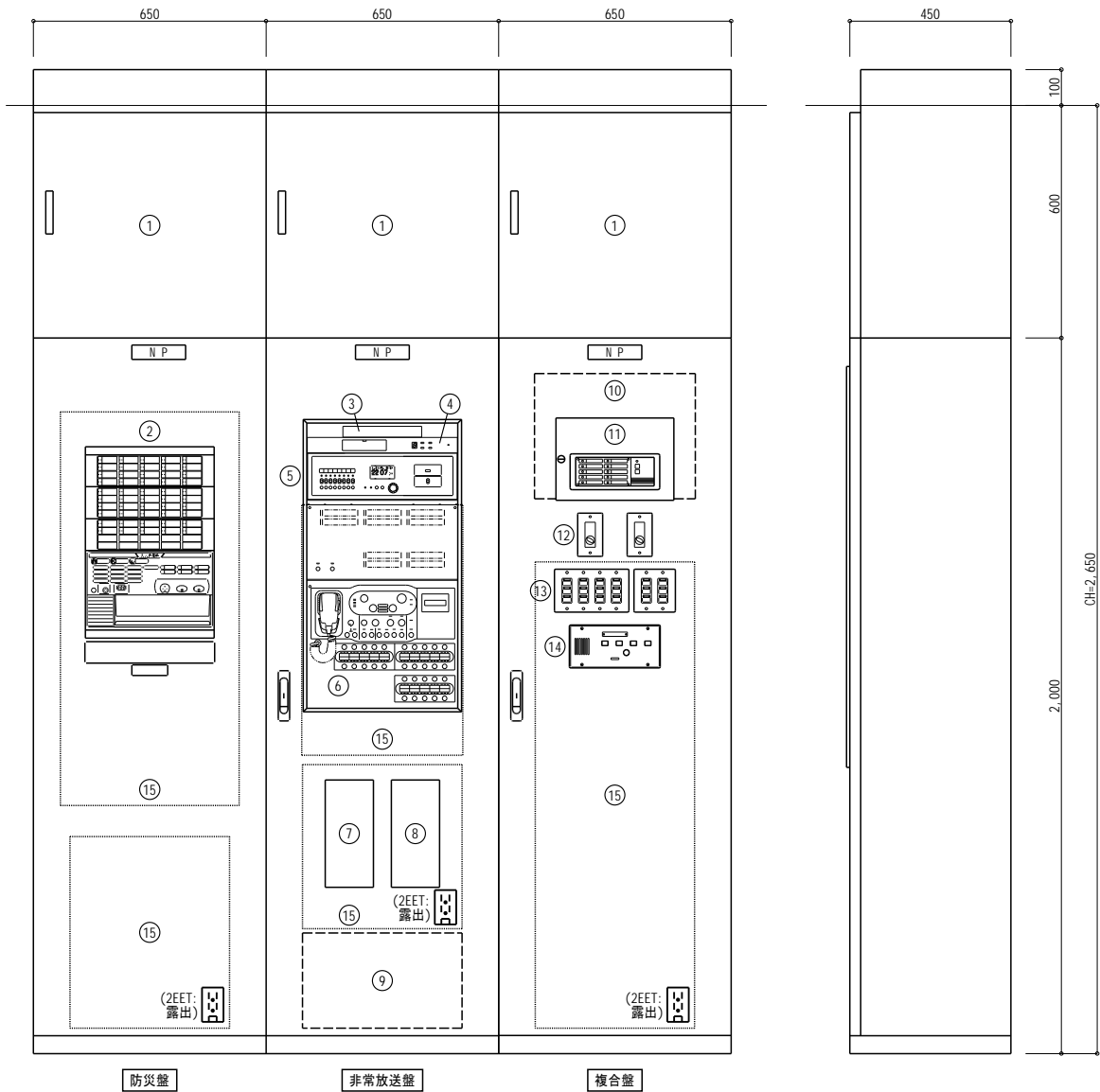
受信機表示					
自火報	1 A棟 1階西側	2 A棟 2階西側	3 A棟 3階西側	4 A棟 4階西側	5 A棟 西階段
	6 A棟 1階東側	7 A棟 2階東側	8 A棟 3階東側	9 A棟 4階東側	10 A棟 東階段
	11 B棟 1階	12 B棟 2階	13 B棟 3階	14 B棟 4階	15 B棟 階段
	16 エレベーター	17 予備	18 柔剣道場	19 給食棟	20 C棟 1階
	21 C棟 2階	22 C棟 3階	23 C棟 階段	24 屋内運動場 ステージ下倉庫	25 屋内運動場 玄関
防火戸	26 屋内運動場 控室	27 屋内運動場 クラブ室及天井裏	28 屋内運動場 運動場玄関側	29 屋内運動場 運動場ステージ側	30 屋内運動場 ステージ及天井裏
	31 A棟西階段 1階 防火戸	32 A棟西階段 2階 防火戸	33 A棟西階段 3階 防火戸	34 A棟西階段 4階 防火戸	35 予備
	36 A棟東階段 1階 防火戸	37 A棟東階段 2階 防火戸	38 A棟東階段 3階 防火戸	39 A棟東階段 4階 防火戸	40 予備
	41 B棟西側 1階 防火戸	42 B棟西側 2階 防火戸	43 B棟西側 3階 防火戸	44 B棟西側 4階 防火戸	45 予備
	46 C棟 1階 防火戸	47 C棟 2階 防火戸	48 C棟 3階 防火戸	49 予備	50 予備

非常放送アンプ放送区域設定				
A棟 1階	A棟 2階	A棟 3階	A棟 4階	A棟 北側
B棟 1階	B棟 2階	B棟 3階	B棟 4階	B棟 北側
C棟 1階	C棟 2階	C棟 3階	C棟 北側	運動場
特殊学級	屋内運動場 柔剣道場	給食室	予備	予備
グループ設定パネル グループ設定なし				

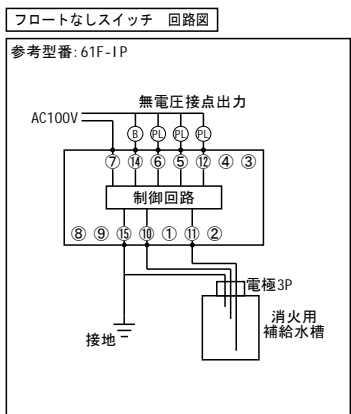
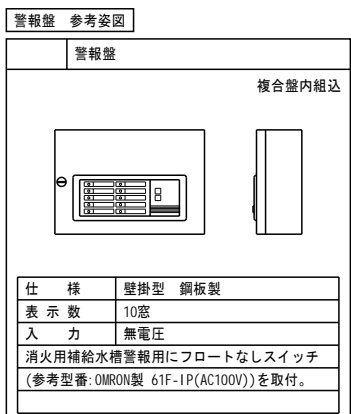
警報表示	
高置水槽 満水	予備
高置水槽 減水	予備
消防用水槽 減水	予備
消火用補給水槽 減水	予備
消火栓ポンプ異常	予備

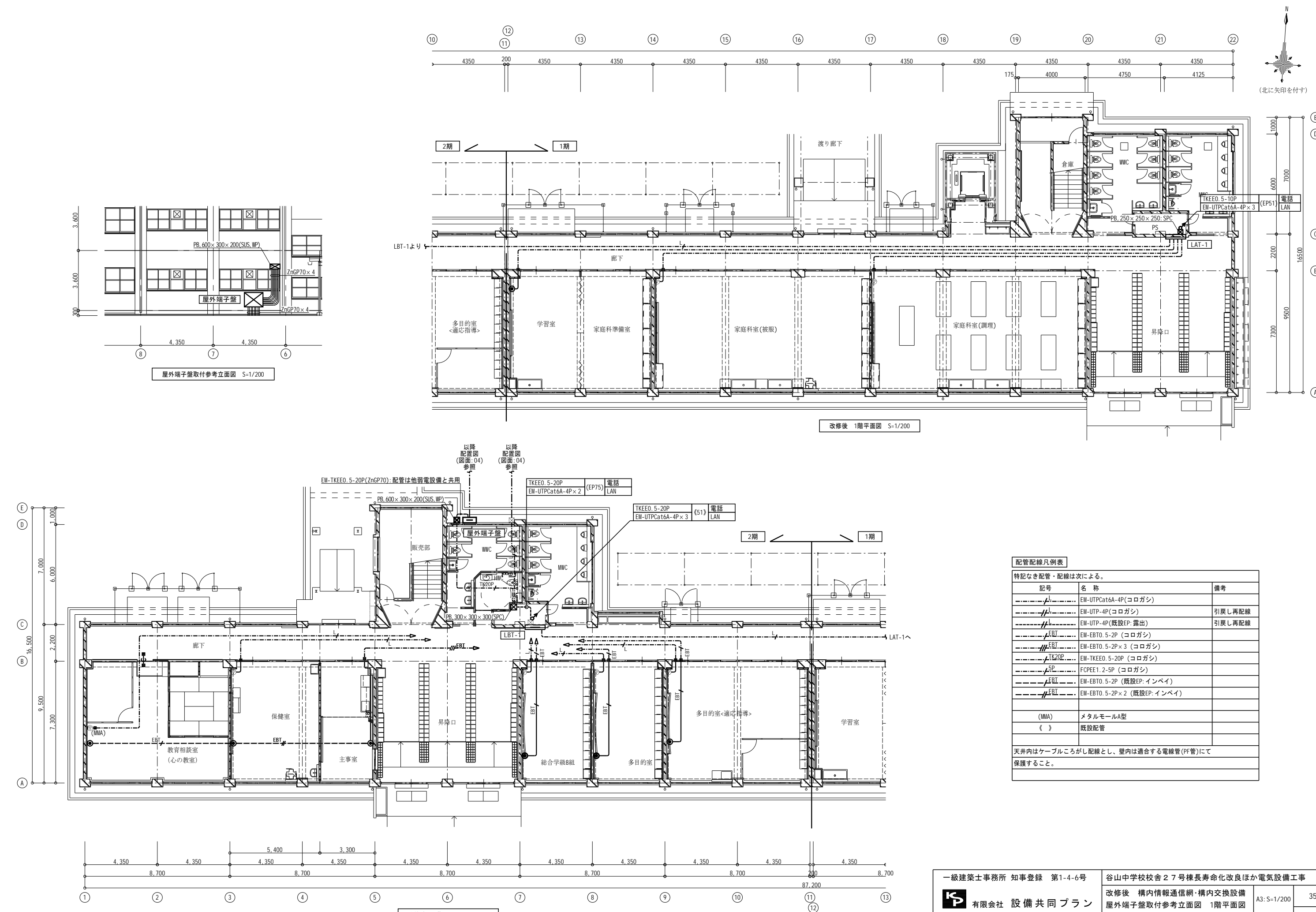
換気扇用リモコンスイッチ			
A棟 1階(西)	A棟 4階(西)	A棟 3階(東)	B棟 2階
A棟 2階(西)	A棟 1階(東)	A棟 4階(東)	B棟 3階
A棟 3階(西)	A棟 2階(東)	B棟 1階	B棟 4階

C棟 1階	予備
C棟 2階	予備
C棟 3階	予備

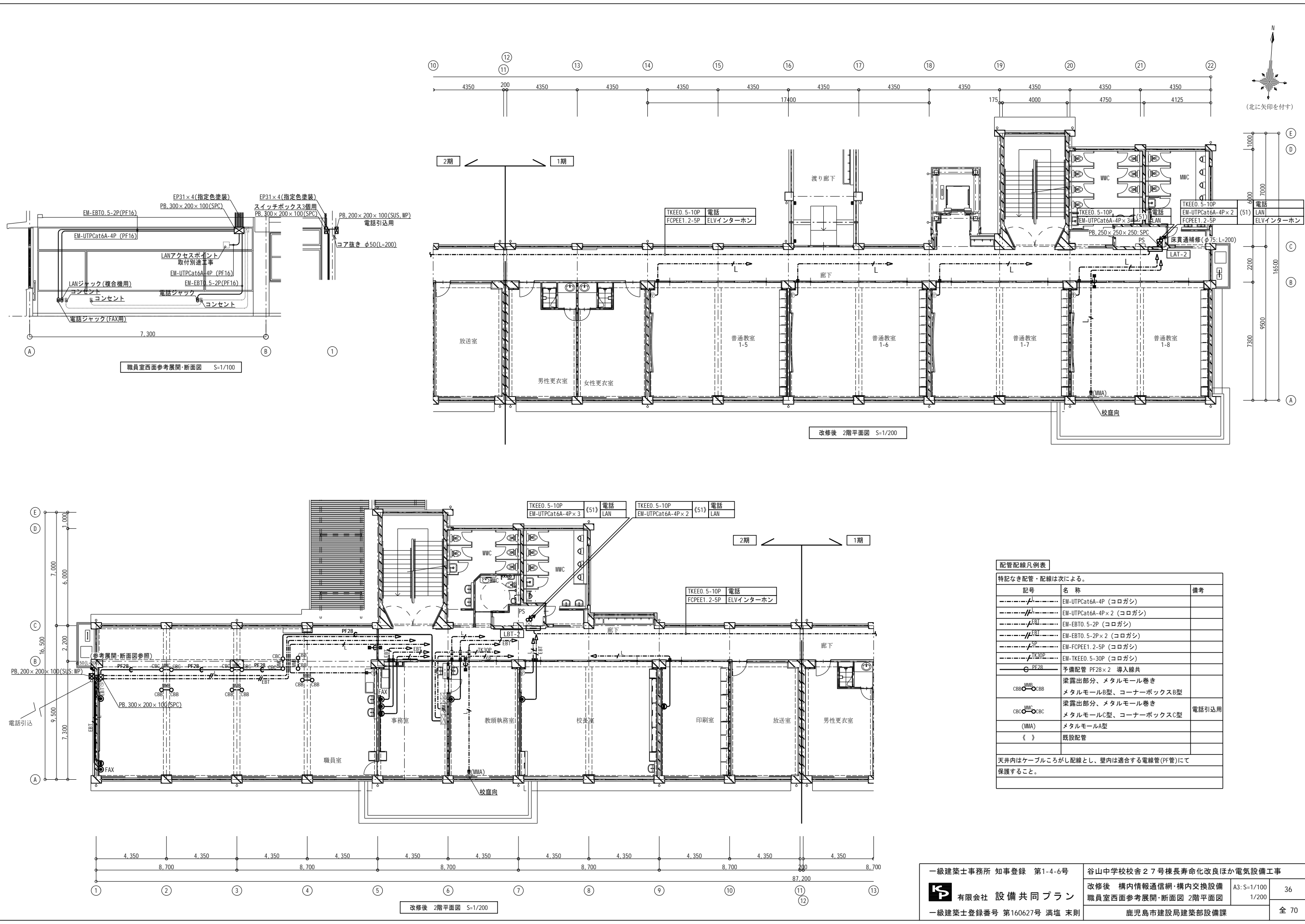


No.	収納機器名称	仕様
①	配線ダクト	
②	自動火災報知設備受信機	P型1線50窓壁掛形 既設流用
③	地震速報受信装置	既設流用
④	ミュージックチャイム	AC100V 8曲実装
⑤	プログラムタイマー付親時計	非常放送アンプ運動、地デジ調針 既設流用
⑥	非常放送アンプ	既設流用(180W)
⑦	エレベータ用インターホン	別途工事
⑧	予備品収納スペース	
⑨	電話主装置	スペース（既設品移設）
⑩	警備保障主装置	別途工事
⑪	警報盤	参考図面参照
⑫	外部スピーカー用アッテネータ	V-30S×2個 27号棟運動場側・中庭側
⑬	換気扇用リモコンスイッチ	12L(別表参照)
⑭	トイレ呼出表示器	4窓 埋込型 電源アダプター共
⑮	機器・端子盤取付スペース	木板取付(点線部分)

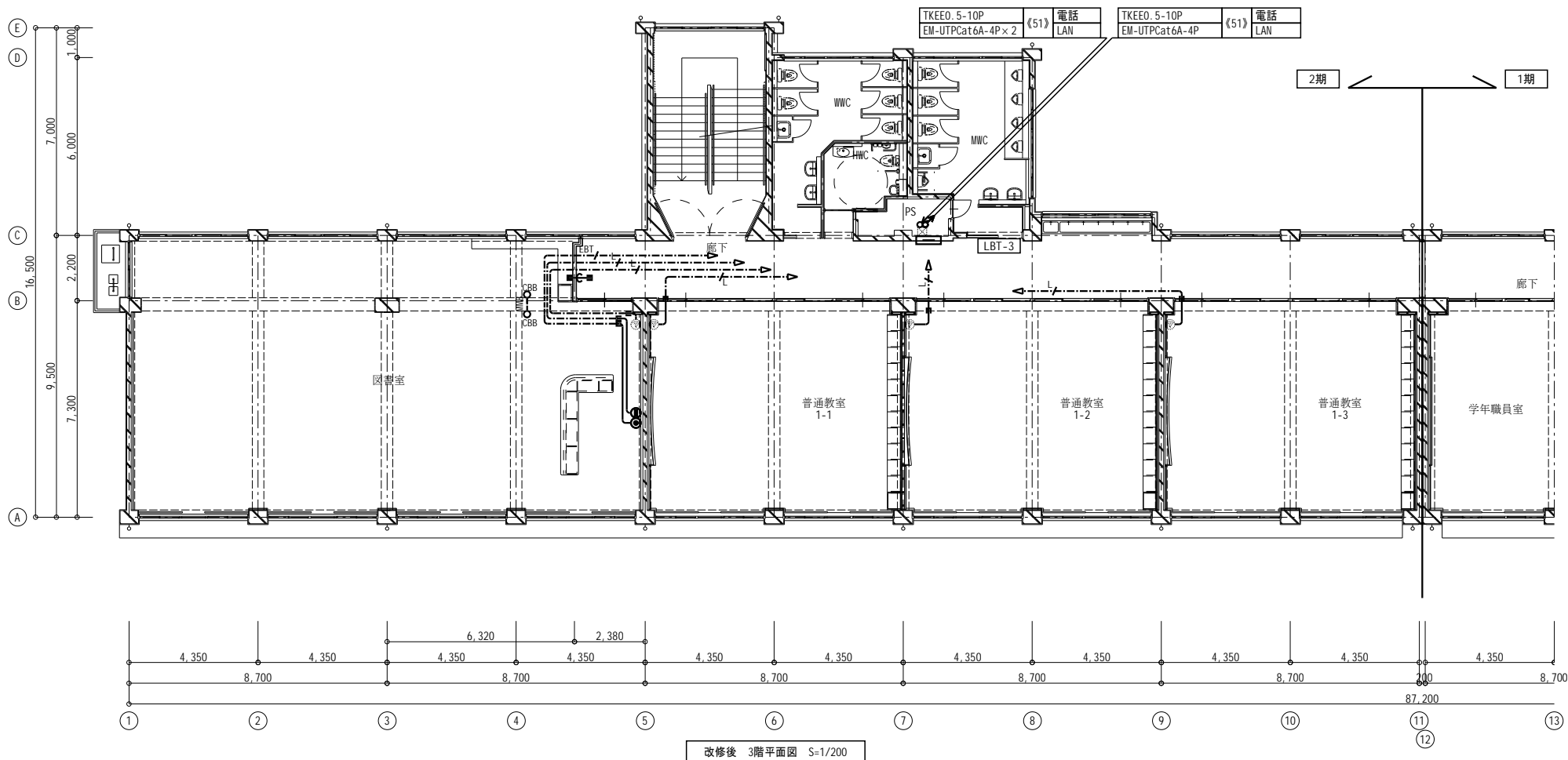
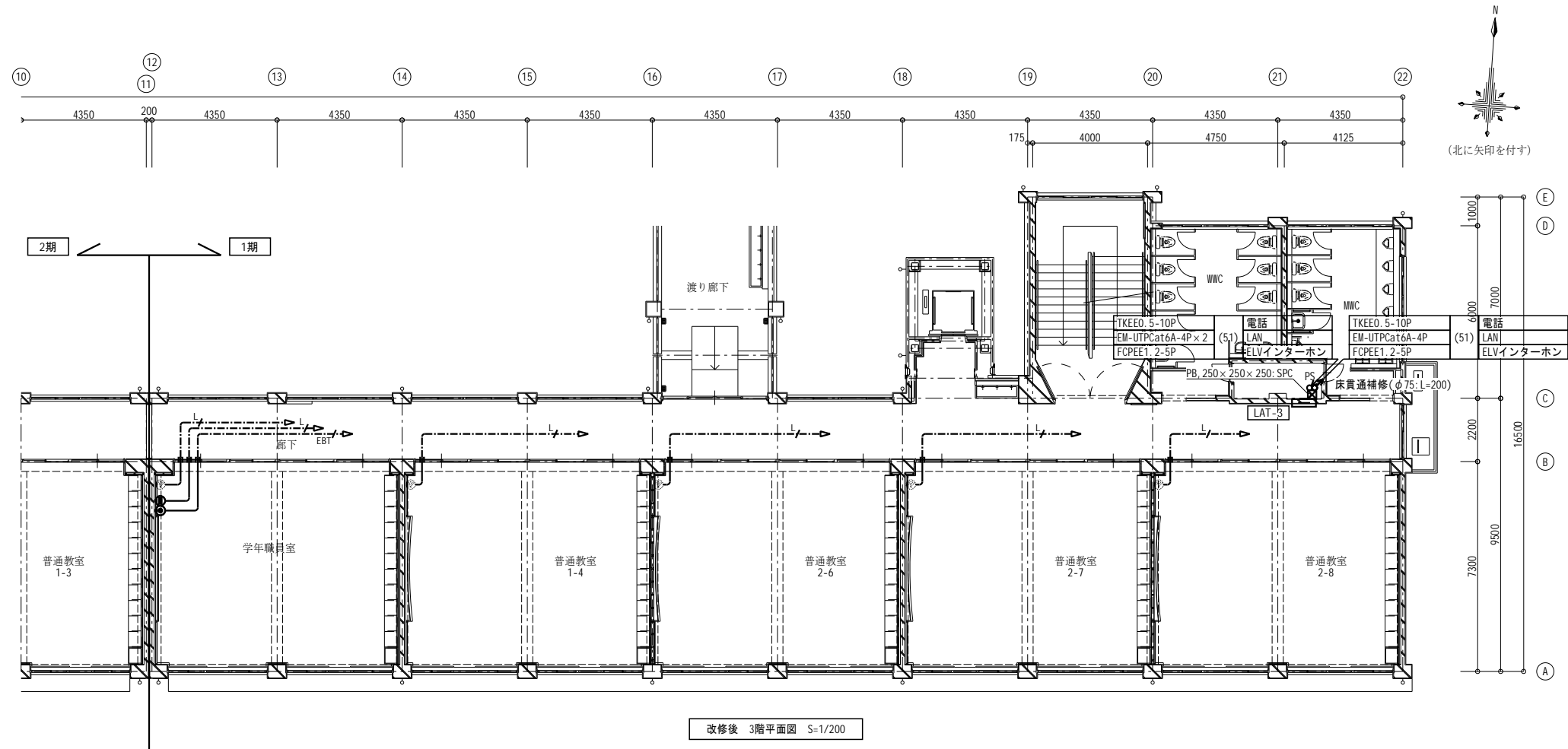




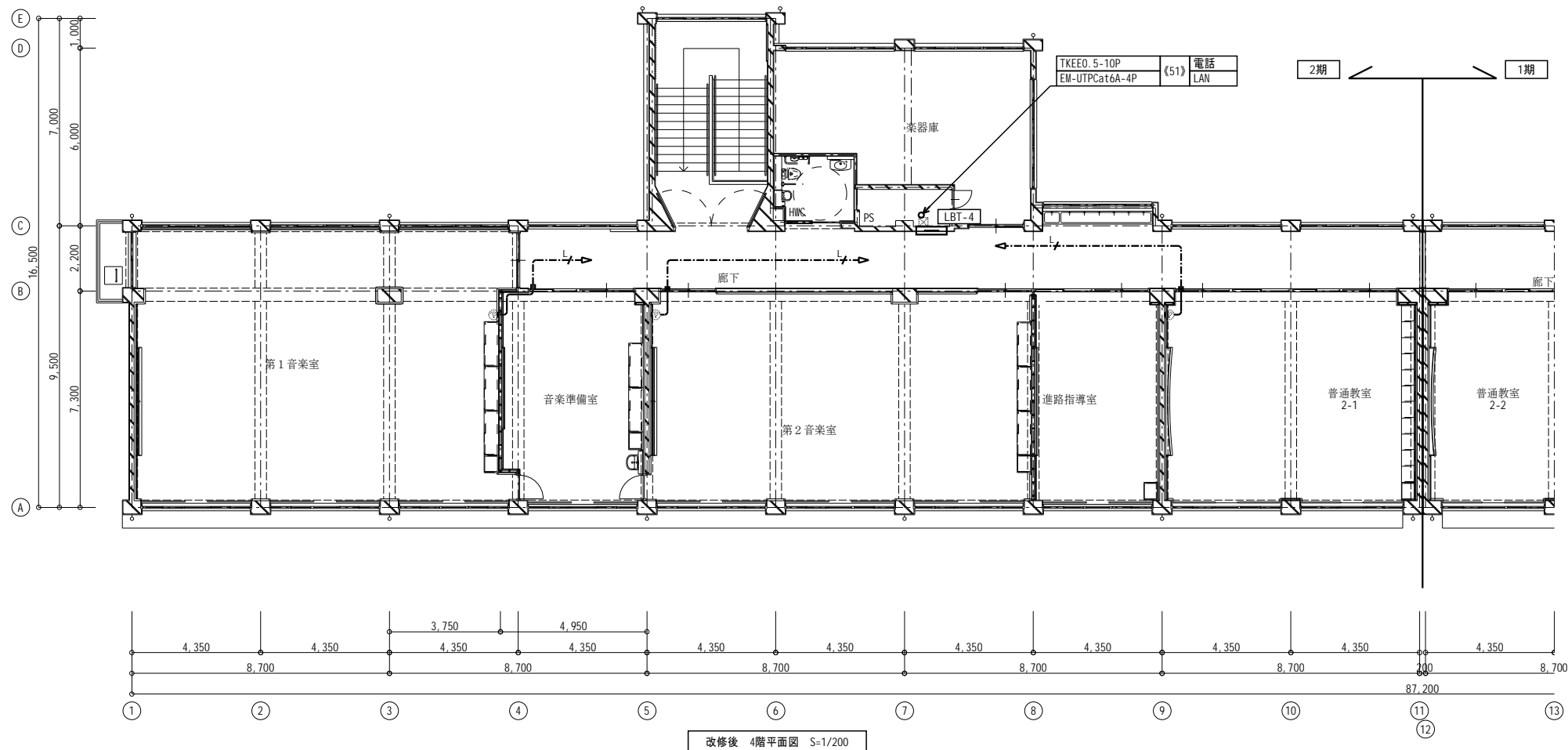
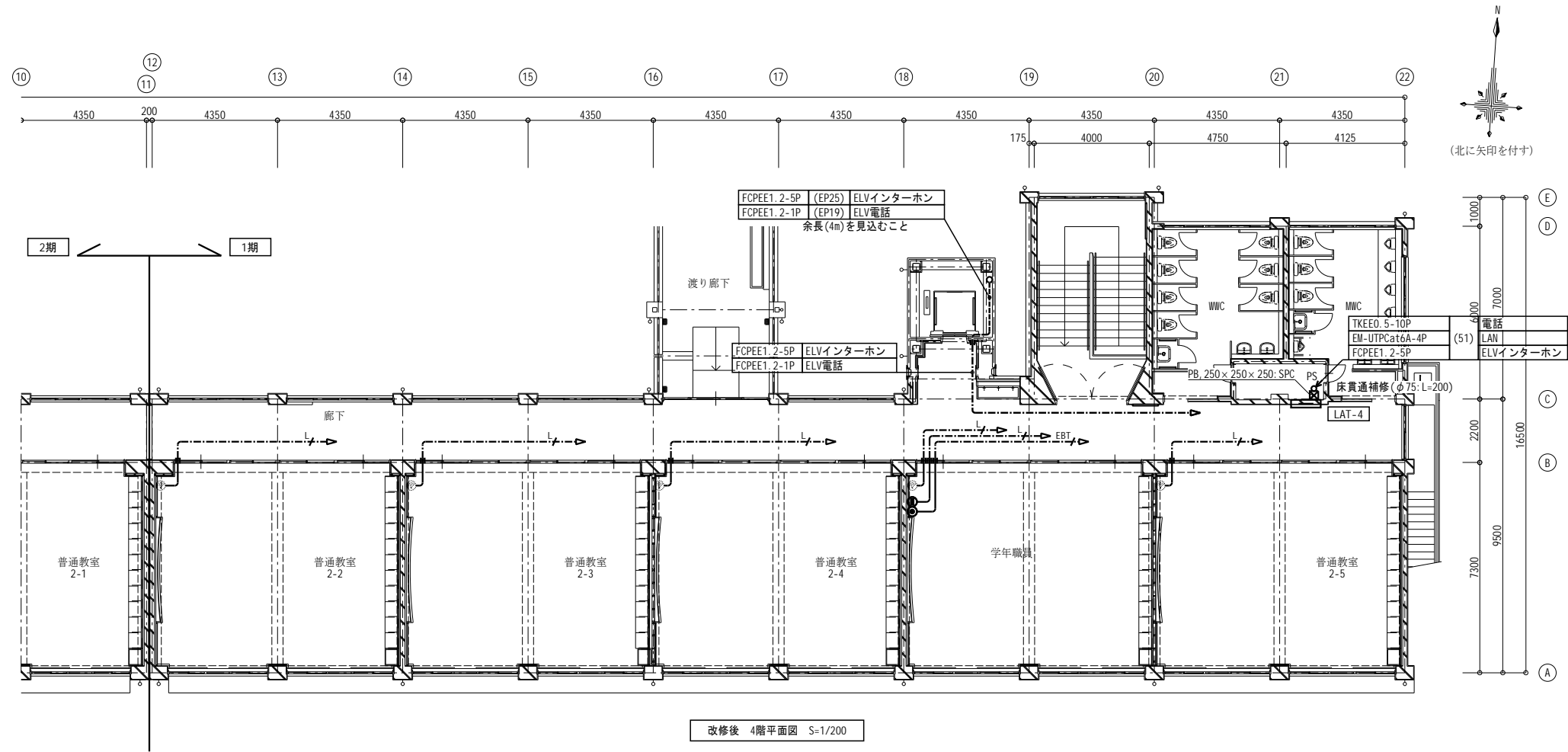
配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
EM-UTPCat6A-4P(コログシ)	EM-UTPCat6A-4P(コログシ)	
EM-UTP-4P(コログシ)	EM-UTP-4P(コログシ)	引戻し再配線
EM-UTP-4P(既設EP:露出)	EM-UTP-4P(既設EP:露出)	引戻し再配線
EM-EBT0.5-2P(コログシ)	EM-EBT0.5-2P(コログシ)	
EM-EBT0.5-2P×3(コログシ)	EM-EBT0.5-2P×3(コログシ)	
EM-TKEEO.5-20P(コログシ)	EM-TKEEO.5-20P(コログシ)	
FCPEE1.2-5P(コログシ)	FCPEE1.2-5P(コログシ)	
EM-EBT0.5-2P(既設EP:インベイ)	EM-EBT0.5-2P(既設EP:インベイ)	
EM-EBT0.5-2P×2(既設EP:インベイ)	EM-EBT0.5-2P×2(既設EP:インベイ)	
(MMA)	メタルモールA型	
()	既設配管	
天井内はケーブルころがし配線とし、壁内は適合する電線管(PF管)にて保護すること。		



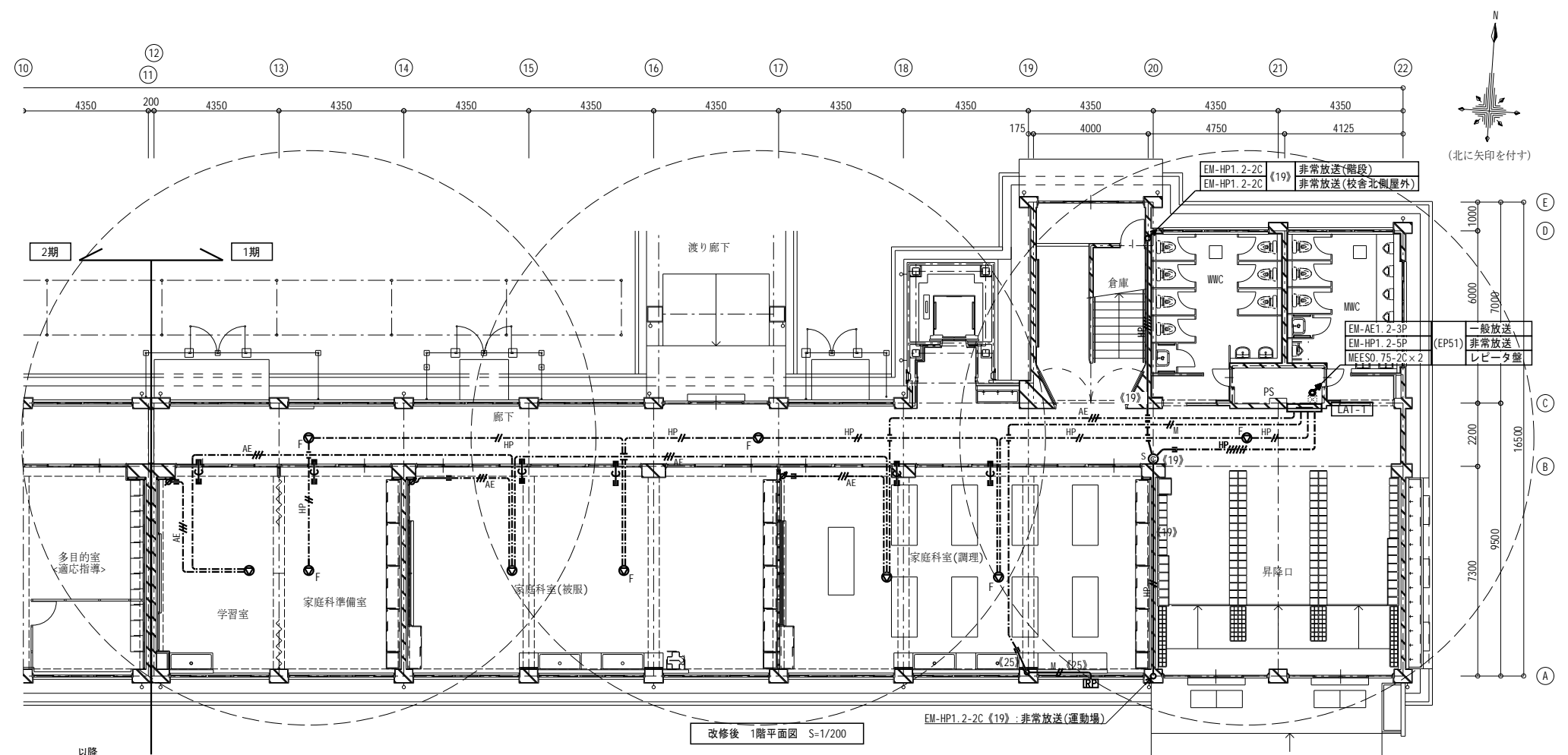
配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
	EM-UTPCat6A-4P (コロガシ)	
	EM-UTPCat6A-4P x 2 (コロガシ)	
	EM-EBT0.5-2P (コロガシ)	
	EM-EBT0.5-2P x 2 (コロガシ)	
	EM-FCPEE1.2-5P (コロガシ)	
	EM-TKEEO.5-30P (コロガシ)	
	予備配管 PF28 x 2 導入線共	
	梁露出部分、メタルモール巻き メタルモールB型、コーナーボックスB型	
	梁露出部分、メタルモール巻き メタルモールC型、コーナーボックスC型	電話引込用
	メタルモールA型	
	既設配管	
天井内はケーブルころがし配線とし、壁内は適合する電線管(PF管)にて保護すること。		



配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
	EM-UTPCat6A-4P (コロガシ)	
	EM-EBTO.5-2P (コロガシ)	
	予備配管 PF22	
	梁露出部分、メタルモール巻き メタルモールB型、コーナーボックスB型	
天井内はケーブルころがし配線とし、壁内は適合する電線管(PF管)にて保護すること。		



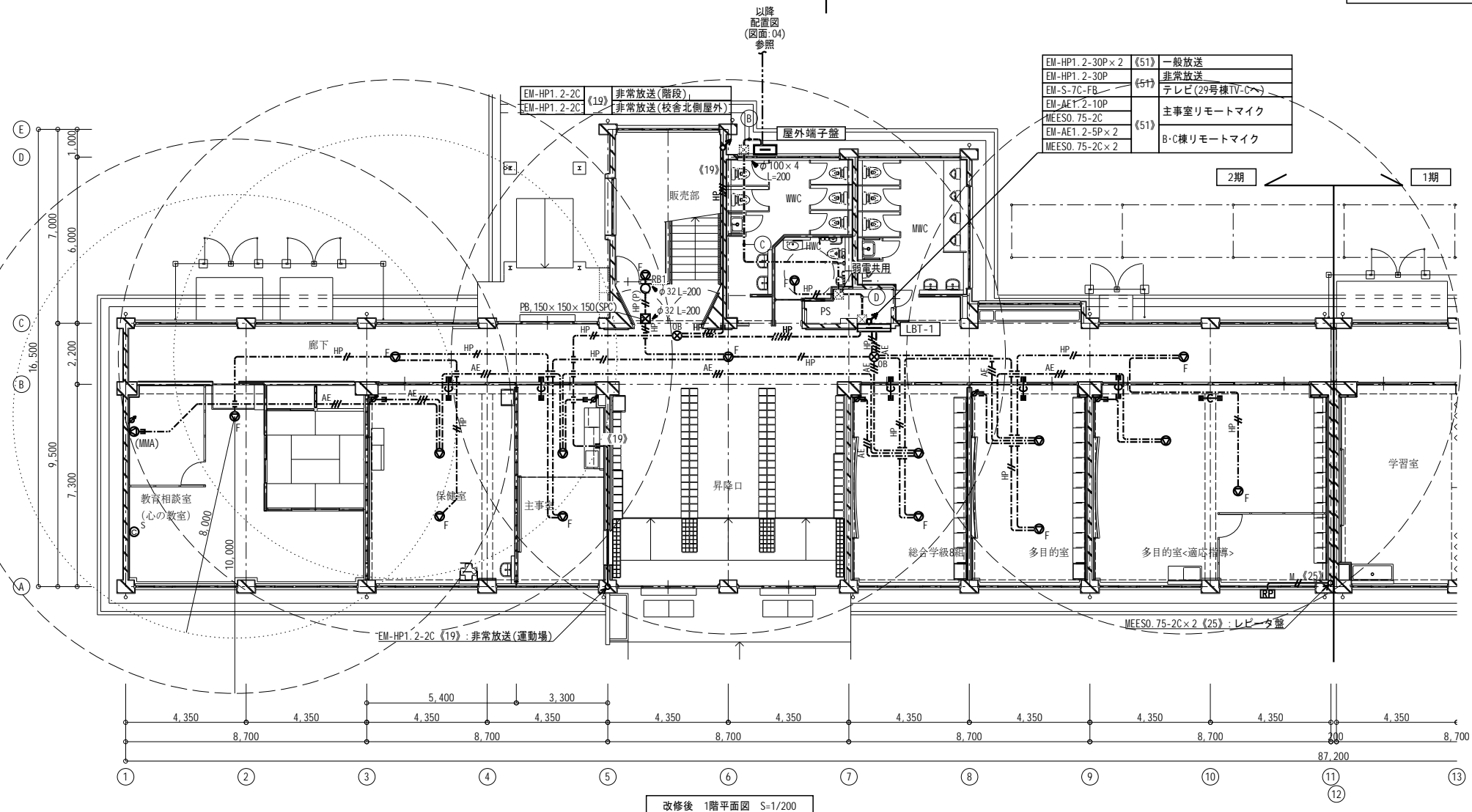
配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
---	EM-UTPCat6A-4P (コロガシ)	
---	EM-EBTO.5-2P (コロガシ)	
---	予備配管 PF22	
天井内はケーブルころがし配線とし、壁内は適合する電線管(PF管)にて保護すること。		

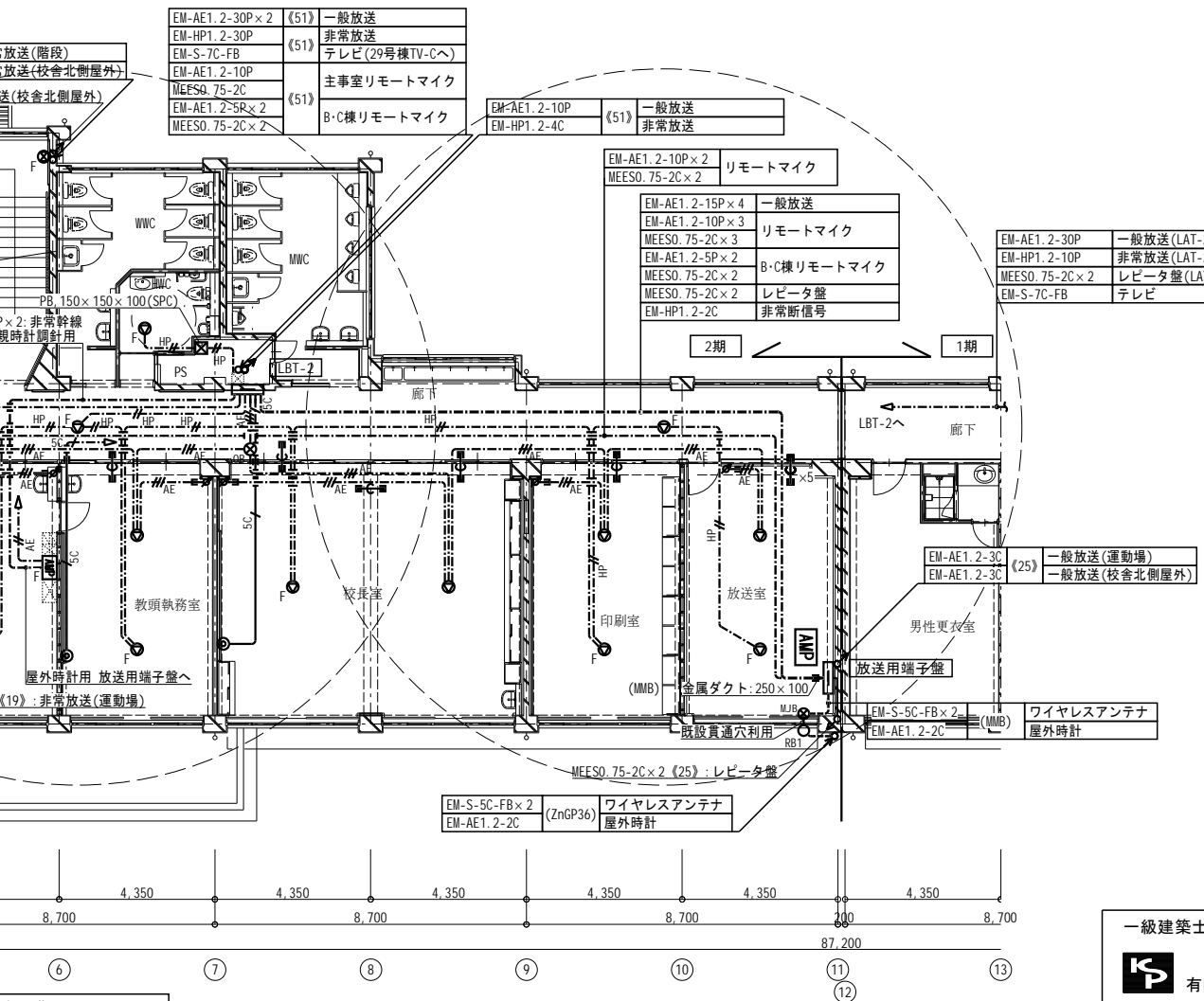
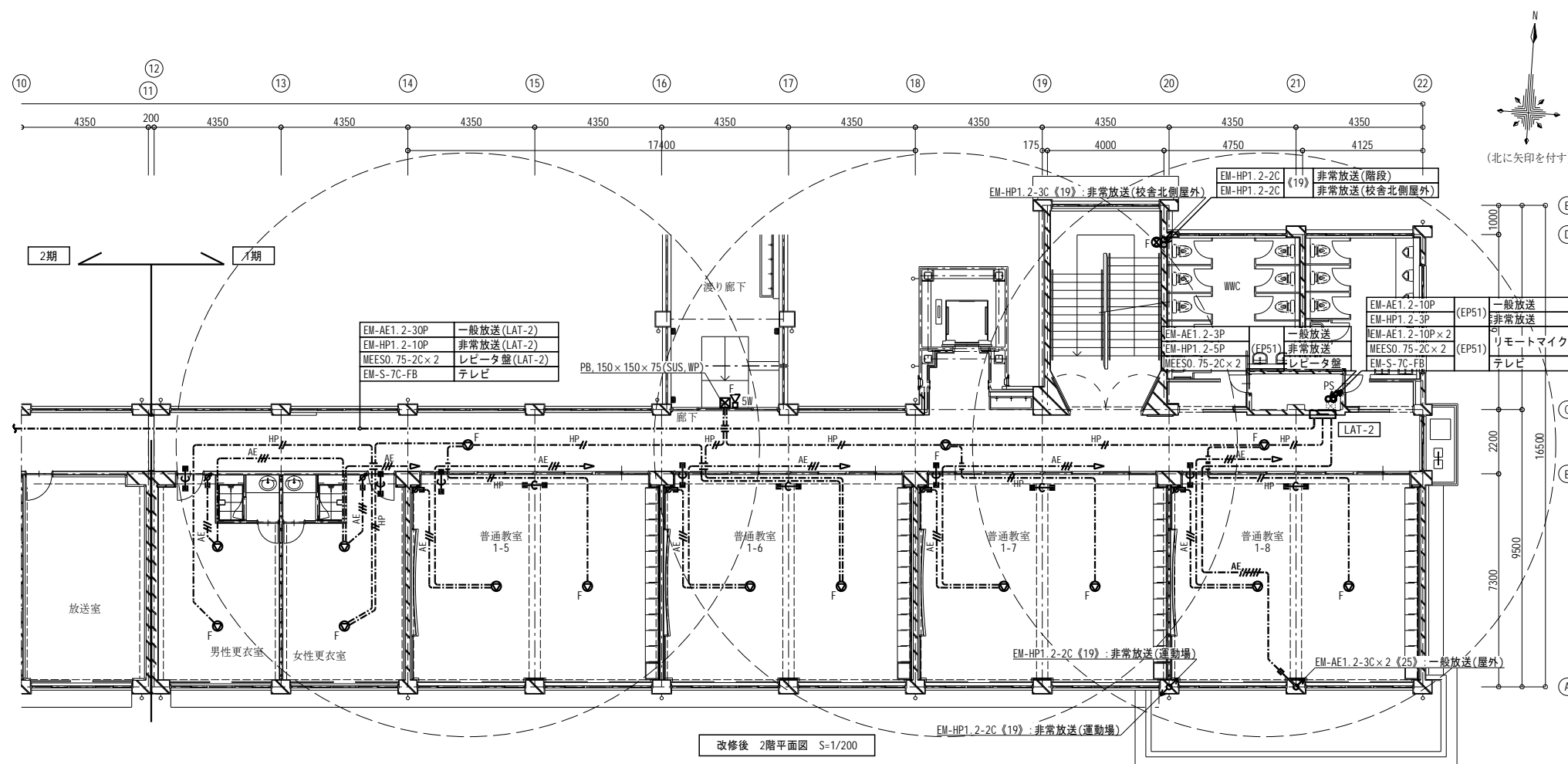


EM-AE1.2-50P	(ZnGP70)	一般放送
EM-AE1.2-5P×2	(ZnGP70)	29号線リモートマイク
MEES0.75-2C×2		29号線リモートマイク
EM-HP1.2-20P		非常放送
EM-S-7C-FB		テレビ

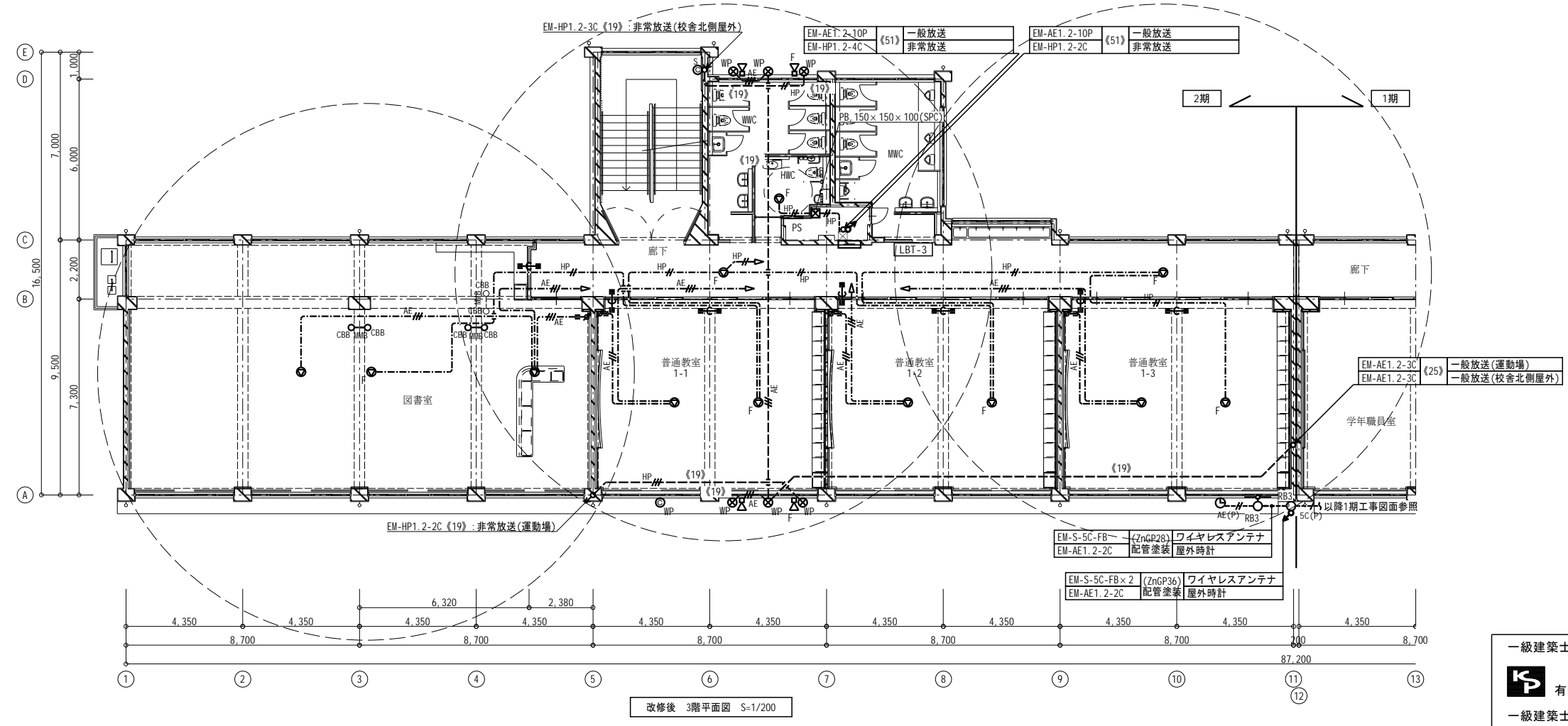
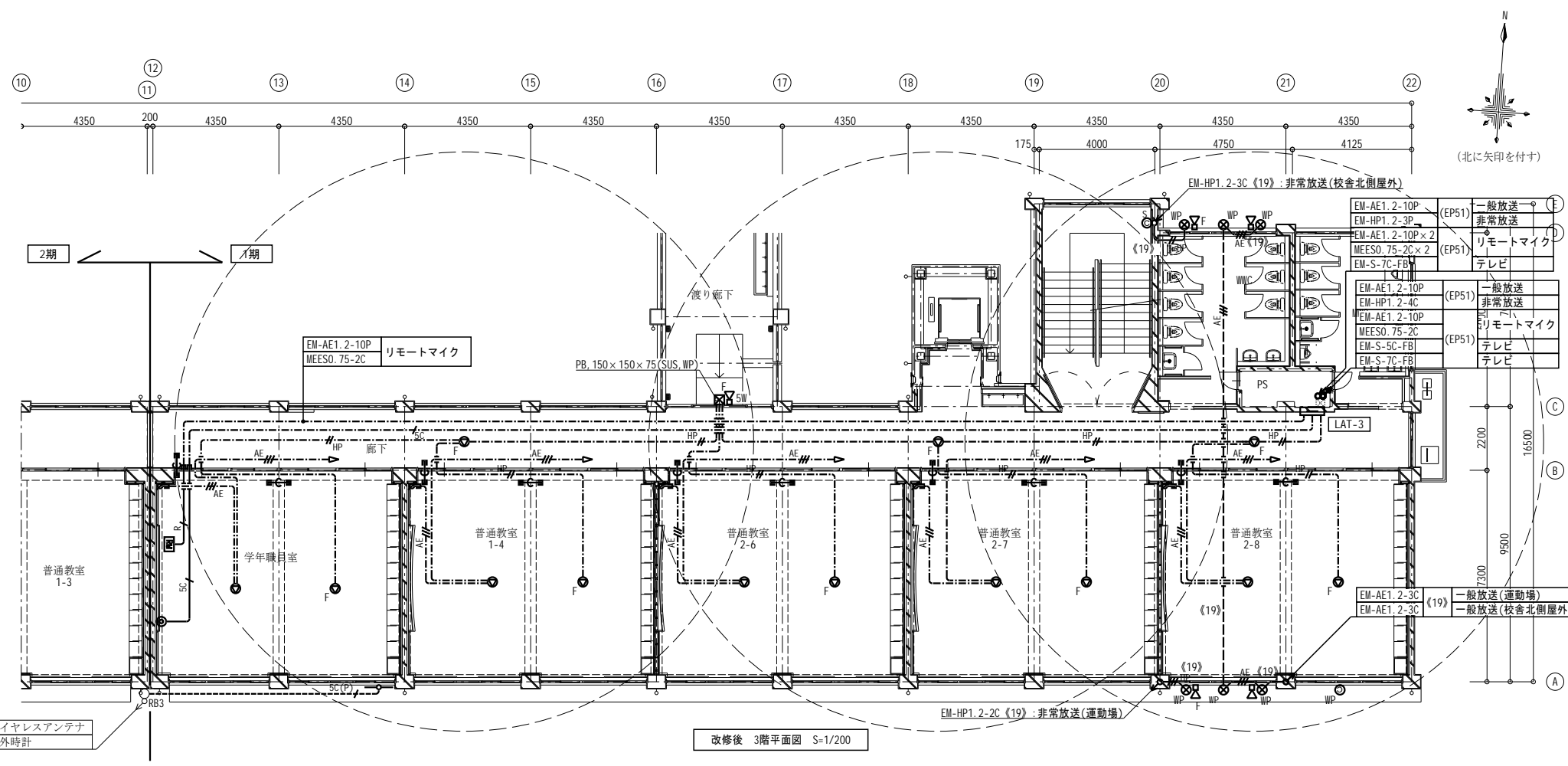
EM-AE1.2-50P	(コログシン)	一般放送
EM-AE1.2-5P×2		29号棟リモートマイク
MEES0.75-2C×2		29号棟リモートマイク
EM-HP1.2-20P		非常放送
EM-S-7C-FB		テレビ

EM-AE1.2-50P	(EP75)	一般放送
EM-AE1.2-5P×2	(EP75)	29号棟リモートマイク
MEES0.75-2C×2		29号棟リモートマイク
EM-HP1.2-20P		非常放送
EM-HP1.2-2C		非常放送
EM-S-7C-FB		テレビ

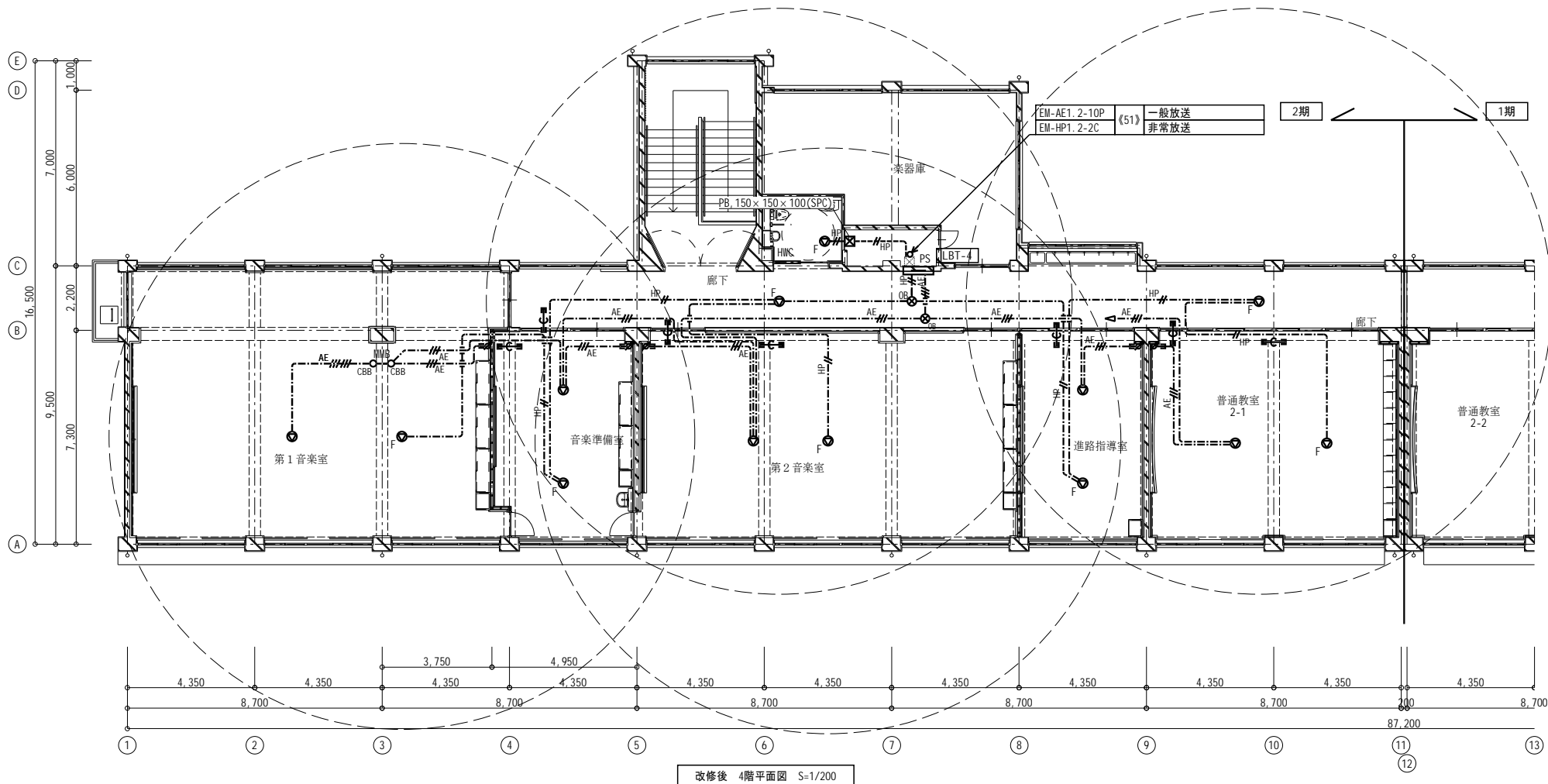
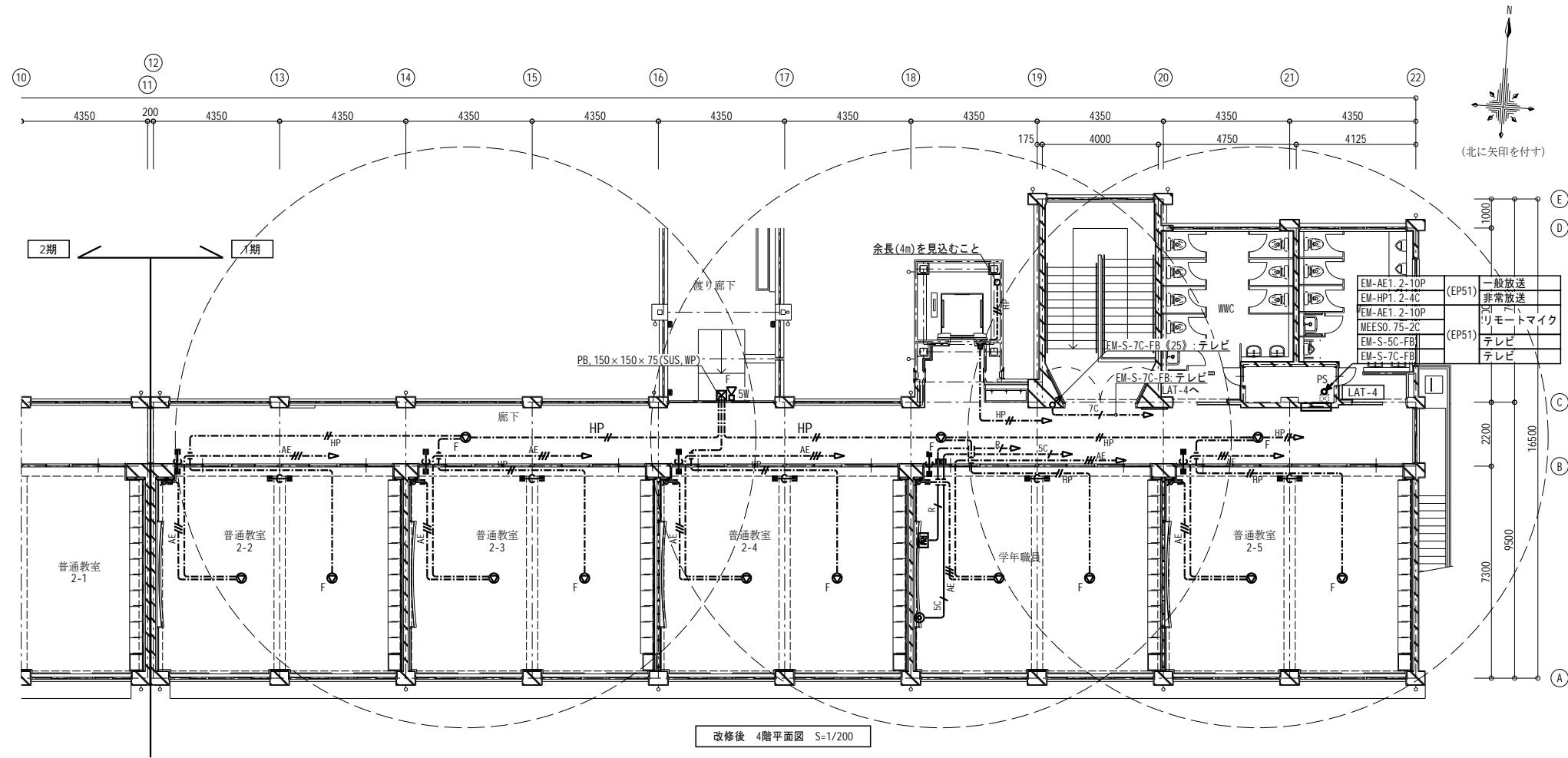
[illegible]



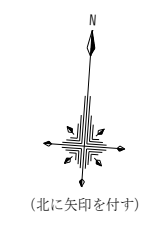
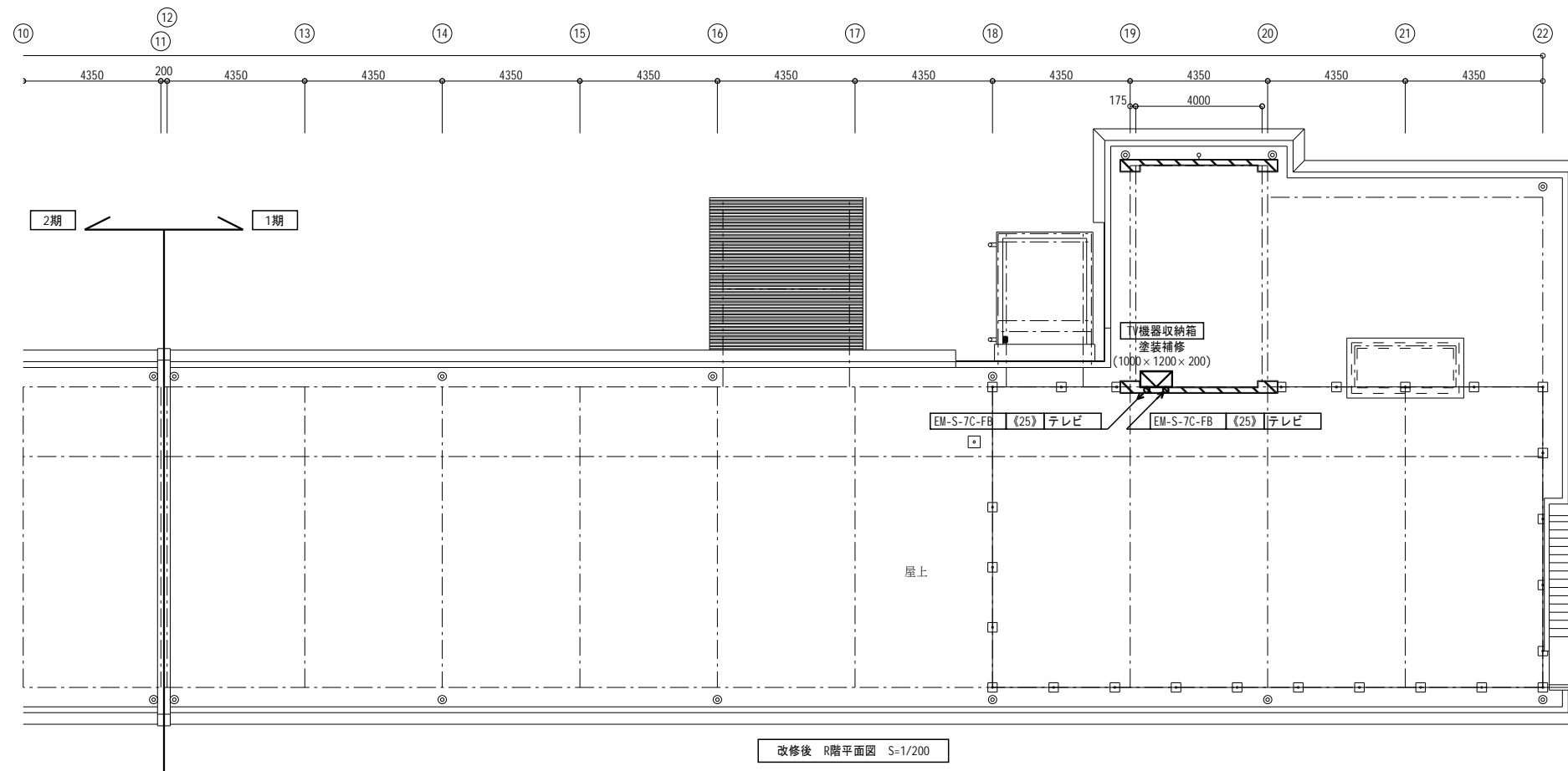
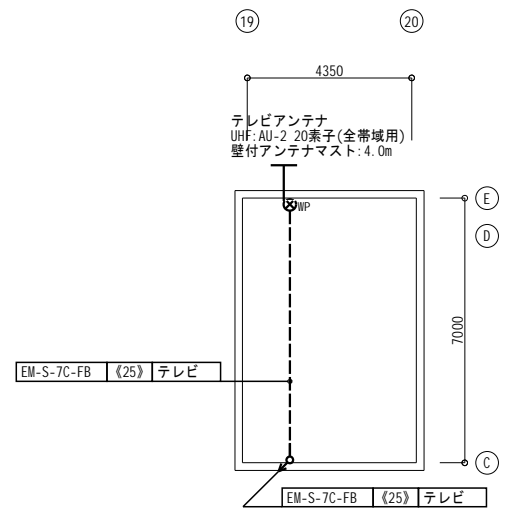
配管記号凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
---//AE---	EM-AE1.2-3C (コロガシ)	
---//AE---	EM-AE1.2-3C×2 (コロガシ)	
---//AE---	EM-HP1.2-2C (コロガシ)	
---//AE---	EM-HP1.2-3C (EP19:露出/塗装無)	
---//AE---	EM-MEESO.75-2C, EM-AE1.2-10P (コロガシ)	
---//AE---	EM-MEESO.75-2C, EM-AE1.2-10P (PF28:インベイ)	
---//AE---	EM-S-5C-FB (コロガシ)	
---//AE---	EM-S-5C-FB (PF16:インベイ)	
CBB	梁露出部分、メタルモール巻き メタルモールB型、コーナーボックスB型	弱電共用
()	既設配管	



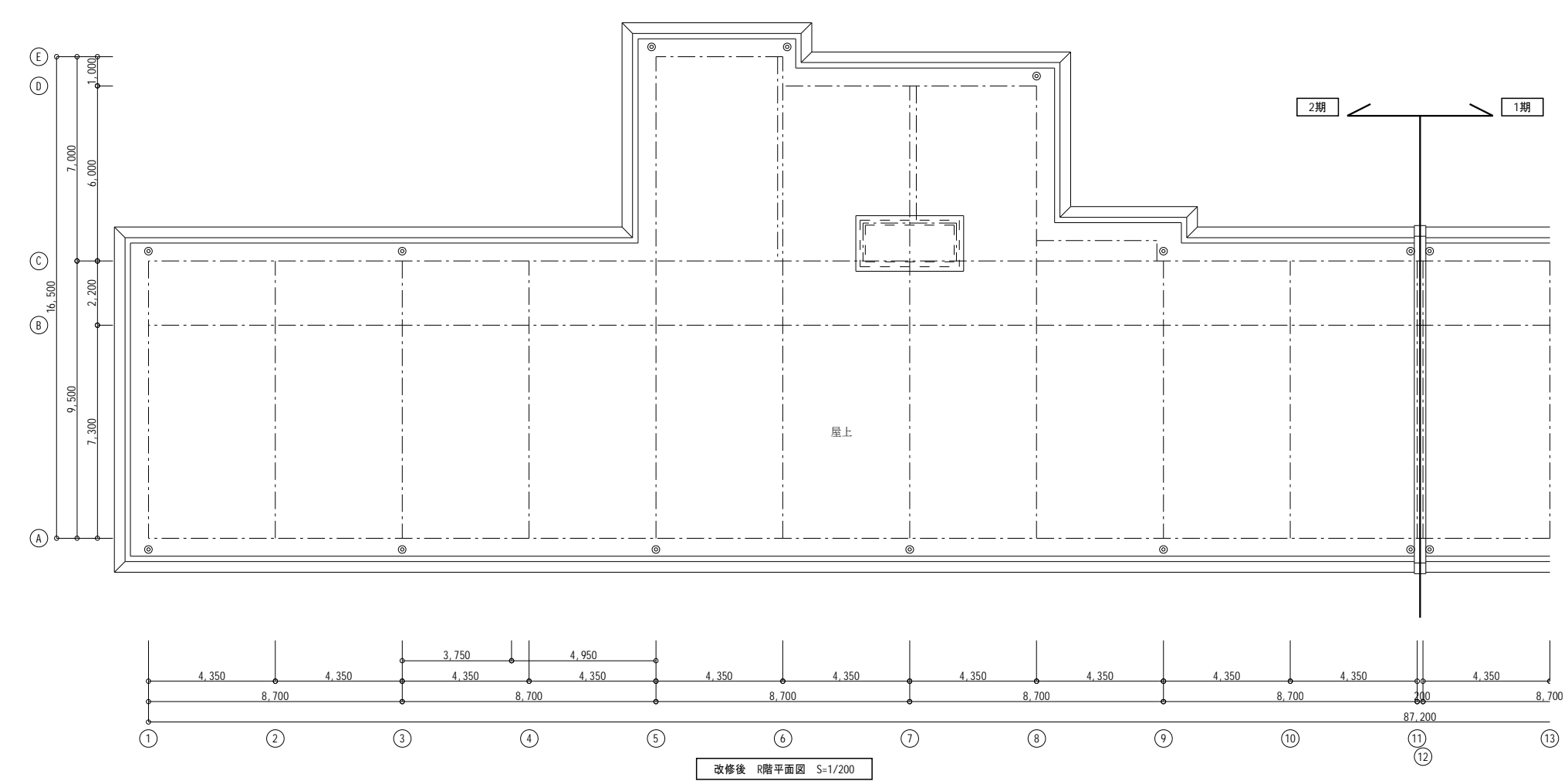
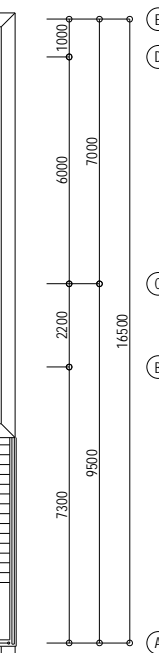
配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
--- AE(P) ---	EM-AE1.2-2C (ZnGP16: 露出/塗装有)	
--- AE ---	EM-AE1.2-3C (コロガシ)	
--- HE ---	EM-HP1.2-2C (コロガシ)	
--- HP ---	EM-HP1.2-3C (EP19: 露出/塗装無)	
--- R ---	EM-MEESO.75-2C, EM-AE1.2-10P (コロガシ)	
--- SC ---	EM-MEESO.75-2C, EM-AE1.2-10P (PF28: インベイ)	
--- SC(P) ---	EM-S-5C-FB (コロガシ)	
--- SC ---	EM-S-5C-FB (ZnGP16: 露出/塗装有)	
--- SC ---	EM-S-5C-FB (PF16: インベイ)	
CBB ○ CBB	梁露出部分、メタルモール巻き メタルモールB型、コーナーボックスB型	
《 》	既設配管	




配管記線凡例表		
特記なき配管・配線は次による。		
記号	名 称	備考
---//AE---	EM-AE1.2-3C (コロガシ)	
---//AE---	EM-AE1.2-3C x 2 (コロガシ)	
---//AE---	EM-HP1.2-2C (コロガシ)	
---//HP---	EM-HP1.2-3C (EP19: 露出/塗装無)	
---//R---	EM-MEESO.75-2C, EM-AE1.2-10P (コロガシ)	
---//R---	EM-MEESO.75-2C, EM-AE1.2-10P (PF28: インベイ)	
---//SC---	EM-S-5C-FB (コロガシ)	
---//SC---	EM-S-5C-FB (PF16: インベイ)	
CBB○MIR○CBB	梁露出部分、メタルモール巻き メタルモールB型、コーナーボックスB型	
()	既設配管	



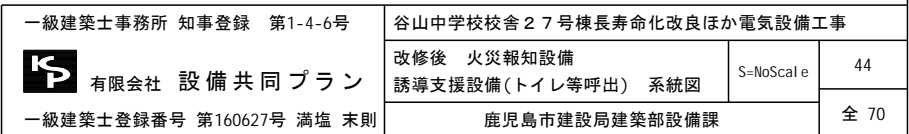
(北に矢印を付す)

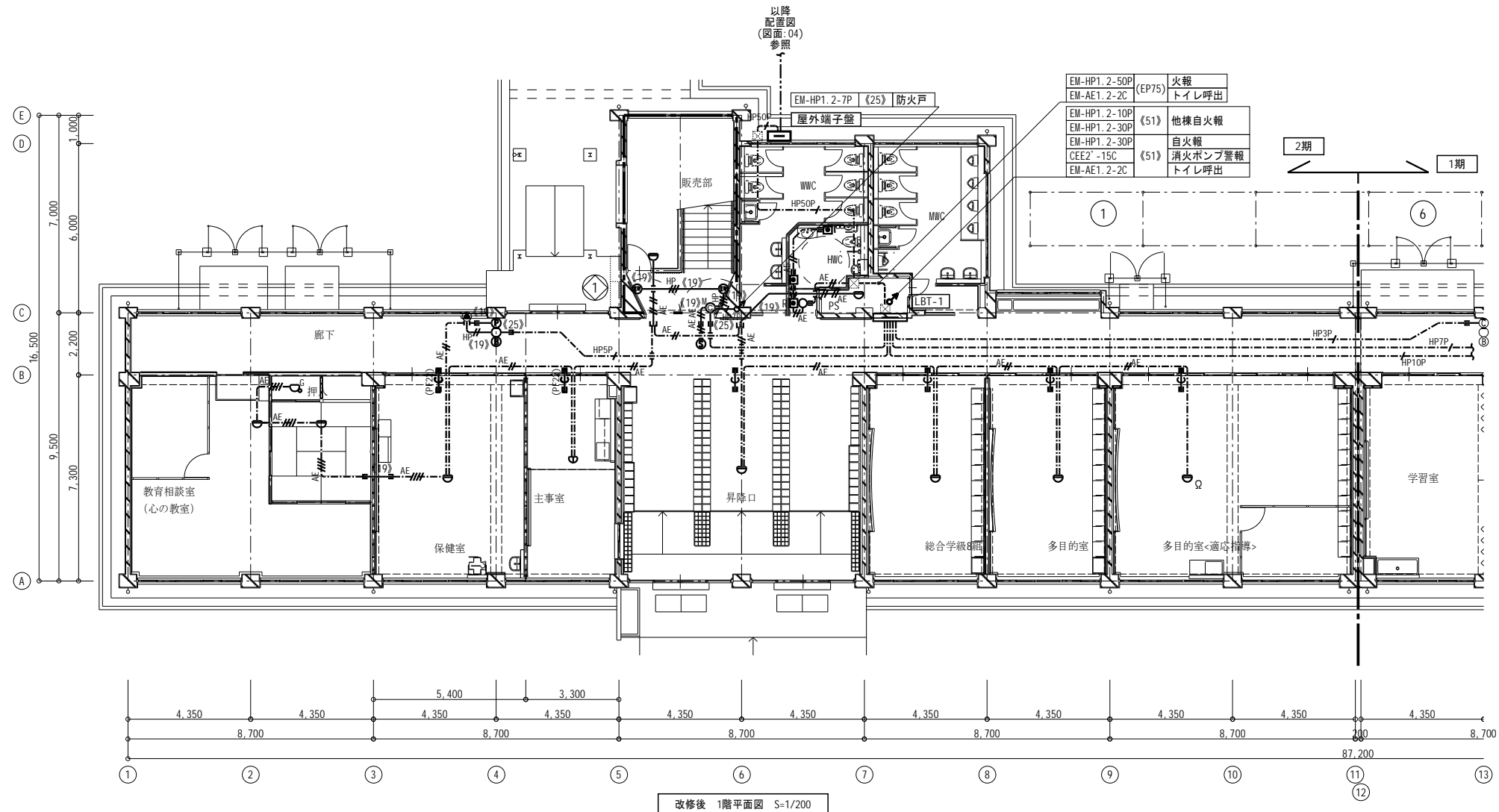
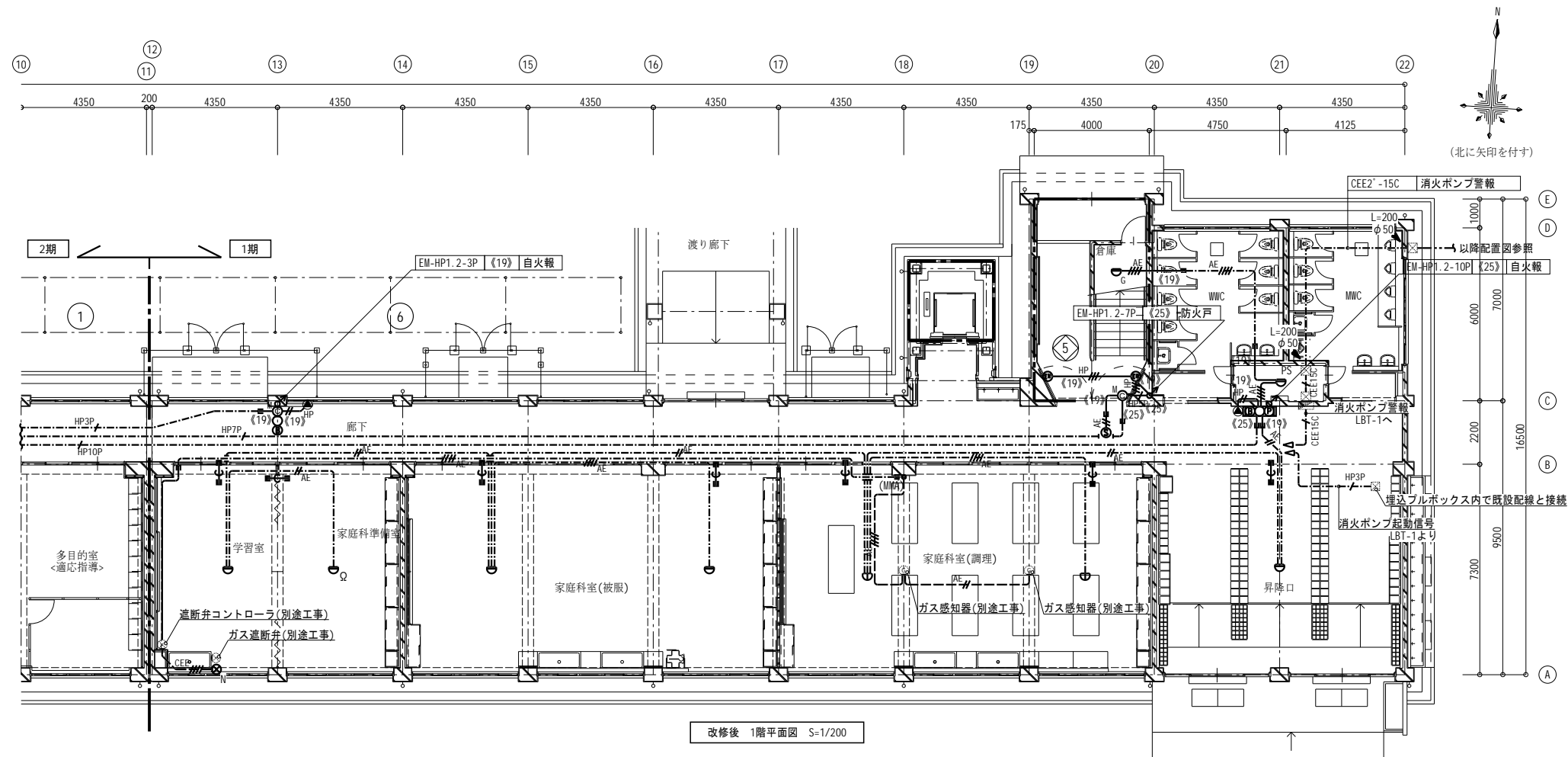


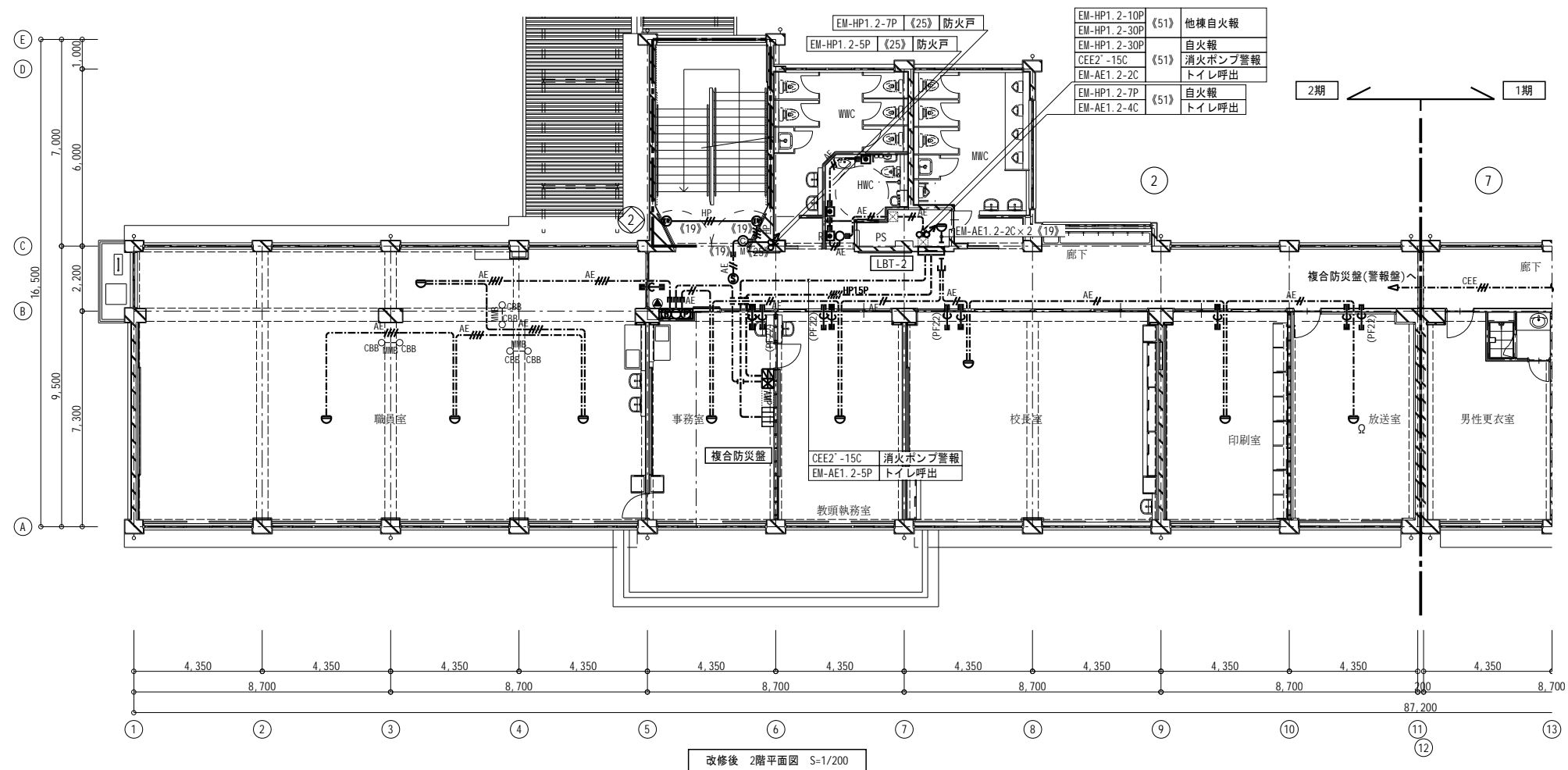
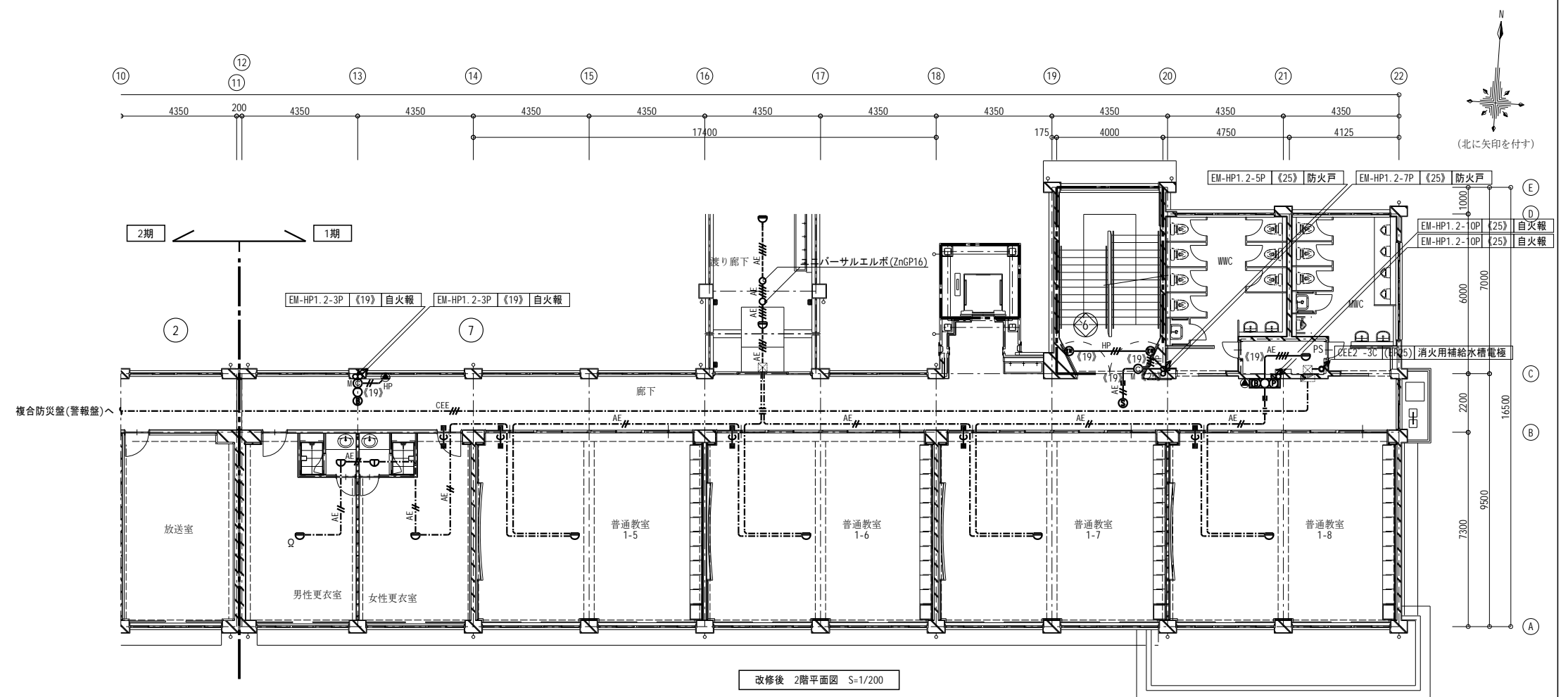
一級建築士事務所 知事登録 第1-4-6号		谷山中学校校舎 2 7 号棟長寿命化改良ほか電気設備工事	
 有限会社 設備共同プラン	改修後 テレビ共同受信設備 R階平面図		A3: S=1/200 43
	一級建築士登録番号 第160627号 満塩 末則		全 70
		鹿児島市建設局建築部設備課	

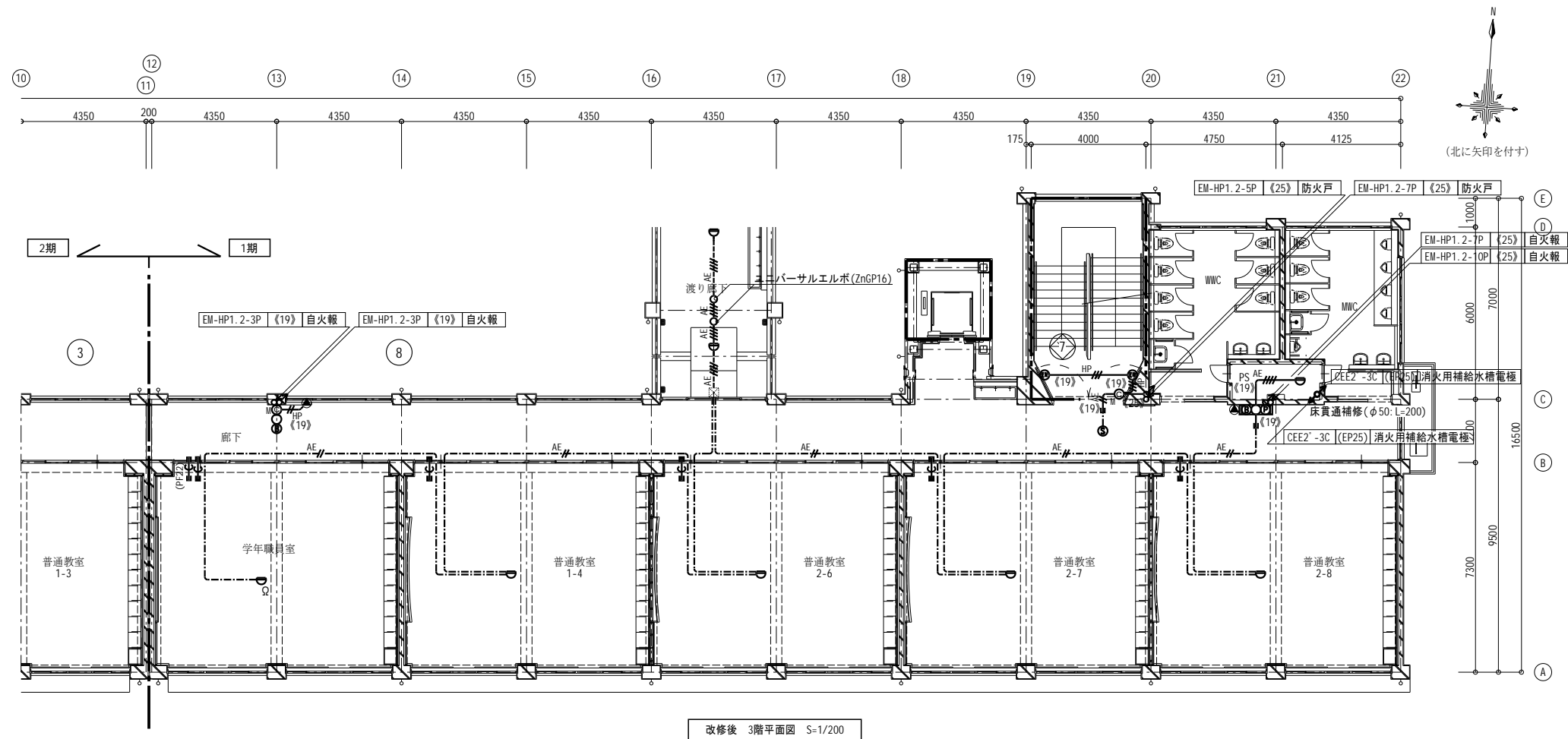


記号	名 称	備 考
	EM-CEE2'-3C (コログシ)	
	EM-CEE1. 25-10C (コログシ)	
	EM-AE1. 2-2C (コログシ)	
	EM-AE1. 2-4C (コログシ)	
	EM-AE1. 2-4P (コログシ)	
	EM-HP1. 2-3P (コログシ)	
	EM-HP1. 2-5P (コログシ)	
	EM-HP1. 2-7P (コログシ)	
	EM-HP1. 2-10P (コログシ)	
	EM-HP1. 2-15P×5 (コログシ)	
	EM-AE1. 2-2C (EP19: 露出)	
	EM-AE1. 2-2C (PF16: インベイ)	
	EM-AE1. 2-4C (PF16: インベイ)	
	EM-HP1. 2-5P (PF22: インベイ)	
	EM-HP1. 2-7P (PF28: インベイ)	
	EM-AE1. 2-2C (既設EP: インベイ)	
	EM-AE1. 2-2C×2 (既設EP: インベイ)	
	EM-AE1. 2-4C (既設EP: インベイ)	
	EM-HP1. 2-2C (既設EP: インベイ)	
	EM-HP1. 2-3C (既設EP: インベイ)	
	EM-HP1. 2-3P (既設EP: インベイ)	
	EM-HP1. 2-5P (既設EP: インベイ)	
	EM-HP1. 2-7P (既設EP: インベイ)	
	EM-HP1. 2-10P (既設EP: インベイ)	
	梁露出部分、メタルモール巻き メタルモールB型、コーナーボックスB型	弱電共用
(MMA)	メタルモールA型	
(MMB)	メタルモールB型	
()	既設配管	

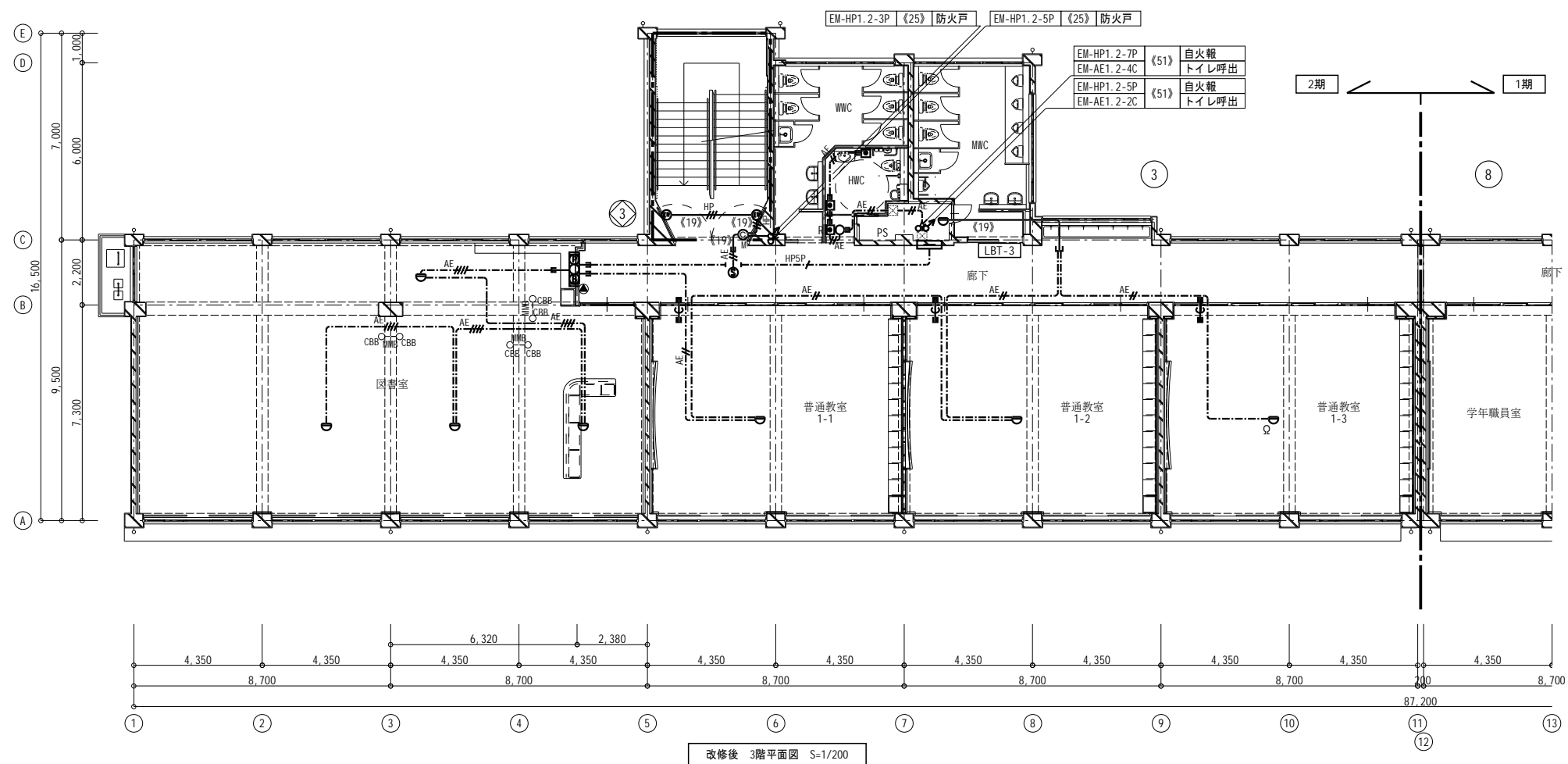







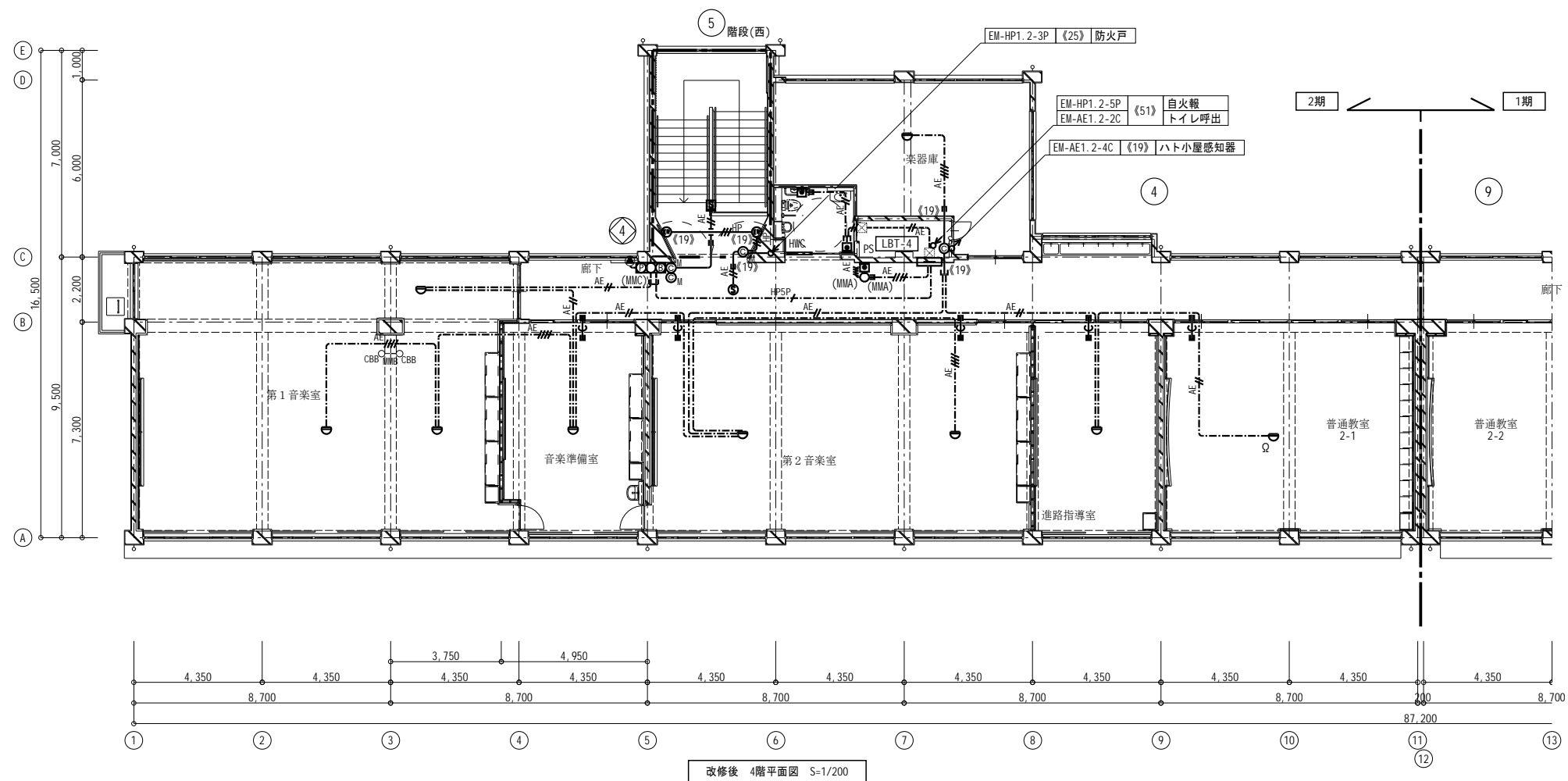
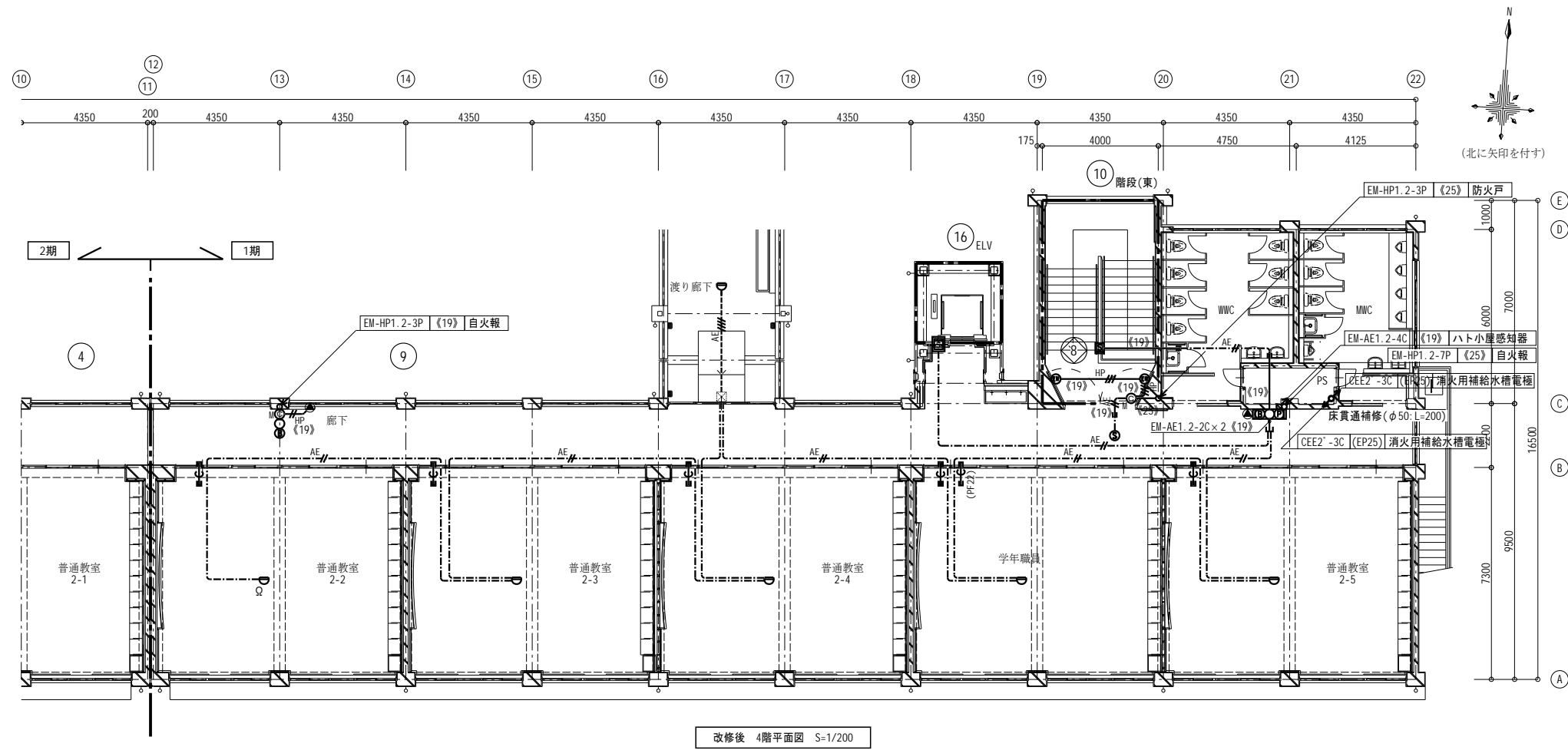



改修後 3階平面図 S=1/200

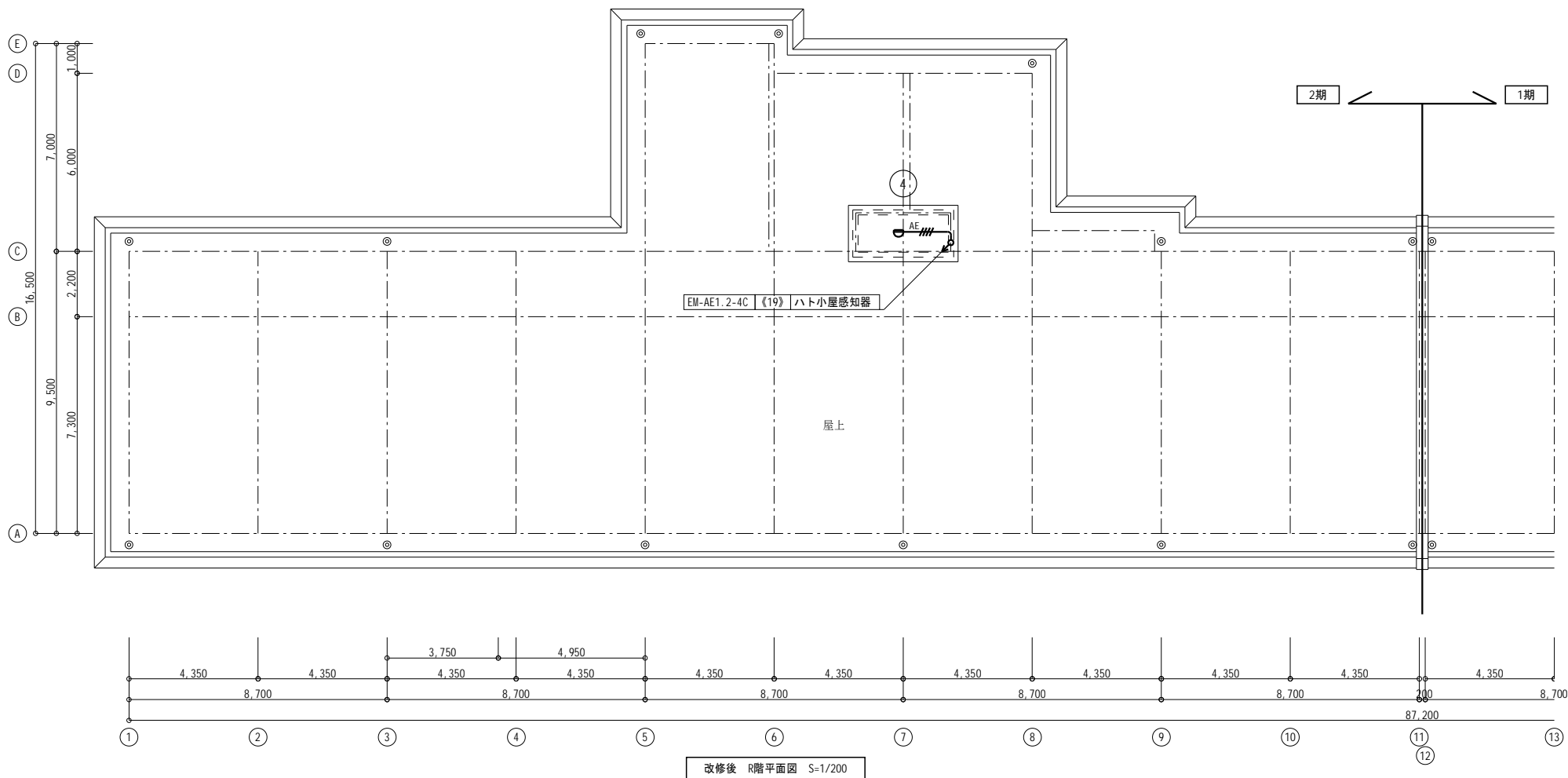
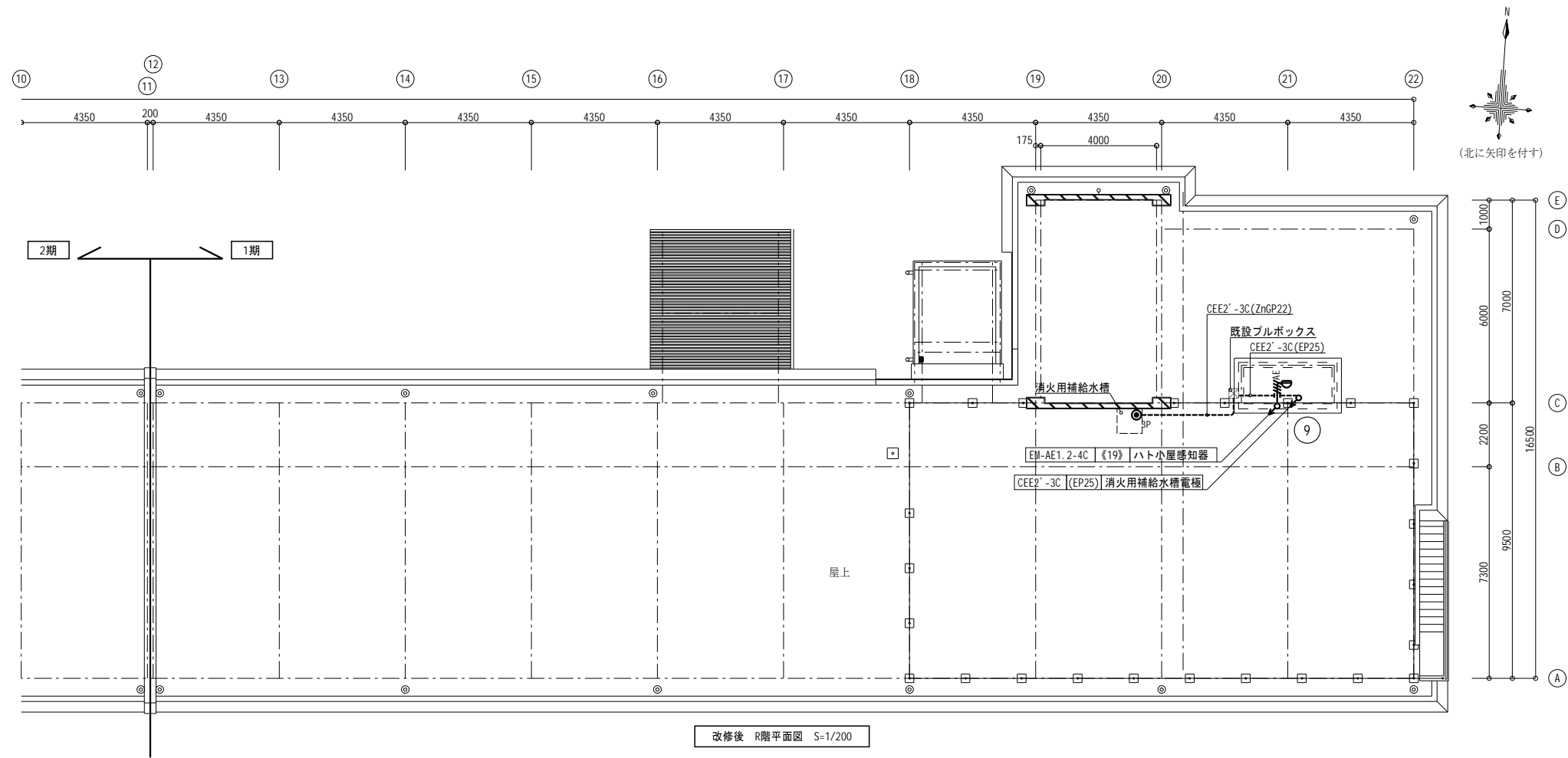



改修後 3階平面図 S=1/200

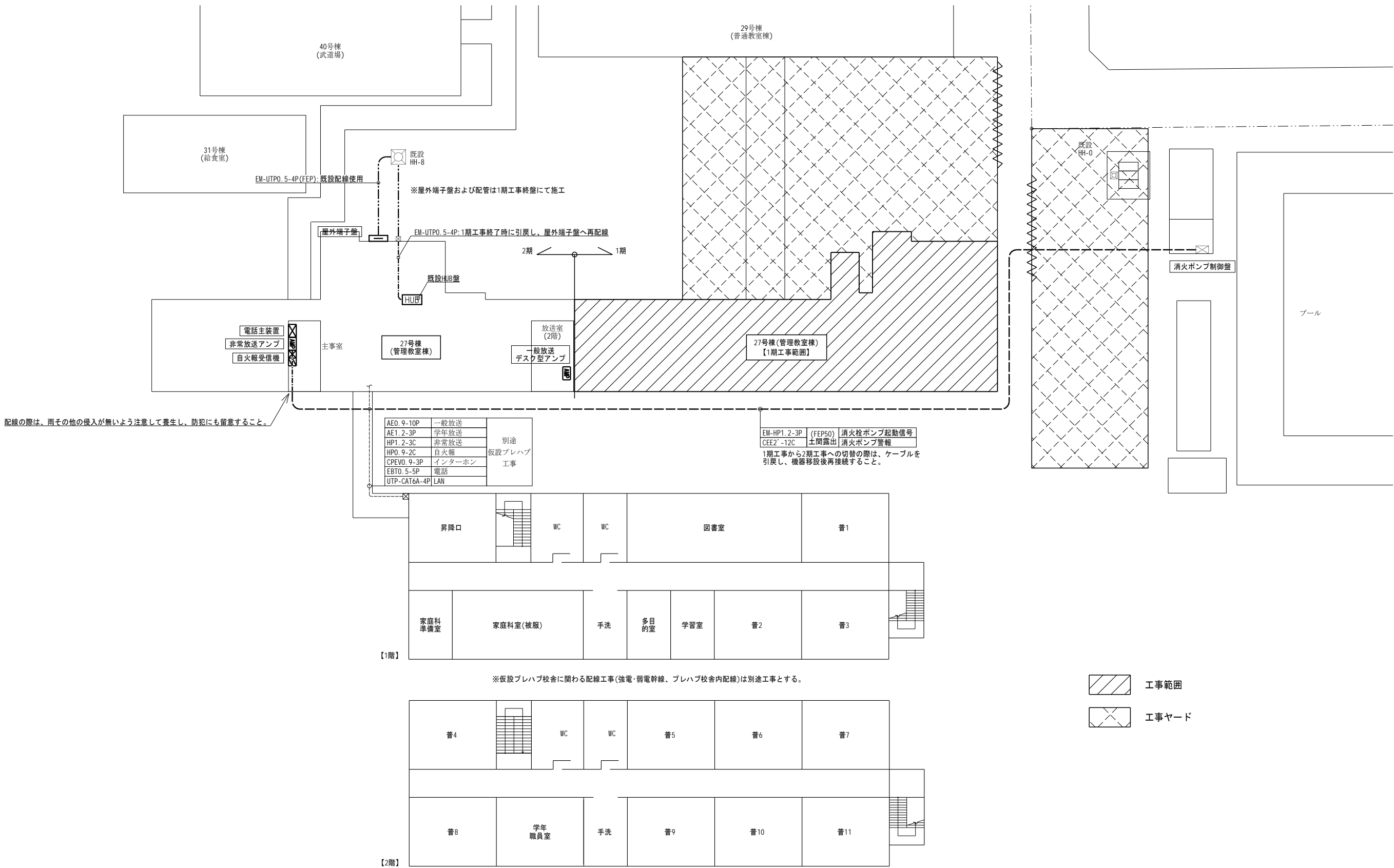
一級建築士事務所 知事登録 第1-4-6号		谷山中学校校舎 2 7号棟長寿命化改良ほか電気設備工事		
 有限会社 設備共同プラン	改修後 火災報知設備(自動火災報知・自動閉鎖)		A3:S=1/200	47
	誘導支援設備(トイレ等呼出) 3階平面図			
	一級建築士登録番号 第160627号 満塩 末則		鹿児島市建設局建築部設備課	



一級建築士事務所 知事登録 第1-4-6号		谷山中学校校舎27号棟長寿命化改良ほか電気設備工事	
 有限会社 設備共同プラン	改修後 火災報知設備(自動火災報知・自動閉鎖)		A3:S=1/200 48
	誘導支援設備(トイレ等呼出) 4階平面図		全 70
一級建築士登録番号 第160627号 満塩 末則		鹿児島市建設局建築部設備課	



一級建築士事務所 知事登録 第1-4-6号		谷山中学校校舎 2 7 号棟長寿命化改良ほか電気設備工事	
 有限会社 設備共同プラン	改修後 火災報知設備(自動火災報知)		49
	R階平面図		A3: S=1/200
一級建築士登録番号 第160627号 満塩 末則		鹿児島市建設局建築部設備課	
			全 70



配線の際は、雨その他の侵入が無いよう注意して養生し、防犯にも留意すること。

AE0. 9-10P	一般放送	別途 仮設プレハブ 工事
AE1. 2-3P	学年放送	
HP1. 2-3C	非常放送	
HP0. 9-2C	自火報	
CPEV0. 9-3P	インターホン	
EBT0. 5-5P	電話	
UTP-CAT6A-4P	LAN	

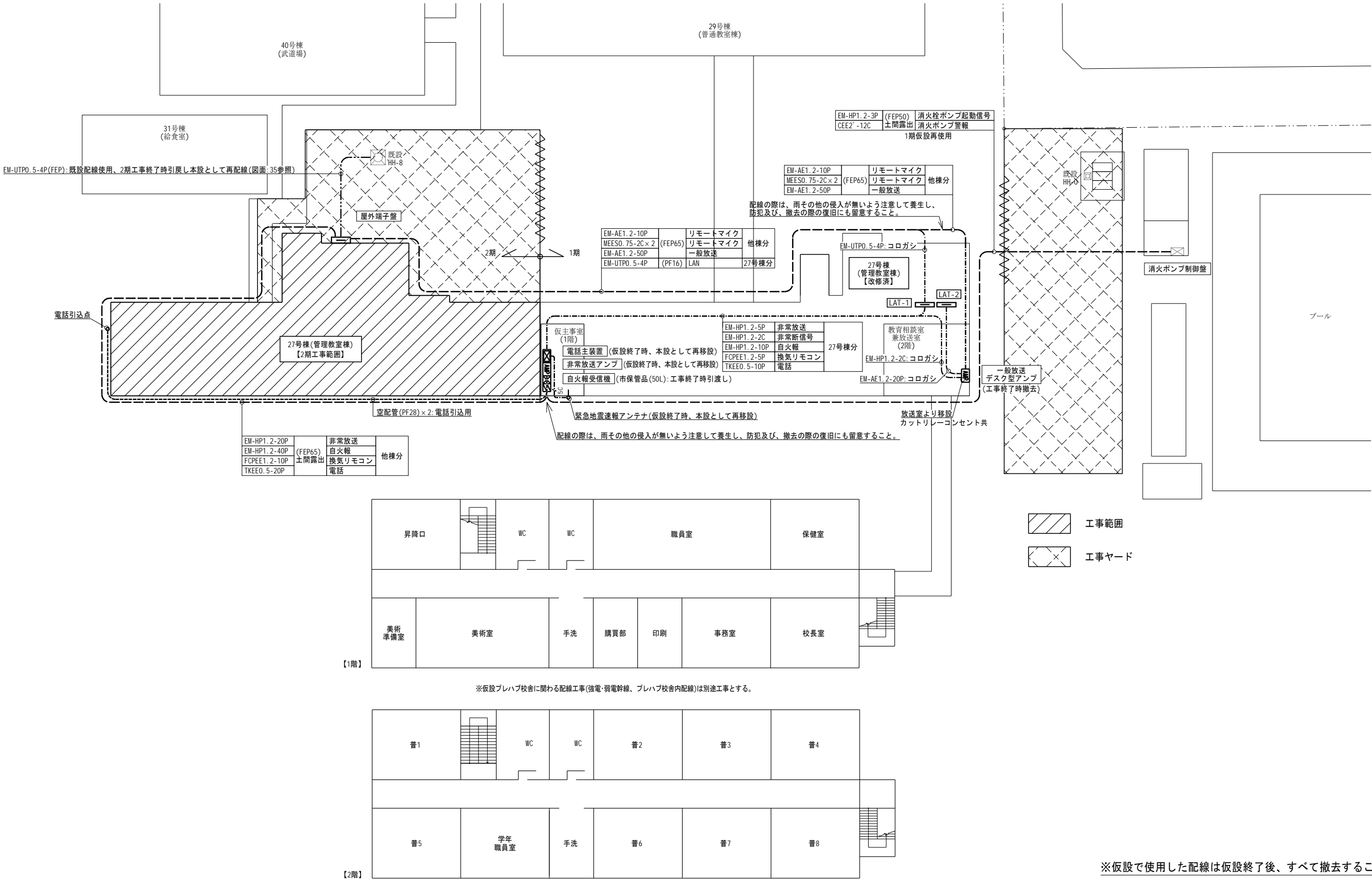
EM-HP1. 2-3P	(FEP50)	消火栓ポンプ起動信号
CEE2*-12C	土間露出	消火ポンプ警報

1期工事から2期工事への切替の際は、ケーブルを引戻し、機器移設後再接続すること。

※仮設プレハブ校舎に関わる配線工事(強電・弱電幹線、プレハブ校舎内配線)は別途工事とする。

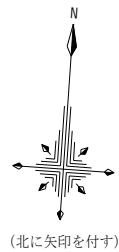
- 工事範囲
- 工事ヤード

仮設校舎平面図 S=1/400



仮設校舎平面図 S=1/400

※仮設で使用した配線は仮設終了後、すべて撤去すること。



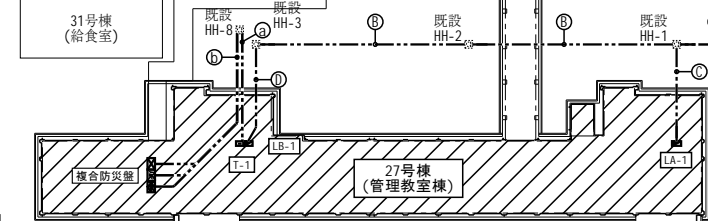
開陽高等学校

32号棟
(屋内運動場)



40号棟
(武道場)

31号棟
(給食室)



凡例表

特記なき記号は下記による。

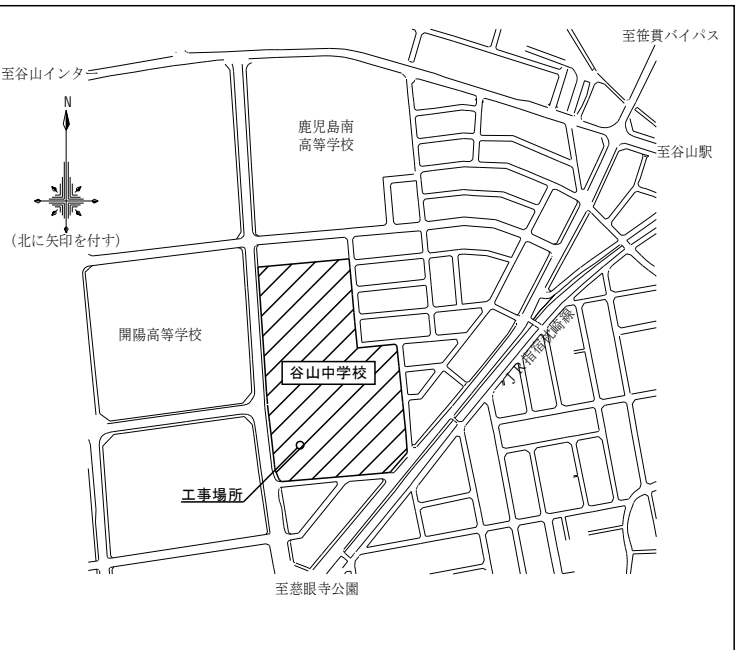
記号	名称	備考
	分電盤	
	端子盤	
	複合防災室(主室)	箱体は撤去、内部機器は各設備凡例による
	既設ハンドホール	

撤去特記事項

- 撤去前に十分に調査を行い、既存利用建物に支障を与えないように注意を払うこと。
- 工事範囲内の器具及び配管配線共全て撤去とする。ただし細線部及び打込配管は既設のまま又は別途とする。
- 本撤去図は参考とし、本図面に記載がなくとも、不要となる資材は、工事範囲内で撤去・処分すること。
- 撤去品の取扱いについては学校関係者及び監督員の指示に従い適正に処理すること。
- 図面上太線を撤去とし、細線を既設のまま又は別途とする。
- 照明器具の蛍光灯ランプについては破損しないよう取り外し水銀回収処理業者に処理を依頼し、処理引受を
確認できる書類を提出すること。
- 煙感知器を撤去する場合、イオン化式感知器が調査の上、イオン化式感知器であればメーカーに返還して
処理を行うこと。
- 本図面に明記なくとも不要となる配線・配管・配線器具等も請負業者において、撤去を行い処分すること。

配置図 S=1/1000

※図中 部分は今回工事範囲を示す。

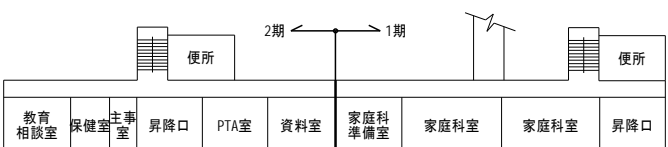
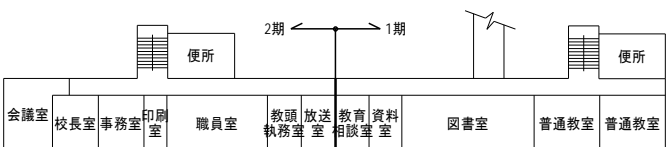
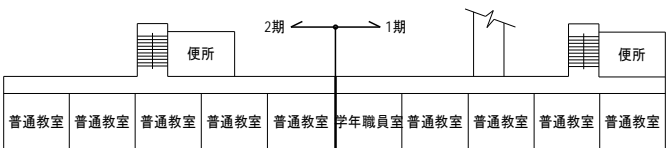
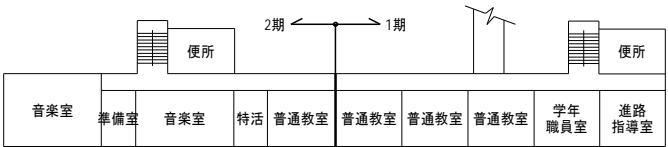
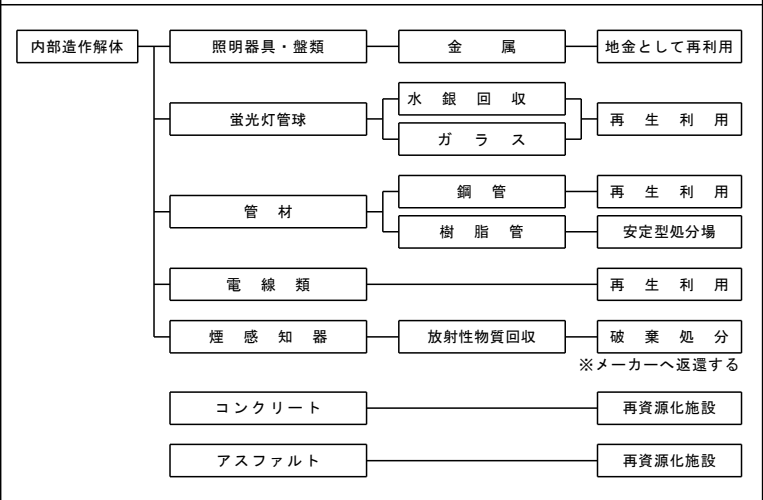


付近見取図 S=NoScale

配線配管表

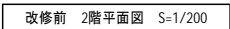
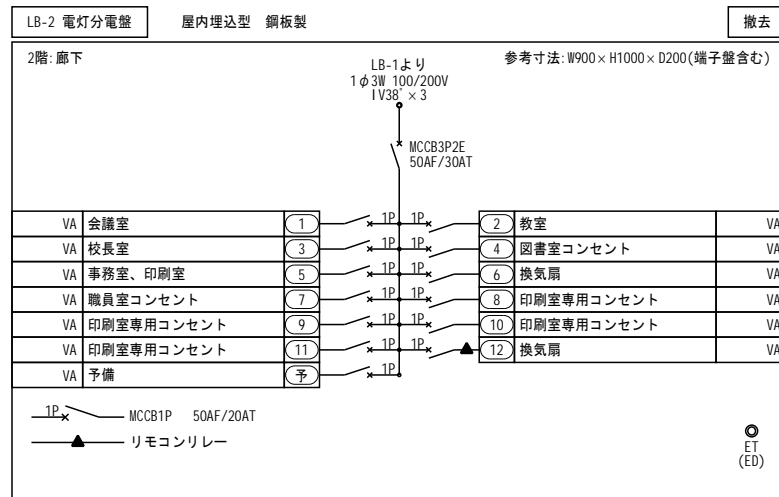
記号	配線		配管		用途	備考
A	CV38'-3C	撤去	PP50	既設のまま	27号棟(LA-1):1φ	1期工事
	CV60'-3C	撤去	PP80	既設のまま	27号棟(LB-1):1φ	2期工事
	CV100'-3C	既設のまま	PP80	既設のまま	29号棟(1CL):1φ	
	CV100'-3C	既設のまま	PP80	既設のまま	30号棟(1DL):1φ	
	CVT60	既設のまま	PP80	既設のまま	30号棟(コンピュータ室):1φ	
	CV100'-3C	既設のまま	PP80	既設のまま	30号棟(P-2):3φ	
	CV100'-3C	既設のまま	PP80	既設のまま	32号棟(1EL):1φ	
	CV38'-3C	既設のまま	PP80	既設のまま	31号棟(1FL):1φ	
	CV60'-3C	既設のまま	PP80	既設のまま	31号棟(P-4):3φ	
	CVT22	既設のまま	PP80	既設のまま	40号棟(1GL):1φ	
	CET60	既設のまま	PP80	既設のまま	太陽光発電	
B	CV60'-3C	撤去	PP80	既設のまま	27号棟(LB-1):1φ	2期工事
	CV100'-3C	既設のまま	FEP80	既設のまま	29号棟(1CL):1φ	
	CV100'-3C	既設のまま	FEP80	既設のまま	30号棟(1DL):1φ	
	CVT60	既設のまま	FEP80	既設のまま	30号棟(コンピュータ室):1φ	
	CV100'-3C	既設のまま	FEP80	既設のまま	30号棟(P-2):3φ	
	CV100'-3C	既設のまま	PP80	既設のまま	32号棟(1EL):1φ	
	CV38'-3C	既設のまま	PP80	既設のまま	31号棟(1FL):1φ	
	CV60'-3C	既設のまま	PP80	既設のまま	31号棟(P-4):3φ	
	CVT22	既設のまま	PP80	既設のまま	40号棟(1GL):1φ	
	空配管	既設のまま	FE80×5	既設のまま		
C	CV38'-3C	撤去	GP54	既設のまま	27号棟(LA-1):1φ	1期工事
	CET60	既設のまま	GP54	既設のまま	太陽光発電パワコン	
D	CV60'-3C	撤去	GP54	既設のまま	27号棟(LB-1):1φ	2期工事
	空配管	既設のまま	GP54	既設のまま		配線撤去後導入線入線
a	AE1.2-20P	引戻し	GP70	既設のまま	29号棟(TC-1):一般放送	1期工事
	AE1.2-5P×2				29号棟(TC-1):リモートマイク	1期工事
	MWS1.25'-2C×2				29号棟(TC-1):リモートマイク	1期工事
	AE1.2-20P				30号棟(TD-1):一般放送	1期工事
	AE1.2-3P	引戻し	GP54	既設のまま	31号棟(TE-1):一般放送	1期工事
	AE1.2-3C	引戻し	GP54	既設のまま	40号棟:一般放送	1期工事
	7C-FB	引戻し	GP54	既設のまま	29号棟(TV-C):テレビ	1期工事
b	HP1.2-30P	引戻し	GP70	既設のまま	29号棟(TC-1):火報	1期工事
	HP1.2-10P	引戻し	GP70	既設のまま	29号棟(TC-1):非常放送	1期工事
	HP1.2-5P				30号棟(TD-1):非常放送	1期工事
	AE1.2-3P×2				29.30号棟換気扇リモコン	1期工事
	HP1.2-5P				31号棟(TE-1):火報	1期工事
	HP1.2-1P	引戻し	GP54	既設のまま	31号棟(TE-1):非常放送	1期工事
	HP1.2-5P				40号棟:火報	1期工事
	HP1.2-1P				40号棟:非常放送	1期工事
	TKEVO.5-20P				引戻し	GP54

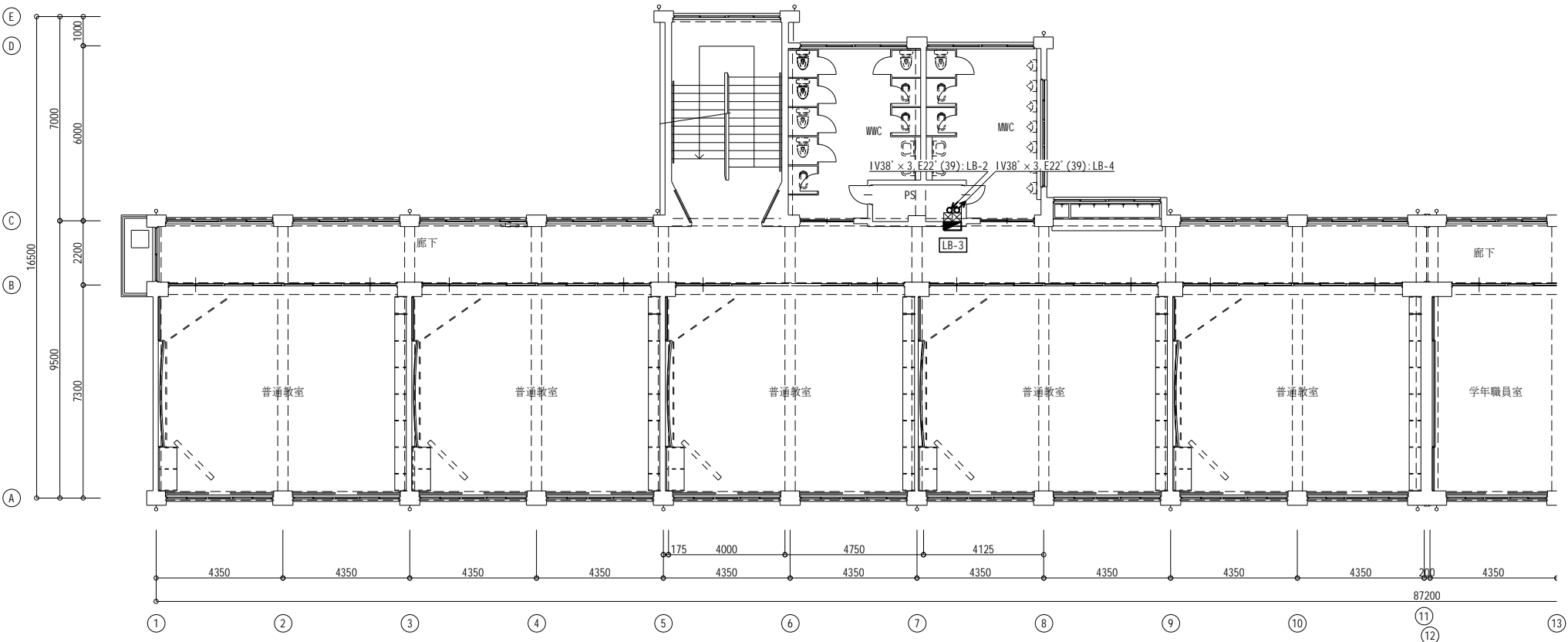
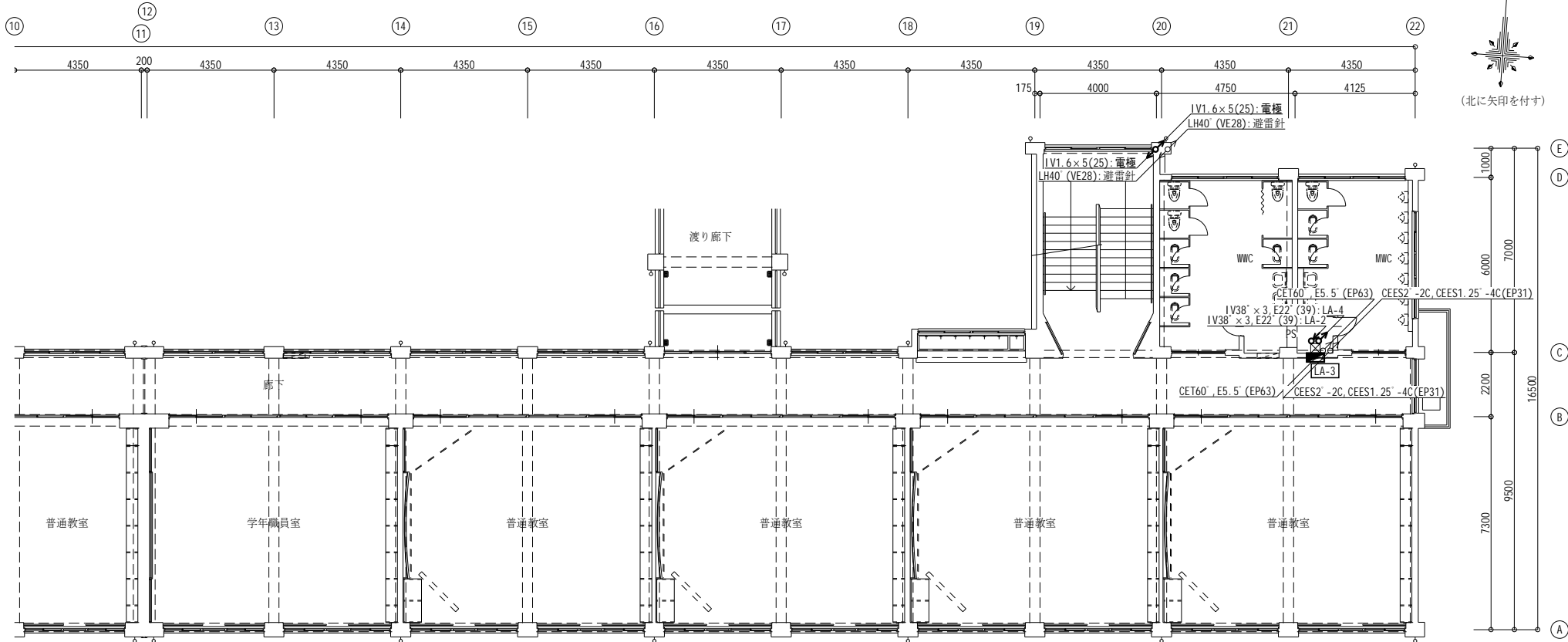
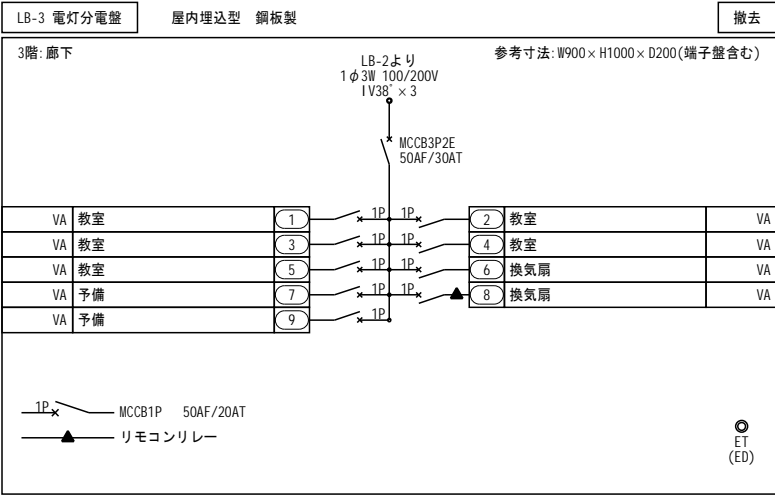
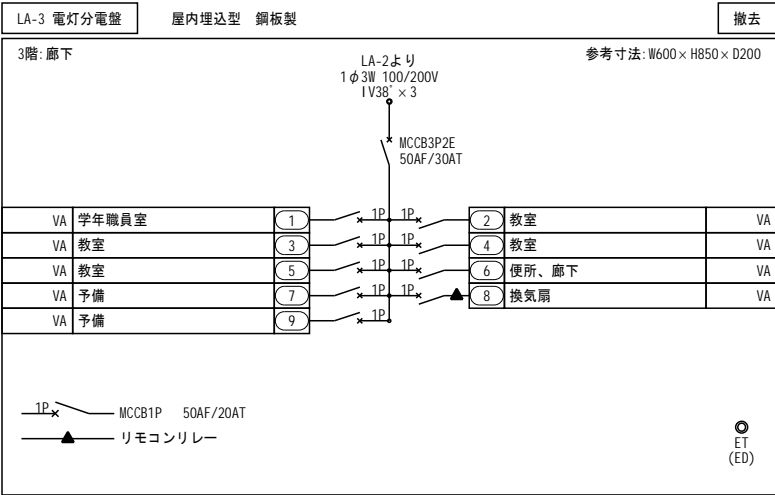
建築物解体材処分のフロー

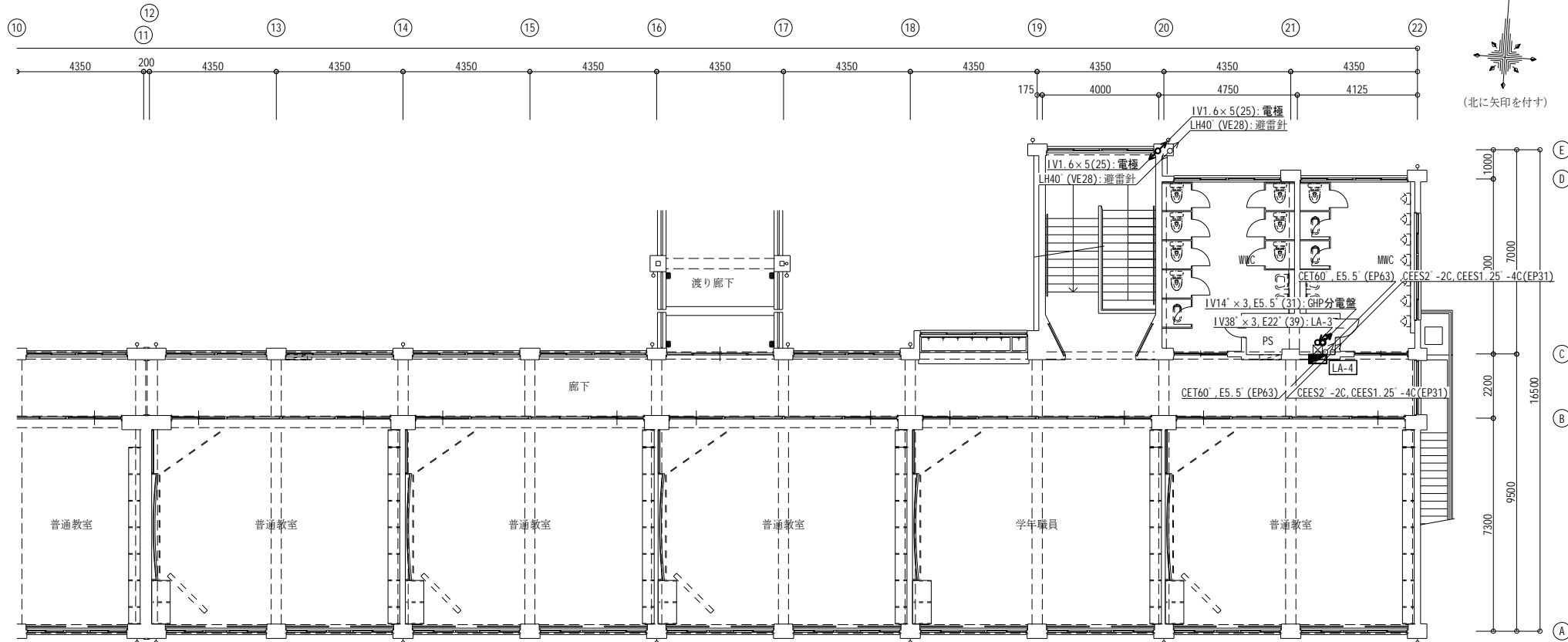
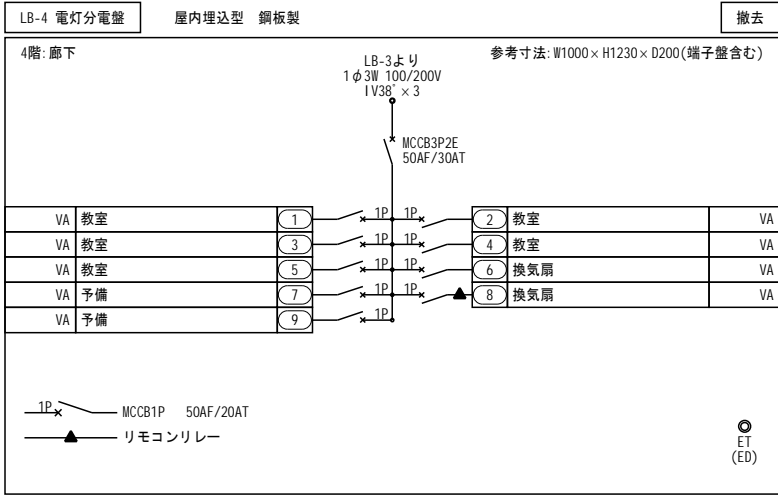
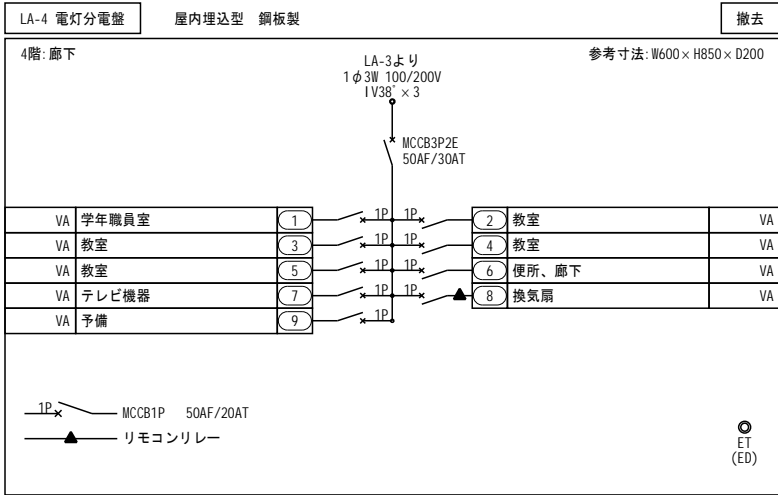


改修前教室配置図、工事工期

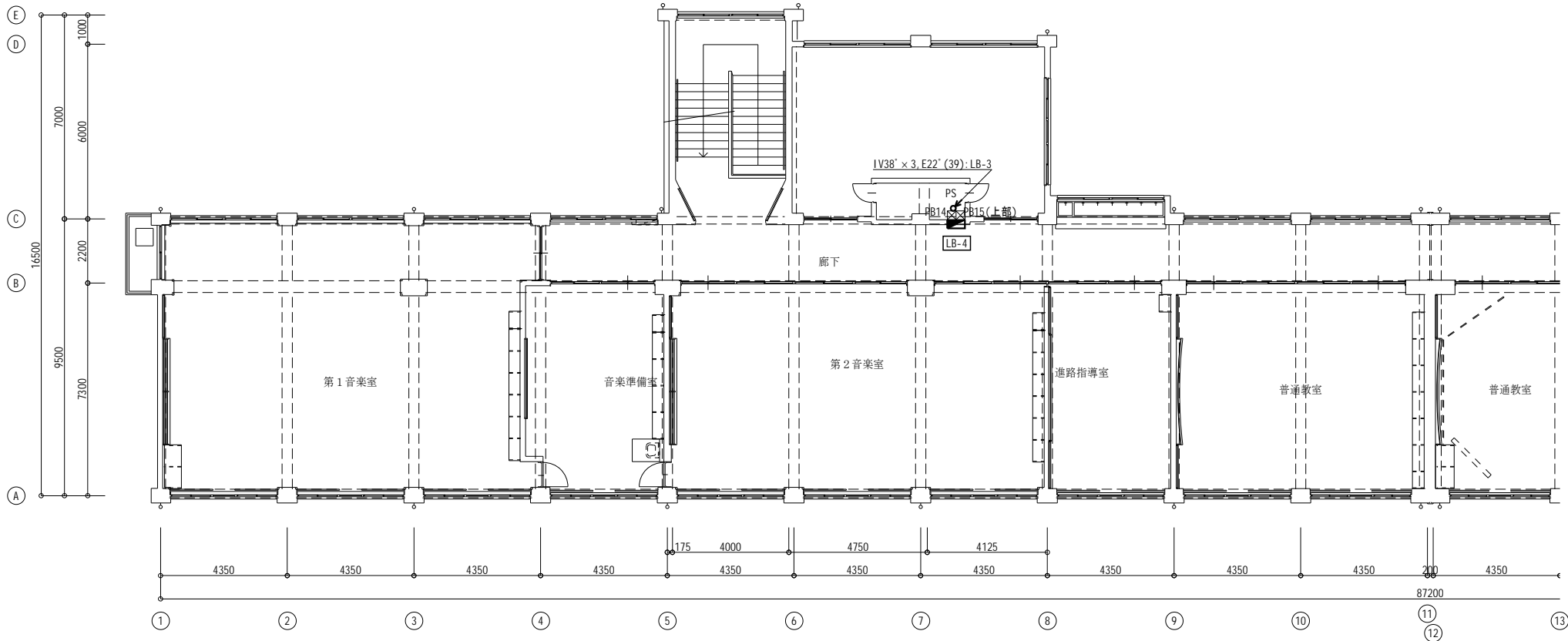
	全 70
--	------



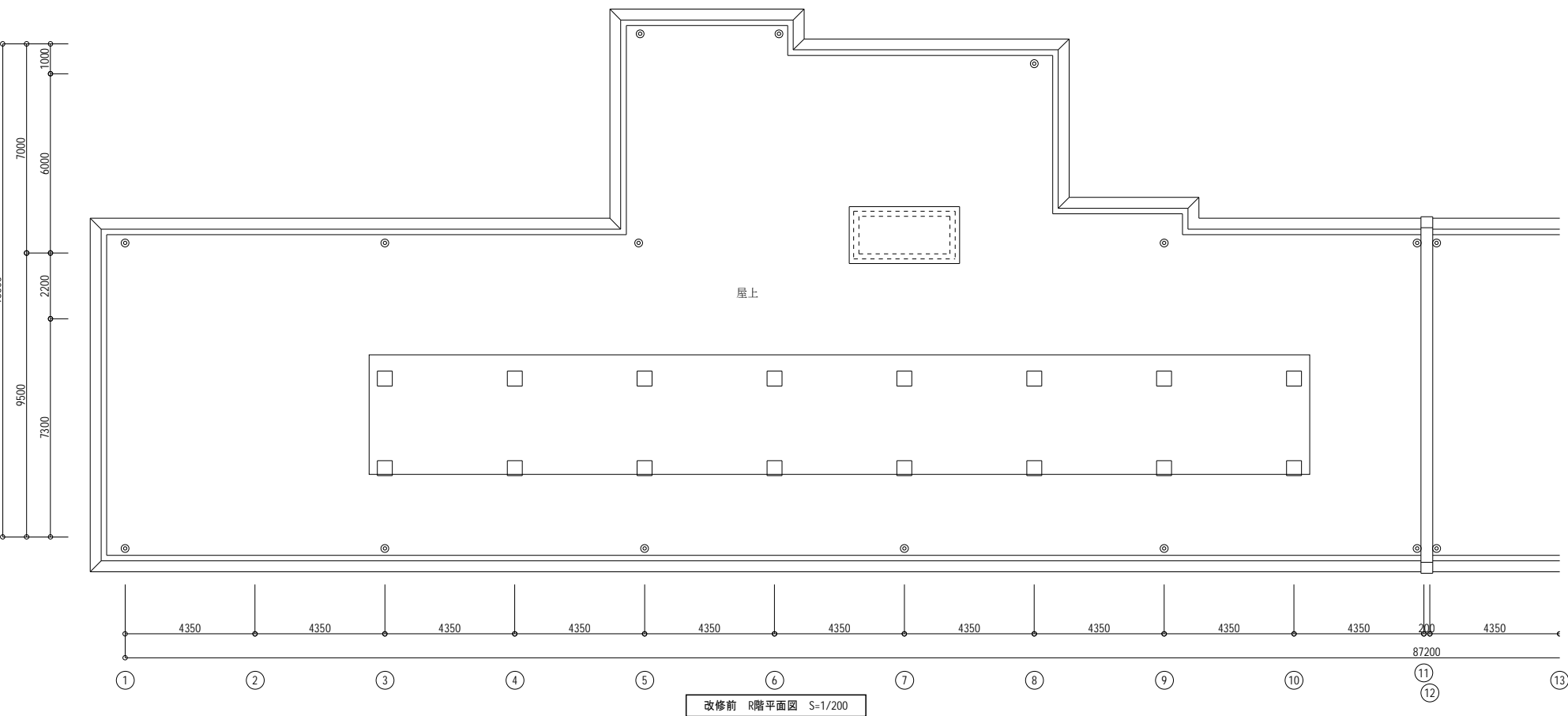




改修前 4階平面図 S=1/200



改修前 4階平面図 S=1/200



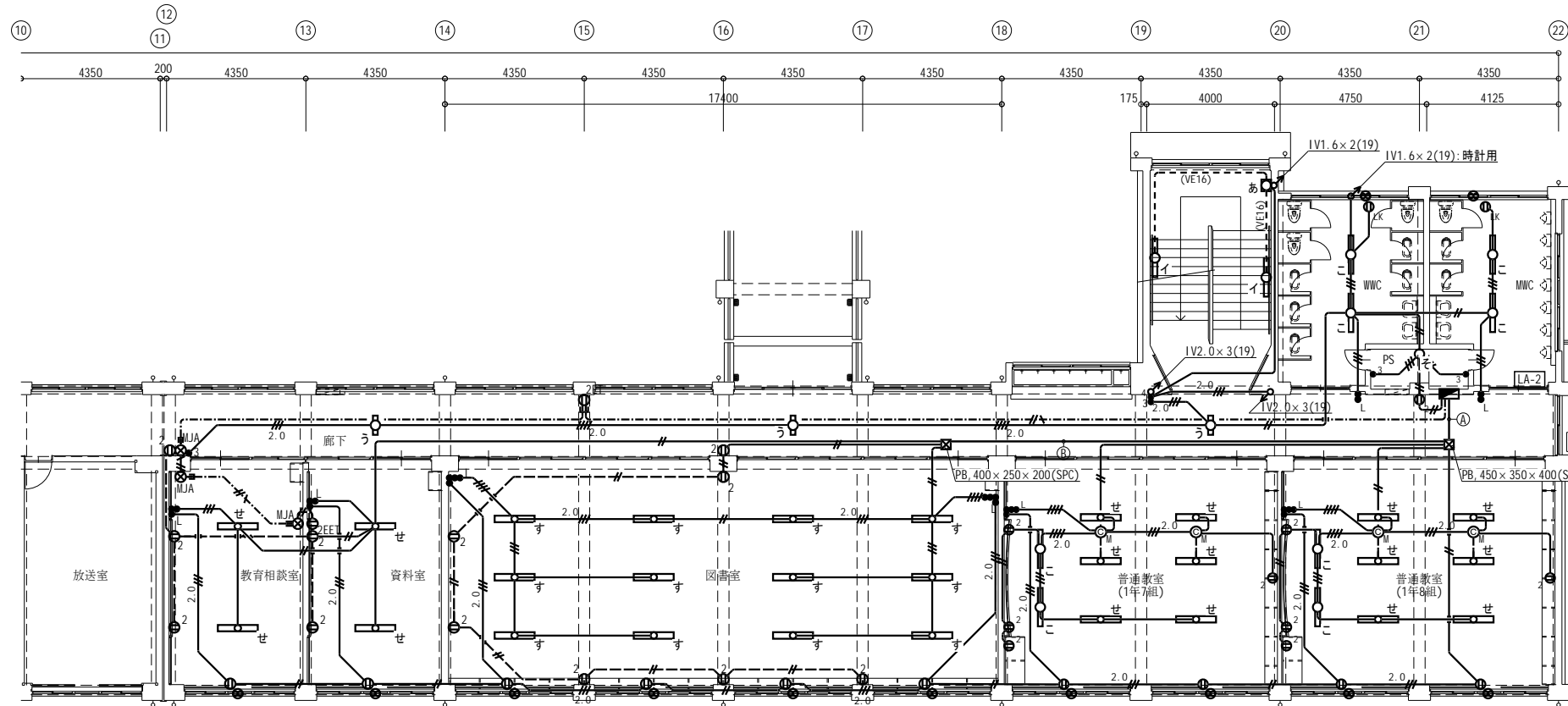
記号	名 称	備 考
----- /// -----	IV1.6×5 (既設EP: インベイ)	
----- /// 14_(EP31)-----	IV14×3, E5.5 (EP31: 露出)	配線のみ撤去
----- /// 14-----	IV14×3, E5.5 (GP28: 露出)	配線のみ撤去
----- /// CWV-----	CW2-5C (GP22: 露出)	
----- /// LH-----	LH40 (既設VE: インベイ)	

配管配線凡例表

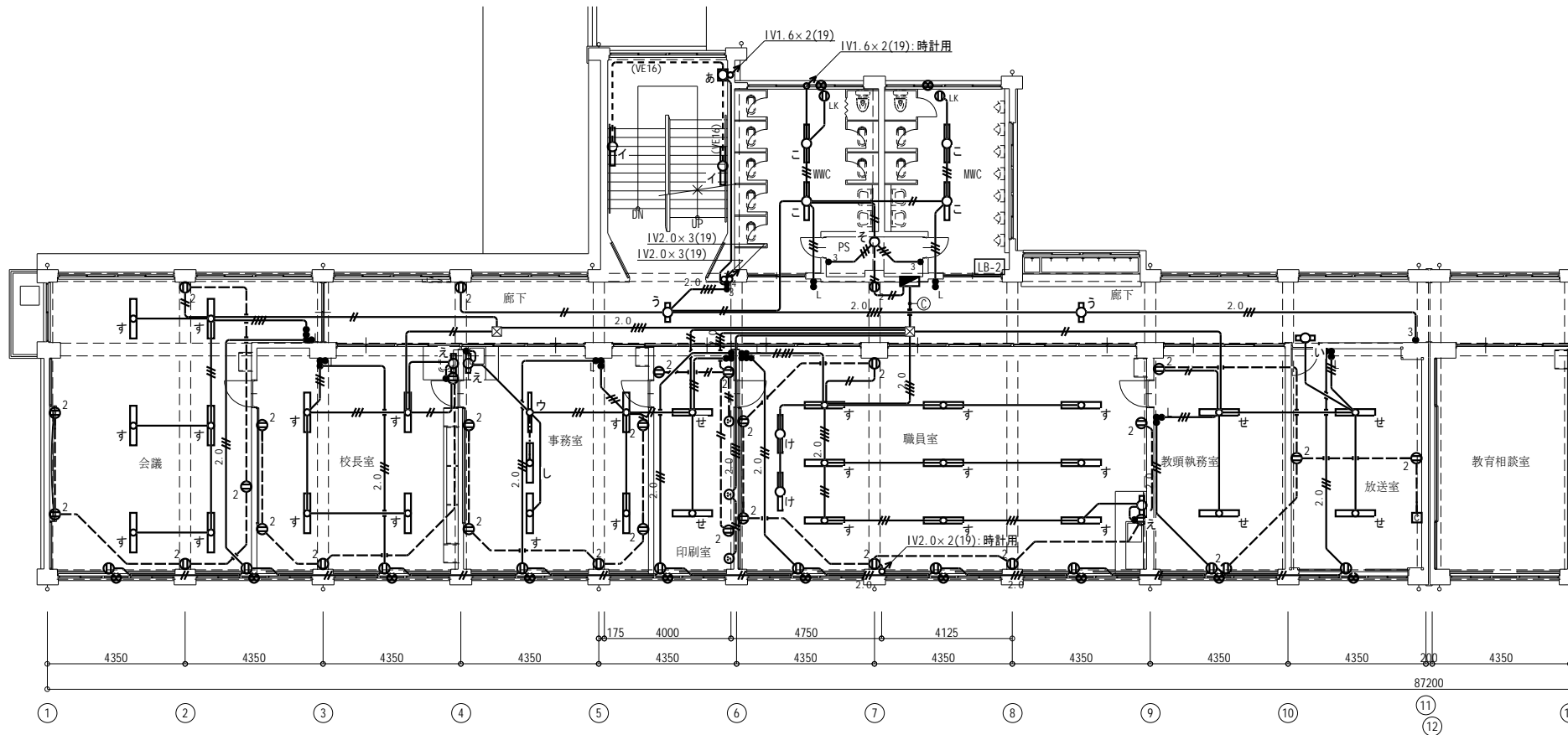
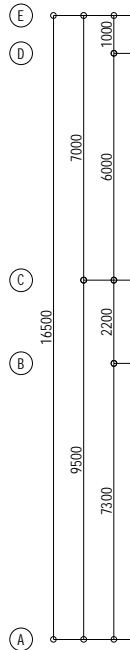
特記なき配管・配線は下記による。

記号	名 称	備 考
	IV1.6×2 (EP19: インペイ)	
///	IV1.6×3 (EP19: インペイ)	
////	IV1.6×4 (EP19: インペイ)	
////	IV1.6×5 (EP25: インペイ)	
///	IV2.0×2 (EP19: インペイ)	
/// 2.0	IV2.0×3 (EP19: インペイ)	
/// 2.0	IV2.0×4 (EP25: インペイ)	
----- (VE16)	VVF1.6-2C (VE16: 露出)	
-----	VVF1.6-2C (コログシ)	
-----	IV1.6×2 (EP19: 床インペイ)	
-----	IV2.0×2 (EP19: 床インペイ)	

工事範囲内の太線の配管配線はすべて撤去とする。ただし、天井及び壁、床の躯体
打込配管部分は除く。



改修前 2階平面図 S=1/200



改修前 2階平面図 S=1/200

配管配線表

記号	配線	回路番号	配管
(A)	IV2.0×2	(1)	(25)
	IV2.0×2	(2)	
	IV2.0×2	(3)	
	IV2.0×2	(4)	(25)
	IV2.0×2	(6)	
	予備配管		(25)×2
(B)	IV2.0×2	(1)	(25)
	IV2.0×2	(6)	
	IV2.0×2	(4)	
	予備配管		(25)
(C)	IV2.0×2	(1)	(25)
	IV2.0×2	(3)	
	IV2.0×2	(5)	
	IV2.0×2	(2)	(25)
	IV2.0×2	(4)	
	IV2.0×2	(7)	
	IV2.0×2	(8)	(25)
	IV2.0×2	(1)	
	IV2.0×2	(9)	(25)
	IV2.0×2	(10)	
	予備配管		(25)×4

一級建築士事務所 知事登録 第1-4-6号



有限会社 設備共同プラン

一級建築士登録番号 第160627号 満塩 末則

谷山中学校校舎27号棟長寿命化改良ほか電気設備工事

改修前 電灯設備(電灯分岐・コンセント
分岐・換気扇分岐)
2階平面図(撤去図)

A3:S=1/200

59

鹿児島市建設局建築部設備課

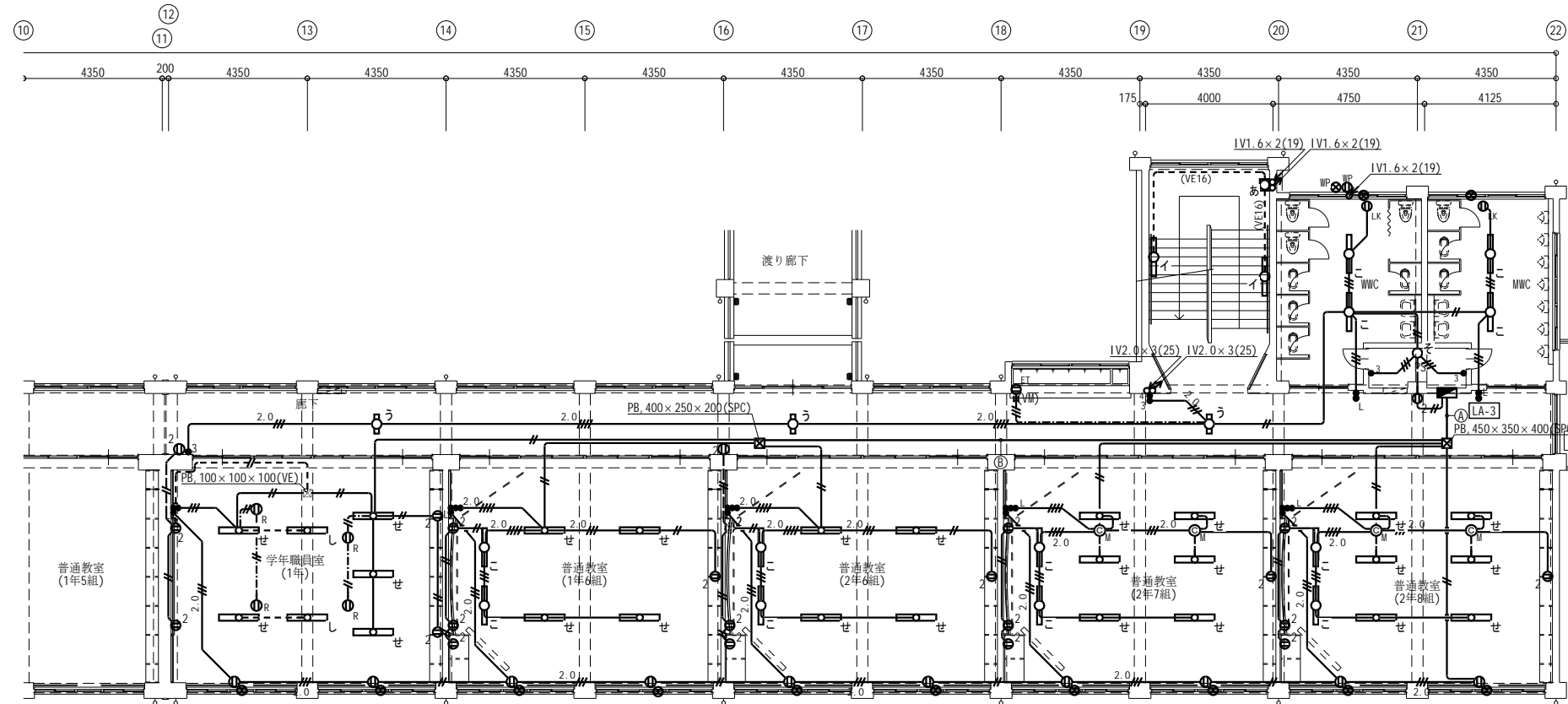
全 70

配管配線凡例表

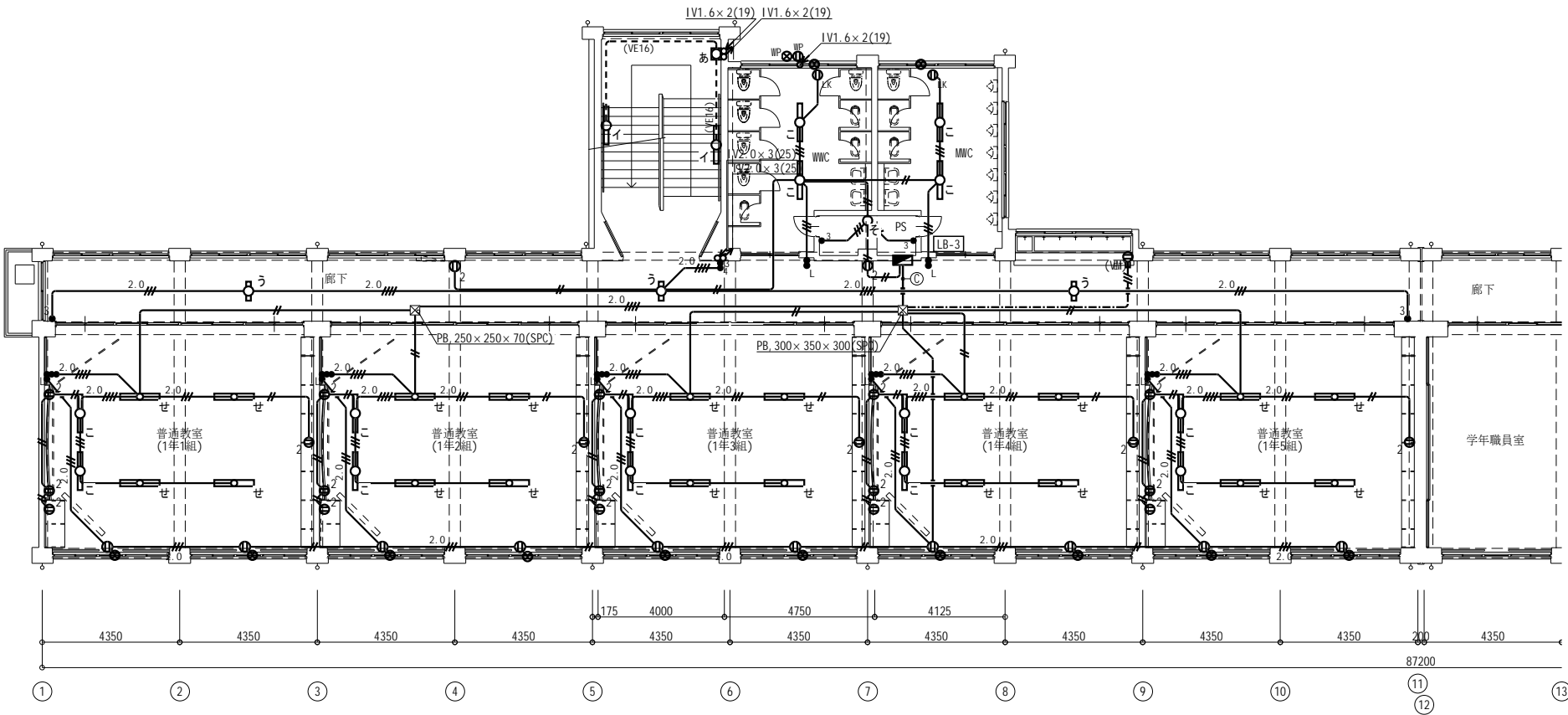
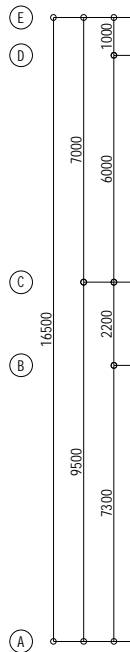
特記なき配管・配線は下記による。

記号	名 称	備 考
	IV1.6×2 (EP19: インペイ)	
///	IV1.6×3 (EP19: インペイ)	
///	IV2.0×2 (EP19: インペイ)	
/// 2.0	IV2.0×3 (EP19: インペイ)	
/// 2.0	IV2.0×4 (EP25: インペイ)	
- - - (VE16)	VVF1.6-3C(1C:E) (コロガシ)	
- - -	VVF1.6-2C (VE16: 露出)	
- - -	IV2.0×2 (EP19: 床インペイ)	
/// (VM)	VVF1.6-3C(1C:E) (ビニルモール2号)	

工事範囲内の太線の配管配線はすべて撤去とする。ただし、天井及び壁、床の躯体
打込配管部分は除く。



改修前 3階平面図 S=1/200



改修前 3階平面図 S=1/200

配管配線表

記号	配線	回路番号	配管
(A)	IV2.0×2	(1)	(25)
	IV2.0×2	(2)	(25)
	IV2.0×2	(3)	(25)
	IV2.0×2	(4)	(25)
	IV2.0×2	(5)	(25)
	予備配管		(25)×2
(B)	IV2.0×2	(1)	(25)
	IV2.0×2	(2)	(25)
	IV2.0×2	(3)	(25)
	予備配管		(25)
(C)	IV2.0×2	(1)	(25)
	IV2.0×2	(2)	(25)
	IV2.0×2	(3)	(25)
	IV2.0×2	(4)	(25)
	IV2.0×2	(5)	(25)
	予備配管		(25)×3

配管配線凡例表

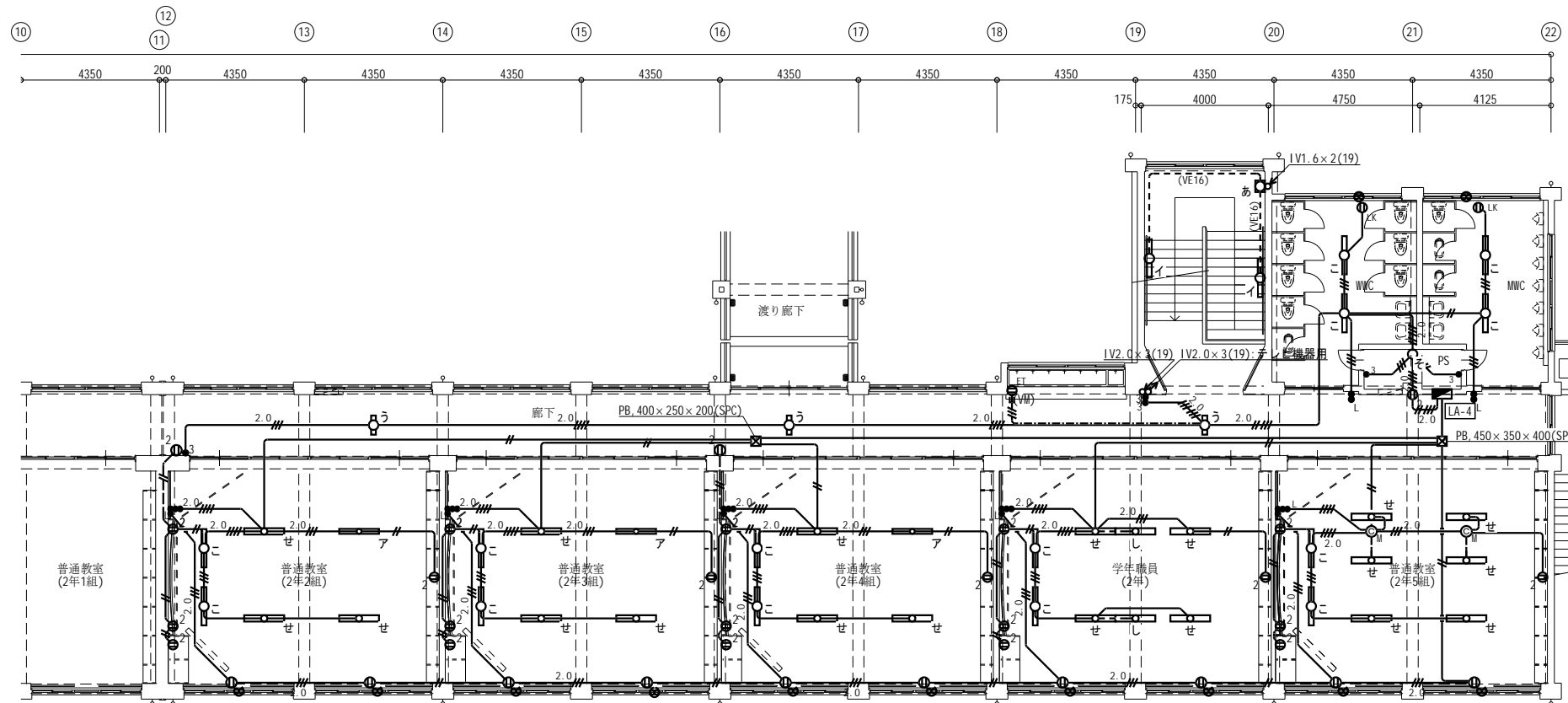
特記なき配管・配線は下記による。

記号	名 称	備 考
	IV1.6×2 (EP19: インペイ)	
///	IV1.6×3 (EP19: インペイ)	
////	IV1.6×4 (EP19: インペイ)	
////	IV1.6×5 (EP25: インペイ)	
///	IV2.0×2 (EP19: インペイ)	
/// 2.0	IV2.0×3 (EP19: インペイ)	
/// 2.0	IV2.0×4 (EP25: インペイ)	
--- (VE16) ---	VVF1.6-2C (VE16: 露出)	
--- // ---	IV1.6×2 (EP19: 床インペイ)	
--- // ---	IV2.0×2 (EP19: 床インペイ)	

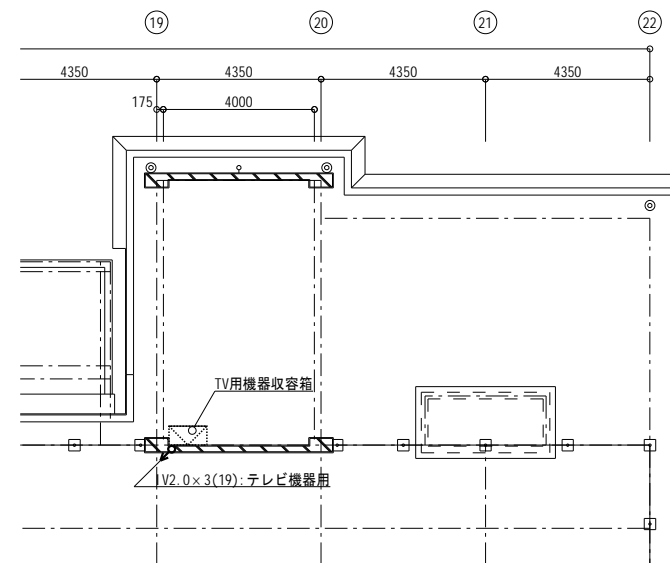
工事範囲内の太線の配管配線はすべて撤去とする。ただし、天井及び壁、床の躯体
打込配管部分は除く。

配管配線表

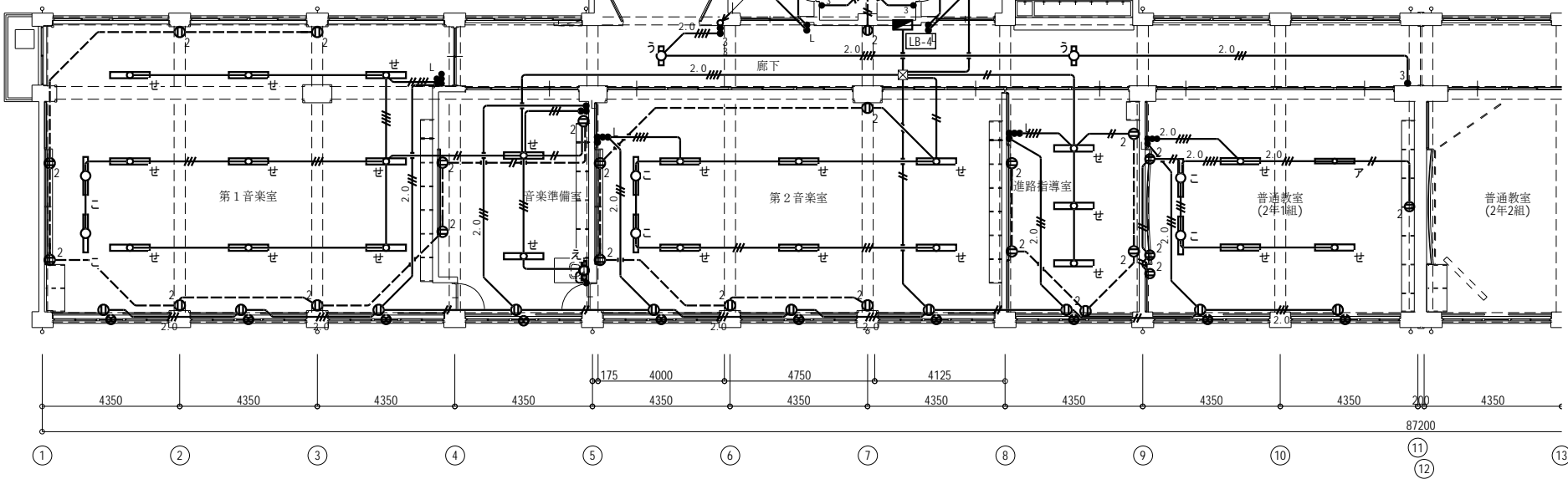
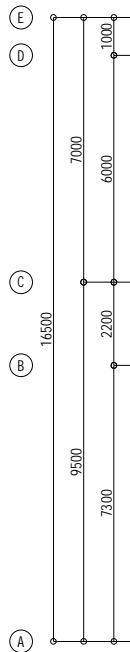
記号	配線	回路番号	配管
A	IV2.0×2	(1)	(25)
	IV2.0×2	(2)	
	IV2.0×2	(3)	
	IV2.0×2	(4)	
	IV2.0×2	(5)	
	予備配管	(25)×2	
B	IV2.0×2	(1)	(25)
	IV2.0×2	(2)	
	IV2.0×2	(3)	
	予備配管	(25)	
C	IV2.0×2	(1)	(25)
	IV2.0×2	(2)	
	IV2.0×2	(3)	
	IV2.0×2	(4)	
	IV2.0×2	(5)	
	予備配管	(25)×3	



改修前 4階平面図 S=1/200



改修前 R階平面図 S=1/200



改修前 4階平面図 S=1/200

ブルボックス仕様表		
PBh	450×350×300	SPC

5C-FB×2	(ステップル)	ワイヤレスアンテナ
AE1.2-2C		時計

AE1.2-2C(ケーブル露出)
5C-FB(ケーブル露出)

改修前 3階平面図 S=1/200

MVVS1.25-2C×2	(51)	リモコンマイク
OP0.65-3P×2	(51)	リモコンマイク
OP1.2-20P	(51)	一般放送
AE1.2-10P	(51)	インターホン

UTPO.5-4P×2	(31)	LAN
UTPO.5-4P×2	(31)	LAN(KE1)
UTPO.5-4P	(31)	LAN
UTPO.5-4P	(31)	LAN(KE1)

OP1.2-5P	(F2-24)	一般放送
MVVS1.25-2C	(F2-17)	リモコンマイク
OP0.65-3P	(F2-17)	リモコンマイク
EBT0.5-1P×5	(F2-30)	電話

配管配線凡例表

特記なき配管・配線は下記による。

記号	名 称	備 考
1.2	IV1.2×2 (既設EP: インベイ)	
1.2	IV1.2×3 (既設EP: インベイ)	
1.2	IV1.2×4 (既設EP: インベイ)	
1.2	IV1.2×5 (既設EP: 床インベイ)	
HIV	HIV1.2×2 (EP19: インベイ)	
HIV	HIV1.2×4 (EP19: インベイ)	
HIV	HIV1.2×3 (既設EP: 床インベイ)	
HIV	HIV1.2×6 (既設EP: インベイ)	
OP3P	OP0.65-3P (EP19: インベイ)	
OP5P	OP1.2-5P (EP25: インベイ)	
OP5P	OP1.2-5P (既設EP: 床インベイ)	
OP10P	OP1.2-10P (既設EP: インベイ)	
OP20P	OP1.2-20P (既設EP: インベイ)	
UTPO	UTPO.5-4P (コログシ)	
EBT	EBT0.5-1P (既設EP: インベイ)	
EBT	EBT0.5-1P (既設EP: 床インベイ)	
EBT	EBT0.5-1P×3 (EP31: インベイ)	
5C	5C-FB (EP19: インベイ)	
MVVS	MVVS1.25-2C (EP19: インベイ)	
(MMA)	メタルモールA型	

5C-FB×2	(ステップル)	ワイヤレスアンテナ
AE1.2-2C		時計

AE1.2-2C(ケーブル露出)
5C-FB(ケーブル露出)

改修前 3階平面図 S=1/200

一級建築士事務所 知事登録 第1-4-6号

有限会社 設備共同プラン

一級建築士登録番号 第160627号 満塩 末則

谷山中学校校舎27号棟長寿命化改良ほか電気設備工事

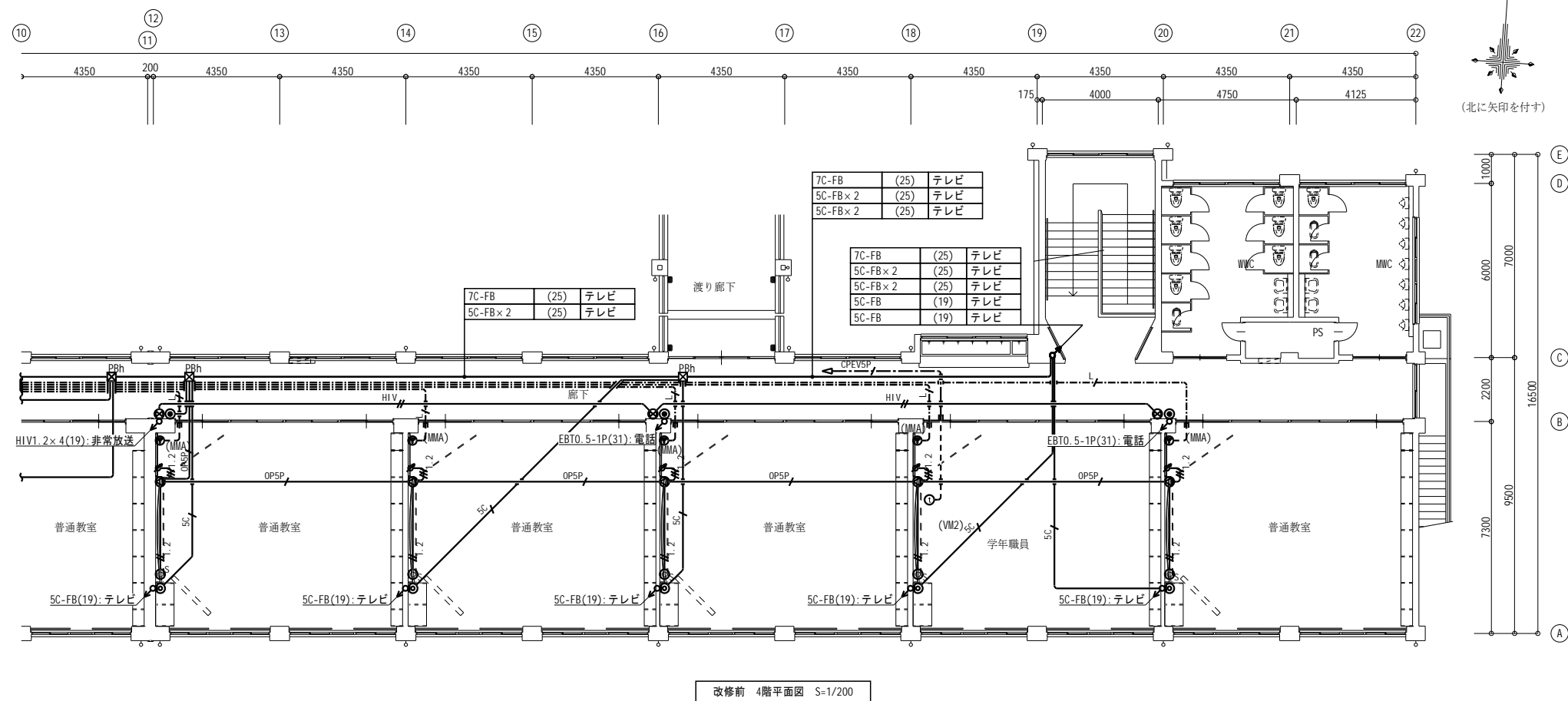
改修前 弱電設備
3階平面図(撤去図)

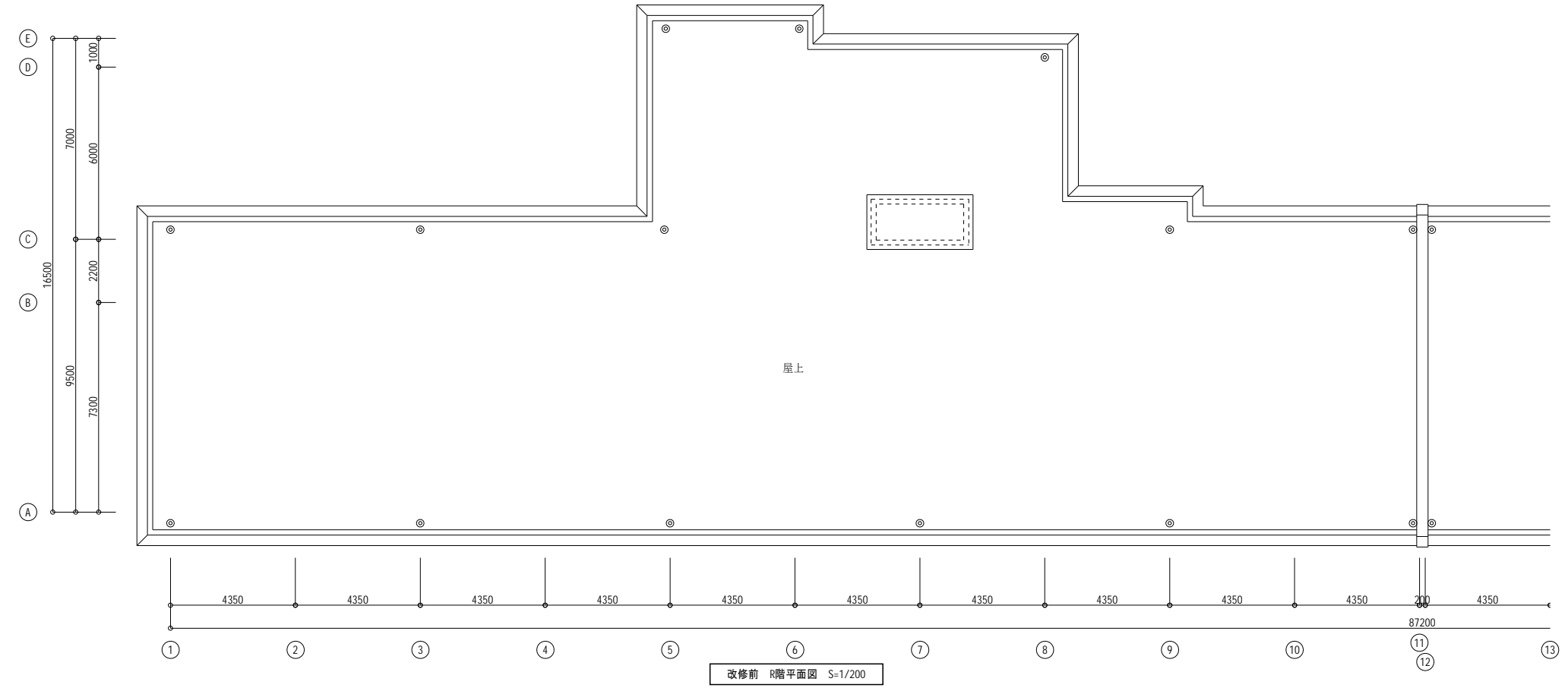
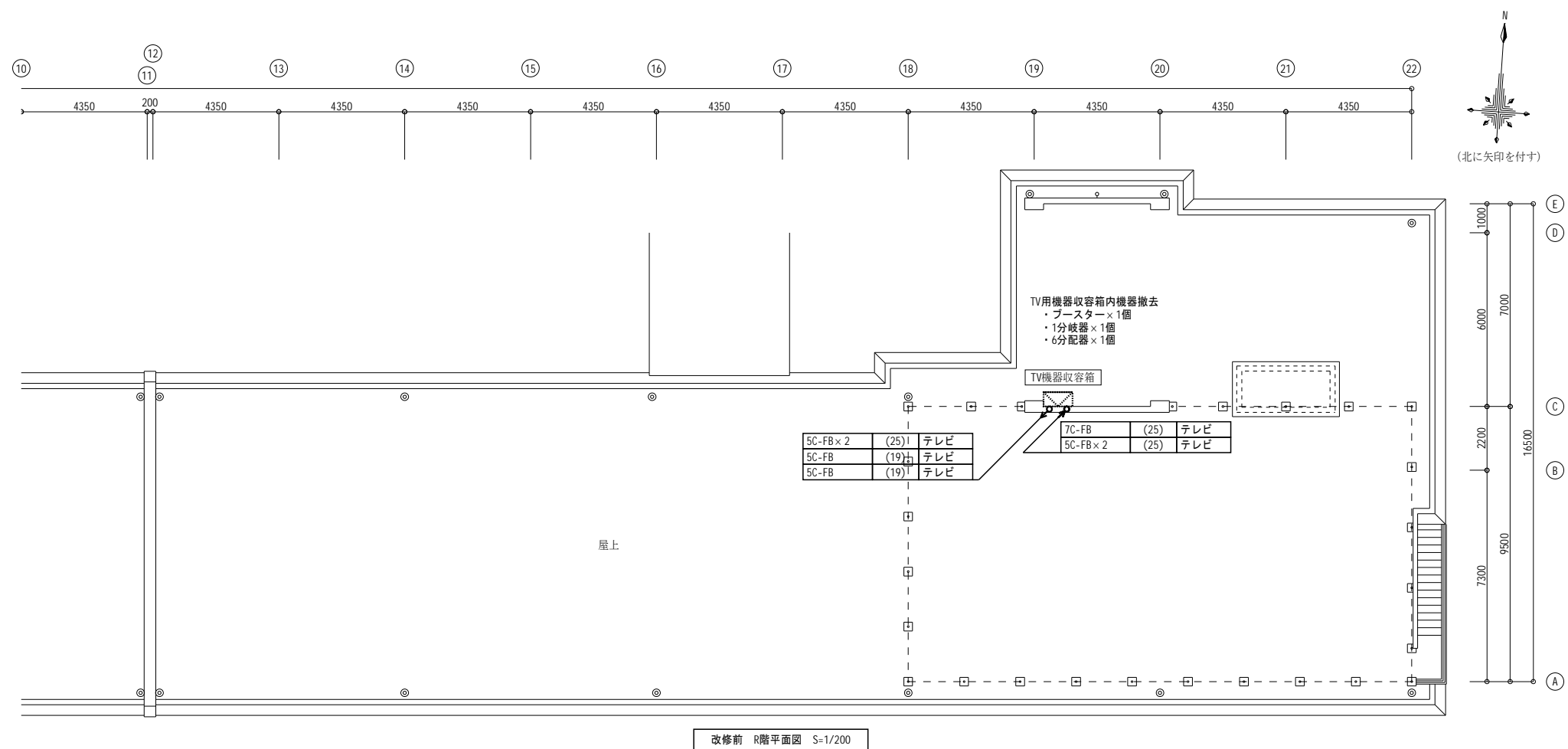
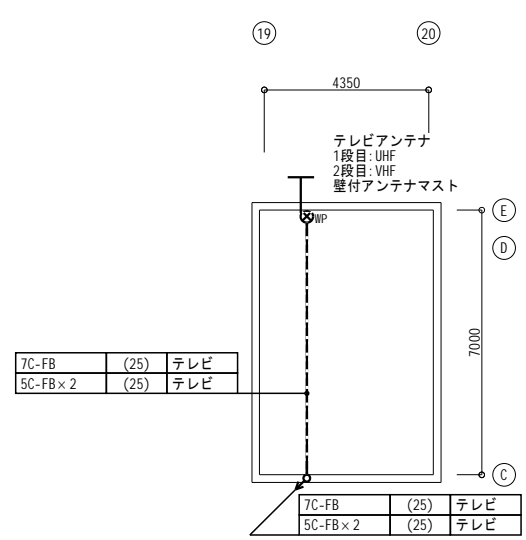
A3: S=1/200

64

鹿児島市建設局建築部設備課

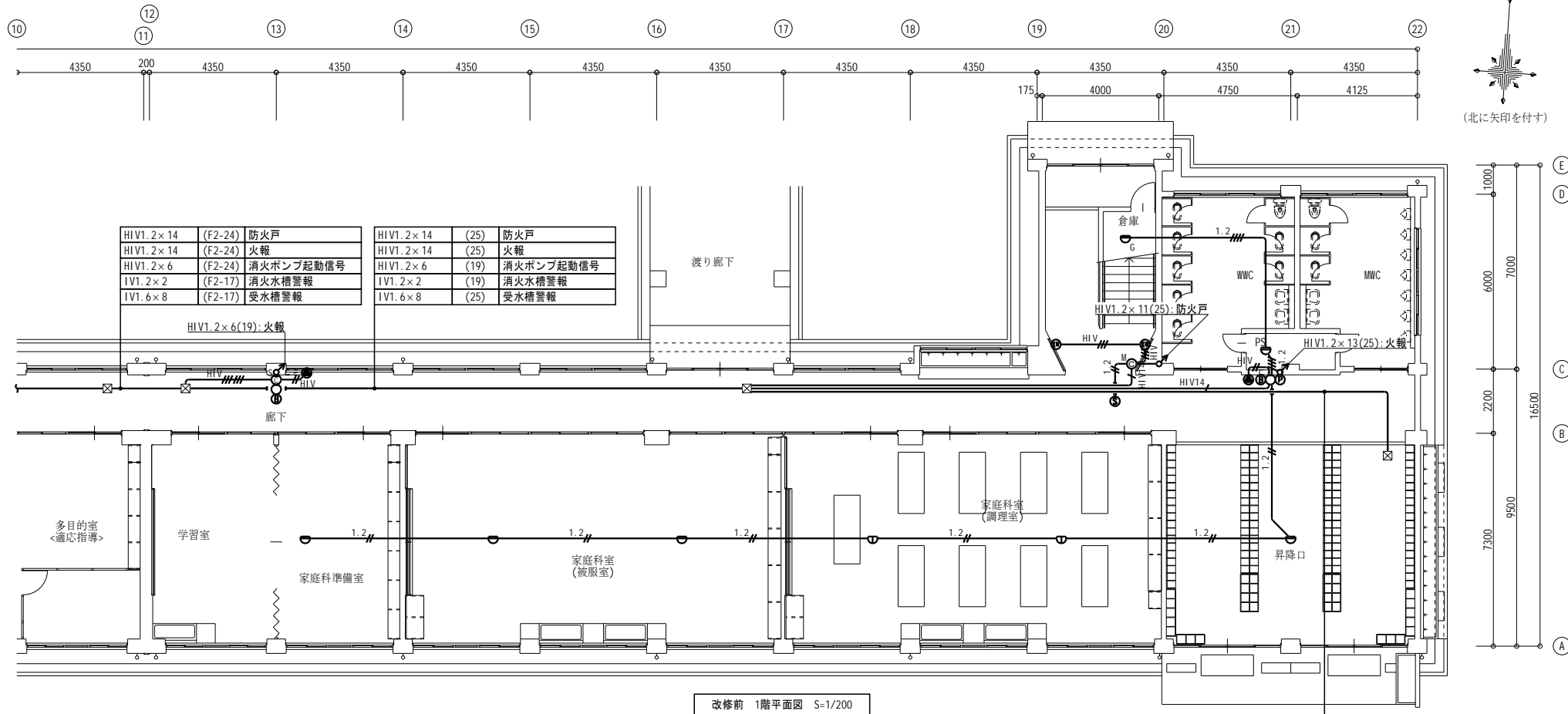
全 70





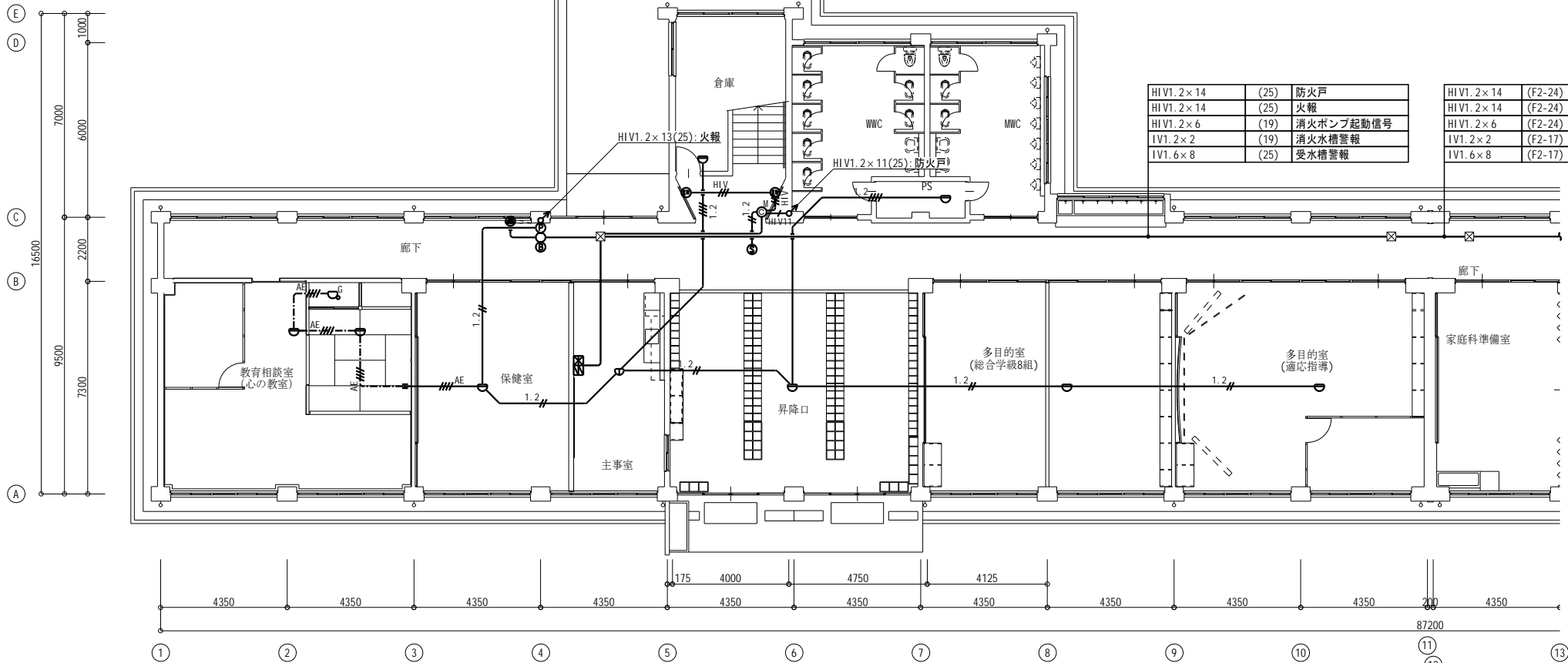
凡例表

特記なき記号は下記による。		
記号	名称	備考
☒	P型1級受信機(複合防災壁内)	取外し(再取付あり)
Ⓟ	P型発信機	
○	表示灯	
Ⓟ	警報ベル	
Ⓟ	差動式スポット型感知器 2種 露出	
ⓅG	差動式スポット型感知器 2種 露出(ガード付)	
Ⓟ	定温式スポット型感知器 1種 露出 防水形	
ⓅG	定温式スポット型感知器 特種 露出(ガード付)	
Ⓟ	光電式煙感知器 2種 露出	
Ⓟ	光電式煙感知器 3種 露出	
Ⓟ	消火栓 始動押ボタン	
Ⓟ	自動閉鎖装置	
ⓅS	カバープレート 金属製(角型): 壁付	



改修前 1階平面図 S=1/200

HIV1.2×6	(19)	消火ポンプ起動信号
IV1.2×2	(19)	消火水槽警報
IV1.6×8	(25)	受水槽警報

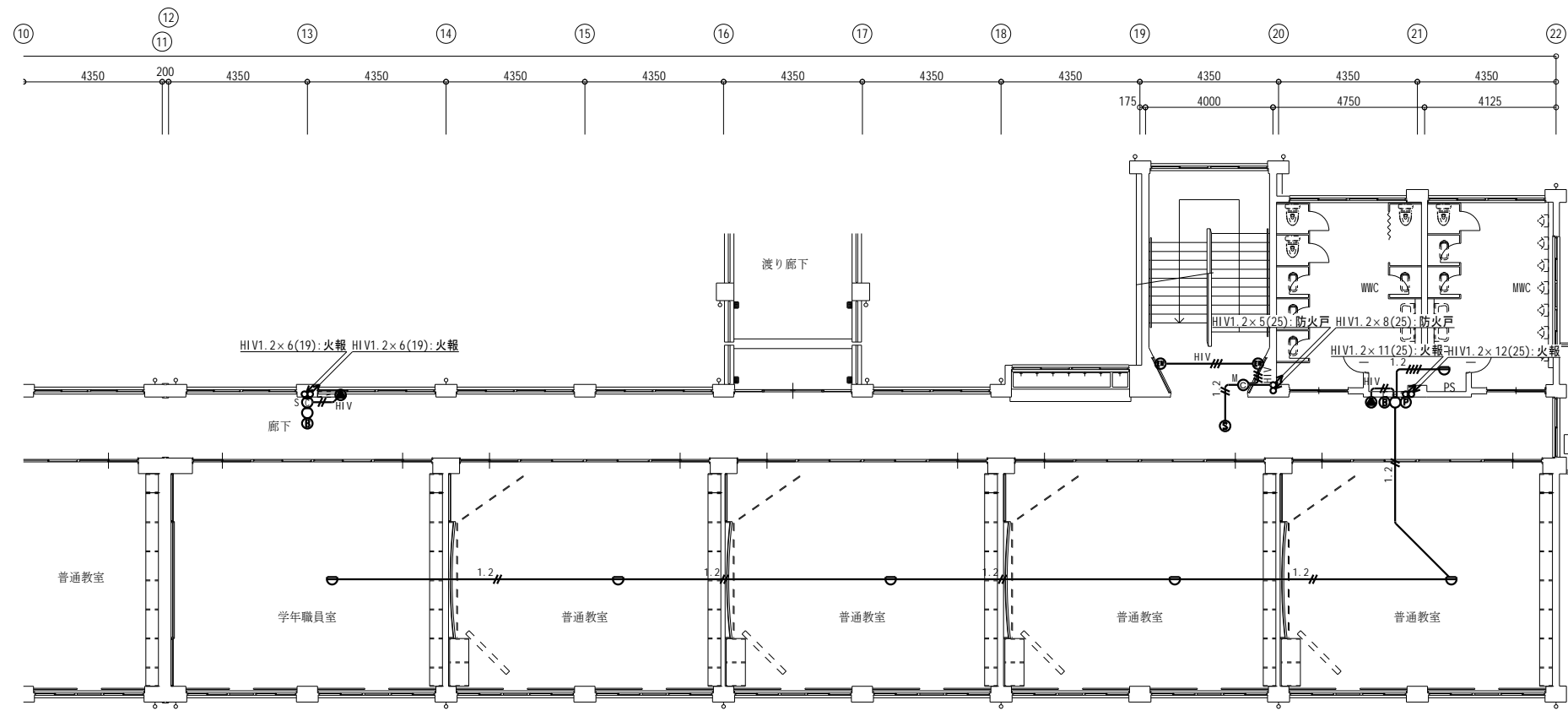


改修前 1階平面図 S=1/200

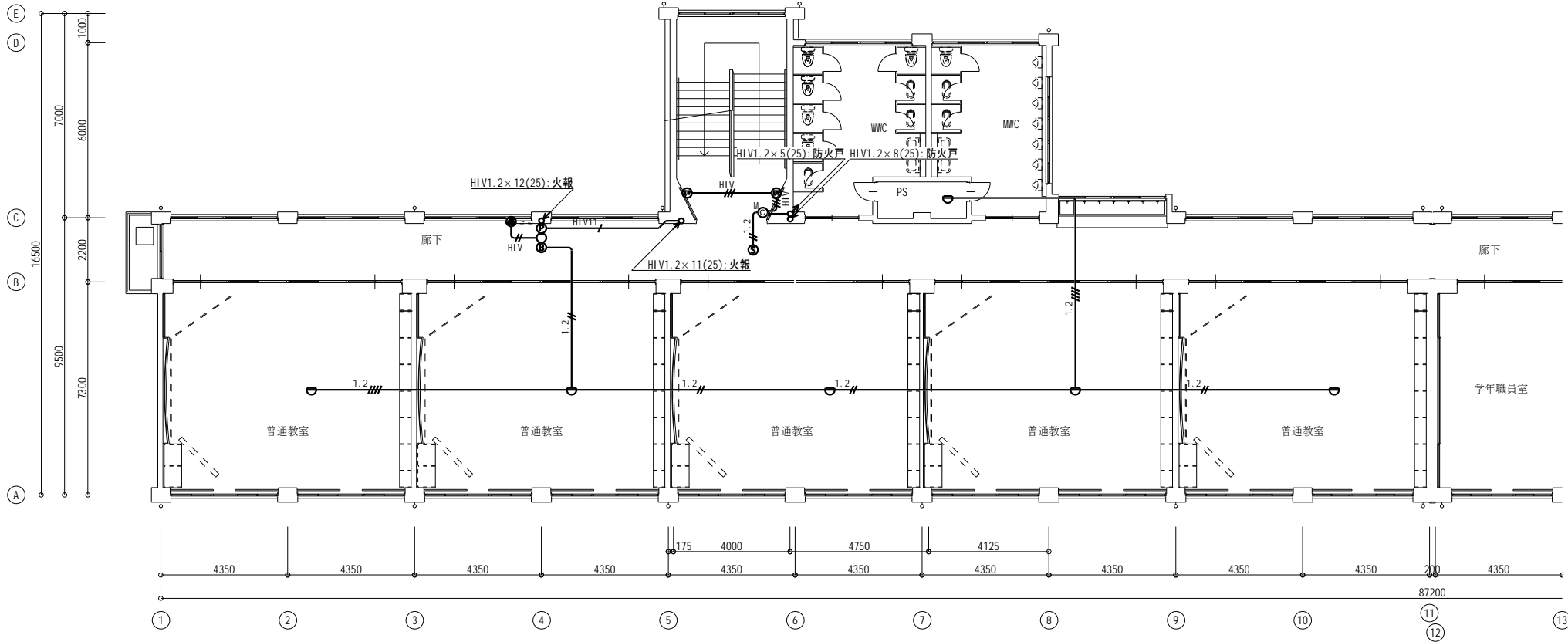
配管配線凡例表

特記なき配管・配線は下記による。		
記号	名 称	備 考
1.2	IV1.2×2 (EP19: インベイ)	
1.2	IV1.2×4 (EP19: インベイ)	
HIV	HIV1.2×2 (EP19: インベイ)	
HIV	HIV1.2×3 (EP19: インベイ)	
HIV	HIV1.2×6 (EP19: インベイ)	
HIV11	HIV1.2×11 (既設EP: インベイ)	
HIV13	HIV1.2×13 (既設EP: インベイ)	
AE	AE1.2-4C (コロガン)	
AE	AE1.2-4C (EP19: インベイ)	



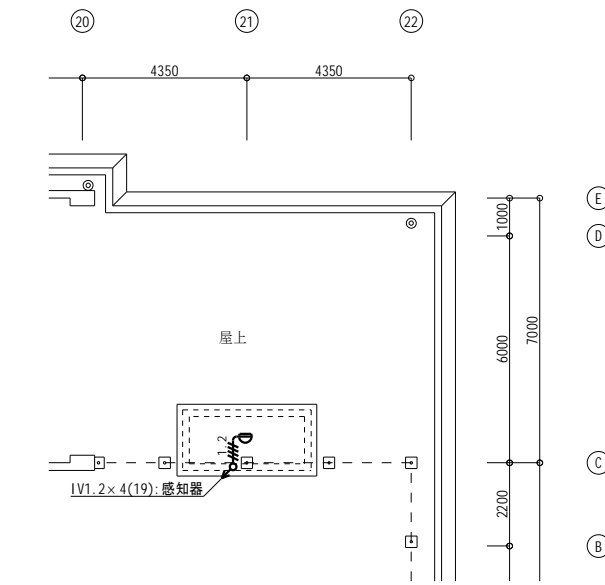


改修前 3階平面図 S=1/200

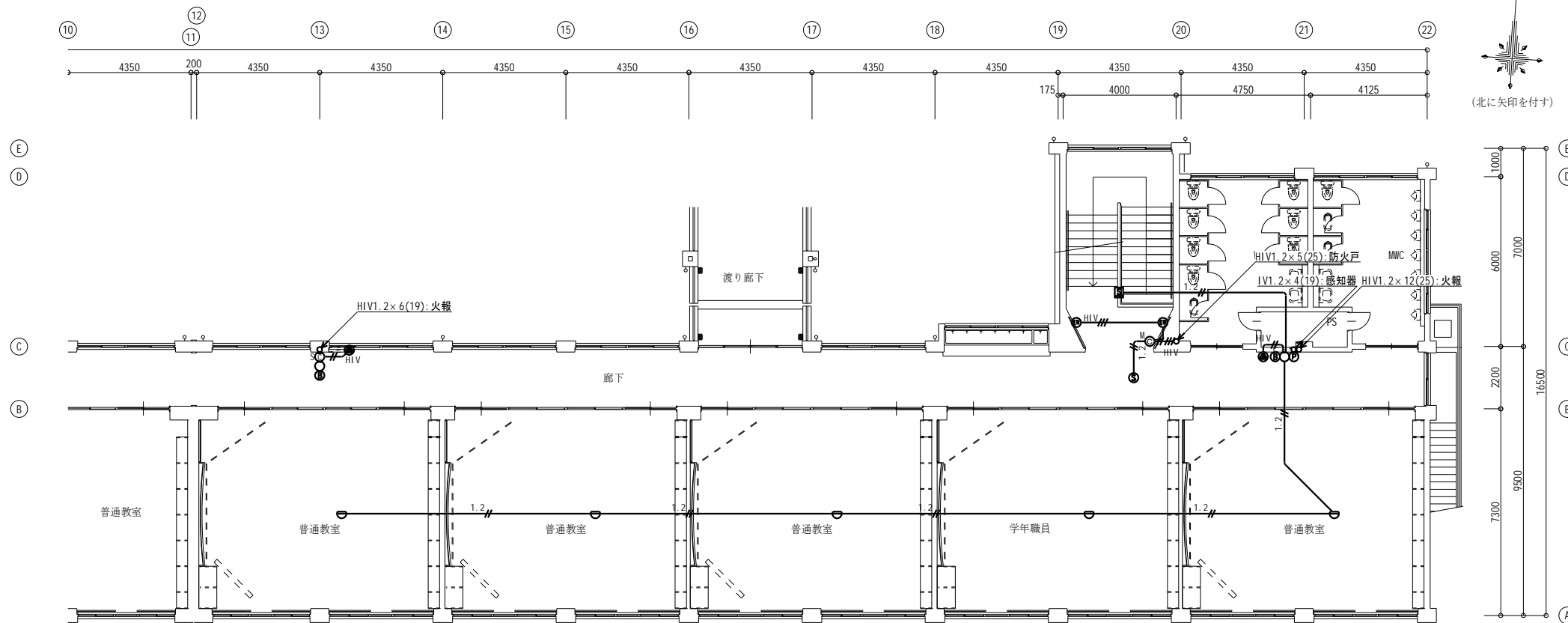


改修前 3階平面図 S=1/200

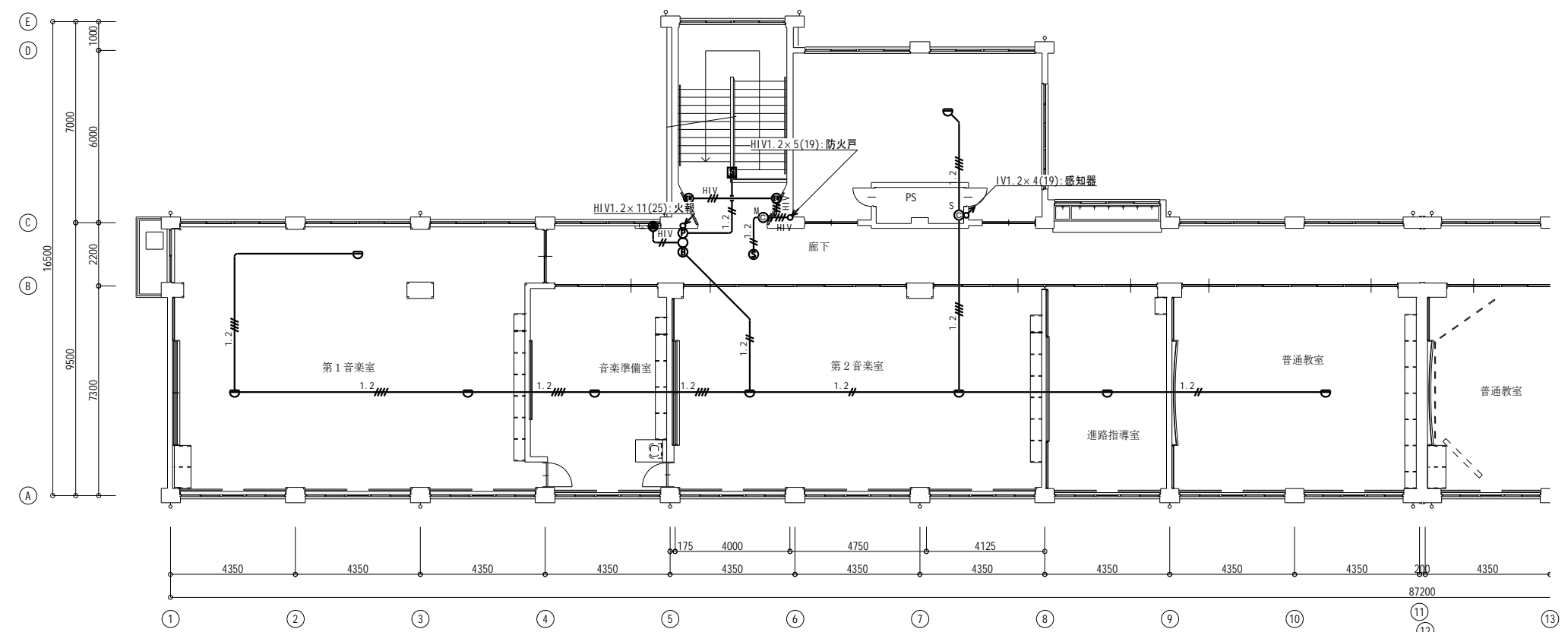
配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は下記による。		
記号	名 称	備 考
	IV1.2×2 (EP19: インベイ)	
	IV1.2×4 (EP19: インベイ)	
	HIV1.2×2 (EP19: インベイ)	
	HIV1.2×11 (既設EP: インベイ)	



配管配線凡例表		
特記なき配管・配線は下記による。		
記号	名 称	備 考
1.2	IV1.2x2 (EP19: インベイ)	
1.2	IV1.2x4 (EP19: インベイ)	
HIV	HIV1.2x2 (EP19: インベイ)	
HIV	HIV1.2x3 (EP19: インベイ)	
HIV	HIV1.2x5 (既設EP: インベイ)	



改修前 4階平面図 S=1/200



改修前 4階平面図 S=1/200

